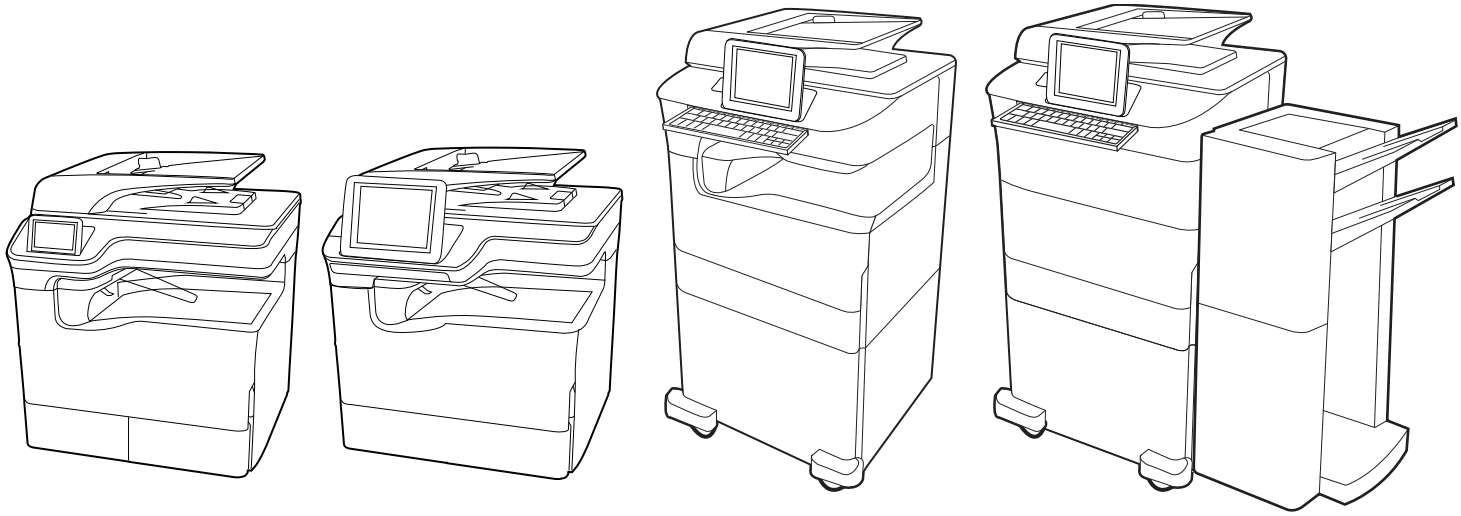
HP PageWide Managed Color MFP E77650, E77660
HP PageWide Managed Color MFP P77440
HP PageWide Managed Color MFP P77940, P77950, P77960
HP PageWide Managed Color Flow MFP E77650, E77660

ユーザー ガイド



www.hp.com/videos/PageWide
www.hp.com/support/pwcolormfpE77650
www.hp.com/support/pwcolormfpE77660
www.hp.com/support/pwcolorP77940mfp
www.hp.com/support/pwcolorP77950mfp
www.hp.com/support/pwcolorP77960mfp
www.hp.com/support/pwcolorP77440mfp

HP PageWide Managed Color MFP E77650, E77660, HP PageWide Managed Color MFP P77440, HP PageWide Managed Color MFP P77940, P77950, P77960, HP PageWide Managed Color Flow MFP E77650, E77660

ユーザーガイド

著作権およびライセンス

© Copyright 2020 HP Development Company, L.P.

事前の書面による許可なく複製、改変、変換することは、著作権法で許可されていない限り禁じられています。

本文書の内容は、事前の通知なく変更される可能性があります。

HP の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品またはサービスに付属の明示的な保証条項で規定されます。本文書のいかなる部分も、追加の保証を構成するとは見なされません。HP は、本文書に含まれる技術的または表記上の誤記や欠落について、一切の責任を負わないものとします。

Edition 5, 12/2020

商標について

Adobe®、Adobe Photoshop®、Acrobat®、および PostScript® は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Apple および Apple ロゴは、米国およびその他の国/地域における Apple Inc. の商標です。

macOS は、米国およびその他の国/地域における Apple Inc. の商標です。

AirPrint は、米国およびその他の国/地域における Apple Inc. の商標です。

Google™ は、Google Inc. の商標です。

Microsoft®、Windows®、および Windows Server® は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

UNIX® は Open Group の登録商標です。

目次

1 プリンタの概要 1
注意アイコン 1
感電の危険性 2
プリンタの図 4
プリンタの仕様 20
プリンタのハードウェアのセットアップとソフトウェアのインストール 38

2 用紙トレイ 39
トレイ 1 (汎用トレイ) に用紙をセット 40
トレイ 2 に用紙をセット 47
4,000 枚大容量給紙 (HCI) トレイへのセット 55
封筒のセットと印刷 61
ラベルのセットと印刷 63
内部フィニッシャのステイプル留めの設定 (E77650dns、E77650zs、E77660dns、E77660zs、P77940dns、P77950dns、および P77960dns モデルのみ) 65

3 サプライ品、アクセサリ、および部品 69
サプライ品、アクセサリ、および部品の注文 70
トナー カートリッジの交換 74
サービス用液体コンテナを交換する 78

4 印刷 83
印刷タスク (Windows) 84
印刷タスク (macOS) 88
プリンタに印刷ジョブを保存し、後で印刷するか、個人用として印刷 91
モバイル印刷 95
USB フラッシュ ドライブからの印刷 99
高速 USB 2.0 ポート (有線) を使用して印刷する 102

5 コピー 105
コピーする 105
両面コピーする 107
補足的なコピー タスク 109

6 スキャン 111
[スキャンして電子メールで送信] のセットアップ 112
[スキャン データをネットワーク フォルダに送信] のセットアップ 129
[スキャンして SharePoint に保存] のセットアップ 145
[スキャンして USB ドライブに保存] のセットアップ 152
スキャンして電子メールで送信 156
スキャンしてジョブ保存 159
スキャン データをネットワーク フォルダに送信 162
スキャンして SharePoint に保存 165
スキャンして USB ドライブに保存 168
HP JetAdvantage ビジネス ソリューションの使用 170
補足的なスキャン タスク 170

7 ファックス 171
ファックスのセットアップ 172
ファックス設定の変更 173
ファックスの送信 176
ファックス印刷スケジュールの作成 178
着信ファックスのブロック 179
補足的なファックス タスク 179

8 プリンタの管理 181
HP 内蔵 Web サーバ (EWS) の高度な設定 182
IP ネットワークの設定 194
プリンタのセキュリティ機能 198
省エネ設定 201
HP Web Jetadmin 202
ソフトウェアおよびファームウェアの更新 202

9 問題の解決 203
コントロール パネルのヘルプ システム 203
出荷時の設定に戻す 205
「カートリッジ残量わずか」または「カートリッジ残量非常にわずか」のメッセージがプリンタのコントロール パネルに表示される 205

給紙されない、または給紙ミスが発生する 207
紙詰まりの解消 215
カラー印刷品質の問題の解決 249
コピーのイメージ品質を向上させる 267
スキャンのイメージ品質を向上させる 271
ファックスの画像品質の向上 276
有線ネットワークに関する問題の解決 279
ワイヤレス ネットワークに関する問題の解決 279
ファックスに関する問題の解決 280

索引 287

1 プリンタの概要

プリンタの機能の場所、プリンタの物理的および技術的な仕様、セットアップ情報の場所を確認します。

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/PageWide を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/pwcolormfpE77650、または www.hp.com/support/pwcolormfpE77660、または www.hp.com/support/pwcolorP77940mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77950mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77960mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77440mfp を参照してください。

詳細は、次を参照してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

注意アイコン

アイコンの定義で指定されているように、ご使用の HP プリンタに警告のアイコンが表示された場合は、注意してください。

- 注意：近くに尖った部分があることを示しています。

- 注意：可動部品に近づかないようにしてください。

- 注意：表面が高温になっています。

- 注意：感電します。

- 警告

感電の危険性

以下の重要な安全上の注意事項をお読みください。

- これらの安全上の注意事項を読んで理解し、感電の危険を回避してください。
- 火災や感電によるけがの危険性を減らすため、この製品を使用するときは、必ず安全に関する基本的な注意事項に従ってください。
- ユーザー ガイドに記載されているすべての手順を読んで理解してください。
- プリンタ上に記載されたすべての警告および指示に従ってください。
- 製品を電源に接続するときは、接地済みの電源コンセントのみを使用してください。コンセントが接地済みであるかどうか不明な場合は、資格のある技術者に確認してください。
- プリンタのソケットのいずれかの接点に触れないようにしてください。破損したコードはすぐに交換してください。
- クリーニングする前に、製品を電源コンセントから抜いてください。
- この製品を、水の近くや濡れた手で設置または使用しないでください。
- プリンタを水平で安定した面にしっかりと取り付けてください。
- 電源コードを踏んだり、引っかかったりしない安全な場所に製品を設置してください。

プリンタの図

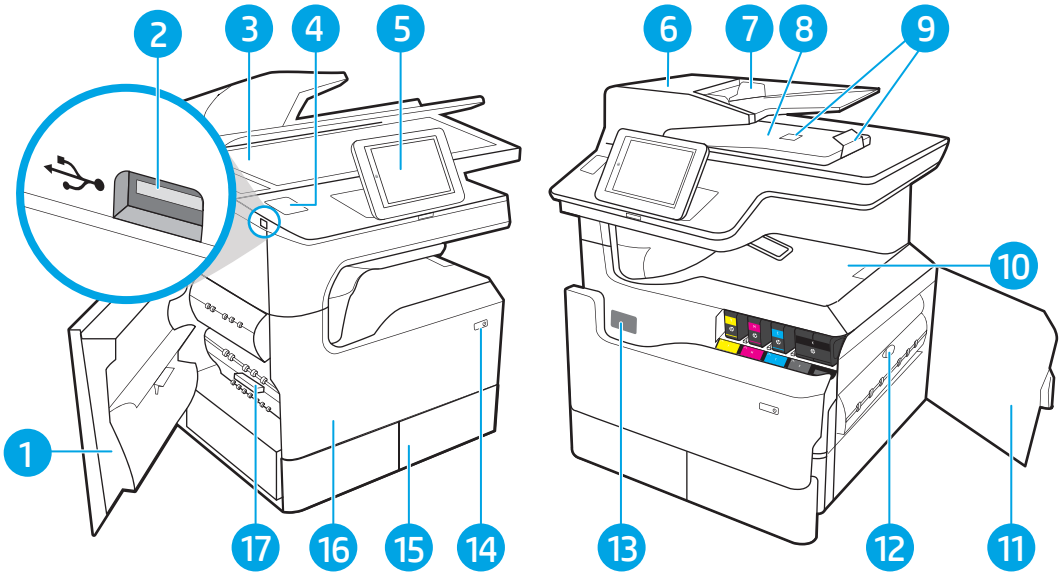
プリンタの特定の部品およびコントロール パネルを確認します。

プリンタ前面図

プリンタの前面にある機能の位置を確認します。

プリンタ前面図 - P77440dn モデル

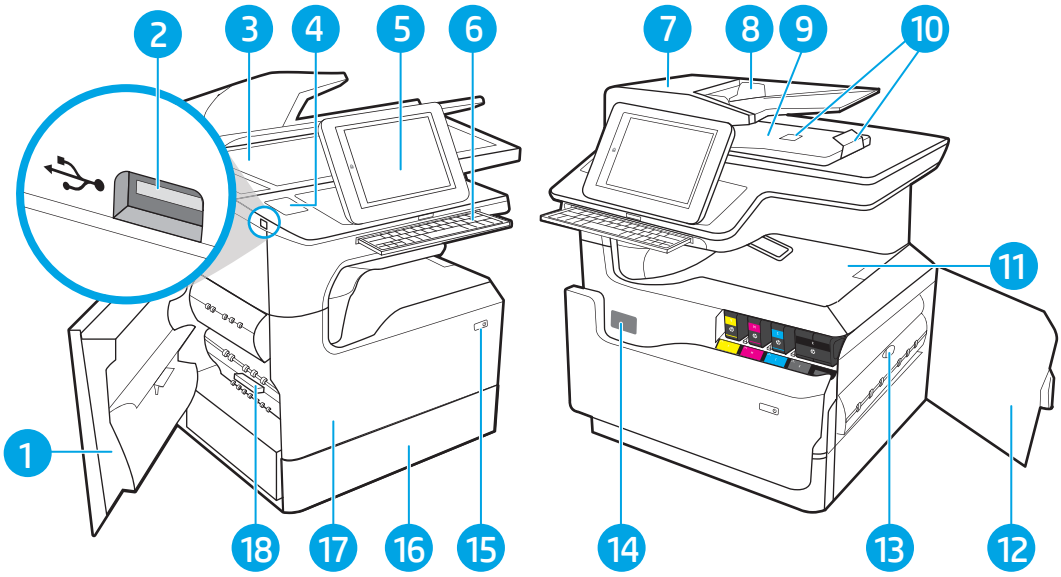
対象プリンタの前面にある機能の位置を確認します。



番号	説明
1	左ドア
2	イージーアクセス USB 印刷ポート
3	スキャナ アセンブリ
4	ハードウェア統合ポケット (アクセサリやサードパーティ製デバイスの接続用)
5	カラー タッチスクリーン ディスプレイ付きコントロール パネル (上方に傾けて見やすく表示可能)
6	文書フィーダ カバー (紙詰まりを解消する際に操作する)
7	文書フィーダの給紙トレイ
8	文書フィーダの排紙ビンと排紙ビン ストップ
9	文書フィーダの排紙拡張
10	排紙ビンと排紙ビン ストップ
11	右のドア (紙詰まりの除去時に開く)
12	両面印刷ユニット
13	シリアル番号および製品番号ラベル
14	オン/オフ ボタン
15	トレイ 2 (タンデム)
16	正面ドア (カートリッジへのアクセス)
17	サービス用液体コンテナ

プリンタ前面図 — E77650dn、E77650z、E77660dn、E77660z、P77940dn、P77950dn、P77960dn モデル

対象プリンタの前面にある機能の位置を確認します。

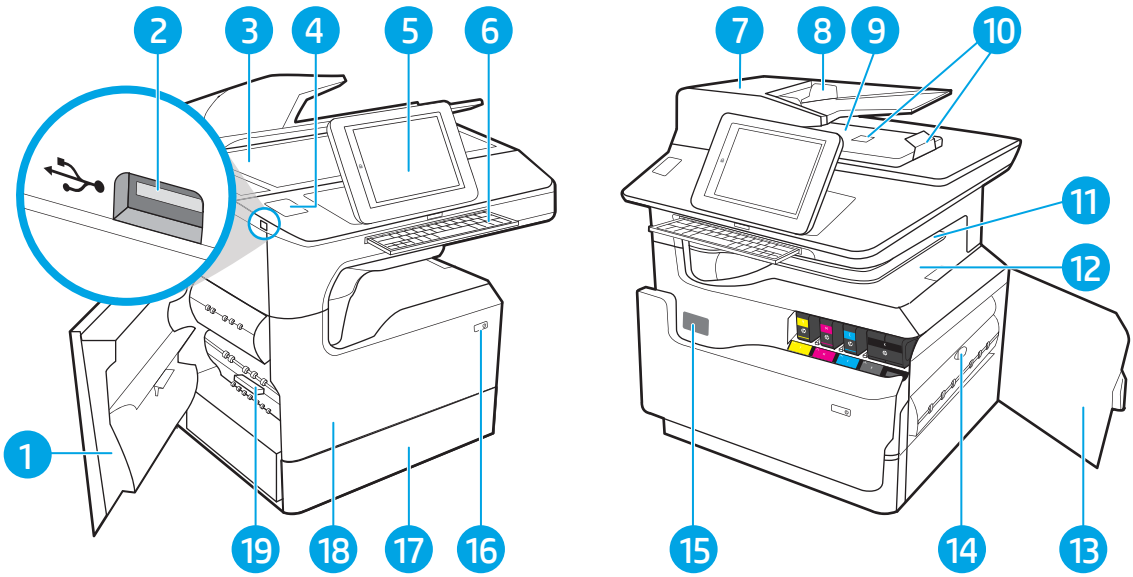


番号	説明
1	左ドア
2	イージーアクセス USB 印刷ポート
3	スキャナ アセンブリ
4	ハードウェア統合ポケット (アクセサリやサードパーティ製デバイスの接続用)
5	カラー タッチスクリーン ディスプレイ付きコントロール パネル (上方に傾けて見やすく表示可能)
6	キーボード (z モデルのみ。キーボードをカチッと音のするところまで押し込み、使用時には引き出します。) 注意：使用しないときは、キーボードを閉じます。
7	文書フィーダ カバー (紙詰まりを解消する際に操作する)
8	文書フィーダの給紙トレイ
9	文書フィーダの排紙ビンと排紙ビン ストップ
10	文書フィーダの排紙拡張
11	排紙ビンと排紙ビン ストップ
12	右のドア (紙詰まりの除去時に開く)
13	両面印刷ユニット
14	シリアル番号および製品番号ラベル
15	オン/オフ ボタン
16	トレイ 2

番号	説明
17	正面ドア (カートリッジへのアクセス)
18	サービス用液体コンテナ

プリンタ前面図 — E77650dns、E77650zs、E77660dns、E77660zs、P77940dns、P77950dns、P77960dns モデル

対象プリンタの前面にある機能の位置を確認します。

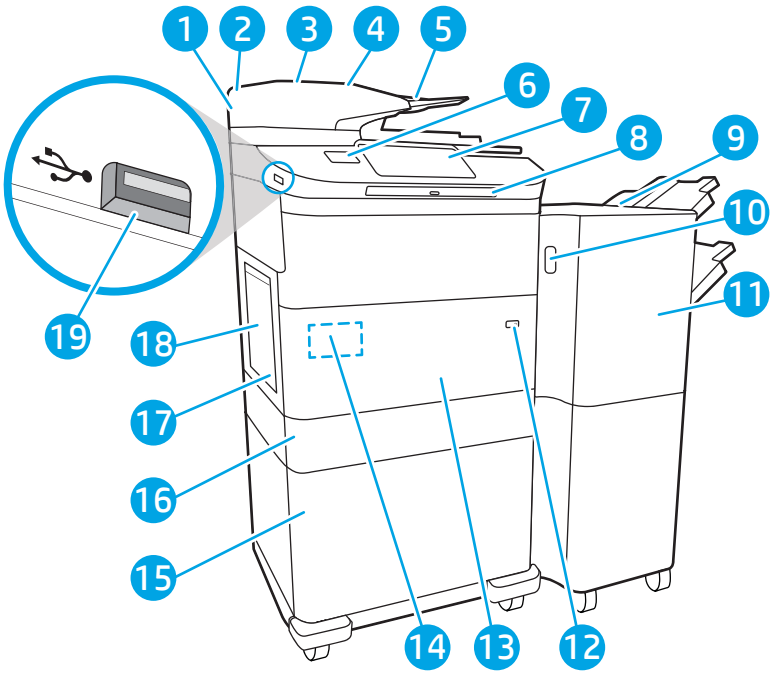


番号	説明
1	左ドア
2	イージーアクセス USB 印刷ポート
3	スキャナ アセンブリ
4	ハードウェア統合ポケット (アクセサリやサードパーティ製デバイスの接続用)
5	カラー タッチスクリーン ディスプレイ付きコントロール パネル (上方に傾けて見やすく表示可能)
6	キーボード (zs モデルのみ。キーボードをカチッと音のするところまで押し込み、使用時には引き出します。) **注意：**使用しないときは、キーボードを閉じます。
7	文書フィーダ カバー (紙詰まりを解消する際に操作する)
8	文書フィーダの給紙トレイ
9	文書フィーダの排紙ビンと排紙ビン ストップ
10	文書フィーダの排紙拡張
11	インナー フィニッシャ
12	排紙ビンと排紙ビン ストップ
13	右のドア (紙詰まりの除去時に開く)

番号	説明
14	両面印刷ユニット
15	シリアル番号および製品番号ラベル
16	オン/オフ ボタン
17	トレイ 2
18	正面ドア (カートリッジへのアクセス)
19	サービス用液体コンテナ

プリンタ背面図 — P77940dn+、E77650z+、E77660z+ モデル

対象プリンタの前面にある機能の位置を確認します。



番号	説明
1	スキャナ アセンブリ
2	文書フィーダ カバー (紙詰まりを解消する際に操作する)
3	文書フィーダの給紙トレイ
4	文書フィーダの排紙ビンと排紙ビン ストップ
5	文書フィーダの排紙拡張
6	ハードウェア統合ポケット (アクセサリやサードパーティ製デバイスの接続用)
7	カラー タッチスクリーン ディスプレイ付きコントロール パネル (上方に傾けて見やすく表示可能)
8	キーボード。カチッと音のするところまで押し込み、使用時には引き出します。 注意：使用しないときは、キーボードを閉じます。

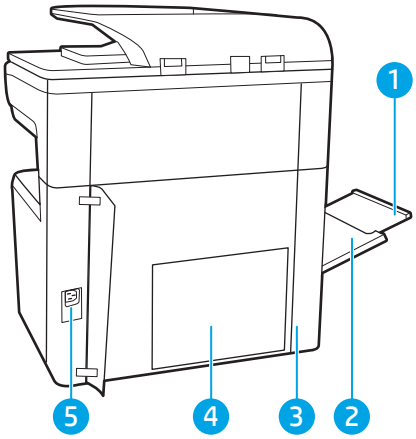
番号	説明
9	据え置き型フィニッシャ
10	据え置き型フィニッシャのリリース ラッチ
11	据え置き型フィニッシャの正面ドア
12	オン/オフ ボタン
13	正面ドア (カートリッジへのアクセス)
14	シリアル番号および製品番号ラベル
15	次のどちらかになります。1 x 550 用紙トレイ (スタンド付き)、3 x 550 用紙トレイ、または 4,000 枚大容量給紙 (HCI) トレイ
16	トレイ 2
17	サービス用液体コンテナ
18	左ドア
19	イージーアクセス USB 印刷ポート

プリンタの背面図とインタフェース ポート

プリンタの背面にある機能の位置を確認します。

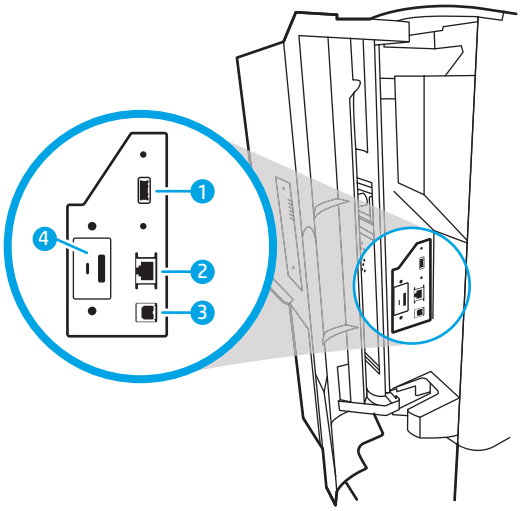
プリンタ背面図およびインタフェース ポート - P77440dn、E77650dn、E77650z、E77660dn、E77660z、P77940dn、P77950dn、P77960dn モデル

プリンタの背面にある機能の位置を確認します。



番号	説明
1	トレイ 1 の延長部分
2	トレイ 1 (汎用トレイ)
3	インタフェース ポートとケーブル ロック スロットへのアクセス ドア
4	フォーマッタ プレート (インタフェース ポートを収容)
5	電源接続

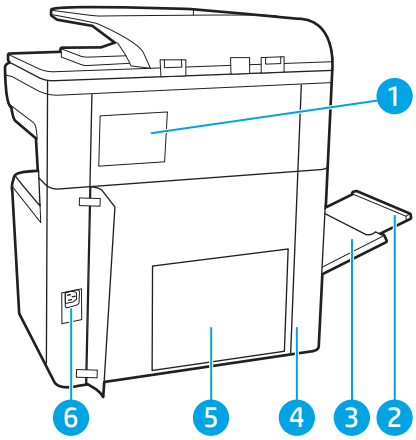
プリンタには、次のインタフェース ポートが搭載されています。



番号	説明
1	外部 USB デバイス接続用ホスト USB ポート 注記：イージーアクセス USB で印刷を行うには、コントロール パネルの近くにある USB ポートを使用してください。
2	ローカル エリア ネットワーク (LAN) のイーサネット (RJ-45) ネットワーク ポート
3	高速 USB 2.0 印刷ポート
4	ケーブル ロック スロット

プリンタ背面図およびインタフェース ポート - E77650dns、E77650zs、E77660dns、E77660zs、P77940dns、P77950dns、P77960dns モデル

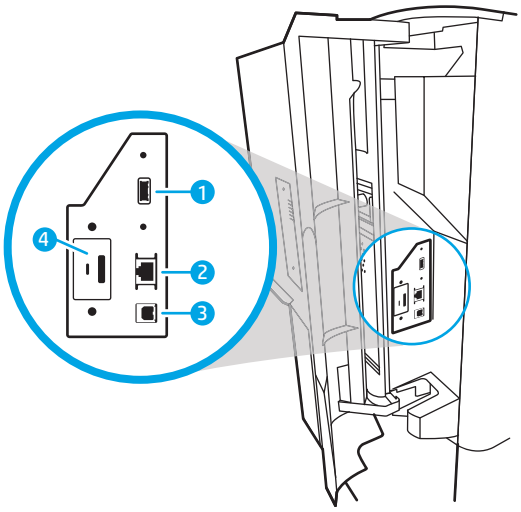
プリンタの背面にある機能の位置を確認します。



番号	説明
1	ステイプラ カバー
2	トレイ 1 の延長部分
3	トレイ 1 (汎用トレイ)

番号	説明
4	インタフェース ポートとケーブル ロック スロットへのアクセス ドア
5	フォーマッタ プレート (インタフェース ポートを収容)
6	電源接続

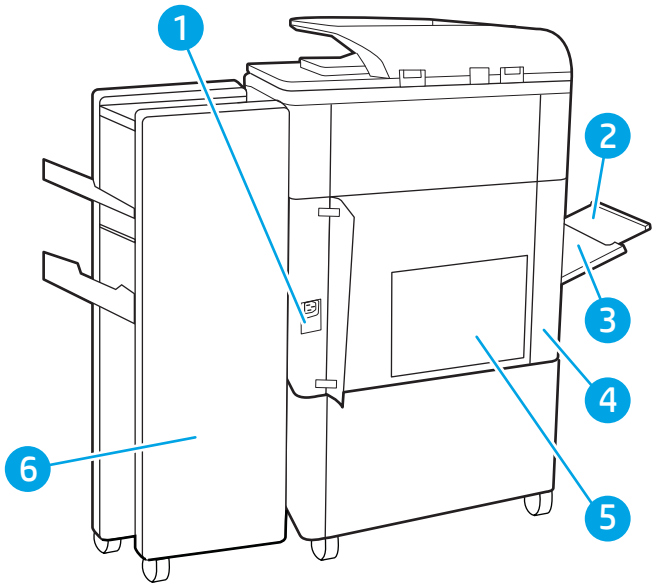
プリンタには、次のインタフェース ポートが搭載されています。



番号	説明
1	外部 USB デバイス接続用ホスト USB ポート 注記：イージーアクセス USB で印刷を行うには、コントロール パネルの近くにある USB ポートを使用してください。
2	ローカル エリア ネットワーク (LAN) のイーサネット (RJ-45) ネットワーク ポート
3	高速 USB 2.0 印刷ポート
4	ケーブル ロック スロット

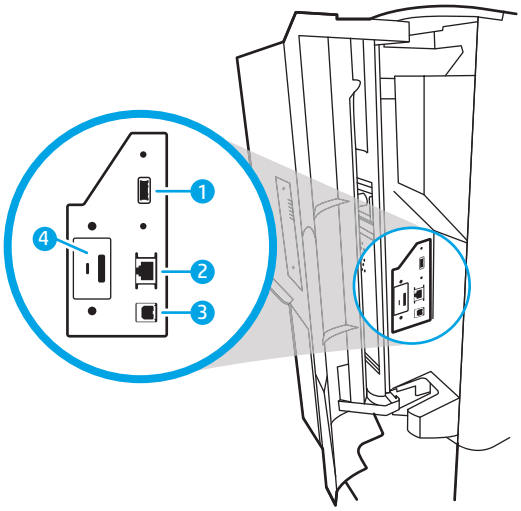
プリンタ背面図およびインタフェース ポート— P77940dn+、E77650z+、E77660z+ モデル

プリンタの背面にある機能の位置を確認します。



番号	説明
1	電源接続
2	トレイ 1 (汎用トレイ)
3	トレイ 1 の延長部分
4	インタフェース ポートとケーブル ロック スロットへのアクセス ドア
5	フォーマッタ プレート (インタフェース ポートを収容)
6	据え置き型フィニッシャの後部ドア

プリンタには、次のインタフェース ポートが搭載されています。



番号	説明
1	外部 USB デバイス接続用ホスト USB ポート 注記：イージーアクセス USB で印刷を行うには、コントロール パネルの近くにある USB ポートを使用してください。
2	ローカル エリア ネットワーク (LAN) のイーサネット (RJ-45) ネットワーク ポート
3	高速 USB 2.0 印刷ポート
4	ケーブル ロック スロット

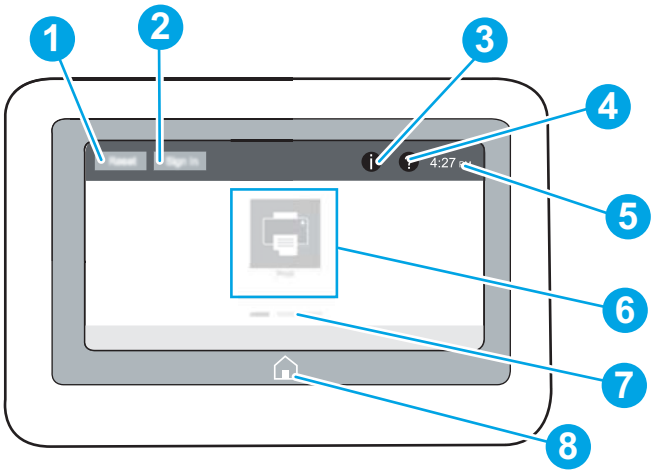
コントロール パネル

ホーム画面からプリンタの各機能にアクセスしたり、現在のプリンタのステータスを確認したりできます。

[ホーム] ボタンを選択すれば、いつでもホーム画面に戻ることができます。

注記：ホーム画面に表示される機能は、プリンタの設定によって異なる場合があります。

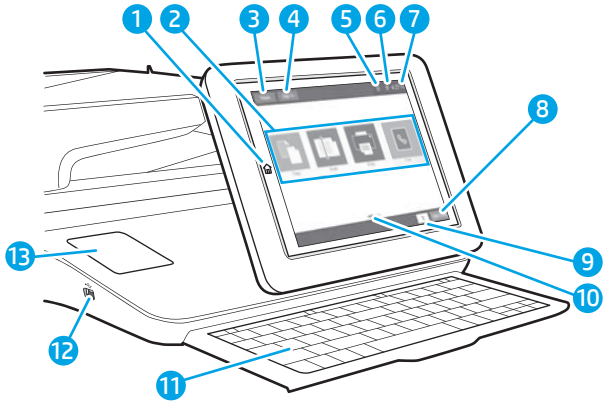
図 1-1 コントロール パネル — P77440dn モデル



番号	項目	説明
1	[リセット] ボタン	[リセット] ボタンを選択すると、変更のクリア、一時停止状態の解除、非表示のエラーの表示、デフォルト設定の復元 (言語およびキーボード レイアウトを含む) が実行されます。
2	[サインイン] または [サインアウト] ボタン	サインイン画面を表示するには、[サインイン] ボタンを選択します。 プリンタからログオフするには、[サインアウト] ボタンを選択します。プリンタのすべてのオプションが既定の設定に戻ります。 **注記：**このボタンは、管理者が、機能へのアクセスに許可が必要になるようプリンタを設定した場合にのみ表示されます。

番号	項目	説明
3	[情報] ボタン	複数の種類のプリンタ情報を確認できる画面にアクセスするには、[情報] ボタンを選択します。次の情報については、画面の下部にあるボタンを選択します。 • 表示言語：現在のユーザー セッションの言語設定を変更します。 • スリープ モード：プリンタをスリープ モードにします。 • Wi-Fi Direct: Wi-fi を使用して、電話、タブレット、またはその他のデバイスをプリンタに直接接続する方法に関する情報を表示します。 • ワイヤレス：ワイヤレス接続設定を表示または変更します (一部のモデルではオプションのワイヤレス アクセサリが必要です)。 • イーサネット：イーサネット接続設定を表示または変更します。 • HP Web サービス：HP Web サービス (ePrint) を使用して、プリンタに接続して印刷するための情報を表示します。
4	[ヘルプ] ボタン	[ヘルプ] ボタンを選択すると、内蔵のヘルプ システムが表示されます。 ホーム画面、アプリ、オプション、または機能を使用しているときに、ヘルプ トピックのリストや特定のトピックに関する情報が表示されます。
5	現在の時刻	現在の時刻が表示されます。
6	アプリケーション領域	アプリケーションを開くには、いずれかのアイコンを選択します。その他のアプリケーションにアクセスするには、画面を横方向にスワイプします。 **注記：**使用できるアプリケーションは、プリンタによって異なります。管理者は、表示するアプリケーションと表示順序を設定できます。
7	ホーム画面ページのインジケータ	ホーム画面またはアプリケーションのページ数が表示されます。現在のページがハイライトされています。ページ間をスクロールするには、画面を横方向にスワイプします。
8	ホーム ボタン	[ホーム] ボタンを選択すると、ホーム画面に戻ります。

図 1-2 コントロール パネル — P77940、P77950、P77960、E77650、E77660 モデル



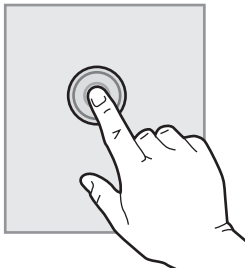
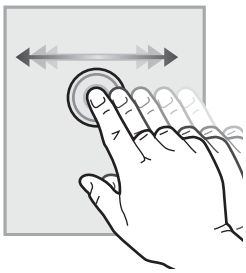
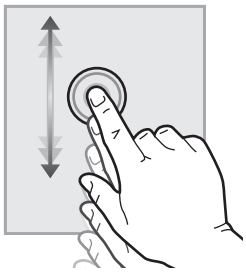
番号	項目	説明
1	ホーム ボタン	[ホーム] ボタンを選択すると、ホーム画面に戻ります。
2	アプリケーション領域	アプリケーションを開くには、いずれかのアイコンを選択します。その他のアプリケーションにアクセスするには、画面を横方向にスワイプします。 注記：使用できるアプリケーションは、プリンタによって異なります。管理者は、表示するアプリケーションと表示順序を設定できます。
3	[リセット] ボタン	リセット ボタンを選択すると、変更のクリア、一時停止状態の解除、コピー数フィールドのリセット、非表示のエラーの表示、デフォルト設定の復元 (言語およびキーボード レイアウトを含む) が実行されます。
4	[サインイン] または [サインアウト] ボタン	保護された機能を利用するには、[サインイン] ボタンを選択します。 プリンタからログオフするには、[サインアウト] ボタンを選択します。プリンタのすべてのオプションが既定の設定に戻ります。 注記：このボタンは、管理者が、機能へのアクセスに許可が必要になるようプリンタを設定した場合にのみ表示されます。

番号	項目	説明
5	情報 ボタン	複数の種類のプリンタ情報を確認できる画面にアクセスするには、[情報] ボタンを選択します。次の情報については、画面の下部にあるボタンを選択します。 • 表示言語：現在のユーザー セッションの言語設定を変更します。 • スリープ モード：プリンタをスリープ モードにします。 • ワイヤレス：ワイヤレス接続設定を表示または変更します (zs および z+ モデル。その他モデルについては、オプションのワイヤレス アクセサリが取り付けられている場合のみ)。 • イーサネット：イーサネット接続設定を表示または変更します。 • HP Web サービス：HP Web サービス (ePrint) を使用して、プリンタに接続して印刷するための情報を表示します。
6	ヘルプ ボタン	[ヘルプ] ボタンを選択すると、内蔵のヘルプ システムが表示されます。
7	現在の時刻	現在の時刻が表示されます。
8	コピー ボタン	コピー ジョブを開始するには、コピー ボタンを選択します。
9	コピー数	コピー数には、設定されたコピー枚数が表示されます。
10	ホーム画面ページのインジケータ	ホーム画面またはアプリケーションのページ数が表示されます。現在のページがハイライトされています。ページ間をスクロールするには、画面を横方向にスワイプします。
11	キーボード (785zs、785z+ モデルのみ)	キーは、プリンタのタッチスクリーンの仮想キーボードがマッピングされているのと同じ方法で、使用する言語にマッピングされています。仮想キーボードのキーボード配列が変更された場合、物理キーボードは新しい設定に合わせて再度マッピングされます。 注記：一部の地域では、キーを別の言語にカスタマイズする粘着式キーボード オーバーレイがプリンタに付属します。
12	イージーアクセス USB ポート	USB フラッシュ ドライブを挿入するだけで、コンピュータを使わずに印刷やスキャンを行ったり、プリンタ ファームウェアを更新することができます。 注記：管理者は、印刷またはスキャン機能を使用する前にこのポートを有効にする必要があります。ファームウェア アップグレードでは、ポートを有効にする必要はありません。
13	ハードウェア統合ポケット (HIP)	アクセサリおよびサードパーティ製デバイスを接続します。

タッチスクリーン コントロール パネルの使用方法

プリンタのタッチ スクリーン コントロール パネルを使用するには、次の操作を実行します。

表 1-1 タッチスクリーン コントロール パネルの操作

操作	説明	例
タッチ 	画面の項目にタッチすると、項目が選択されるか、メニューが開きます。また、メニューをスクロールするとき、素早く画面にタッチするとスクロールが停止します。	設定 アイコンにタッチして 設定 アプリを開きます。
スワイプ 	画面を横方向にスクロールするには、画面にタッチし、水平方向に指を動かします。	設定 アプリが表示されるまでスワイプします。
スクロール 	画面を縦方向にスクロールするには、画面にタッチし、垂直方向に指を動かします。メニューをスクロールするとき、素早く画面にタッチするとスクロールが停止します。	設定 アプリをスクロールします。

プリンタの仕様

お使いのプリンタ モデルの仕様を確認します。

技術仕様

プリンタの技術仕様について確認します。

各 P77440 モデルの製品番号

- P77440dn — Y3Z60A

表 1-2 用紙処理仕様 - P77440dn

用紙処理機能	P77440dn
トレイ 1 (100 枚の給紙トレイ)	付属
トレイ 2、3 (タンデム) : 2 x 550 枚給紙トレイ	付属
550 枚用紙トレイ	オプション
注記 : プリンタは、1 つのオプションの給紙アクセサリをサポートしています。	
550 枚用紙トレイとスタンド	オプション
3x550 枚用紙トレイ	オプション
4,000 枚大容量給紙 (HCI) トレイ	オプション
自動両面印刷	付属

表 1-3 接続仕様 — P77440dn

接続機能	P77440dn
IPv4 および IPv6 による 10/100/1000 Ethernet LAN 接続	付属
高速 USB 2.0	付属
コンピュータを介さない印刷用およびファームウェアのアップグレード用のかんたん接続 USB ポート	付属

表 1-4 印刷仕様 - P77440dn

印刷機能	P77440dn
プロフェッショナル モードでは、印刷速度はレターおよび A4 で 40 枚/分 (ppm)	付属
一般的なオフィス モードでは、印刷速度はレターおよび A4 で 60 枚/分 (ppm)	付属
イージーアクセス USB 印刷 (コンピュータは不要)	付属

表 1-5 メモリ仕様 — P77440dn

メモリ機能	P77440dn
2.25GB メモリ、DIMM メモリ モジュールを追加すると 3.25GB まで拡張可能	付属
HP 16GB eMMC モジュール	付属

表 1-6 その他の仕様 — P77440dn

その他の特長	P77440dn
セキュリティ: プリンタを通過するすべてのデータの暗号化用 HP Trusted Platform Module	付属
カラー タッチスクリーンのコントロール パネル (4.3 インチ)	付属

各 E77650 モデルの製品番号

- E77650dn — J7Z13A
- E77650dns — Z5G79A
- E77650z — J7Z08A
- E77650zs — J7Z14A
- E77650z+ - Z5G76A

表 1-7 用紙処理仕様 - E77650 モデル

用紙処理機能	E77650dn	E77650dns	E77650z	E77650zs	E77650z+
トレイ 1 (100 枚の給紙トレイ)	付属	付属	付属	付属	付属
トレイ 2 (550 枚の給紙トレイ)	付属	付属	付属	付属	付属
トレイ 2、3 (タンデム) : 2 x 550 枚給紙トレイ	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません
550 枚用紙トレイ 注記：プリンタは、1 つのオプションの給紙アクセサリをサポートしています。	オプション	オプション	オプション	オプション	サポートされていません
550 枚用紙トレイとスタンド	オプション	オプション	オプション	オプション	必須
3x550 枚用紙トレイ	オプション	オプション	オプション	オプション	必須
4,000 枚大容量給紙フィーダ (HCI)	オプション	オプション	オプション	オプション	必須
ステイプラ機能付き 300 枚インナー フィニッシャ	サポートされていません	付属	サポートされていません	付属	サポートされていません
据え置き型フィニッシャ	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません	付属
自動両面印刷	付属	付属	付属	付属	付属

表 1-8 接続仕様 - E77650 モデル

接続機能	E77650dn	E77650dns	E77650z	E77650zs	E77650z+
IPv4 および IPv6 による 10/100/1000 Ethernet LAN 接続	付属	付属	付属	付属	付属
高速 USB 2.0	付属	付属	付属	付属	付属
コンピュータを使わずに印刷やスキャン、ファームウェアのアップグレードを行えるイージーアクセス USB ポート	付属	付属	付属	付属	付属
ハードウェア統合ポケット (HIP) (アクセサリやサードパーティ製デバイスの接続用)	付属	付属	付属	付属	付属
HP 内蔵 USB ポート	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション
モバイル デバイスから印刷するための HP Jetdirect 3000w NFC/ Wireless Accessory	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション
ワイヤレス接続用 HP Jetdirect 2900nw プリント サーバ アクセサリ	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション
HP 外部インターフェース ハーネス (FIH)	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション

表 1-9 メモリ仕様 - E77650 モデル

メモリ機能	E77650dn	E77650dns	E77650z	E77650zs	E77650z+
320GB HP ハイパフォーマンス セキュア ハードディスク	付属	付属	付属	付属	付属
基本メモリの場合：3.5GB、DIMM メモリ モジュールを追加すると 4.5GB まで拡張可能	付属	付属	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません
基本メモリの場合：5.6GB、DIMM メモリ モジュールを追加すると 6.6GB まで拡張可能	サポートされていません	サポートされていません	付属	付属	付属
HP セキュア高性能ハード ディスク ドライブ (FIPS)	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション

表 1-10 印刷仕様 - E77650 モデル

印刷機能	E77650dn	E77650dns	E77650z	E77650zs	E77650z+
プロフェッショナル モードでは、印刷速度は A4 およびレターサイズの用紙で 50 枚/分 (ppm) 一般的なオフィス モードでは、印刷速度は A4 およびレターサイズの用紙で 70ppm	付属	付属	付属	付属	付属

表 1-10 印刷仕様 - E77650 モデル (続き)

印刷機能	E77650dn	E77650dns	E77650z	E77650zs	E77650z+
イージーアクセス USB 印刷 (コンピュータは不要)	付属	付属	付属	付属	付属
プリンタ メモリにジョブを保存し、後で印刷するか、個人用として印刷	付属	付属	付属	付属	付属

表 1-11 コピーおよびスキャン仕様 - E77650 モデル

コピーおよびスキャン機能	E77650dn	E77650dns	E77650z	E77650zs	E77650z+
コピーおよびスキャン速度は A4 およびレターサイズの用紙で最大 50ppm	付属	付属	付属	付属	付属
200 ページ対応の文書フィーダ (シングルパス両面コピーおよびスキャン対応のデュアルヘッド スキャン機能装備)	付属	付属	付属	付属	付属
超音波マルチフィード検出等の HP EveryPage テクノロジ	サポートされていません	サポートされていません	付属	付属	付属
内蔵された光学式文字認識 (OCR) により、印刷されたページを、コンピュータ上で編集または検索可能なテキストに変換	サポートされていません	サポートされていません	付属	付属	付属
SMART ラベル機能は、用紙の端を検出して、自動的にページのトリミングを実行	サポートされていません	サポートされていません	付属	付属	付属
最低 100 文字のテキストを有するページの向きを自動設定	サポートされていません	サポートされていません	付属	付属	付属
自動トーン調整により、各ページの明暗、明るさ調整や背景除去が実現	サポートされていません	サポートされていません	付属	付属	付属

表 1-12 デジタル送信仕様 — E77650 モデル

デジタル送信機能	E77650dn	E77650dns	E77650z	E77650zs	E77650z+
スキャンして電子メールで送信、スキャンして USB ドライブに保存、スキャン データをネットワーク フォルダに送信	付属	付属	付属	付属	付属
SharePoint® にスキャン	付属	付属	付属	付属	付属

表 1-13 その他の仕様 — E77650 モデル

その他の特長	E77650dn	E77650dns	E77650z	E77650zs	E77650z+
セキュリティ: プリンタを通過するすべてのデータの暗号化用 HP Trusted Platform Module	付属	付属	付属	付属	付属
カラー タッチスクリーンのコントロール パネル (8 インチ)	付属	付属	付属	付属	付属
格納式キーボード	サポートされていません	サポートされていません	付属	付属	付属
ファックス	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション

各 W77660 モデルの製品番号

- E77660dn — Z5G77A
- E77660dns — 2LF96A
- E77660z — J7Z03A
- E77660zs — J7Z07A
- E77660z+ - Z5G78A

表 1-14 用紙処理仕様 - E77660 モデル

用紙処理機能	E77660dn	E77660dns	E77660z	E77660zs	E77660z+
トレイ 1 (100 枚の給紙トレイ)	付属	付属	付属	付属	付属
トレイ 2 (550 枚の給紙トレイ)	付属	付属	付属	付属	付属
トレイ 2、3 (タンデム) : 2 x 550 枚給紙トレイ	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません
550 枚用紙トレイ 注記：プリンタは、1 つのオプションの給紙アクセサリをサポートしています。	オプション	オプション	オプション	オプション	サポートされていません
550 枚用紙トレイとスタンド	オプション	オプション	オプション	オプション	必須
3x550 枚用紙トレイ	オプション	オプション	オプション	オプション	必須
4,000 枚大容量給紙フィーダ (HCI)	オプション	オプション	オプション	オプション	必須
ステイプラ機能付き 300 枚インナー フィニッシャ	サポートされていません	付属	サポートされていません	付属	サポートされていません
据え置き型フィニッシャ	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません	付属
自動両面印刷	付属	付属	付属	付属	付属

表 1-15 接続仕様 - E77660 モデル

接続機能	E77660dn	E77660dns	E77660z	E77660zs	E77660z+
IPv4 および IPv6 による 10/100/1000 Ethernet LAN 接続	付属	付属	付属	付属	付属
高速 USB 2.0	付属	付属	付属	付属	付属
コンピュータを使わずに印刷やスキャン、ファームウェアのアップグレードを行えるイージーアクセス USB ポート	付属	付属	付属	付属	付属
ハードウェア統合ポケット (HIP) (アクセサリやサードパーティ製デバイスの接続用)	付属	付属	付属	付属	付属
HP 内蔵 USB ポート	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション
モバイル デバイスから印刷するための HP Jetdirect 3000w NFC/ Wireless Accessory	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション
ワイヤレス接続用 HP Jetdirect 2900nw プリント サーバ アクセサリ	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション
HP 外部インターフェース ハーネス (FIH)	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション

表 1-16 メモリ仕様 - E77660 モデル

メモリ機能	E77660dn	E77660dns	E77660z	E77660zs	E77660z+
320GB HP ハイパフォーマンス セキュア ハードディスク	付属	付属	付属	付属	付属
基本メモリの場合：3.5GB、DIMM メモリ モジュールを追加すると 4.5GB まで拡張可能	付属	付属	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません
基本メモリの場合：5.6GB、DIMM メモリ モジュールを追加すると 6.6GB まで拡張可能	サポートされていません	サポートされていません	付属	付属	付属
HP セキュア高性能ハード ディスク ドライブ (FIPS)	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション

表 1-17 印刷仕様 - E77660 モデル

印刷機能	E77660dn	E77660dns	E77660z	E77660zs	E77660z+
プロフェッショナル モードでは、印刷速度は A4 およびレターサイズの用紙で 60ppm 一般的なオフィス モードでは、印刷速度は A4 およびレターサイズの用紙で 80ppm	付属	付属	付属	付属	付属

表 1-17 印刷仕様 - E77660 モデル (続き)

印刷機能	E77660dn	E77660dns	E77660z	E77660zs	E77660z+
イージーアクセス USB 印刷 (コンピュータは不要)	付属	付属	付属	付属	付属
プリンタ メモリにジョブを保存し、後で印刷するか、個人用として印刷	付属	付属	付属	付属	付属

表 1-18 コピーおよびスキャン仕様 - E77660 モデル

コピーおよびスキャン機能	E77660dn	E77660dns	E77660z	E77660zs	E77660z+
コピーおよびスキャン速度は A4 およびレターサイズの用紙で最大 60ppm	付属	付属	付属	付属	付属
200 ページ対応の文書フィーダ (シングルパス両面コピーおよびスキャン対応のデュアルヘッド スキャン機能装備)	付属	付属	付属	付属	付属
超音波マルチフィード検出等の HP EveryPage テクノロジ	サポートされていません	サポートされていません	付属	付属	付属
内蔵された光学式文字認識 (OCR) により、印刷されたページを、コンピュータ上で編集または検索可能なテキストに変換	サポートされていません	サポートされていません	付属	付属	付属
SMART ラベル機能は、用紙の端を検出して、自動的にページのトリミングを実行	サポートされていません	サポートされていません	付属	付属	付属
最低 100 文字のテキストを有するページの向きを自動設定	サポートされていません	サポートされていません	付属	付属	付属
自動トーン調整により、各ページの明暗、明るさ調整や背景除去が実現	サポートされていません	サポートされていません	付属	付属	付属

表 1-19 デジタル送信仕様 — E77660 モデル

デジタル送信機能	E77660dn	E77660dns	E77660z	E77660zs	E77660z+
スキャンして電子メールで送信、スキャンして USB ドライブに保存、スキャン データをネットワーク フォルダに送信	付属	付属	付属	付属	付属
SharePoint® にスキャン	付属	付属	付属	付属	付属

表 1-20 その他の仕様 — E77660 モデル

その他の特長	E77660dn	E77660dns	E77660z	E77660zs	E77660z+
セキュリティ: プリンタを通過するすべてのデータの暗号化用 HP Trusted Platform Module	付属	付属	付属	付属	付属
カラー タッチスクリーンのコントロール パネル (8 インチ)	付属	付属	付属	付属	付属
格納式キーボード	サポートされていません	サポートされていません	付属	付属	付属
ファックス	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション

各 P77940 および P77950 モデルの製品番号

- P77940dn — Y3Z61A
- P77940dns — Y3Z64A
- P77940dn+ - Y3Z65A
- P77950dn — Y3Z62A
- P77950dns — Y3Z66A
- P77950dn+ - Y3Z72A

表 1-21 用紙処理仕様 — P77940 および P77950 モデル

用紙処理機能	P77940dn	P77940dns	P77940dn+	P77950dn	P77950dns	P77950dn+
トレイ 1 (100 枚の給紙トレイ)	付属	付属	付属	付属	付属	付属
トレイ 2 (550 枚の給紙トレイ)	付属	付属	付属	付属	付属	付属
550 枚用紙トレイ 注記：プリンタは、1 つのオプションの給紙アクセサリをサポートしています。	オプション	オプション	サポートされていません	オプション	オプション	サポートされていません
550 枚用紙トレイとスタンド	オプション	オプション	必須	オプション	オプション	必須
3x550 枚用紙トレイ	オプション	オプション	必須	オプション	オプション	必須
4,000 枚大容量給紙フィーダ (HCI)	オプション	オプション	必須	オプション	オプション	必須
ステイプラ機能付き 300 枚インナー フィニッシャ	サポートされていません	付属	サポートされていません	サポートされていません	付属	サポートされていません
据え置き型フィニッシャ	サポートされていません	サポートされていません	付属	サポートされていません	サポートされていません	付属
自動両面印刷	付属	付属	付属	付属	付属	付属

表 1-22 接続仕様 — P77940 および P77950 モデル

接続機能	P77940dn	P77940dns	P77940dn+	P77950dn	P77950dns	P77950dn+
IPv4 および IPv6 による 10/100/1000 Ethernet LAN 接続	付属	付属	付属	付属	付属	付属
高速 USB 2.0	付属	付属	付属	付属	付属	付属
コンピュータを使わずに印刷やスキャン、ファームウェアのアップグレードを行えるイージーアクセス USB ポート	付属	付属	付属	付属	付属	付属
ハードウェア統合ポケット (HIP) (アクセサリやサードパーティ製デバイスの接続用)	付属	付属	付属	付属	付属	付属
HP 内蔵 USB ポート	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション
モバイル デバイスから印刷するための HP Jetdirect 3000w NFC/Wireless Accessory	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション
ワイヤレス接続用 HP Jetdirect 2900nw プリント サーバ アクセサリ	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション
HP 外部インターフェース ハーネス (FIH)	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション

表 1-23 メモリ仕様 — P77940 および P77950 モデル

メモリ機能	P77940dn	P77940dns	P77940dn+	P77950dn	P77950dns	P77950dn+
基本メモリの場合：2.25GB、DIMM メモリ モジュールを追加すると 3.25GB まで拡張可能	付属	付属	付属	付属	付属	付属
HP 16 GB eMMC モジュール	付属	付属	付属	付属	付属	付属
320GB HP セキュア高性能ハード ディスク	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません
HP セキュア高性能ハード ディスク ドライブ (FIPS)	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません

表 1-24 印刷仕様 - P77940 および P77950 モデル

印刷機能	P77940dn	P77940dns	P77940dn+	P77950dn	P77950dns	P77950dn+
プロフェッショナル モードでは、印刷速度は A4 およびレターサイズの用紙で 40 枚/分 (ppm) 一般的なオフィス モードでは、印刷速度は A4 およびレターサイズの用紙で 60ppm	付属	付属	付属	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません
プロフェッショナル モードでは、印刷速度は A4 およびレターサイズの用紙で 50ppm 一般的なオフィス モードでは、印刷速度は A4 およびレターサイズの用紙で 70ppm	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません	付属	付属	付属
イージーアクセス USB 印刷 (コンピュータは不要)	付属	付属	付属	付属	付属	付属
プリンタ メモリにジョブを保存し、後で印刷するか、個人用として印刷	付属	付属	付属	付属	付属	付属

表 1-25 コピーおよびスキャン仕様 - P77940 および P77950 モデル

コピーおよびスキャン機能	P77940dn	P77940dns	P77940dn+	P77950dn	P77950dns	P77950dn+
コピーおよびスキャン速度は A4 およびレターサイズの用紙で最大 40ppm	付属	付属	付属	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません
コピーおよびスキャン速度は A4 およびレターサイズの用紙で最大 50ppm	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません	付属	付属	付属
100 ページ対応の文書フィーダ (シングルパス両面コピーおよびスキャン対応のデュアルヘッド スキャン機能装備)	付属	付属	付属	付属	付属	付属

表 1-26 デジタル送信仕様 — P77940 および P77950 モデル

デジタル送信機能	P77940dn	P77940dns	P77940dn+	P77950dn	P77950dns	P77950dn+
スキャンして電子メールで送信、スキャンして USB ドライブに保存、スキャン データをネットワーク フォルダに送信	付属	付属	付属	付属	付属	付属
SharePoint® にスキャン	付属	付属	付属	付属	付属	付属

表 1-27 その他の仕様 — P77940 および P77950 モデル

その他の特長	P77940dn	P77940dns	P77940dn+	P77950dn	P77950dns	P77950dn+
セキュリティ: プリンタを通過するすべてのデータの暗号化用 HP Trusted Platform Module	付属	付属	付属	付属	付属	付属
カラー タッチスクリーンのコントロール パネル (8 インチ)	付属	付属	付属	付属	付属	付属
格納式キーボード	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません
ファックス	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション

各 E77960 モデルの製品番号

- P77960dn — Y3Z63A
- P77960dns — Y3Z68A
- P77960dn+ - Y3Z73A

表 1-28 用紙処理仕様 - P77960 モデル

用紙処理機能	P77960dn	P77960dns	P77960dn+
トレイ 1 (100 枚の給紙トレイ)	付属	付属	付属
トレイ 2 (550 枚の給紙トレイ)	付属	付属	付属
550 枚用紙トレイ 注記：プリンタは、1 つのオプションの給紙アクセサリをサポートしています。	オプション	オプション	サポートされていません
550 枚用紙トレイとスタンド	オプション	オプション	必須
3x550 枚用紙トレイ	オプション	オプション	必須
4,000 枚大容量給紙フィーダ (HCI)	オプション	オプション	必須
ステイプラ機能付き 300 枚インナー フィニッシャ	サポートされていません	付属	サポートされていません
据え置き型フィニッシャ	サポートされていません	サポートされていません	付属
自動両面印刷	付属	付属	付属

表 1-29 接続仕様 - P77960 モデル

接続機能	P77960dn	P77960dns	P77960dn+
IPv4 および IPv6 による 10/100/1000 Ethernet LAN 接続	付属	付属	付属
高速 USB 2.0	付属	付属	付属
コンピュータを使わずに印刷やスキャン、ファームウェアのアップグレードを行えるイージーアクセス USB ポート	付属	付属	付属
ハードウェア統合ポケット (HIP) (アクセサリやサードパーティ製デバイスの接続用)	付属	付属	付属
HP 内蔵 USB ポート	オプション	オプション	オプション
モバイル デバイスから印刷するための HP Jetdirect 3000w NFC/Wireless Accessory	オプション	オプション	オプション
ワイヤレス接続用 HP Jetdirect 2900nw プリント サーバ アクセサリ	オプション	オプション	オプション
HP 外部インターフェース ハーネス (FIH)	オプション	オプション	オプション

表 1-30 メモリ仕様 - P77960 モデル

メモリ機能	P77960dn	P77960dns	P77960dn+
基本メモリの場合：2.25GB、DIMM メモリ モジュールを追加すると 3.25GB まで拡張可能	付属	付属	付属
HP 16 GB eMMC モジュール	付属	付属	付属
320GB HP セキュア高性能ハード ディスク	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません
HP セキュア高性能ハード ディスク ドライブ (FIPS)	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません

表 1-31 印刷仕様 - P77960 モデル

印刷機能	P77960dn	P77960dns	P77960dn+
プロフェッショナル モードでは、印刷速度は A4 およびレターサイズの用紙で 60ppm 一般的なオフィス モードでは、印刷速度は A4 およびレターサイズの用紙で 80ppm	付属	付属	付属
イージーアクセス USB 印刷 (コンピュータは不要)	付属	付属	付属
プリンタ メモリにジョブを保存し、後で印刷するか、個人用として印刷	付属	付属	付属

表 1-32 コピーおよびスキャン仕様 - P77960 モデル

コピーおよびスキャン機能	P77960dn	P77960dns	P77960dn+
コピーおよびスキャン速度は A4 およびレターサイズの用紙で最大 60ppm	付属	付属	付属
100 ページ対応の文書フィーダ (シングルパス両面コピーおよびスキャン対応のデュアルヘッド スキャン機能装備)	付属	付属	付属

表 1-33 デジタル送信仕様 — P77960 モデル

デジタル送信機能	P77960dn	P77960dns	P77960dn+
スキャンして電子メールで送信、スキャンして USB ドライブに保存、スキャン データをネットワーク フォルダに送信	付属	付属	付属
SharePoint® にスキャン	付属	付属	付属

表 1-34 その他の仕様 — P77960 モデル

その他の特長	P77960dn	P77960dns	P77960dn+
セキュリティ: プリンタを通過するすべてのデータの暗号化用 HP Trusted Platform Module	付属	付属	付属
カラー タッチスクリーンのコントロール パネル (8 インチ)	付属	付属	付属

表 1-34 その他の仕様 — P77960 モデル (続き)

その他の特長	P77960dn	P77960dns	P77960dn+
格納式キーボード	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません
ファックス	オプション	オプション	オプション

サポートされているオペレーティング システム

以下の情報を使用して、コンピュータのオペレーティング システムとプリンタの互換性を確保します。

Linux: Linux に関する詳細とプリント ドライバについては、www.hp.com/go/linuxprinting を参照してください。

UNIX: UNIX® に関する詳細とプリンタ ドライバについては、www.hp.com/go/unixmodelscripts を参照してください。

以下の情報は、プリンタ専用の Windows 用 HP PCL 6 プリント ドライバ、macOS 用の HP プリント ドライバおよびソフトウェア インストーラに適用されます。

Windows : HP プリント ドライバをインストールするには、123.hp.com から HP Easy Start をダウンロードします。または、このプリンタ用のプリンタ サポート Web サイト： www.hp.com/support/pwcolormfpE77650、または www.hp.com/support/pwcolormfpE77660、または www.hp.com/support/pwcolorP77940mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77950mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77960mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77440mfp にアクセスし、プリント ドライバまたはソフトウェア インストーラをダウンロードして、HP プリント ドライバをインストールします。

macOS: このプリンタは、Mac コンピュータに対応しています。123.hp.com またはプリンタ サポート ページから HP Easy Start をダウンロードし、HP Easy Start を使用して HP プリント ドライバをインストールします。

1. 123.hp.com にアクセスします。
2. 記載されている手順に従い、プリンタ ソフトウェアをダウンロードします。

表 1-35 対応オペレーティング システムおよびプリント ドライバ

オペレーティングシステム	プリント ドライバ (Windows の場合。macOS の場合は Web 上のインストーラからインストール)
Windows 7 (32 ビットおよび 64 ビット)	ソフトウェア インストールの一部として、このオペレーティング システム用の「HP PCL 6」プリンタ専用プリント ドライバがインストールされます。
Windows 8.1 (32 ビットおよび 64 ビット)	ソフトウェア インストールの一部として、このオペレーティング システムでは「HP PCL-6」V4 プリンタ専用プリント ドライバがインストールされます。
Windows 10 (32 ビットおよび 64 ビット)	ソフトウェア インストールの一部として、このオペレーティング システムでは「HP PCL-6」V4 プリンタ専用プリント ドライバがインストールされます。
Windows Server 2008 R2 SP 1 (64 ビット版)	PCL 6 プリンタ専用プリント ドライバは、プリンタ サポート Web サイトからダウンロードできます。ドライバをダウンロードし、Microsoft のプリンタの追加ツールを使用してインストールします。

表 1-35 対応オペレーティング システムおよびプリント ドライバ (続き)

オペレーティングシステム	プリント ドライバ (Windows の場合。macOS の場合は Web 上のインストーラからインストール)
Windows Server 2012 (64 ビット)	PCL 6 プリンタ専用プリント ドライバは、プリンタ サポート Web サイトからダウンロードできます。ドライバをダウンロードし、Microsoft のプリンタの追加ツールを使用してインストールします。
Windows Server 2012 R2 (64 ビット)	PCL 6 プリンタ専用プリント ドライバは、プリンタ サポート Web サイトからダウンロードできます。ドライバをダウンロードし、Microsoft のプリンタの追加ツールを使用してインストールします。
Windows Server 2016 (64 ビット)	PCL 6 プリンタ専用プリント ドライバは、プリンタ サポート Web サイトからダウンロードできます。ドライバをダウンロードし、Microsoft のプリンタの追加ツールを使用してインストールします。
Windows Server 2019 (64 ビット)	PCL 6 プリンタ専用プリント ドライバは、プリンタ サポート Web サイトからダウンロードできます。ドライバをダウンロードし、Microsoft のプリンタの追加ツールを使用してインストールします。
macOS 10.13 High Sierra、macOS 10.14 Mojave	123.hp.com から HP Easy Start をダウンロードして、プリント ドライバのインストールに使用します。

注記：サポートされるオペレーティング システムは変更されることがあります。

注記：現在サポートされているオペレーティング システムの一覧とお使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプについては、www.hp.com/support/pwcolormfpE77650、または www.hp.com/support/pwcolormfpE77660、または www.hp.com/support/pwcolorP77940mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77950mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77960mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77440mfp にアクセスしてください。

注記：クライアントとサーバのオペレーティング システムの詳細、およびこのプリンタの HP UPD ドライバ サポートについては、www.hp.com/go/upd にアクセスしてください。[Additional information] (追加情報) の下にある [Specifications] (仕様) をクリックします。

表 1-36 最小システム要件

Windows	macOS
• インターネット接続 • 専用の USB 1.1 または 2.0 接続またはネットワーク接続 • 2GB のハードディスク空き容量 • 1GB RAM (32 ビット) または 2GB RAM (64 ビット)	• インターネット接続 • 専用の USB 1.1 または 2.0 接続またはネットワーク接続 • 1.5 GB のハードディスク空き容量

注記：Windows 版ソフトウェア インストーラでは、HP Smart Device Agent Base サービスがインストールされます。ファイル サイズは 100 KB 未満です。機能は、USB で接続されているプリンタを毎時チェックすることのみです。データは収集しません。USB プリンタが検出されると、ネットワーク上で JetAdvantage Management Connector (JAMc) インスタンスの場所の特定を試みます。JAMc が見つかると、HP Smart Device Agent Base は、JAMc を完全な Smart Device Agent に安全にアップグレードし、印刷するページが Managed Print Services (MPS) で制御されるようになります。www.hp.com からプリンタ用にドライバのみの Web パックをダウンロードし、プリンタの追加ウィザードでインストールした場合、このサービスはインストールされません。

このサービスをアンインストールするには、**[コントロール パネル]** を開き、**[プログラム]** または **[プログラムと機能]** を選択します。次に、**[プログラムの追加と削除]** または **[プログラムのアンインストール]** を選択して、サービスを削除してください。ファイル名は、**HPSmartDeviceAgentBase** です。

プリンタの寸法

プリンタの環境が、プリンタを収容できる大きさであることを確認します。

注記：これらの値は変更される可能性があります。現時点の情報については、www.hp.com/support/pwcolormfpE77650、または www.hp.com/support/pwcolormfpE77660、または www.hp.com/support/pwcolorP77940mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77950mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77960mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77440mfp を参照してください。

表 1-37 E75160dn、E77650dn、E77650z、E77660dn、E77660z モデルの寸法

寸法	プリンタをすべて閉じた状態	プリンタをすべて開いた状態
高さ	682mm	995 mm
奥行き	652 mm	1027 mm
幅	604 mm	1530 mm
重量 (カートリッジ付き)	66.1kg	66.1kg

表 1-38 P77440dn、P77940dn、P77950dn、P77960dn モデルの寸法

寸法	プリンタをすべて閉じた状態	プリンタをすべて開いた状態
高さ	673 mm	946 mm
奥行き	**P77940dn、P77950dn、P77960dn**: 652 mm **P77440dn**: 604 mm	1027 mm
幅	604 mm	1270 mm
重量 (カートリッジ付き)	**P77940dn、P77950dn、P77960dn**: 66.6 kg **P77440dn**: 66.8 kg	**P77940dn、P77950dn、P77960dn**: 66.6 kg **P77440dn**: 66.8 kg

表 1-39 E77650dns、E77660dns、E77650zs、E77660zs の寸法

寸法	プリンタをすべて閉じた状態	プリンタをすべて開いた状態
高さ	790 mm	1100 mm
奥行き	652 mm	1027 mm

表 1-39 E77650dns、E77660dns、E77650zs、E77660zs の寸法 (続き)

寸法	プリンタをすべて閉じた状態	プリンタをすべて開いた状態
幅	604 mm	1530 mm
重量 (カートリッジ付き)	85.1kg	85.1kg

表 1-40 P77940dns、P77950dns、P77960dns の寸法

寸法	プリンタをすべて閉じた状態	プリンタをすべて開いた状態
高さ	772 mm	1054 mm
奥行き	652 mm	1027 mm
幅	604 mm	1270 mm
重量 (カートリッジ付き)	82.5 kg	82.5 kg

表 1-41 E77650z+、E77660z+ の寸法 (HCI 用紙フィーダを含む)

寸法	プリンタをすべて閉じた状態	プリンタをすべて開いた状態
高さ	1222 mm	1535 mm
奥行き	693 mm	1175 mm
幅	1245 mm	2495 mm
重量 (カートリッジ付き)	171 kg	171 kg

表 1-42 P77940dn+、P77950dn+、P77960dn+ の寸法 (HCI 用紙フィーダを含む)

寸法	プリンタをすべて閉じた状態	プリンタをすべて開いた状態
高さ	1204 mm	1486 mm
奥行き	693 mm	1175 mm
幅	1245 mm	2495 mm
重量 (カートリッジ付き)	168.4 kg	168.4 kg

表 1-43 550 枚 x 1 段用紙フィーダの寸法

寸法	アクセサリをすべて閉じた状態	アクセサリをすべて開いた状態
高さ	117mm	117mm
奥行き	520mm	685mm
幅	600 mm	600 mm
重量	9.5kg	9.5kg

表 1-44 1 x 550 枚用紙フィーダ (スタンド付き) の寸法

寸法	アクセサリをすべて閉じた状態	アクセサリをすべて開いた状態
高さ	440mm	440mm
奥行き	643mm	938 mm
幅	616 mm	1066 mm
重量	32kg	32kg

表 1-45 3 x 550 枚用紙フィーダ (スタンド付き) の寸法

寸法	アクセサリをすべて閉じた状態	アクセサリをすべて開いた状態
高さ	440mm	440mm
奥行き	643mm	938 mm
幅	616 mm	1066 mm
重量	37Kg	37Kg

表 1-46 4,000 枚 HCI (スタンド付き) の寸法

寸法	アクセサリをすべて閉じた状態	アクセサリをすべて開いた状態
高さ	440mm	440mm
奥行き	643mm	1046 mm
幅	616 mm	1066 mm
重量	43.8kg	43.8kg

表 1-47 据え置き型フィニッシャの寸法

寸法	アクセサリをすべて閉じた状態	アクセサリをすべて開いた状態
高さ	1020 mm	1245 mm
奥行き	590 mm	1175 mm
幅	690 mm	775 mm
重量	40.4 kg	40.4 kg

消費電力、電気仕様、およびアコースティック エミッション

プリンタを正しく操作するためには、特定の電源仕様を満たす環境にある必要があります。

最新情報については、www.hp.com/support/pwcolormfpE77650、または www.hp.com/support/pwcolormfpE77660、または www.hp.com/support/pwcolorP77940mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77950mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77960mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77440mfp を参照してください。

⚠ 注意：電源要件は、プリンタが販売された国/地域に基づきます。動作電圧は変更しないでください。変更すると、プリンタが損傷しても保証の対象となりません。

動作環境範囲

プリンタを正しく操作するためには、特定の仕様を満たす環境にある必要があります。

表 1-48 **動作環境範囲**

環境	推奨	許容値
温度	17 ~ 25°C	15 ~ 30°C
相対湿度	相対湿度 (RH) 30 ~ 70%	相対湿度 (RH) 10% ~ 80%

プリンタのハードウェアのセットアップとソフトウェアのインストール

基本的なセットアップ手順については、プリンタに同梱されているハードウェアのインストール ガイドを参照してください。詳細な手順については、Web の HP サポートを確認してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプについては、www.hp.com/support/pwcolormfpE77650、または www.hp.com/support/pwcolormfpE77660、または www.hp.com/support/pwcolorP77940mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77950mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77960mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77440mfp にアクセスしてください。ヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索
- Microsoft のプリンタ追加ツールの使用方法の検索

2 用紙トレイ

封筒やラベル紙などの特殊なアイテムをセットする方法を含む、用紙トレイをセットして使用する方法を確認します。

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/PageWide を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/pwcolormfpE77650、または www.hp.com/support/pwcolormfpE77660、または www.hp.com/support/pwcolorP77940mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77950mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77960mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77440mfp を参照してください。

詳細情報:

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

はじめに

用紙トレイをセットするときには注意してください。

⚠ 注意：一度に複数の用紙トレイを引き出さないでください。

用紙トレイを踏み台として使用しないでください。

プリンタの移動中は、すべてのトレイを閉じてください。

閉じるときに、用紙トレイまたは引き出しの中に手を入れないでください。

トレイ 1 (汎用トレイ) に用紙をセット

以下の情報は、トレイ 1 に用紙をセットする方法について説明するものです。

⚠ **注意：**一度に複数の用紙トレイを引き出さないでください。用紙トレイを踏み台として使用しないでください。閉じるときに、用紙トレイの中に手を入れないでください。プリンタを移動する場合は、すべてのトレイを閉じてください。

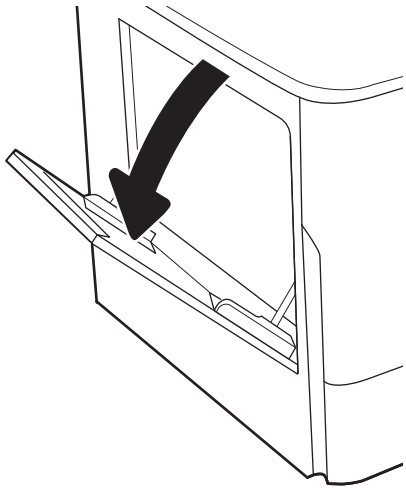
注意：紙詰まりを避けるため、印刷中はトレイ 1 に用紙を追加したりこのトレイから用紙を取り出したりしないでください。

トレイ 1 へのセット

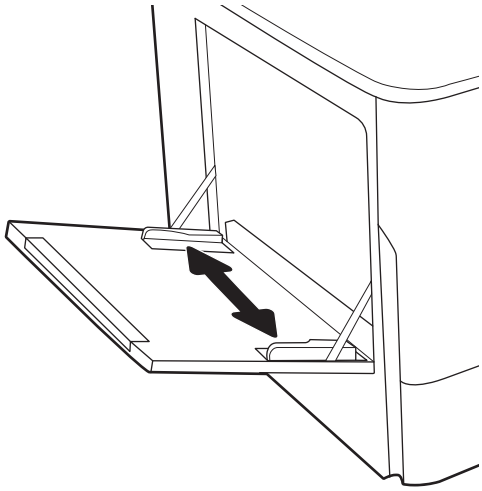
このトレイには、75g/m^2 用紙 100 枚まで、または封筒 10 枚までをセットできます。

1. トレイ 1 を開きます。

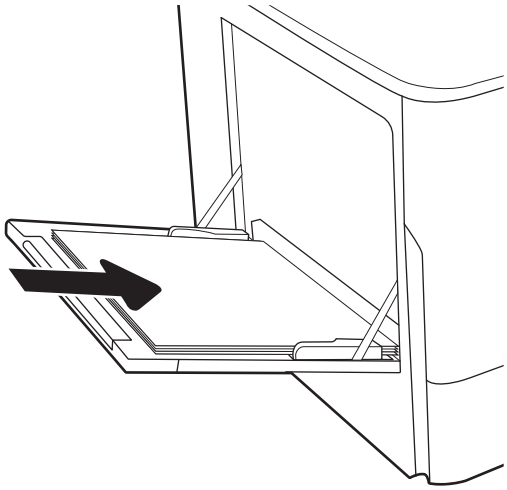
   注記：リーガル サイズのような長い用紙に印刷する場合、トレイ 1 の延長部分を引き出します。



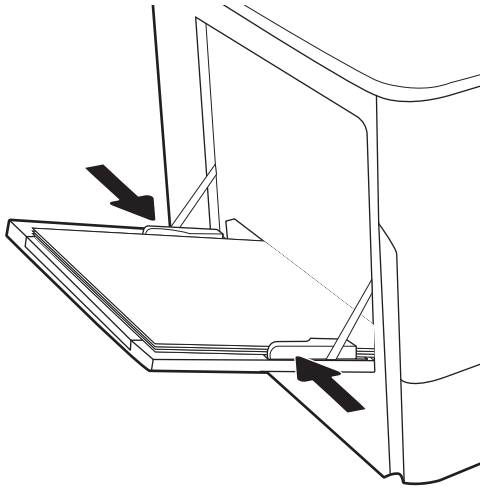
2. 使用する用紙のサイズに合わせて、横方向用紙ガイドを調整します。



3. トレイに用紙をセットします。用紙の向きの詳細については、41 ページのトレイ 1 の用紙の向きを参照してください。



4. 幅ガイドを調整して、用紙がたわまない程度に紙積みに触れるようにします。



トレイ 1 の用紙の向き

最高の印刷品質を確保するため、トレイ 1 に正しく用紙をセットします。

表 2-1 レターヘッドまたは印刷済み用紙 - 縦

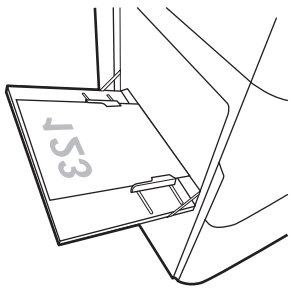
両面印刷モード	用紙サイズ	用紙をセットする方法
片面印刷	12x18、11x17、RA3、A3、8K (273x394mm)、8K (270x390mm)、8K (260x368mm)、B4 (JIS)、リーガル、Oficio (8.5x13)、Oficio (216x340mm)、C4、SRA4、RA4、Arch A、A4、レター、16K (197x273mm)、16K (195x270mm)、エグゼクティブ、A5、16 K (184x260mm)、B5 (JIS)、Arch A、ステートメント、5x8、往復ハガキ (148x200mm)、B6 (JIS)、5x7、4x6、10x15cm、A6、ハガキ (100x148mm)	下向き 下端から給紙されるようにセット 

表 2-1 レターヘッドまたは印刷済み用紙 - 縦 (続き)

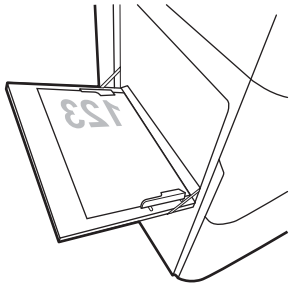
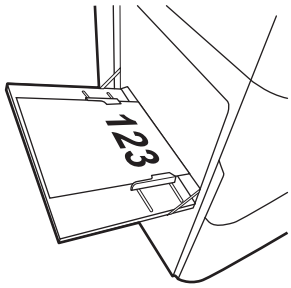
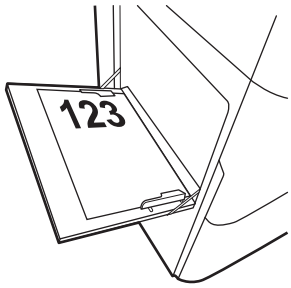
両面印刷モード	用紙サイズ	用紙をセットする方法
片面印刷	A4、レター、16K (197x273mm)、16K (195x270mm)、エグゼクティブ、A5、16K (184x260mm)、B5 (JIS)、Arch A、ステートメント、5x8、往復ハガキ (148x200mm)、16K (195x270mm)、16K (197x273mm)、B6 (JIS)、5x7、A6、ハガキ (100x148mm)	下向き プレプリント画像の左側をプリンタに向けてセット 
自動両面印刷または代替レターヘッド モードでの印刷	12x18、11x17、RA3、A3、8K (273x394mm)、8K (270x390mm)、8K (260x368mm)、B4 (JIS)、リーガル、Oficio (8.5x13)、Oficio (216x340mm)、C4、SRA4、RA4、Arch A、A4、レター、16K (197x273mm)、16K (195x270mm)、エグゼクティブ、A5、16 K (184x260mm)、B5 (JIS)、Arch A、ステートメント、5x8、往復ハガキ (148x200mm)、B6 (JIS)、5x7、4x6、10x15cm、A6、ハガキ (100x148mm)	上向き 上端から給紙されるようにセット 
自動両面印刷または代替レターヘッド モードでの印刷	A4、レター、16K (197x273mm)、16K (195x270mm)、エグゼクティブ、A5、16K (184x260mm)、B5 (JIS)、Arch A、ステートメント、5x8、往復ハガキ (148x200mm)、16K (195x270mm)、16K (197x273mm)、B6 (JIS)、5x7、A6、ハガキ (100x148mm)	上向き プレプリント画像の右側をプリンタに向けてセット 

表 2-2 レターヘッドまたは印刷済み用紙 - 横

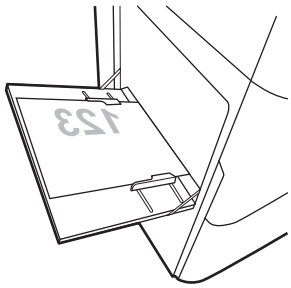
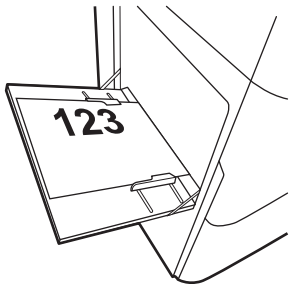
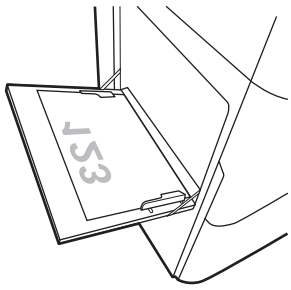
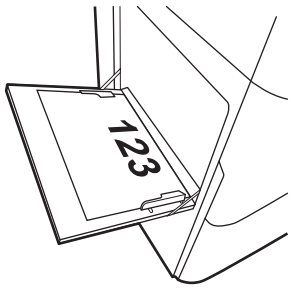
両面印刷モード	用紙サイズ	用紙をセットする方法
片面印刷	12x18、11x17、RA3、A3、8K (273x394mm)、8K (270x390mm)、8K (260x368mm)、B4 (JIS)、リーガル、Oficio (8.5x13)、Oficio (216x340mm)、C4、SRA4、RA4、Arch A、A4、レター、16K (197x273mm)、16K (195x270mm)、エグゼクティブ、A5、16 K (184x260mm)、B5 (JIS)、ステートメント、5x8、往復ハガキ (148x200mm)、B6 (JIS)、5x7 4x6、10x15cm、A6、ハガキ (これらの幅は、5 インチ以下なので短辺から給紙する必要があります)	下向き プレプリント画像の左側をプリンタに向けてセット 
自動両面印刷または代替レターヘッド モードでの印刷	12x18、11x17、RA3、A3、8K (273x394mm)、8K (270x390mm)、8K (260x368mm)、B4 (JIS)、リーガル、Oficio (8.5x13)、Oficio (216x340mm)、C4、SRA4、RA4、Arch A、A4、レター、16K (197x273mm)、16K (195x270mm)、エグゼクティブ、A5、16 K (184x260mm)、B5 (JIS)、ステートメント、5x8、往復ハガキ (148x200mm)、B6 (JIS)、5x7 4x6、10x15cm、A6、ハガキ (これらの幅は、5 インチ以下なので短辺から給紙する必要があります)	上向き プレプリント画像の右側をプリンタに向けてセット 
片面印刷	A4、レター、16K (197x273mm)、16K (195x270mm)、エグゼクティブ、A5、16K (184x260mm)、B5 (JIS)、Arch A、ステートメント、5x8、往復ハガキ、5x7、B6 (JIS)、A6	下向き 下端から給紙されるようにセット 
自動両面印刷または代替レターヘッド モードでの印刷	A4、レター、16K (197x273mm)、16K (195x270mm)、エグゼクティブ、A5、16K (184x260mm)、B5 (JIS)、Arch A、ステートメント、5x8、往復ハガキ、5x7、B6 (JIS)、A6	上向き 上端から給紙されるようにセット 

表 2-3 穴あき用紙 - 縦

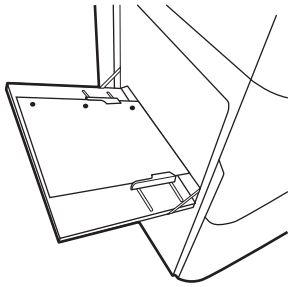
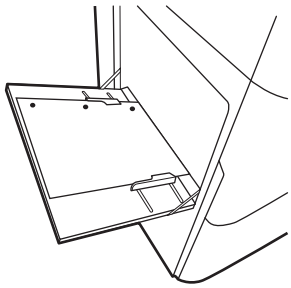
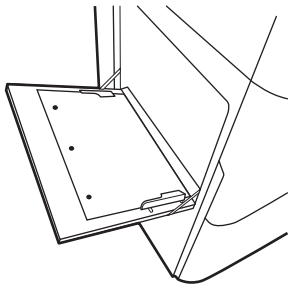
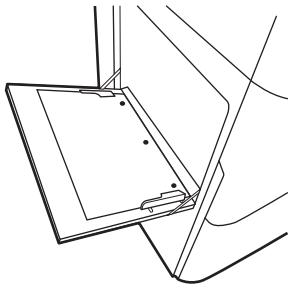
両面印刷モード	用紙サイズ	用紙をセットする方法
片面印刷	12x18、11x17、RA3、A3、8K (273x394mm)、8K (270x390mm)、8K (260x368mm)、B4 (JIS)、リーガル、Oficio (8.5x13)、Oficio (216x340mm)、C4、SRA4、RA4、Arch A、A4、レター、16K (197x273mm)、16K (195x270mm)、エグゼクティブ、A5、16 K (184x260mm)、B5 (JIS)、Arch A、ステートメント、A6、5x8、往復ハガキ (148x200mm)、B6 (JIS)、5x7、4x6、10x15cm、ハガキ	下向き 穴をプリンタの後ろ側に向けてセット 
自動両面印刷または代替レターヘッド モードでの印刷	12x18、11x17、RA3、A3、8K (273x394mm)、8K (270x390mm)、8K (260x368mm)、B4 (JIS)、リーガル、Oficio (8.5x13)、Oficio (216x340mm)、C4、SRA4、RA4、Arch A、A4、レター、16K (197x273mm)、16K (195x270mm)、エグゼクティブ、A5、16 K (184x260mm)、B5 (JIS)、Arch A、ステートメント、A6、5x8、往復ハガキ (148x200mm)、B6 (JIS)、5x7、4x6、10x15cm、ハガキ	上向き 穴をプリンタの後ろ側に向けてセット 

表 2-4 穴あき用紙 - 横

両面印刷モード	用紙サイズ	用紙をセットする方法
片面印刷	A4、レター、16K (197x273mm)、16K (195x270mm)、エグゼクティブ、A5、16K (184x260mm)、B5 (JIS)、Arch A、ステートメント、5x8、往復ハガキ、5x7、B6 (JIS)、A6	下向き 穴がプリンタと反対側になるようにセット 
自動両面印刷または代替レターヘッド モードでの印刷	A4、レター、16K (197x273mm)、16K (195x270mm)、エグゼクティブ、A5、16K (184x260mm)、B5 (JIS)、Arch A、ステートメント、5x8、往復ハガキ、5x7、B6 (JIS)、A6	上向き 穴をプリンタに向けてセット 

代替レターヘッド モードの使用

代替レターヘッド モード機能を使用すると、片面印刷か両面印刷にかかわらず、すべてのジョブで、レターヘッドや印刷済み用紙を常に同じようにトレイにセットできます。このモードを使用するときは、自動両面印刷と同じように用紙をセットします。

プリンタのコントロール パネル メニューを使用して代替レターヘッド モードを有効にする

設定 メニューを使用して、代替レターヘッド モード を設定します。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、設定 メニューに移動して開きます。
2. 以下のメニューを開きます。
   a. コピー/印刷 または 印刷
   b. トレイの管理
   c. 代替レターヘッド モード
3. オン を選択します。

トレイ 2 に用紙をセット

以下の情報は、トレイ 2 およびオプションの 550 枚トレイ 3 に用紙をセットする方法を説明するものです。

⚠ 注意：一度に複数の用紙トレイを引き出さないでください。用紙トレイを踏み台として使用しないでください。閉じるときに、用紙トレイの中に手を入れないでください。プリンタを移動する場合は、すべてのトレイを閉じてください。

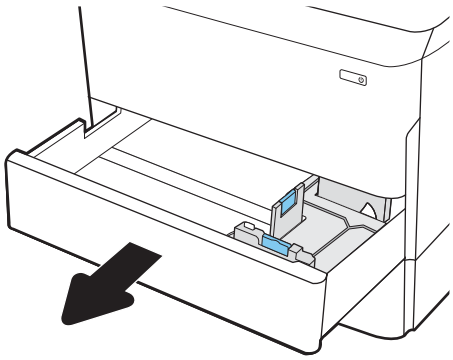
注記：すべての 550 枚用紙トレイの用紙セット方法はトレイ 2 と同じです。ここではトレイ 2 の図で説明します。

トレイ 2 および 550 枚トレイのセット

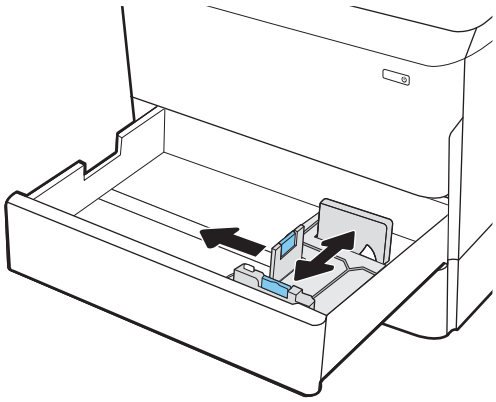
これらのトレイには、75g/m² 用紙 550 枚までをセットできます。

1. トレイを開きます。

   注記：プリンタの使用中はトレイを引き出さないでください。



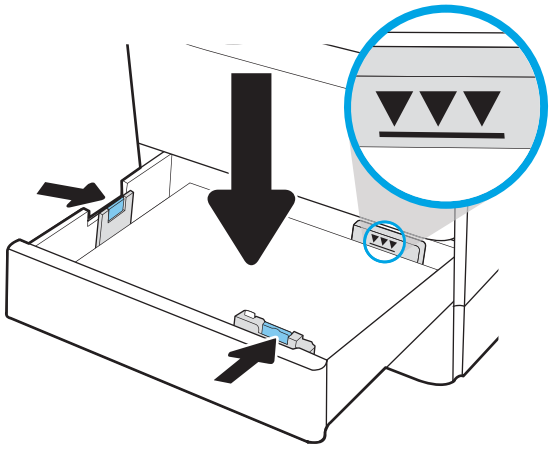
2. 縦方向用紙ガイドと横方向用紙ガイドの青い調整ラッチを摘まんでスライドさせて、使用する用紙のサイズに合わせます。



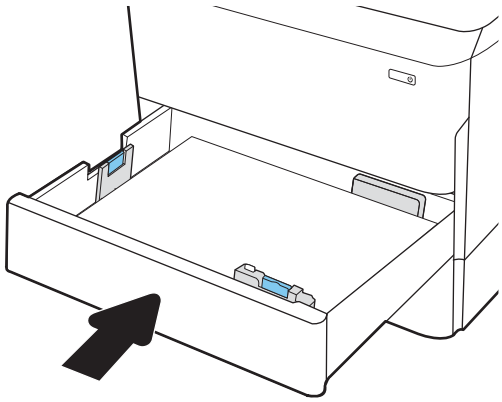
3. トレイに用紙をセットします。用紙を確認して、ガイドがスタックに接触していることを確認しますが、折り曲げはしないでください。用紙の向きの詳細については、49 ページのトレイ 2 および 550 枚トレイの用紙の向きを参照してください。

   注記：トレイに用紙を入れすぎないでください。紙詰まりの原因となります。用紙束の高さがトレイの上限線を超えないようにしてください。

   注記：トレイを正しく調整しないと、印刷中にエラー メッセージが表示される場合や紙詰まりが発生する場合があります。

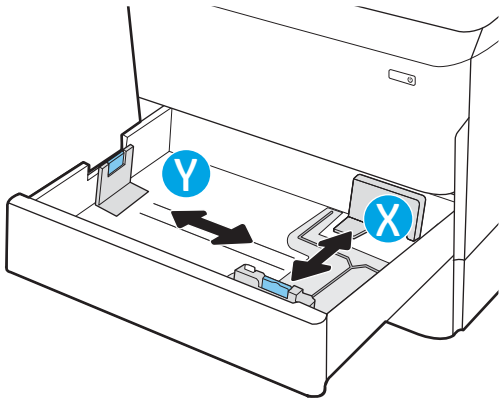


4. トレイを閉じます。



5. プリンタのコントロール パネルにトレイ設定メッセージが表示されます。
6. OK ボタンを選択して検出されたタイプおよびサイズを受け入れるか、変更 ボタンを選択して別のサイズまたはタイプを選択します。

   カスタム サイズの用紙の場合は、プリンタのコントロール パネルにメッセージが表示されたときに、X および Y 方向の寸法を指定する必要があります。



トレイ 2 および 550 枚トレイの用紙の向き

最高の印刷品質を確保するため、トレイ 2 および 550 枚トレイに正しく用紙をセットします。

表 2-5 レターヘッドまたは印刷済み用紙 - 縦

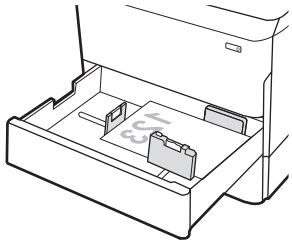
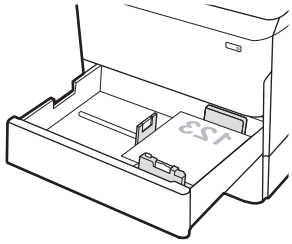
両面印刷モード	用紙サイズ	用紙をセットする方法
片面印刷	11x17、A3、8K (273x397mm)、8K (270x390mm)、8K (260x368mm)、B4 (JIS)、リーガル、Oficio (8.5x13)、Oficio (216x340mm)、C4、SRA4、RA4、Arch A、A4、レター、12x18	下向き 用紙の上端をトレイ左側に向けてセット 
片面印刷	A4、レター、16K (197x273mm)、16K (195x270mm)、エグゼクティブ、A5、16 K (184x260mm)、B5 (JIS)	下向き 用紙の上端をトレイ後ろ側に向けてセット 

表 2-5 レターヘッドまたは印刷済み用紙 - 縦 (続き)

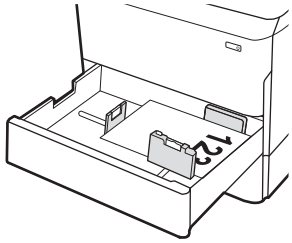
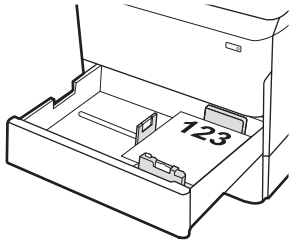
両面印刷モード	用紙サイズ	用紙をセットする方法
自動両面印刷または代替レターヘッド モードでの印刷	11x17、A3、8K (273x397mm)、8K (270x390mm)、8K (260x368mm)、B4 (JIS)、リーガル、Oficio (8.5x13)、Oficio (216x340mm)、C4、SRA4、RA4、Arch A、A4、レター、12x18	上向き 用紙の上端をトレイ右側に向けてセット 
自動両面印刷または代替レターヘッド モードでの印刷	A4、レター、16K (197x273mm)、16K (195x270mm)、エグゼクティブ、A5、16 K (184x260mm)、B5 (JIS)	上向き 用紙の上端をトレイ後ろ側に向けてセット 

表 2-6 レターヘッドまたは印刷済み用紙 - 横

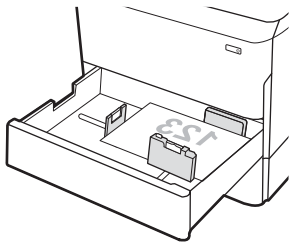
両面印刷モード	用紙サイズ	用紙をセットする方法
片面印刷	11x17、A3、8K (273x397mm)、8K (270x390mm)、8K (260x368mm)、B4 (JIS)、リーガル、Oficio (8.5x13)、Oficio (216x340mm)、C4、SRA4、RA4、Arch A、A4、レター、12x18	下向き 用紙の上端をトレイ後ろ側に向けてセット 

表 2-6 レターヘッドまたは印刷済み用紙 - 横 (続き)

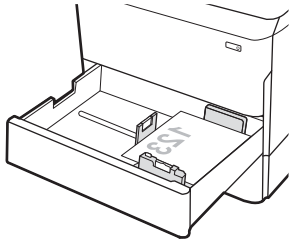
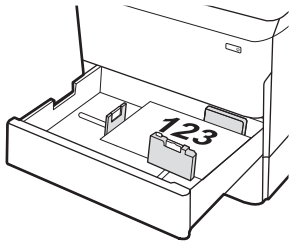
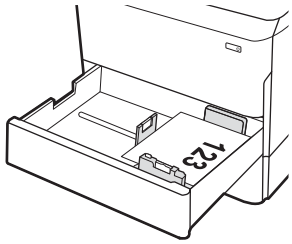
両面印刷モード	用紙サイズ	用紙をセットする方法
片面印刷	A4、レター、16K (197x273mm)、16K (195x270mm)、エグゼクティブ、A5、16 K (184x260mm)、B5 (JIS)	下向き 用紙の上端をトレイ左側に向けてセット 
自動両面印刷または代替レターヘッド モードでの印刷	11x17、A3、8K (273x397mm)、8K (270x390mm)、8K (260x368mm)、B4 (JIS)、リーガル、Oficio (8.5x13)、Oficio (216x340mm)、C4、SRA4、RA4、Arch A、A4、レター、12x18	上向き 用紙の上端をトレイ後ろ側に向けてセット 
自動両面印刷または代替レターヘッド モードでの印刷	A4、レター、16K (197x273mm)、16K (195x270mm)、エグゼクティブ、A5、16 K (184x260mm)、B5 (JIS)	上向き 用紙の上端をトレイ右側に向けてセット 

表 2-7 穴あき用紙 - 縦

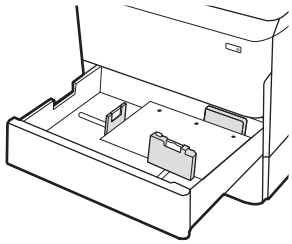
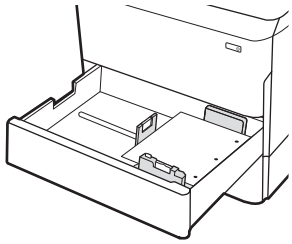
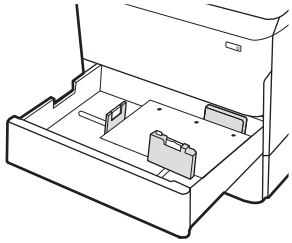
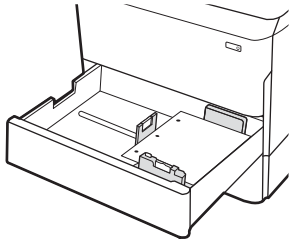
両面印刷モード	用紙サイズ	用紙をセットする方法
片面印刷	11x17、A3、8K (273x397mm)、8K (270x390mm)、8K (260x368mm)、B4 (JIS)、リーガル、Oficio (8.5x13)、Oficio (216x340mm)、C4、SRA4、RA4、Arch A、A4、レター、12x18	下向き 穴をトレイの背面に向けてセット 
片面印刷	A4、レター、16K (197x273mm)、16K (195x270mm)、エグゼクティブ、A5、16 K (184x260mm)、B5 (JIS)	下向き 穴をトレイ右側に向けてセット 

表 2-7 穴あき用紙 - 縦 (続き)

両面印刷モード	用紙サイズ	用紙をセットする方法
自動両面印刷または代替レターヘッド モードでの印刷	11x17、A3、8K (273x397mm)、8K (270x390mm)、8K (260x368mm)、B4 (JIS)、リーガル、Oficio (8.5x13)、Oficio (216x340mm)、C4、SRA4、RA4、Arch A、A4、レター、12x18	上向き 穴をトレイの背面に向けてセット 
自動両面印刷または代替レターヘッド モードでの印刷	A4、レター、16K (197x273mm)、16K (195x270mm)、エグゼクティブ、A5、16 K (184x260mm)、B5 (JIS)	上向き 穴をトレイ左側にむけ、プリンタの背面に用紙の上部を向けてセット 

代替レターヘッド モードの使用

代替レターヘッド モード機能を使用すると、片面印刷か両面印刷にかかわらず、すべてのジョブで、レターヘッドや印刷済み用紙を常に同じようにトレイにセットできます。このモードを使用するときは、自動両面印刷と同じように用紙をセットします。

プリンタのコントロール パネル メニューを使用して代替レターヘッド モードを有効にする

設定 メニューを使用して、代替レターヘッド モード を設定します。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、設定 メニューに移動して開きます。
2. 以下のメニューを開きます。
   a. コピー/印刷 または 印刷
   b. トレイの管理
   c. 代替レターヘッド モード
3. オン を選択します。

4,000 枚大容量給紙 (HCI) トレイへのセット

以下の情報は、大容量給紙トレイに用紙を搭載する方法について説明するものです。大容量給紙トレイは、すべてのモデルでアクセサリとして利用可能です。

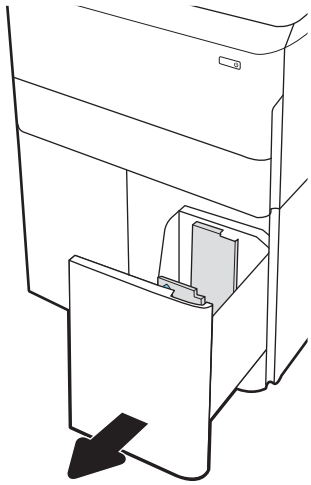
⚠ 注意：一度に複数の用紙トレイを引き出さないでください。用紙トレイを踏み台として使用しないでください。閉じるときに、用紙トレイの中に手を入れないでください。プリンタを移動する場合は、すべてのトレイを閉じてください。

HCI のセット

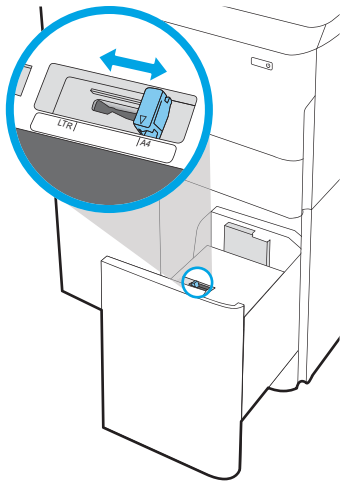
2 つのトレイには、75g/m2 用紙 4,000 枚までをセットできます。

1. トレイを開きます。

   注記：プリンタの使用中はトレイを引き出さないでください。



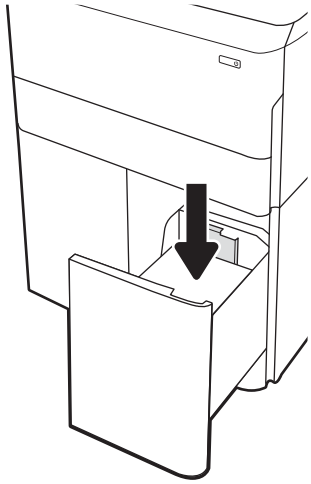
2. 用紙サイズ ガイドの位置を調整して、用紙に合った位置まで動かします。



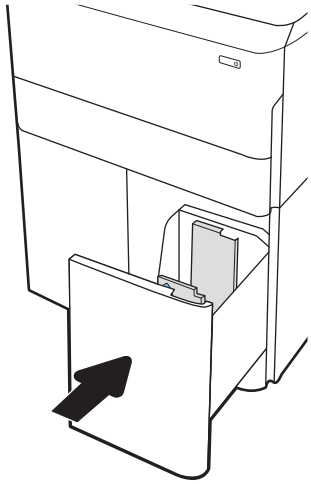
3. トレイに用紙をセットします。ガイドを調整して、用紙がたわまない程度に軽く用紙に触れるようにします。

   注記：トレイに用紙を入れすぎないでください。紙詰まりの原因となります。用紙束の高さがトレイの上限線を超えないようにしてください。

   注記：トレイを正しく調整しないと、印刷中にエラー メッセージが表示される場合や紙詰まりが発生する場合があります。



4. トレイを閉じます。



5. プリンタのコントロール パネルにトレイ設定メッセージが表示されます。
6. OK ボタンを選択して検出されたタイプおよびサイズを受け入れるか、変更 ボタンを選択して別のサイズまたはタイプを選択します。

HCI 用紙の向き

最高の印刷品質を確保するため、HCI に正しく用紙をセットします。

表 2-8 レターヘッドまたは印刷済み用紙 - 縦

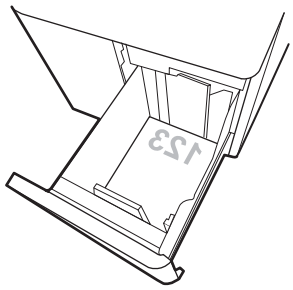
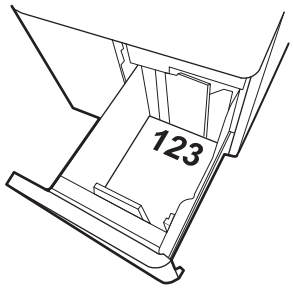
両面印刷モード	用紙サイズ	用紙をセットする方法
片面印刷	[A4]、[レター]	下向き 用紙の上端をトレイ後ろ側に向けてセット 
自動両面印刷または代替レターヘッド モードでの印刷	[A4]、[レター]	上向き 用紙の上端をトレイ後ろ側に向けてセット 

表 2-9 レターヘッドまたは印刷済み用紙 - 横

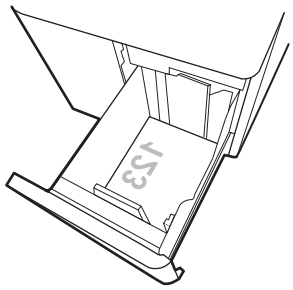
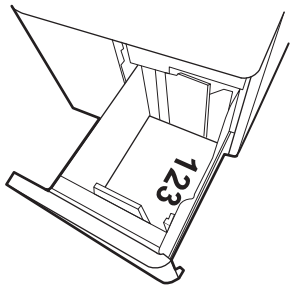
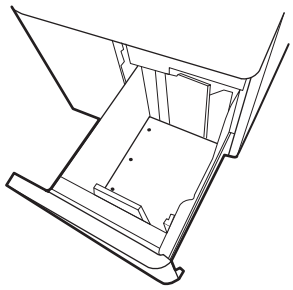
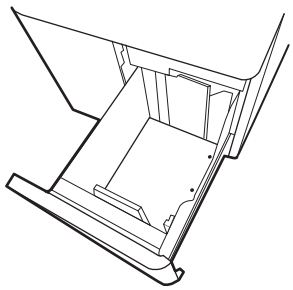
両面印刷モード	用紙サイズ	用紙をセットする方法
片面印刷	[A4]、[レター]	下向き 用紙の上端をトレイ左側に向けてセット 
自動両面印刷または代替レターヘッド モードでの印刷	[A4]、[レター]	上向き 用紙の上端をトレイ右側に向けてセット 

表 2-10 穴あき用紙 - 横

両面印刷モード	用紙サイズ	用紙をセットする方法
片面印刷	[A4]、[レター]	下向き 穴をトレイ左側に向けてセット 
自動両面印刷または代替レターヘッド モードでの印刷	[A4]、[レター]	上向き 穴をトレイ右側にむけ、右側に用紙の上部を向けてセット 

代替レターヘッド モードの使用

代替レターヘッド モード機能を使用すると、片面印刷か両面印刷にかかわらず、すべてのジョブで、レターヘッドや印刷済み用紙を常に同じようにトレイにセットできます。このモードを使用するときは、自動両面印刷と同じように用紙をセットします。

プリンタのコントロール パネル メニューを使用して代替レターヘッド モードを有効にする

設定 メニューを使用して、代替レターヘッド モード を設定します。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、設定 メニューに移動して開きます。
2. 以下のメニューを開きます。
   a. コピー/印刷 または 印刷
   b. トレイの管理
   c. 代替レターヘッド モード
3. オン を選択します。

封筒のセットと印刷

以下の情報は、封筒のセットおよび印刷方法について説明するものです。封筒印刷に使用できるのはトレイ 1 のみです。トレイ 1 には、封筒のデザインや環境条件に応じて、最大 14 枚の封筒をセットできます。

封筒の印刷

手差しオプションで封筒を印刷するには、次の手順に従ってプリント ドライバで適切な設定を選択し、印刷ジョブをプリンタに送信した後に封筒をトレイにセットします。

注記：手差しを使用する場合は、トレイ 1 に封筒をセットするようにコントロール パネルから指示されるまで待ちます。

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックまたはタップしてプリント ドライバを開きます。

   注記：ボタンの名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

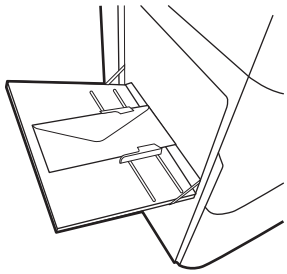
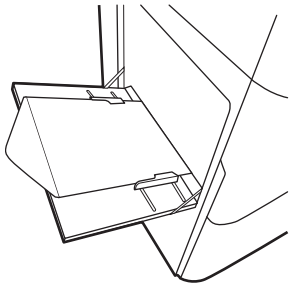
   注記：Windows 8 または 8.1 のスタート画面アプリケーションから印刷機能にアクセスするには、**[デバイス]**、**[印刷]** を順に選択してから、プリンタを選択します。Windows 10 では、**[印刷]** を選択します (アプリケーションによって異なります)。Windows 8、8.1、および 10 の場合、これらのアプリケーションには、デスクトップ アプリケーション用に、以下に示すものとは異なる機能を含むレイアウトが用意されます。HP PCL-6 V4 ドライバの場合、**[その他の設定]** を選択すると、HP AiO プリンタのリモート アプリケーションが追加のドライバ機能をダウンロードします。
3. **[用紙/品質]** タブをクリックまたはタップします。
4. **[用紙サイズ]** ドロップ ダウン リストで該当する封筒のサイズを選択します。
5. **[用紙タイプ]** ドロップ ダウン リストで **[詳細]** を選択します。
6. **[タイプ]** の下で **[その他]** を選択し、**[封筒]** を選択します。
7. **[給紙方法]** ドロップ ダウン リストで **[手差し]** を選択します。
8. **[OK]** ボタンをクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログ ボックスを閉じます。
9. **[印刷]** ダイアログ ボックスで、**[OK]** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

封筒の向き

正常に印刷するために、封筒は特定の方法でセットする必要があります。

注記：本プリンタは、封筒への両面印刷をサポートしていません。

表 2-11 封筒の向き

トレイ	封筒サイズ	セットする方法
トレイ 1	封筒 9 号、封筒 10 号、封筒 Monarch、封筒 DL、封筒 B5、封筒 C5 (ウォレット)、封筒 C6	下向き 用紙の上端をプリンタの後ろ側に向けてセット 
トレイ 1	封筒 B5、封筒 長形 3 号、封筒 C5 (ポケット)	下向き 下端から給紙されるようにセット (上部フラップを開く) 

ラベルのセットと印刷

以下の情報は、ラベルのセットおよび印刷方法について説明しています。

ラベル紙の手差し

ラベル紙を印刷するには、トレイ 1 の手差しモードを使用します。

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックまたはタップしてプリント ドライバを開きます。

注記：ボタンの名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

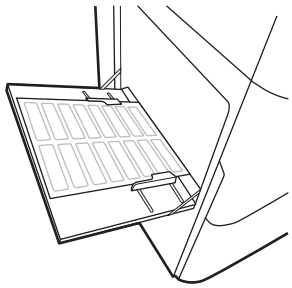
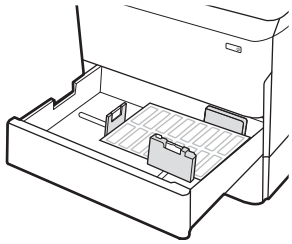
注記：Windows 8 または 8.1 のスタート画面アプリケーションから印刷機能にアクセスするには、**[デバイス]**、**[印刷]** を順に選択してから、プリンタを選択します。Windows 10 では、**[印刷]** を選択します (アプリケーションによって異なります)。Windows 8、8.1、および 10 の場合、これらのアプリケーションには、デスクトップ アプリケーション用に、以下に示すものとは異なる機能を含むレイアウトが用意されます。HP PCL-6 V4 ドライバの場合、**[その他の設定]** を選択すると、HP AiO プリンタのリモート アプリケーションが追加のドライバ機能をダウンロードします。

3. **[用紙/品質]** タブをクリックします。
4. **[用紙サイズ]** ドロップ ダウン リストで該当するラベル紙のサイズを選択します。
5. **[用紙タイプ]** ドロップ ダウン リストで **[ラベル紙]** を選択します。
6. **[給紙方法]** ドロップ ダウン リストで **[手差し]** を選択します。
7. **[OK]** ボタンをクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログ ボックスを閉じます。
8. **[印刷]** ダイアログ ボックスで、**[印刷]** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

ラベルの向き

正常に印刷するために、ラベル紙は特定の方法でセットする必要があります。

表 2-12 ラベルの向き

トレイ	ラベルをセットする方法
トレイ 1	下向き 下端から給紙されるようにセット 
550 枚用紙トレイ	下向き 用紙の上端をトレイ左側に向けてセット 

内部フィニッシャのステイプル留めの設定 (E77650dns、E77650zs、E77660dns、E77660zs、P77940dns、P77950dns、および P77960dns モデルのみ)

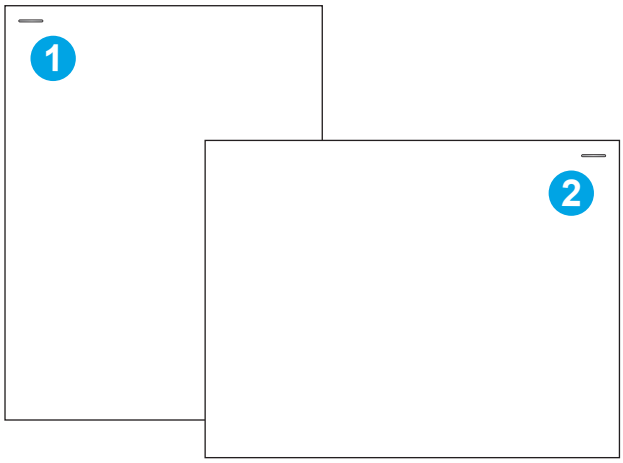
以下の情報は、ステイプルを搭載し、ステイプル留めアクセサリのオプションを設定する方法について説明するものです。

ステイプル留めアクセサリは、文書を左上隅または右上隅でステイプル留めでき、フィニッシャに 250 枚まで積み重ねることができます。

デフォルトのステイプルの位置の設定

プリンタのコントロール パネルを使用して、ステイプルのデフォルトの位置を設定します。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、[設定] メニューが表示されるまでスワイプします。[設定] アイコンを選択してメニューを開きます。
2. 以下のメニューを開きます。
   a. コピー/印刷
   b. デフォルト印刷オプション
   c. ステイプル
3. オプションのリストからステイプルの位置を選択します。次のオプションがあります。
   - [なし]：ステイプルされません。
   - 左上または右上：文書の向きが縦の場合、用紙の短辺の左上隅がステイプルでとめられます。文書の向きが横の場合、用紙の長辺の右上隅がステイプルでとめられます。
   - 左上：用紙の短辺の左上隅がステイプルでとめられます。
   - 右上：用紙の長辺の右上隅がステイプルでとめられます。



番号	説明
1	用紙の短辺の左上隅
2	用紙の長辺の右上隅

動作モードの設定

この手順を使用して、プリンタがジョブを排紙ビンでソートする方法を設定します。

プリンタのコントロール パネルからの動作モードの設定

プリンタのコントロール パネルを使用して、動作モードを設定します。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、[設定] メニューが表示されるまでスワイプします。[設定] アイコンを選択してメニューを開きます。
2. 以下のメニューを開きます。
   a. ステイプラ/スタッカの管理
   b. ジョブ オフセット
3. [オン]または[オフ]を選択します。[ジョブ オフセット] 設定を[オン]に設定すると、各ジョブの排紙スタックの向きをどちらか一方に変えることで、印刷ジョブまたはコピー ジョブが分離されます。このオフセットにより、複数のジョブを連続して印刷またはコピーする場合、ジョブを分離しやすくなります。

Windows® 7

選択した動作モード用に HP プリント ドライバを設定するには、次の手順を実行します。

注記：動作モードを変更すると、プリンタが再起動されます。

Windows XP、Vista、および Server 2008 (それぞれの 32 ビット版) HP PCL.6 ドライバは、排紙デバイスをサポートしていません。

1. プリンタに電源が入っていることと、コンピュータまたはネットワークに接続されていることを確認します。
2. Windows® の [スタート] メニューを開き、**[デバイスとプリンター]** をクリックします。
3. プリンタの名前を右クリックし、**[プリンターのプロパティ]** を選択します。
4. **[デバイスの設定]** タブをクリックします。
5. **[今すぐ更新]** を選択します。または、**[自動構成]** の隣にあるドロップダウン メニューから **[今すぐ更新]** を選択します。

Windows® 8.0、8.1、および 10

選択した動作モード用に HP プリント ドライバを設定するには、次の手順を実行します。

1. 画面の左下隅を右クリックします。
2. **[コントロール パネル]** を選択します。**[ハードウェアとサウンド]** で **[デバイスとプリンターの表示]** を選択します。
3. プリンタの名前を右クリックし、**[プリンターのプロパティ]** を選択します。
4. **[デバイスの設定]** タブをクリックします。
5. **[今すぐ更新]** を選択します。または、**[自動構成]** の隣にあるドロップダウン メニューから **[今すぐ更新]** を選択します。

注記：新しい HP PCL-6 V4 ドライバは **[今すぐ更新]** をサポートしていません。これらのドライバの場合、印刷スプーラを停止して再起動します。**[スタート]** ボタンをクリックして (または検索ボックスを開いて)、検索ボックスに「services.msc」と入力し、Enter キーを押します。サービスのリストで、**[印刷スプーラ]** を右クリックして **[停止]** を選択し、右クリックして **[スタート]** を選択します。または、単にコンピュータをシャット ダウンして、再起動します。

macOS

選択した動作モード用に HP プリント ドライバを設定するには、次の手順を実行します。

- 動作モードは、印刷時に設定されます。

3 サプライ品、アクセサリ、および部品

サプライ品またはアクセサリの注文、トナー カートリッジの交換、別の部品の取り外しまたは交換を行います。

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/PageWide を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/pwcolormfpE77650、または www.hp.com/support/pwcolormfpE77660、または www.hp.com/support/pwcolorP77940mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77950mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77960mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77440mfp を参照してください。

詳細は、次を参照してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

サプライ品、アクセサリ、および部品の注文

プリンタの交換用のサプライ品、アクセサリ、および部品の取得方法を確認します。

注文

部品、サプライ品、アクセサリは、次のいずれかのチャネルから注文します。

表 3-1 オプションの注文

オプションの注文	注文情報
サプライ品や用紙を注文する	www.hp.com
HP 純正の部品やアクセサリを注文する	www.hp.com/buy/parts
サービス代理店経由で注文する	HP の正規サービス代理店に問い合わせてください。
HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を使って注文する	アクセスするには、お使いのコンピュータでサポートされている Web ブラウザのアドレスまたは URL フィールドに、プリンタの IP アドレスまたはホスト名を入力します。EWS には HP Web サイトへのリンクがあります。このリンクを選択すると HP 純正のサプライ品の購入オプションにアクセスできます。

サプライ品およびアクセサリ

ご使用のプリンタで使用できるアクセサリ、サプライ品に関する情報を確認します。

注記：プリンタで使用可能なサプライ品の一覧を表示するには、www.hp.com/support/pwcolormfpE77650、または www.hp.com/support/pwcolormfpE77660、または www.hp.com/support/pwcolorP77940mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77950mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77960mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77440mfp に移動します。

表 3-2 アクセサリ

項目	説明	カートリッジ番号	製品番号
1GB DDR3 メモリ DIMM	メモリアップグレード キット	非該当	E5K48A
2GB DDR3 メモリ DIMM (P77440、P77940、P77950、P77960 モデルのみ)	メモリアップグレード キット	非該当	E5K49A
HP PageWide 550 枚給紙トレイ	オプションの給紙トレイ	非該当	A7W99A
HP PageWide 550 枚用紙トレイとスタンド	オプションの給紙トレイとスタンド	非該当	9UW01A
HP PageWide 3x550 用紙トレイとスタンド	オプションの給紙トレイとスタンド	非該当	9UW02A
HP PageWide 4,000 枚 HCI 用紙トレイとスタンド	オプションの大量給紙型フィーダとスタンド	非該当	9UW03A
HP PageWide 外部ステイプラ/スタッカ	オプションのステイプラ/スタッカ	非該当	9UW04A

表 3-2 アクセサリ (続き)

項目	説明	カートリッジ番号	製品番号
HP 外部インタフェース ハーネス	オプションのサードパーティ製デバイス接続用ポート	非該当	B5L31A
2 つの内蔵 USB ポート (ソリューション用、AA ボード)	サードパーティ製デバイス接続用のオプションの USB ポート	非該当	B5L28A
HP セキュア高性能ハード ディスク ドライブ FIPS ドライブ	セキュア ハード ドライブ	非該当	B5L29A
HP Jetdirect 3000w ワイヤレス プリント サーバ (NFC 搭載)	モバイル デバイスからワイヤレスで印刷ができる「タッチ」アクセサリ付属	非該当	J8031A
HP Jetdirect USB ワイヤレス プリント サーバ	USB ワイヤレス プリント サーバ アクセサリ	非該当	J8030A
HP Jetdirect 3100w NFC/BLE ワイヤレス プリント サーバ	USB ワイヤレス プリント サーバ アクセサリ	非該当	3JN69A

メンテナンス/ロングライフ消耗品 (LLC)

ご使用のプリンタで使用できるメンテナンス/ロングライフ消耗品に関する情報を確認します。

表 3-3 メンテナンス/ロングライフ消耗品 (LLC)

メンテナンス/LLC キット	製品番号	予測寿命 [1]
HP PageWide ADF メンテナンス キット	J8J95A	150,000 ページ
HP PageWide サービス用液体コンテナ	W1B44A	150,000 ページ
HP PageWide プリントヘッド ワイパー キット	W1B43A	150,000 ページ
HP PageWide ローラー キット	W1B45A	150,000 ページ
HP ステイプル カートリッジ キット、インナー フィニッシャ	J8J96A	5,000 ステイプル
HP ステイプル カートリッジ キット、据え置き型フィニッシャ	Y1G14A	5,000 ステイプル

[1] HP メンテナンス/ロング ライフ消耗品 (LLC) の寿命の仕様は、以下に挙げた LLC 寿命テスト条件に基づいた予測です。通常の使用時の、実際の個々の寿命は、使用状況、環境、用紙、およびその他の要因によって異なります。予測寿命は黙示的な保証ではなく、保証可能でもありません。

LLC 寿命テストの条件

- 印刷範囲：ページ全体に 5% 均一に分散
- 環境：17 ~ 25°C、30% ~ 70% の相対湿度 (RH)
- メディア サイズ：Letter/A4 (レター)
- メディア重量：75g/m2 普通紙

- ジョブ サイズ : 4 ページ
- 短辺給紙 (A3) (つまり、リーガル サイズのメディア)

上記の条件よりも寿命が短くなる可能性がある要因 :

- レター/A4 よりも幅の狭いメディア (短辺給紙は、ページあたりの機械的動作が増加することを意味します)
- 75g/m2 よりも重い用紙 (メディアが厚手になると、プリンタ コンポーネントに生じるストレスが高くなります)
- 4 つのイメージより小さい印刷ジョブ (ジョブが小さくなると、ページあたりの機械的動作が増加することを意味します)

カスタマ セルフ リペア部品

このプリンタでは、次の部品を利用できます。

- セルフ交換が**必須**と表示されている部品は、お客様が取り付けることになっています。ただし、HP のサービス担当者に有償で修理を依頼する場合は除きます。こうした部品の場合、現在の HP プリンタの保証ではオンサイト サポートおよび引き取りサポートは提供されません。
- セルフ交換が**オプション**と表示されている部品は、お客様の要求時に HP のサービス担当者によって取り付けられます。プリンタの保証期間内であれば、追加費用は発生しません。

表 3-4 カスタマ セルフ リペア部品

項目	説明	セルフ交換オプション	製品番号
サービス用液体コンテナ キット	交換用のサービス用液体ユニット	必須	W1B44A
プリントヘッド ワイパー キット	交換用プリントヘッド ワイパー	必須	W1B43A
トレイ 2 ~ 5 のローラー キット	トレイ 2 ~ 5 の交換用ローラー	必須	W1B45A
ADF ローラー交換キット	文書フィーダ用交換用フィード ローラー	必須	J8J95A
ステイプル カートリッジ キット	交換用ステイプル カートリッジ	必須	Y1G14A
トレイ 2 ~ 5 アセンブリ キット	交換用トレイ 2 ~ 5	必須	A7X02A
オプションの 550 枚用紙テーブル トップ フィーダ	交換用トレイ 3 フィーダ	必須	A7W99A
1x550 用紙フィーダとスタンド	交換用トレイ 3 フィーダとスタンド	必須	9UW01A
3x550 用紙フィーダとスタンド	交換用 3x550 用紙フィーダとスタンド	必須	9UW02A
HP Page Wide 4000 枚 HCI 用紙トレイとスタンド	オプションの大量給紙型フィーダとスタンド	必須	9UW03A
HP セキュア高性能ハード ディスク ドライブ FIPS ドライブ	交換用セキュア ハード ドライブ	必須	B5L29A
オーバーレイ-キーボード 中国語	交換用キーボード オーバーレイ (Flow モデル向け)	必須	A7W12A

表 3-4 カスタマ セルフ リペア部品 (続き)

項目	説明	セルフ交換オプション	製品番号
オーバーレイ-キーボード スウェーデン語	交換用キーボード オーバーレイ (Flow モデル向け)	必須	A7W14A
HP Jetdirect 2900nw プリント サーバ	交換用 USB ワイヤレス プリント サーバ アクセサリ	必須	J8031A
HP Jetdirect 3000w NFC/Wireless Accessory	モバイル デバイスからワイヤレスで直接印刷ができる交換用「タッチ」アクセサリ	必須	J8030A
HP 1GB DDR3x32 144 ピン 800MHz SODIMM	交換用メモリ DIMM	必須	E5K48A
HP LaserJet MFP Analog Fax Accessory 500	交換用ファックスボード	必須	CC487A
HP 外部インタフェース ハーネス	交換用 HP 外部インタフェース ハーネス	必須	B5L31A
2 つの内蔵 USB ポート (ソリューション用、AA ボード)	サードパーティ製デバイス接続用のオプションの USB ポート	必須	B5L28A

トナー カートリッジの交換

このプリンタでメッセージが表示される場合、または印刷品質の問題がある場合は、トナー カートリッジを交換してください。

カートリッジ情報

カートリッジの残量が少なくなる、非常にわずかになる、またはなくなると、プリンタに表示されます。

プリンタでは、イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、黒 (K) の 4 色を使用し、それぞれに個別のカートリッジが必要です。

カートリッジは、使用直前までパッケージから出さないでください。

⚠ 注意：カートリッジを損傷しないように、カートリッジの金色の金属コネクタには触れないでください。

次の図は、カートリッジ コンポーネントを示しています。

番号	説明
1	金属コネクタ。カートリッジの金色の金属コネクタには触れないでください。コネクタに指紋が付着するとカートリッジが損傷する可能性があります。

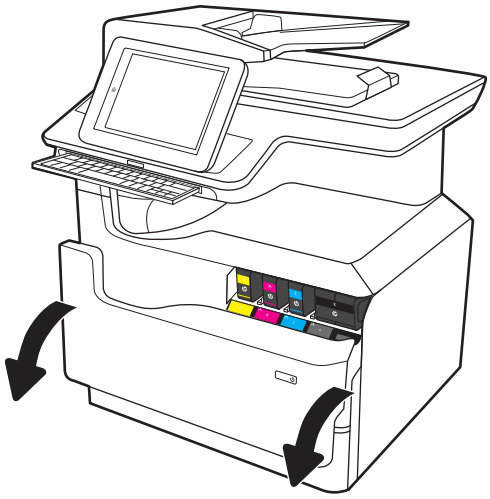
カートリッジを購入したり、プリンタとの互換性を確認したりするには、www.hp.com にアクセスしてください。ページの一番下までスクロールして、国/地域が正しいことを確認してください。

注記：使用済みカートリッジのリサイクルの詳細は、カートリッジの箱に記載されています。

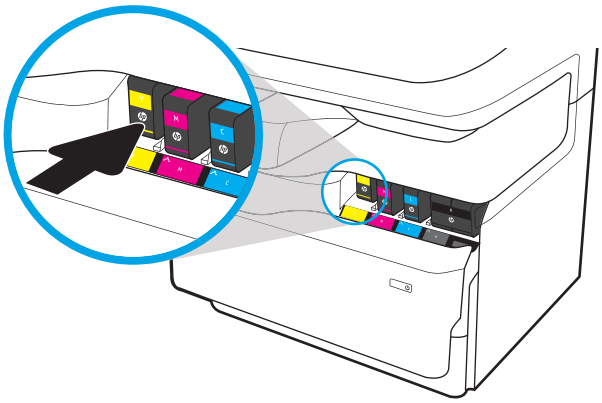
カートリッジの取り外しと交換

カートリッジを交換するには、以下の手順に従います。

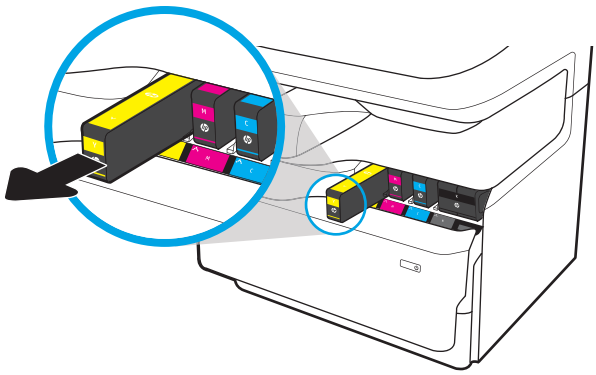
1. カートリッジ ドアを開きます。



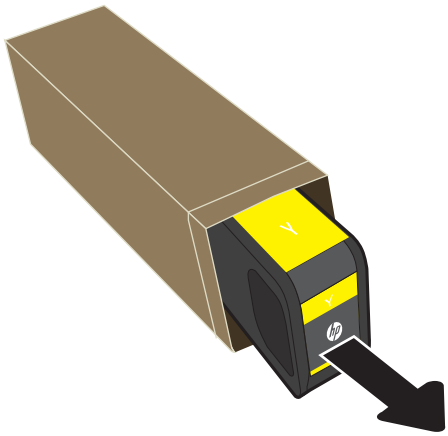
2. 古いカートリッジを内側に押し込んでロックを外します。



3. 古いカートリッジの端をつかみ、まっすぐ外側に引いて取り外します。

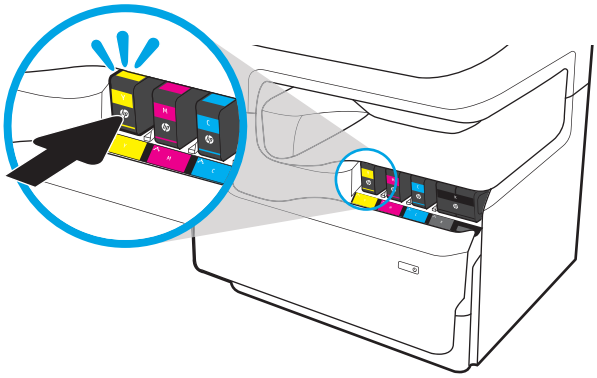


4. 新しいカートリッジを開梱します。



5. カートリッジの金色の金属コネクタには触れないでください。コネクタに指紋が付着するとカートリッジが損傷する可能性があります。

6. 新しいカートリッジを製品に挿入します。カートリッジが所定の位置に確実に取り付けられていることを確認してください。



7. カートリッジ ドアを閉めます。

8. 新しいカートリッジが入っていた箱に使用済みカートリッジを入れます。リサイクルについては、同梱されているリサイクル ガイドを参照してください。

   HP は HP 純正カートリッジのリサイクルを支援しています。世界中の 50 以上の国/地域で利用可能な HP Planet Partners プログラムにより、簡単かつ無料でリサイクルできます [1]。

   使用済みの HP カートリッジをリサイクルする方法については、www.hp.com/recycle を参照してください。

[1] 利用可能なプログラムは異なります。詳細については、www.hp.com/recycle を参照してください。

サービス用液体コンテナを交換する

サービス用液体コンテナを取り外して交換する方法を説明します。

サービス用液体コンテナ情報

以下の情報は、プリンタのサービス用液体コンテナの詳細と、それらの交換方法について説明しています。

サービス用液体コンテナがほぼ一杯になる、または完全に一杯になると、プリンタに表示されます。サービス用液体コンテナが完全に一杯になると、ユニットを交換するまで印刷が停止します。

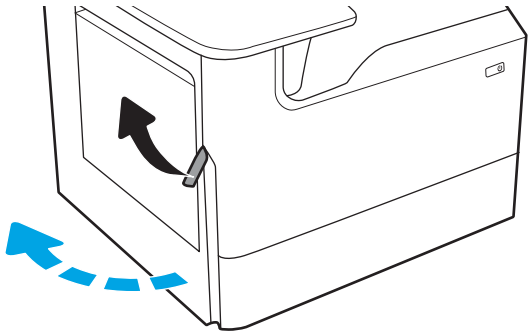
サービス用液体コンテナ (製品番号 W1B44A) は、HP パーツ ストア (www.hp.com/buy/parts) で購入できます。

注記：サービス用液体コンテナは使い捨てです。サービス用液体コンテナを空にして再使用しようとしないでください。再使用すると、顔料がプリンタ内部に漏れ、印刷品質が低下する場合があります。使用後は、リサイクルのため HP Planet Partners プログラムまでサービス用液体コンテナを返却してください。

サービス用液体コンテナを取り外して交換する

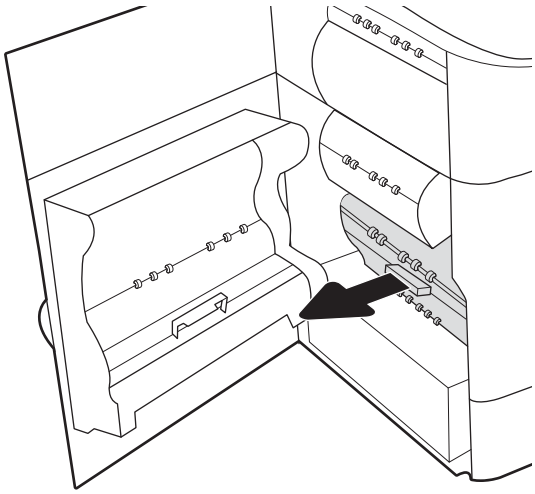
サービス用液体コンテナを交換するには、以下の手順に従います。

1. 左側のドアを開きます。

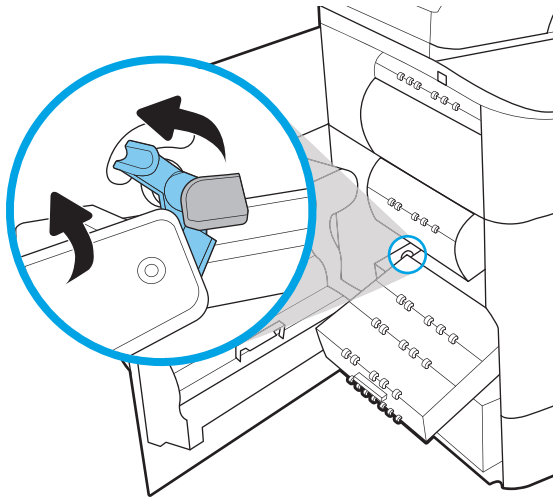


2. サービス用液体コンテナを引き出し、プリンタから取り外します。

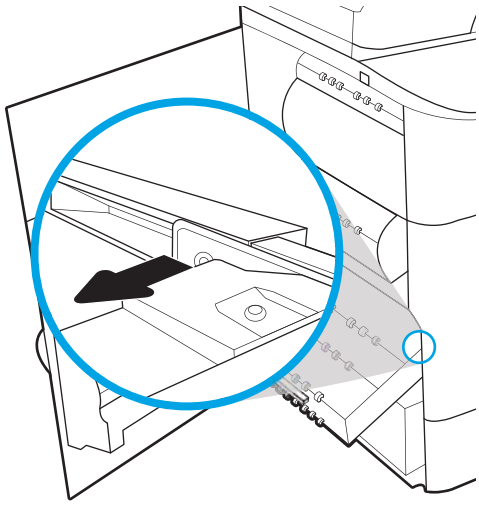
   注意：サービス用液体コンテナを取り外す際に、黒い円筒に触れると皮膚や服が顔料で汚れるおそれがあるため注意してください。



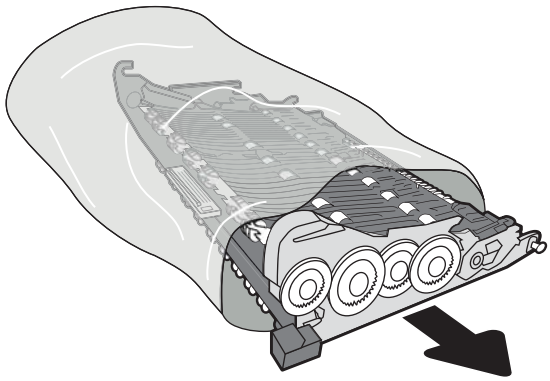
3. サービス用液体コンテナの左側で、位置調整トラックにユニットをセットしているラッチを解除し、ユニットの左側を取り外します。



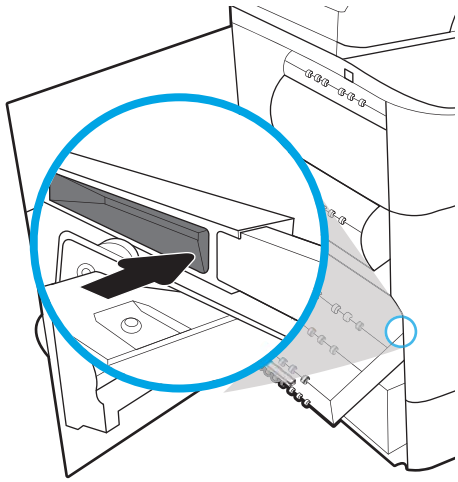
4. 位置調整トラックから右側を取り外し、プリンタからユニットを取り外します。インクがこぼれないように、インク回収ユニットを紙の上にまっすぐに立てて置きます。



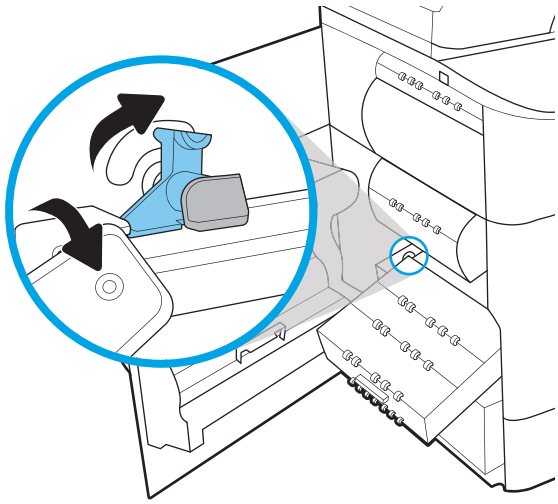
5. パッケージから新しいサービス用液体コンテナを取り出します。



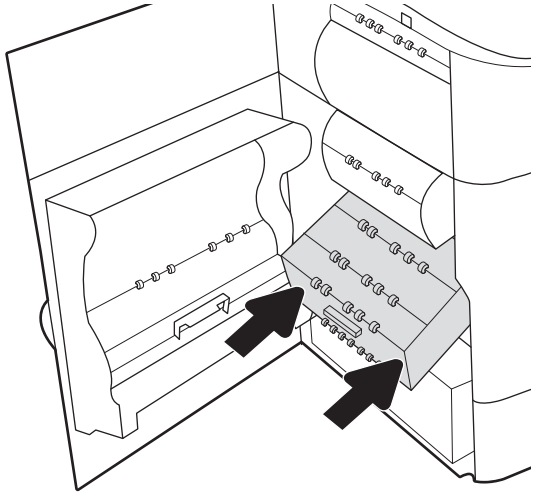
6. 最初にサービス用液体コンテナの右端を位置調整のトラックに挿入します。



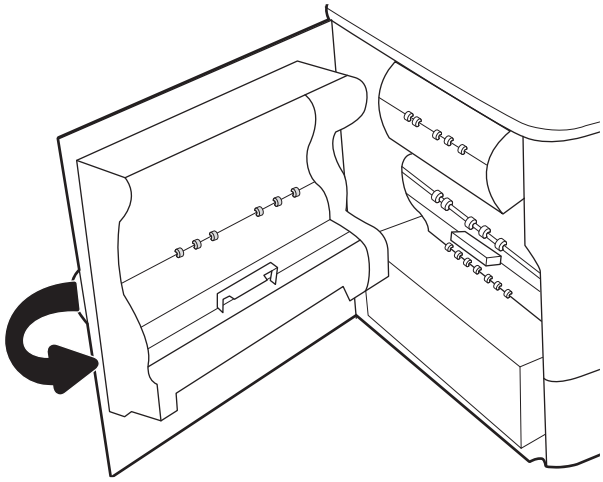
7. サービス用液体コンテナの左端を位置調整のトラックに挿入し、トラックにユニットをセットしているラッチをロックします。



8. サービス用液体コンテナをプリンタに押し込みます。



9. 左側のドアを閉じます。



4 印刷

ソフトウェアを使用して印刷するか、モバイル デバイスまたは USB フラッシュ ドライブから印刷します。

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/PageWide を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/pwcolormfpE77650、または www.hp.com/support/pwcolormfpE77660、または www.hp.com/support/pwcolorP77940mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77950mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77960mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77440mfp を参照してください。

詳細は、次を参照してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

印刷タスク (Windows)

Windows ユーザーの一般的な印刷タスクについて説明します。

印刷方法 (Windows)

ソフトウェア アプリケーションの **[印刷]** オプションを使用して、プリンタと、印刷ジョブの基本的なオプションを選択します。

次の手順では、Windows での基本的な印刷処理について説明します。

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択します。設定を変更するには、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックしてプリント ドライバを開きます。

注記：ボタンの名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

Windows 10、8.1、および 8 の場合、これらのアプリケーションには、デスクトップ アプリケーション用に、以下に示すものとは異なる機能を含むレイアウトが用意されます。スタート画面のアプリケーションから印刷機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

- **Windows 10: [印刷]** を選択し、プリンタを選択します。
- **Windows 8.1 または Windows 8: [デバイス]** を選択し、**[印刷]** を選択してから、プリンタを選択します。

HP PCL-6 V4 ドライバの場合、**[その他の設定]** を選択すると、HP AiO プリンタのリモート アプリケーションが追加のドライバ機能をダウンロードします。

注記：詳細については、プリント ドライバのヘルプ ([?]) ボタンをクリックしてください。

3. プリント ドライバの各タブをクリックし、使用可能なオプションを設定します。たとえば、用紙の向きは **[仕上げ]** タブで設定し、給紙方法、用紙タイプ、用紙サイズ、品質設定は **[用紙/品質]** タブで設定します。
4. **[OK]** ボタンをクリックし、**[印刷]** ダイアログ ボックスに戻ります。印刷する部数をこの画面で選択します。
5. ジョブを印刷するには、**[印刷]** ボタンをクリックします。

自動両面印刷 (Windows)

ご使用のプリンタに、自動両面印刷ユニットが取り付けられている場合は、自動的に用紙の両面に印刷できます。両面印刷ユニットでサポートされている用紙のサイズとタイプを使用してください。

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックしてプリント ドライバを開きます。

注記：ボタンの名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

Windows 10、8.1、および 8 の場合、これらのアプリケーションには、デスクトップ アプリケーション用に、以下に示すものとは異なる機能を含むレイアウトが用意されます。スタート画面のアプリケーションから印刷機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

- **Windows 10: [印刷]** を選択し、プリンタを選択します。
- **Windows 8.1 または Windows 8: [デバイス]** を選択し、**[印刷]** を選択してから、プリンタを選択します。

HP PCL-6 V4 ドライバの場合、**[その他の設定]** を選択すると、HP AiO プリンタのリモート アプリケーションが追加のドライバ機能をダウンロードします。

3. **[レイアウト]** タブをクリックします。
4. **[両面印刷]** を選択します。**[OK]** をクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログを閉じます。
5. **[印刷]** ダイアログで、**[印刷]** をクリックして、ジョブを印刷します。

手動両面印刷 (Windows)

この手順は、自動両面印刷ユニットが取り付けられていないプリンタの場合、または両面印刷ユニットでサポートされていない用紙に印刷する場合に使用します。

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックしてプリント ドライバを開きます。

注記：ボタンの名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

Windows 10、8.1、および 8 の場合、これらのアプリケーションには、デスクトップ アプリケーション用に、以下に示すものとは異なる機能を含むレイアウトが用意されます。スタート画面のアプリケーションから印刷機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

- **Windows 10: [印刷]** を選択し、プリンタを選択します。
- **Windows 8.1 または Windows 8: [デバイス]** を選択し、**[印刷]** を選択してから、プリンタを選択します。

HP PCL-6 V4 ドライバの場合、**[その他の設定]** を選択すると、HP AiO プリンタのリモート アプリケーションが追加のドライバ機能をダウンロードします。

3. **[レイアウト]** タブをクリックします。
4. **[両面印刷 (手差し)]** を選択し、**[OK]** をクリックして、**文書のプロパティ** ダイアログを閉じます。
5. **印刷** ダイアログで、**[印刷]** をクリックしてジョブの 1 ページ目を印刷します。
6. 排紙ビンから印刷済みの用紙を取り出し、トレイ 1 に入れます。
7. 確認メッセージが表示された場合は、適切なコントロール パネル ボタンを選択して操作を続けます。

1 枚の用紙への複数ページの印刷 (Windows)

[印刷] オプションを使用して、ソフトウェア アプリケーションから印刷するときに、1 枚の用紙に複数のページを印刷するオプションを選択できます。たとえば、大きな文書を印刷するときに用紙を節約したい場合に、これを行うことができます。

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックしてプリント ドライバを開きます。

注記：ボタンの名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

Windows 10、8.1、および 8 の場合、これらのアプリケーションには、デスクトップ アプリケーション用に、以下に示すものとは異なる機能を含むレイアウトが用意されます。スタート画面のアプリケーションから印刷機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

- **Windows 10: [印刷]** を選択し、プリンタを選択します。
- **Windows 8.1 または Windows 8: [デバイス]** を選択し、**[印刷]** を選択してから、プリンタを選択します。

HP PCL-6 V4 ドライバの場合、**[その他の設定]** を選択すると、HP AiO プリンタのリモート アプリケーションが追加のドライバ機能をダウンロードします。

3. **[レイアウト]** タブをクリックします。
4. **[1 枚の用紙に印刷するページ数]** ドロップダウンから、1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。
5. 適切な **[ページ境界線]**、**[ページの順序]**、**[印刷の向き]** オプションを選択します。**[OK]** をクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログを閉じます。
6. **[印刷]** ダイアログで、**[印刷]** をクリックして、ジョブを印刷します。

用紙タイプの選択 (Windows)

[印刷] オプションを使用して、ソフトウェア アプリケーションからの印刷時に、印刷ジョブで使用している用紙タイプを設定できます。たとえば、デフォルトの用紙タイプがレターでも、印刷ジョブに異なるタイプの用紙を使用している場合は、その特定の用紙タイプを選択します。

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタのリストからプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックしてプリント ドライバを開きます。

注記：ボタンの名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

Windows 10、8.1、および 8 の場合、これらのアプリケーションには、デスクトップ アプリケーション用に、以下に示すものとは異なる機能を含むレイアウトが用意されます。スタート画面のアプリケーションから印刷機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

- **Windows 10: [印刷]** を選択し、プリンタを選択します。
- **Windows 8.1 または Windows 8: [デバイス]** を選択し、**[印刷]** を選択してから、プリンタを選択します。

HP PCL-6 V4 ドライバの場合、**[その他の設定]** を選択すると、HP AiO プリンタのリモート アプリケーションが追加のドライバ機能をダウンロードします。

3. **[用紙/品質]** タブをクリックします。
4. **[用紙の種類]** ドロップダウン リストから用紙の種類を選択します。
5. **[OK]** をクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログを閉じます。**[印刷]** ダイアログで、**[印刷]** をクリックして、ジョブを印刷します。

   トレイを設定する必要がある場合は、プリンタのコントロール パネルにトレイ設定メッセージが表示されます。
6. 指定されたタイプとサイズの用紙をトレイにセットし、トレイを閉めます。
7. [OK] ボタンをタッチして検出されたタイプおよびサイズを受け入れるか、[変更] ボタンをタッチして別のサイズまたはタイプを選択します。
8. 正しいタイプとサイズを選択して、[OK] ボタンをタッチします。

補足的な印刷タスク

一般的な印刷タスクを実行するための Web 上の情報を確認します。

www.hp.com/support/pwcolormfpE77650、または www.hp.com/support/pwcolormfpE77660、または www.hp.com/support/pwcolorP77940mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77950mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77960mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77440mfp にアクセスします。

たとえば、次のような印刷タスクの手順を参照できます。

- 印刷機能のショートカットおよびプリセットの作成と使用
- 用紙サイズの選択、またはカスタム用紙サイズの使用
- ページの印刷の向きの選択
- ブックレットの作成
- 特定の用紙サイズに収まるように文書を拡大縮小する
- 文書の最初または最後のページを異なる用紙に印刷する
- 文書に透かしを印刷する

印刷タスク (macOS)

両面印刷または 1 枚の用紙に複数ページを印刷するオプションを含む、macOS 用の HP 印刷ソフトウェアを使用して印刷します。

印刷方法 (macOS)

ソフトウェア アプリケーションの **[印刷]** オプションを使用して、プリンタと、印刷ジョブの基本的なオプションを選択します。

次の手順では、macOS の基本的な印刷プロセスについて説明します。

1. **[ファイル]** メニューをクリックし、**[印刷]** オプションをクリックします。
2. 該当するプリンターを選択します。
3. **[詳細表示]** または **[部数とページ数]** をクリックし、その他のメニューを選択して印刷設定を調節します。

   注記：項目の名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

4. **[印刷]** ボタンをクリックします。

自動両面印刷 (macOS)

ご使用のプリンタに、自動両面印刷ユニットが取り付けられている場合は、自動的に用紙の両面に印刷できます。両面印刷ユニットでサポートされている用紙のサイズとタイプを使用してください。

注記：この情報は、自動両面印刷ユニットが装備されているプリンタに適用されます。

注記：この機能は、HP プリント ドライバをインストールしている場合に使用できます。AirPrint® を使用する場合はこの機能を使用できない場合があります。

1. **[ファイル]** メニューをクリックし、**[印刷]** オプションをクリックします。
2. 該当するプリンターを選択します。
3. **[詳細表示]** または **[部数とページ数]** をクリックし、**[レイアウト]** メニューをクリックします。

   macOS 10.14 Mojave 以降：**[詳細表示]** または **[両面印刷]** をクリックし、**[レイアウト]** メニューをクリックします。

   注記：項目の名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

4. **[両面印刷]** ドロップダウン リストから [綴じ込み] オプションを選択します。
5. **[印刷]** ボタンをクリックします。

手動両面印刷 (macOS)

この手順は、自動両面印刷ユニットが取り付けられていないプリンタの場合、または両面印刷ユニットでサポートされていない用紙に印刷する場合に使用します。

注記：この機能は、HP プリント ドライバをインストールしている場合に使用できます。AirPrint を使用する場合はこの機能を使用できない場合があります。

1. **[ファイル]** メニューをクリックし、**[印刷]** オプションをクリックします。
2. 該当するプリンターを選択します。
3. **[詳細表示]** または **[部数とページ数]** をクリックし、**[手動両面印刷]** メニューをクリックします。

注記：項目の名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

4. **[手動両面印刷]** ボックスをクリックし、[綴じ込み] オプションを選択します。
5. **[印刷]** ボタンをクリックします。
6. プリンタのトレイ 1 に入っている空白の用紙をすべて取り除きます。
7. 排紙ビンから印刷済みの用紙を取り出し、印刷面を下向きにして給紙トレイにセットします。
8. 確認メッセージが表示された場合は、適切なコントロール パネル ボタンをタッチして操作を続けます。

1 枚の用紙に複数ページを印刷する (macOS)

[印刷] オプションを使用して、ソフトウェア アプリケーションから印刷するときに、1 枚の用紙に複数のページを印刷するオプションを選択できます。たとえば、大きな文書を印刷するときに用紙を節約したい場合に、これを行うことができます。

1. **[ファイル]** メニューをクリックし、**[印刷]** オプションをクリックします。
2. 該当するプリンターを選択します。
3. **[詳細表示]** または **[部数とページ数]** をクリックし、**[レイアウト]** メニューをクリックします。

注記：項目の名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

4. **[用紙あたりのページ数]** ドロップダウン リストから、1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。
5. **[レイアウト方向]** 領域で、用紙に印刷するページの順序と位置を選択します。
6. **[境界線]** メニューで、用紙の各ページの周囲に印刷する境界線の種類を選択します。
7. **[印刷]** ボタンをクリックします。

用紙タイプを選択する (macOS)

[印刷] オプションを使用して、ソフトウェア アプリケーションからの印刷時に、印刷ジョブで使用している用紙タイプを設定できます。たとえば、デフォルトの用紙タイプがレターでも、印刷ジョブに異なるタイプの用紙を使用している場合は、その特定の用紙タイプを選択します。

1. **[ファイル]** メニューをクリックし、**[印刷]** オプションをクリックします。
2. 該当するプリンターを選択します。
3. **[詳細表示]** または **[部数とページ数]** をクリックし、**[メディアと品質]** メニューまたは **[用紙/品質]** メニューをクリックします。

注記：項目の名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

4. **[メディアと品質]** または **[用紙/品質]** オプションから選択します。

   注記 : このリストには、使用可能なオプションのマスタ セットが含まれています。一部のオプションは、プリンタによっては使用できません。

   - **[メディア タイプ]**: 印刷ジョブでメディア タイプに合ったオプションを選択します。
   - **[印刷品質]** または **[品質]** : 印刷ジョブの解像度を選択します。
   - **[全幅印刷]**: 用紙の端近くまで印刷するには、このオプションを選択します。

5. **[印刷]** ボタンをクリックします。

補足的な印刷タスク

一般的な印刷タスクを実行するための Web 上の情報を確認します。

www.hp.com/support/pwcolormfpE77650、または www.hp.com/support/pwcolormfpE77660、または www.hp.com/support/pwcolorP77940mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77950mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77960mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77440mfp にアクセスします。

たとえば、次のような印刷タスクの手順を参照できます。

- 印刷機能のショートカットおよびプリセットの作成と使用
- 用紙サイズの選択、またはカスタム用紙サイズの使用
- ページの印刷の向きの選択
- ブックレットの作成
- 特定の用紙サイズに収まるように文書を拡大縮小する
- 文書の最初または最後のページを異なる用紙に印刷する
- 文書に透かしを印刷する

プリンタに印刷ジョブを保存し、後で印刷するか、個人用として印刷

プリンタのメモリに印刷ジョブを保存して、後で印刷します。

はじめに

以下に、USB フラッシュ ドライブに保存されるドキュメントを作成および印刷する手順について説明します。これらのジョブは、後で印刷したり、プライベートで印刷したりすることができます。

保存ジョブの作成 (Windows)

プライベート印刷または遅延印刷のために、USB フラッシュ ドライブにジョブを保存します。

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタの一覧からこのプリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** を選択します。

注記：ボタンの名前はソフトウェア プログラムの種類によって異なります。

Windows 10、8.1、および 8 の場合、これらのアプリケーションには、デスクトップ アプリケーション用に、以下に示すものとは異なる機能を含むレイアウトが用意されます。スタート画面のアプリケーションから印刷機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

- **Windows 10: [印刷]** を選択し、プリンタを選択します。
- **Windows 8.1 または Windows 8: [デバイス]** を選択し、**[印刷]** を選択してから、プリンタを選択します。

HP PCL-6 V4 ドライバの場合、**[その他の設定]** を選択すると、HP AiO プリンタのリモート アプリケーションが追加のドライバ機能をダウンロードします。

3. **[ジョブ保存]** タブをクリックします。
4. **[ジョブ保存モード]** オプションを選択します。
   - **[試し刷り後に保留]**：ジョブを 1 部試し刷りしてから、追加の部数を印刷できます。
   - **[個人ジョブ]**：ジョブは、ユーザーがプリンタのコントロール パネルで印刷を指示するまで印刷されません。このジョブ保存モードでは、**[ジョブをプライベート/セキュアに設定]** オプションのいずれか 1 つを選択できます。個人識別番号 (PIN) をジョブに割り当てる場合は、コントロール パネルで必要な PIN を入力する必要があります。ジョブを暗号化した場合は、コントロール パネルで必要なパスワードを入力する必要があります。この印刷ジョブは印刷後にメモリから削除され、プリンタの電源を切ると失われます。
   - **[クイックコピー]**: 指定した部数だけジョブを印刷し、後で再度印刷できるようにプリンタのメモリにジョブを保存します。
   - **[保存ジョブ]**：プリンタにジョブを保存して、他のユーザーが後でいつでもそのジョブを印刷できるようにします。このジョブ保存モードでは、**[ジョブをプライベート/セキュアに設定]** オプションのいずれか 1 つを選択できます。個人識別番号 (PIN) をジョブに割り当てた場合は、そのジョブを印刷するユーザーがコントロール パネルで必要な PIN を入力する必要があります。ジョブを暗号化した場合は、そのジョブを印刷するユーザーがコントロール パネルで必要なパスワードを入力する必要があります。

5. カスタム ユーザー名またはジョブ名を使用するには、**[ユーザー設定]** ボタンをクリックして、ユーザー名またはジョブ名を入力します。

   別の保存ジョブに同じ名前が付いている場合に使用するオプションを選択します。

   - **[ジョブ名と 1 ~ 99 までの数値を使用する]** : 固有の番号をジョブ名の末尾に追加します。
   - **[既存のファイルを置換]** : 既存の保存ジョブを新しいジョブで上書きします。

6. **[OK]** ボタンをクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログ ボックスを閉じます。**[印刷]** ダイアログ ボックスで、**[印刷]** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

保存ジョブの作成 (macOS)

プライベート印刷または遅延印刷のために、USB フラッシュ ドライブにジョブを保存します。

1. **[ファイル]** メニューをクリックし、**[印刷]** オプションをクリックします。
2. **[プリンタ]** メニューで、このプリンタを選択します。
3. **[詳細表示]** または **[部数とページ数]** をクリックし、**[ジョブ保存]** メニューをクリックします。

   注記 : **[ジョブ保存]** メニューが表示されていない場合は、「ジョブ保存機能の無効化または有効化」セクションの手順に従ってメニューを有効にします。

4. **[モード]** ドロップダウン リストで、保存するジョブの種類を選択します。

   - **[試し刷り後に保留]** : ジョブを 1 部試し刷りしてから、追加の部数を印刷できます。初回のコピーはすぐに印刷されます。以降のコピーの印刷は、デバイスの正面のコントロール パネルから開始する必要があります。たとえば、10 部のコピーが送信される場合は、1 部のコピーがすぐに印刷され、残りの 9 部のコピーは、ジョブの取得時に印刷されます。すべてのコピーを印刷されると、ジョブは削除されます。
   - **[個人ジョブ]** : ジョブは、ユーザーがプリンタのコントロール パネルで印刷を指示するまで印刷されません。個人識別番号 (PIN) がジョブに割り当てられている場合は、コントロール パネルで必要な PIN を入力します。印刷ジョブは印刷後にメモリから削除されます。
   - **[クイックコピー]**: 指定した部数だけジョブを印刷し、後で再度印刷できるようにプリンタのメモリにジョブを保存します。ジョブは、手動でまたはジョブ保留スケジュールによって削除されます。
   - **[保存ジョブ]** : プリンタにジョブを保存して、他のユーザーが後でいつでもそのジョブを印刷できるようにします。個人識別番号 (PIN) がジョブに割り当てられている場合は、そのジョブを印刷するユーザーがコントロール パネルで必要な PIN を入力する必要があります。ジョブは、手動でまたはジョブ保留スケジュールによって削除されます。

5. カスタム ユーザー名またはジョブ名を使用するには、**[ユーザー設定]** ボタンをクリックして、ユーザー名またはジョブ名を入力します。

   注記 : **macOS 10.14 Mojave 以降** : プリンタ ドライバに、**[カスタム]** ボタンが含まれなくなりました。保存ジョブを設定するには、**[モード]** ドロップダウン リストの下のオプションを使用します。

   別の保存ジョブが同じ名前の場合に使用するオプションを選択します。

- **[ジョブ名と 1 ~ 99 までの数値を使用する]**：固有の番号をジョブ名の末尾に追加します。
- **[既存のファイルを置換]**：既存の保存ジョブを新しいジョブで上書きします。

6. **[モード]** ドロップダウン リストで **[保存ジョブ]** または **[個人ジョブ]** オプションを選択した場合、PIN でジョブを保護できます。**[印刷用の PIN を使用]** フィールドに 4 桁の番号を入力します。他のユーザーがこのジョブを印刷しようとすると、この PIN の入力を求められます。
7. **[印刷]** ボタンをクリックして、ジョブを処理します。

保存ジョブの印刷

次の手順に従って、プリンタのメモリに保存されているジョブを実行します。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、ジョブ保存から印刷 を選択します。
2. ジョブが保存されているフォルダの名前を選択するか、選択 を選択してフォルダ リストを表示します。
3. ジョブの名前を選択します。ジョブがプライベートまたは暗号化されている場合は、PIN を入力するか、OK を選択してキーボードを起動してパスワードを入力します。
4. 部数を調整するには、[部数] フィールドを選択します。キーパッドを使用して、印刷する部数を入力します。
5. [スタート] または 印刷 を選択して、ジョブを印刷します。

保存ジョブの削除

プリンタに保存した文書が不要になったら、その文書を削除することができます。また、プリンタに保存するジョブの最大数を調整できます。

プリンタに保存されているジョブを削除

コントロール パネルを使用して、プリンタのメモリに保存されているジョブを削除します。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、ジョブ保存から印刷 アイコンを選択します。
2. ジョブが保存されているフォルダの名前を選択するか、選択 を選択してフォルダ リストを表示します。
3. ジョブの名前を選択します。ジョブがプライベートまたは暗号化されている場合は、PIN を入力するか、OK を選択してキーボードを起動してパスワードを入力します。
4. ゴミ箱ボタン を選択してジョブを削除します。

ジョブ保存の制限を変更

新しいジョブをプリンタのメモリに保存するとき、ユーザー名とジョブ名が一致するジョブが既に存在していると、そのジョブは上書きされます。プリンタの空き容量が不足している場合に新規の保存ジョブを送信すると、最も古い保存ジョブから順に削除されます。

プリンタに保存できるジョブ数を変更するには、 次の手順を実行します。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、設定 アプリケーションに移動し、設定 アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます：
   a. コピー/印刷 または 印刷
   b. 保存ジョブの管理
   c. 一時的なジョブ保存制限
3. キーパッドを使用して、プリンタで保存するジョブ数を入力します。
4. OK または 完了 を選択して、この設定を保存します。

ジョブ アカウントの目的でプリンタに送信される情報

クライアント (PC など) のドライバから送信される印刷ジョブでは、個人を識別できる情報が HP の印刷およびイメージング デバイスに送信されることがあります。この情報には、印刷デバイスの管理者の決定に従って、ジョブ アカウントの目的で使用できるジョブの発行元のユーザー名とクライアント名が含まれることがあります (ただしそれに限定されるわけではありません)。ジョブ保存機能を使用する場合、この同じ情報が印刷デバイスの大容量デバイス (ディスク ドライブなど) にジョブとともに格納されることもあります。

モバイル印刷

モバイルおよび ePrint ソリューションによって、ラップトップ、タブレット、スマートフォン、またはその他のモバイル デバイスから HP プリンタでの印刷が簡単にできるようになります。

はじめに

HP は、ラップトップ、タブレット、スマートフォン、またはその他のモバイル デバイスから HP プリンタで簡単に印刷できるように、複数のモバイル印刷ソリューションを提供しています。

完全版リストを閲覧して最適な選択を行うには、www.hp.com/go/LaserJetMobilePrinting を参照してください。

Wi-Fi、Wi-Fi Direct 印刷、NFC、および BLE 印刷

HP では、サポートされている HP Jetdirect 3100w BLE/NFC/Wireless Accessory 搭載のプリンタ向けに、Wi-Fi Direct 印刷、ニア フィールド通信印刷 (NFC)、および Bluetooth Low Energy (BLE) 印刷の機能を提供しています。これはオプションのアクセサリです。

これらの機能を使用すると、ワイヤレス ルーターを使用せずに、Wi-Fi 対応 (モバイル) デバイスを直接プリンタにワイヤレス ネットワーク接続できます。

このモバイル ウォークアップ印刷は、プリンタがネットワークに接続されていなくても機能します。

Wi-Fi Direct 印刷を使用すると、以下のデバイスからワイヤレスに印刷できます。

- Apple AirPrint を使用する iPhone、iPad、iPod Touch
- Android 内蔵印刷ソリューションを使用する Android モバイル デバイス

ワイヤレス印刷の詳細については、www.hp.com/go/LaserJetMobilePrinting にアクセスしてください。

NFC、BLE、および Wi-Fi Direct 印刷機能は、プリンタのコントロール パネルから有効/無効を切り替えることができます。

ワイヤレス印刷を有効にする

モバイル デバイスからワイヤレスで印刷するには、Wi-fi Direct をオンにする必要があります。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、設定 メニューを選択します。
2. 以下のメニューを選択します：
   a. ネットワーキング
   b. Wi-Fi Direct
   c. ステータス
3. オン を選択して、[OK] を選択し、ワイヤレス印刷を有効にします。

Wi-Fi Direct 名の変更

HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を使用してプリンタの Wi-Fi Direct 名を変更します。

注記： 複数の同一プリンタ モデルが設置されている環境では、HP Wi-Fi Direct 印刷でプリンタを識別しやすくするため、各プリンタに固有の Wi-Fi Direct 名を指定すると便利です。ワイヤレス、Wi-fi Direct などのワイヤレス ネットワーク名は、情報画面で情報アイコンを選択し、次に Wi-fi Direct アイコンを選択することで使用できます。

プリンタの Wi-Fi Direct 名を変更するには、次の手順に従ってください。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、[設定] アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます：

a. ネットワーキング

b. Wi-Fi Direct

c. Wi-Fi Direct 名

3. キーパッドを使用して、[Wi-Fi Direct 名] テキスト フィールドの名前を変更して、[OK] を選択します。

HP ePrint (電子メール使用)

HP ePrint (電子メール使用) を使用すると、電子メール対応デバイスからプリンタの電子メール アドレスに電子メールの添付ファイルとして文書を送信し、印刷できます。

HP ePrint を使用すると、電子メール対応デバイスからプリンタの電子メール アドレスに電子メールの添付ファイルとして文書を送信し、印刷できます。

HP ePrint を使用するには、プリンタが次の要件を満たしている必要があります。

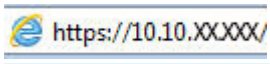
- プリンタが有線ネットワークかワイヤレス ネットワークに接続されていて、インターネットにアクセスできる必要があります。
- [HP Web サービス] をプリンタで有効にし、プリンタを HP Smart に登録する必要があります。

以下の手順を使用して、HP Web サービスを有効にし、HP Smart にプリンタを登録します。

1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。

   a. プリンタのコントロール パネルで [情報] ボタンを押し、矢印キーを使用して [イーサネット] メニューを選択します。[OK] ボタンを押してメニューを開き、IP アドレスまたはホスト名を表示させます。

   b. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロール パネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレス バーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの Enter キーを押します。EWS が開きます。

   注記：Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

2. **[HP Web サービス]** タブをクリックします。

3. Web サービスを有効にするオプションを選択します。

注記：Web サービスを有効にするのに数分かかる場合があります。

4. www.hpconnected.com にアクセスしてアカウントを作成し、セットアップ手順を完了します。

AirPrint

Apple の AirPrint を使った直接印刷は、iOS、および macOS 10.7 Lion 以降を実行する Mac コンピュータでサポートされています。

次のモバイル アプリケーションで、iPad、iPhone (3GS 以降)、または iPod touch (第 3 世代以降) からプリンタに直接印刷するには、AirPrint を使用します。

- メール
- 写真
- Safari
- iBooks
- 選択したサードパーティのアプリケーション

AirPrint を使用するには、プリンタが Apple デバイスと同じネットワーク (サブネット) に接続されている必要があります。AirPrint の使用方法と AirPrint に対応する HP プリンタの詳細については、www.hp.com/go/MobilePrinting を参照してください。

注記：USB 接続で AirPrint を使用する前に、バージョン番号を確認してください。AirPrint バージョン 1.3 以前は、USB 接続をサポートしていません。

Android 内蔵印刷

HP の Android および Kindle 用内蔵印刷ソリューションにより、ネットワーク上または Wi-Fi Direct 印刷のワイヤレス範囲に存在する HP プリンタを、自動的に検出して印刷することが可能となります。

印刷ソリューションは、多くのバージョンのオペレーティング システムに内蔵されています。

注記：デバイスで印刷が使用できない場合、Google Play > Android アプリケーション に進んで、HP のプリント サービス プラグインをインストールします。

Android 埋め込み印刷ソリューションの使い方と、対応する Android デバイスの詳細については、www.hp.com/go/MobilePrinting を参照してください。

USB フラッシュ ドライブからの印刷

このプリンタは、コンピュータを使用せずにファイルを印刷するためのイージー アクセス USB 印刷の機能を備えています。

コントロール パネルの近くにある USB ポートには、標準の USB フラッシュ ドライブを接続できます。対応するファイル タイプ :

- .pdf
- .prn
- .pcl
- .ps
- .cht

USB ポートを有効化して印刷

USB ポートは、デフォルトで無効になっています。この機能を使用する際は、USB ポートを有効にしてください。

ポートを有効にするには、次のいずれかの方法を実行します。

方法 1: プリンタのコントロールパネルから USB ポートを有効化

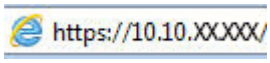
プリンタのコントロール パネルを使用して、印刷用 USB ポートを有効にします。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、設定 アプリケーションに移動し、設定 アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます：
   a. コピー/印刷 または 印刷
   b. デバイス USB の有効化
3. [USB ドライブからの印刷を有効化] を選択します。

方法 2：HP 内蔵 Web サーバから USB ポートを有効化 (ネットワークに接続しているプリンタのみ)

プリンタのコントロール パネルを使用して、印刷用 USB ポートを有効にします。

1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。
   a. プリンタのコントロール パネルで [情報] ボタンを押し、矢印キーを使用して [イーサネット] メニューを選択します。[OK] ボタンを押してメニューを開き、IP アドレスまたはホスト名を表示させます。
   b. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロール パネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレス バーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの Enter キーを押します。EWS が開きます。



注記：Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

2. MFP モデルの場合は **[コピー/印刷]** タブ、SFP モデルの場合は **[印刷]** タブを選択します。
3. 左側のメニューで、**[USB ドライブからの印刷の設定]** を選択します。
4. **[USB ドライブからの印刷を有効化]** を選択します。
5. **[適用]** をクリックします。

USB からの文書の印刷 (キーパッド コントロール パネル)

1. USB フラッシュ ドライブをイージーアクセス USB ポートに挿入します。

注記：ポートにカバーが付いている場合があります。一部のプリンタについては、カバーはフリップ式です。その他のプリンタのカバーは、まっすぐ引いて取り外す形式です。

2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、USB ドライブ を選択します。
3. 選択 を選択し、印刷する文書の名前を選択し、選択 を選択します。

注記：文書はフォルダ内にある場合があります。必要に応じてフォルダを開きます。

4. 部数を調整するには、部数のフィールドを選択します。キーパッドを使用して、印刷する部数を入力します。
5. [スタート]を選択して、文書を印刷します。

高速 USB 2.0 ポート (有線) を使用して印刷する

有線 USB 印刷用の高速 USB 2.0 ポートを有効にします。ポートはインタフェース ポートにあり、デフォルトでは無効になっています。

高速 USB 2.0 ポートを有効にするには、次のいずれかの方法を実行します。ポートが有効になったら、このポートを使用して印刷するために、製品ソフトウェアをインストールします。

方法 1: プリンタのコントロールパネル メニューから高速 USB 2.0 ポートを有効化

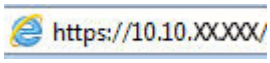
コントロール パネルを使用して、ポートを有効化します。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、設定 アプリケーションに移動し、設定 アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます：
   a. 全般
   b. デバイス USB の有効化
3. 有効化 オプションを選択します。

方法 2：HP 内蔵 Web サーバから高速 USB 2.0 ポートを有効化 (ネットワークに接続しているプリンタのみ)

HP EWS を使用してポートを有効化します。

1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。
   a. プリンタのコントロール パネルで [情報] ボタンを押し、矢印キーを使用して [イーサネット] メニューを選択します。[OK] ボタンを押してメニューを開き、IP アドレスまたはホスト名を表示させます。
   b. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロール パネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレス バーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの Enter キーを押します。EWS が開きます。



注記：Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

2. **[セキュリティ]** タブを選択します。
3. 画面の左側で、**[一般セキュリティ]** を選択します。
4. **[ハードウェア ポート]** まで下にスクロールし、次の両方の項目を有効にするチェック ボックスをオンにします。

- [デバイス USB の有効化]
- [ホスト USB プラグ アンド プレイの有効化]

5. [適用] をクリックします。

5 コピー

プリンタでコピーし、両面の文書のコピー方法を確認し、Web 上の補足的なコピー タスクを特定します。

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/PageWide を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/pwcolormfpE77650、または www.hp.com/support/pwcolormfpE77660、または www.hp.com/support/pwcolorP77940mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77950mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77960mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77440mfp を参照してください。

詳細は、次を参照してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

コピーする

自動文書フィーダまたはスキャナのガラス面から、文書または画像をコピーします。

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、コピー アプリケーションに移動し、次に [コピー] アイコンを選択します。
3. 部数を選択するには、コピー の隣にあるボックスをタッチしてから、キーパッドを使用して部数を入力し、[キーパッドを閉じる] ボタン をタッチします。
4. テキスト、グラフィックス、または写真など、コピーする画像の種類に合わせて最適化するには、[テキスト/画像の最適化] を選択します。事前定義オプションのいずれかを選択します。
5. プレビュー機能を使用する前に、黄色い三角形のマークが付いたオプションを設定します。

注記：これらのオプションは、プレビュー スキャン後、メインの オプション リストから削除され、事前スキャン オプション リストにまとめられます。これらのオプションのいずれかを変更するには、プレビューを破棄して、最初からやり直します。

プレビュー機能の使用は任意です。

6. 文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー画面で、画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。

表 5-1 プレビュー ペインの右側にあるボタン

ボタン	説明
	1 ページ表示とサムネイル表示を切り替えるには、これらのボタンを使用します。サムネイル表示では、1 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。
	選択したページをズームインまたはズームアウトするには、これらのボタンを使用します。 注記：これらのボタンを使用するときは、一度に 1 つのページのみを選択します。
	ページを 180 度回転するには、このボタンを使用します。 注記：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	選択したページを削除するには、このボタンを使用します。 注記：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	文書内のページの順序を変更するには、これらのボタンを使用します。1 つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。 注記：これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	文書にページを追加するには、このボタンを使用します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。

表 5-1 プレビュー ペインの右側にあるボタン (続き)

ボタン	説明
	プレビューで加えた変更をクリアして最初からやり直すには、このボタンを使用します。
	プレビュー画面を折りたたみ、コピー画面に戻るには、このボタンをタッチします。

7. 文書の準備が整ったら、コピー をタッチしてコピーを開始します。

両面コピーする

用紙の両面にコピーまたは印刷します。

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、コピー アプリケーションに移動し、次に [コピー] アイコンを選択します。
3. [オプション] ペインで、[片面原稿/両面原稿] を選択して、原稿について説明するオプションを選択します。
   - [自動検出] を使用して、原稿のページが片面印刷か、両面印刷かを検出することができます。
   - ページの片面のみに印刷されている原稿については、[片面] を使用します。
   - 本のような、ページの左端または右端が綴じられている原稿については、[両面 (製本スタイル)] を使用します。イメージが縦向きの場合は、出力されたページの綴じ向きは長辺側になります。イメージが横向きの場合は、出力されたページの綴じ向きは短辺側になります。
   - カレンダのような、ページの上部または下部が綴じられている原稿については、[両面 (綴込みスタイル)] を使用します。イメージが縦向きの場合は、出力されたページの綴じ向きは短辺側になります。イメージが横向きの場合は、出力されたページの綴じ向きは長辺側になります。
4. 出力面 を選択して、これらのオプションのいずれかを選択します。
   - 原稿と同じ : 出力ページの形式が、原稿と同じになります。たとえば、原稿が片面であれば、出力ページも片面になります。ただし、管理者によって片面印刷が制限されており、原稿が片面である場合は、出力コピーは両面 (製本スタイル) になります。
   - 片面 : 出力コピーは片面になります。ただし、管理者によって片面印刷が制限されている場合は、出力コピーは両面 (製本スタイル) になります。

- 両面 (製本スタイル): 出力コピーは、本のように、右端または左端が綴じられた状態になります。イメージが縦向きの場合は、出力されたページの綴じ向きは長辺側になります。イメージが横向きの場合は、出力されたページの綴じ向きは短辺側になります。
- 両面 (綴込みスタイル): 出力コピーは、本のように、上部または下部が綴じられた状態になります。イメージが縦向きの場合は、出力されたページの綴じ向きは短辺側になります。イメージが横向きの場合は、出力されたページの綴じ向きは長辺側になります。

5. プレビュー機能を使用する前に、黄色い三角形のマークが付いたオプションを設定します。

注記：これらのオプションは、プレビュー スキャン後、メインの オプション リストから削除され、事前スキャン オプション リストにまとめられます。これらのオプションのいずれかを変更するには、プレビューを破棄して、最初からやり直します。

プレビュー機能の使用は任意です。

6. 文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー画面で、画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。

表 5-2 プレビュー ペインの右側にあるボタン

ボタン	説明
	1 ページ表示とサムネイル表示を切り替えるには、これらのボタンを使用します。サムネイル表示では、1 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。
	選択したページをズームインまたはズームアウトするには、これらのボタンを使用します。 **注記：**これらのボタンを使用するときは、一度に 1 つのページのみを選択します。
	ページを 180 度回転するには、このボタンを使用します。 **注記：**このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	選択したページを削除するには、このボタンを使用します。 **注記：**このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	文書内のページの順序を変更するには、これらのボタンを使用します。1 つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。 **注記：**これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。

表 5-2 プレビュー ペインの右側にあるボタン (続き)

ボタン	説明
	文書にページを追加するには、このボタンを使用します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。
	プレビューで加えた変更をクリアして最初からやり直すには、このボタンを使用します。
	プレビュー画面を折りたたみ、コピー画面に戻るには、このボタンをタッチします。

7. 文書の準備が整ったら、[スタート] をタッチしてコピーを開始します。

補足的なコピー タスク

一般的なコピー タスクを実行するための Web 上の情報を確認します。

www.hp.com/support/pwcolormfpE77650、または www.hp.com/support/pwcolormfpE77660、または www.hp.com/support/pwcolorP77940mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77950mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77960mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77440mfp にアクセスします。

たとえば、以下のようなコピー タスクの手順を参照できます。

- 本またはその他の綴じられた文書のページのコピーまたはスキャン
- 複数のサイズが混在する原稿のコピー
- ID カードの両面のコピーまたはスキャン
- 文書をブックレット形式でコピーまたはスキャンします。

6 スキャン

ソフトウェアを使用してスキャンするか、電子メール、USB フラッシュ ドライブ、ネットワーク フォルダ、または別の宛先に直接スキャンします。

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/PageWide を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/pwcolormfpE77650、または www.hp.com/support/pwcolormfpE77660、または www.hp.com/support/pwcolorP77940mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77950mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77960mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77440mfp を参照してください。

詳細は、次を参照してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

[スキャンして電子メールで送信] のセットアップ

このプリンタは、文書をスキャンして、そのスキャン データを 1 つ以上の電子メール アドレスに送信する機能を備えています。

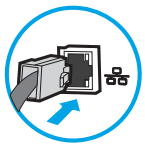
はじめに

このスキャン機能を使用するには、プリンタをネットワークに接続する必要があります。この機能は設定されるまで利用できません。[スキャンして電子メールで送信] を設定するには、基本的な **[スキャンして電子メールで送信セットアップウィザード]** と高度な **[電子メール セットアップ]** の 2 つの方法があります。

以下の情報を使用して、スキャンして電子メールで送信 機能を設定してください。

作業を開始する前に

スキャンして電子メールで送信 機能をセットアップするには、プリンタにアクティブなネットワーク接続が存在している必要があります。



管理者は、設定プロセスを開始する前に以下の情報が必要です。

- プリンタへの管理者アクセス権
- DNS サフィックス (例：companyname.com)
- SMTP サーバ (例：smtp.mycompany.com)

  注記：SMTP サーバー名、SMTP ポート番号、または認証情報がわからない場合は、電子メール/インターネット サービス プロバイダーまたはシステム管理者にお問い合わせください。SMTP サーバ名とポート番号は、通常はインターネットを検索すればわかります。たとえば、「Gmail smtp サーバ名」や「Yahoo smtp サーバ 名前」などで検索します。

- 認証に使用されるユーザー名とパスワード (該当する場合) を含む、送信電子メール メッセージの SMTP サーバ認証要件。

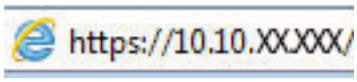
注記：電子メール アカウントのデジタル送信制限の詳細については、電子メール サービス プロバイダのマニュアルを参照してください。プロバイダによっては送信制限を超えると、一時的にアカウントがロックされる場合があります。

手順 1: HP 内蔵 Web サーバ (EWS) にアクセス

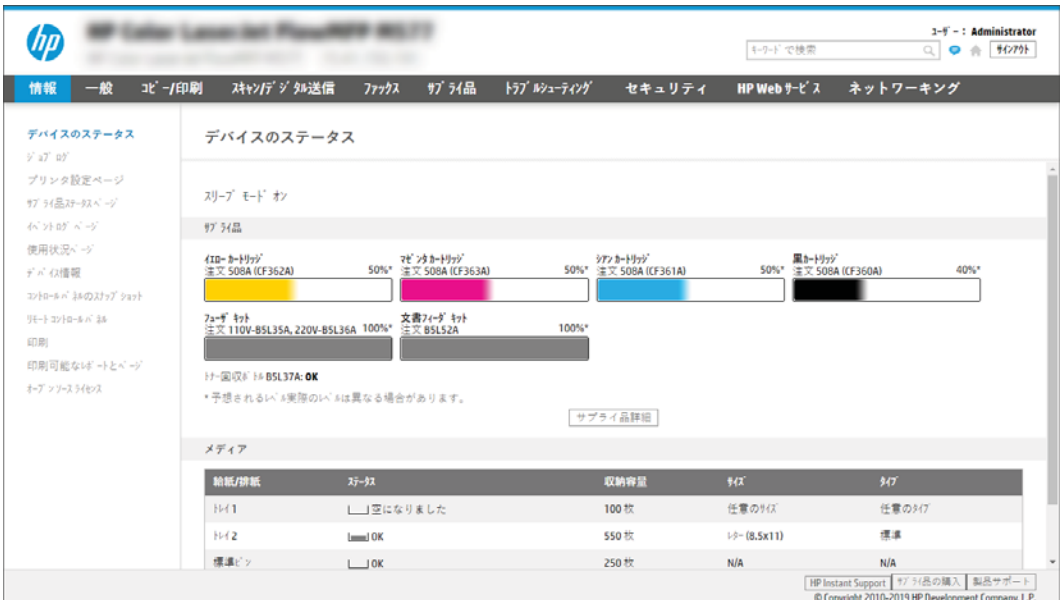
EWS を開き、セットアップ プロセスを開始します。

1. プリンタのコントロールパネルの [ホーム] 画面で、情報アイコンをタッチし、Ethernet アイコンをタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示させます。

2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロールパネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレスバーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの Enter キーを押します。EWS が開きます。



注記：Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。



手順 2: [ネットワーク ID] 設定の設定

ネットワーク ID の詳細設定を行います。

注記：**[ネットワーク]** タブでの電子メールセットアップの設定は、高度なプロセスであり、システム管理者の支援が必要になる可能性があります。

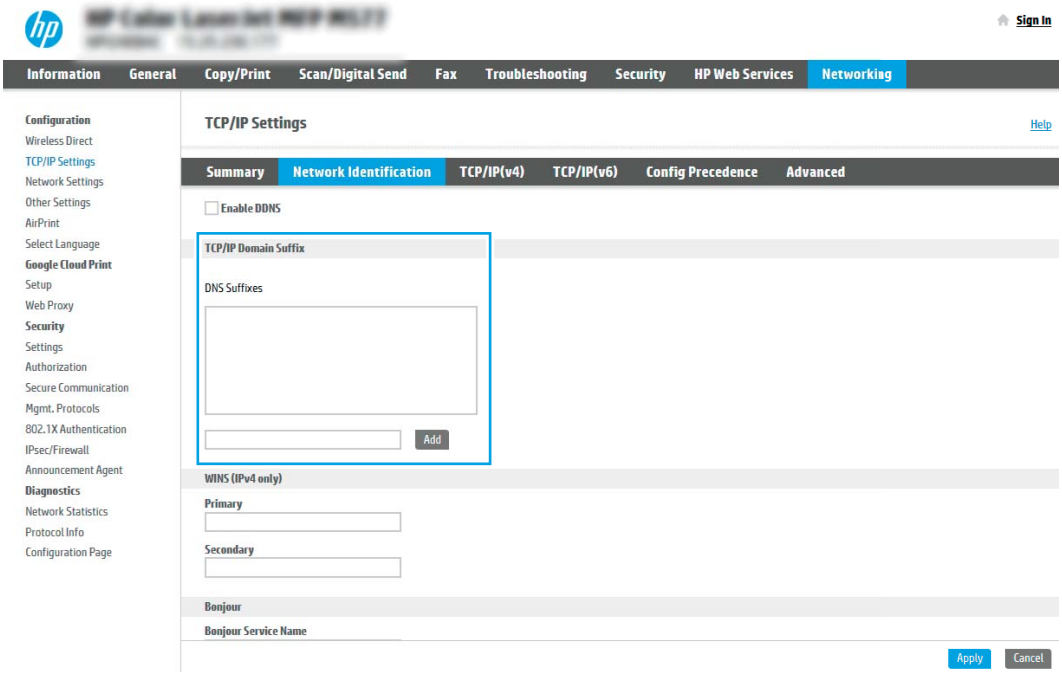
1. EWS の最上部のナビゲーションタブを使用して、**[ネットワーク]** をクリックします。

注記：Office 365 を使用したネットワーク設定：126 ページの手順 5：Office 365 Outlook を使用するための [電子メールへの送信] のセットアップ (オプション)

2. 左側のナビゲーションウィンドウで **[TCP/IP 設定]** をクリックします。EWS の **[ネットワーク ID]** タブにアクセスするには、ユーザー名/パスワードが必要な場合があります。

3. **[TCP/IP 設定]** ダイアログで、**[ネットワーク ID]** タブをクリックします。

4. ネットワークで DNS が必要な場合は、**[TCP/IP ドメイン サフィックス]** 領域で、使用する電子メールクライアントの DNS サフィックスが表示されていることを確認します。DNS サフィックスの形式は、*companyname.com*、*gmail.com* などの形式になります。



注記：ドメイン名サフィックスがセットアップされていない場合は、IP アドレスを使用します。

5. **[適用]** をクリックします。
6. **[OK]** をクリックします。

手順 3 : [電子メールへの送信] 機能の設定

[電子メールへの送信] を設定するには、基本的な設定の **[電子メール セットアップ ウィザード]** と高度な設定の **[電子メール セットアップ]** の 2 つのオプションがあります。[電子メールへの送信] 機能を設定するには、次のオプションを使用します。

方法 1: [電子メール セットアップ ウィザード] を使用した基本的な設定

[電子メール セットアップ ウィザード] を使用して、基本的な設定を行います。

このオプションにより、基本的な設定のために、HP 内蔵 Web サーバ (EWS) で **[電子メール セットアップ ウィザード]** が開きます。

1. EWS 上部のナビゲーション タブを使用して、**[スキャン/デジタル送信]** をクリックします。
2. 左側のナビゲーション ウィンドウで、**[ネットワーク フォルダへのメール送信とスキャンのクイック設定ウィザード]** をクリックします。
3. **[ネットワーク フォルダへのメール送信とスキャンのクイック設定ウィザード]** ダイアログで、**[電子メール セットアップ]** リンクをクリックします。

> 注記 : [スキャンして電子メールで送信] 機能が無効であることを示すメッセージが表示された場合、**[続行]** をクリックして設定を続け、完了時に [スキャンして電子メールで送信] 機能を有効にします。

4. **[電子メール サーバ (SMTP) を設定]** ダイアログで、次のいずれかのオプションを選択して、手順を実行します。
   - オプション 1 : 電子メールで既に使用しているサーバを使用する。

     [電子メールで既に使用しているサーバを使用する] を選択し、**[次へ]** をクリックします。
   - オプション 2: 送信電子メール サーバのネットワークを検索する。

     このオプションを使用すると、ファイアウォール内の送信 SMTP サーバのみ検出されます。

1. **[送信電子メール サーバのネットワークを検索]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
2. 適切なサーバを **[電子メール サーバ (SMTP) を設定]** リストから選択し、**[次へ]** をクリックします。
3. サーバの認証要件、
   - サーバによる認証が不要：**[サーバによる認証が不要]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。

     -または-
   - サーバによる認証が必要：ドロップダウン リストから、認証オプションを選択します。
     - **[コントロール パネルでのサインイン後にユーザー認証情報を使用して接続する]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。

       -または-
     - **[常にこれらの認証情報を使用する]** を選択し、**[ユーザー名]** と **[パスワード]** を入力し、**[次へ]** をクリックします。

- オプション 3: SMTP サーバを追加する。
  1. **[SMTP サーバの追加]** を選択します。
  2. **[サーバ名]** と **[ポート番号]** を入力し、**[次へ]** をクリックします。

     注記：ほとんどの場合、デフォルトのポート番号を変更する必要はありません。

     注記：Gmail などのホスト SMTP サービスを使用している場合は、サービス プロバイダの Web サイトまたはその他のソースで SMTP アドレス、ポート番号、および SSL 設定を確認します。通常、Gmail の場合、SMTP アドレスは smtp.gmail.com、ポート番号は 465 で、SSL は有効にする必要があります。

     オンライン ソースを参照してこれらのサーバ設定が最新であり、設定の時点で有効である必要があります。
  3. 適切なサーバ認証オプションを選択します。
     - サーバによる認証が不要：**[サーバによる認証が不要]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。

       -または-
     - サーバによる認証が必要：**[サーバによる認証が必要]** ドロップダウン リストからオプションを選択します。
       - **[コントロール パネルでのサインイン後にユーザー認証情報を使用して接続する]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。

         -または-
       - **[常にこれらの認証情報を使用する]** を選択し、**[ユーザー名]** と **[パスワード]** を入力し、**[次へ]** をクリックします。

5. **[電子メールの設定]** ダイアログで、差出人の電子メール アドレスに関して以下の情報を入力し、**[次へ]** をクリックします。

注記：**[差出人]**、**[件名]**、および**[メッセージ]**のフィールドを設定するとき、**[ユーザーによる編集が可能]**チェック ボックスをオフにすると、電子メールを送信する際、ユーザーはプリンタ コントロール パネルで該当するフィールドを編集できません。

表 6-1 **電子メールの送信の設定**

オプション	説明
[送信元] (必須)	**[差出人]**ドロップダウン リストから次のいずれかのオプションをタッチします。 • **[ユーザーのアドレス(サインインが必要)]** • **[デフォルトの差出人]**：**[デフォルトの差出人電子メール アドレス]**と**[デフォルト表示名]**フィールドにデフォルトの電子メール アドレスと表示名を入力します 注記：プリンタの電子メール アカウントを作成し、このアドレスをデフォルトの電子メール アドレスとして使用します。 注記：ユーザーがサインインしなければ電子メール機能を使用できないように設定します。これにより、ユーザーは自分のものでないアドレスから電子メールを送信できなくなります。
[件名] (オプション)	電子メール メッセージのデフォルトの件名を入力します。
[メッセージ] (オプション)	カスタムのメッセージを作成します。 プリンタから送信するすべての電子メールにこのメッセージを使用するには、**[メッセージ]**の**[ユーザーによる編集が可能]**チェック ボックスをオフにします。

6. **[ファイル スキャン設定を設定]**領域で、デフォルトのスキャン設定を設定し、**[次へ]**をクリックします。

表 6-2 スキャン設定

オプション	説明
[ファイルタイプ]	スキャンした文書のデフォルトのファイル タイプを選択します。 • [PDF] • [JPEG] • [TIFF] • [MTIFF] • [.XPS] • [PDF/A] デジタル送信ソフトウェア (DSS) サーバに接続している HP LaserJet Enterprise Flow MFP プリンタ、または MFP プリンタは、次の OCR ファイル タイプもサポートします。 • [テキスト (OCR)] • [Unicode テキスト (OCR)] • [RTF (OCR)] • [サーチャブル PDF (OCR)] • [サーチャブル PDF/A (OCR)] • [HTML (OCR)] • [CSV (OCR)]
[カラー/モノクロ]	スキャンした文書のデフォルトのカラー設定を選択します。 • [カラー] • [黒] • [黒/グレー] • [自動検出]

表 6-2 スキャン設定 (続き)

オプション	説明
[品質およびファイル サイズ]	スキャンした文書のデフォルトの出力品質を選択します。 • [低 (ファイル サイズ小)] • [ミディアム] • [高 (ファイル サイズ大)]
[解像度]	スキャンした文書のデフォルトのスキャン解像度を選択します。 • [75dpi] • [150dpi] • [200dpi] • [300dpi] • [400dpi] • [600dpi]

7. [サマリ] 領域を確認し、[終了] をクリックしてセットアップを完了します。

方法 2: 電子メール セットアップを使用した高度な設定

EWS で [電子メール セットアップ] ダイアログを使用して詳細設定を行うには、次の手順を実行します。

1. EWS 上部ナビゲーション タブを使用して、左側のナビゲーション ウィンドウで [スキャン/デジタル送信] をクリックして [電子メール セットアップ] メニューを展開し、[デフォルト ジョブ オプション] をクリックします。

   [デフォルト ジョブ オプション] ページには、[電子メールをスキャン] のセットアップ用の [基本設定] が表示されます。追加設定にアクセスするには、ページの下部にある [詳細設定] ボタンをクリックします。基本設定に戻すには、[基本設定] ボタンをクリックします。

注記：この手順では、まず [基本設定] の手順を、次に [詳細設定] の手順を説明します。

図 6-1 [詳細設定] ボタンの場所

2. **[デフォルト ジョブ オプション]** ページで、**[スキャンして電子メールで送信を有効化]** チェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスをオンにしないと、プリンタのコントロール パネルでこの機能を使用できません。

3. **[送信電子メール サーバ (SMTP)]** 領域で、次のいずれかのオプションの手順を実行します。

   - 表示されたサーバのいずれかを選択します。
   - **[次へ]** をクリックして、SMTP ウィザードを開始します。

     1. SMTP ウィザードで、次のいずれかのオプションを選択します。

- **オプション 1: [SMTP サーバ アドレスまたはホスト名 (わかっている場合)]**: SMTP サーバのアドレスを入力し、**[次へ]** をクリックします
- **オプション 2:** SMTP サーバのアドレスが不明な場合は、**[送信電子メール サーバのネットワークを検索]** を選択して、**[次へ]** をクリックします。サーバを選択し、**[次へ]** をクリックします。

注記：SMTP サーバが別のプリンタ機能向けに既に作成されている場合は、**[別の機能で既に使用しているサーバを使用する]** オプションが表示されます。このオプションを選択して電子メール機能に使用するよう設定します。

2. **[サーバに接続するための必要な基本情報を設定]** ダイアログで、使用するオプションを設定し、**[次へ]** をクリックします。
   - 一部のサーバでは、5MB より大きい電子メールの送受信で問題が発生します。このような問題は、**[このサイズより大きい場合電子メールを分割 (MB 単位)]** に数字を入力することにより回避できます。
   - ほとんどの場合、デフォルトのポート番号を変更する必要はありません。ただし、SMTP SSL プロトコルの有効化 オプションを使用する場合は、ポート 587 を使用する必要があります。
   - 電子メール サービスに Google™ Gmail を使用している場合は、**[SMTP SSL プロトコルの有効化]** チェック ボックスをオンにします。通常、Gmail の場合、SMTP アドレスは smtp.gmail.com、ポート番号は 465 で SSL は有効にする必要があります。オンライン ソースを参照してこれらのサーバ設定が最新であり、設定の時点で有効である必要があります。
3. **[サーバ認証要件]** ダイアログで、サーバの認証要件を選択します。
   - **[サーバによる認証が不要]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
   - **[サーバによる認証が必要]**
     - ドロップダウン ボックスから、**[コントロール パネルでのサインイン後に、ユーザー認証情報を使用して接続する]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
     - ドロップダウン ボックスから、**[常にこれらの認証情報を使用する]** を選択し、**[ユーザー名]** と **[パスワード]** を入力し、**[次へ]** をクリックします。

注記：サインインしたユーザーの認証情報を使用する場合、プリンタのコントロール パネルで、ユーザーによるサインインが必要になるように電子メールを設定します。**[セキュリティ]** タブの **[アクセス制御]** ダイアログにある **[サイン インおよび権限ポリシー]** 領域の **[デバイス ゲスト]** 列で電子メールのチェック ボックスをオフにして、電子メールへのデバイス ゲスト アクセスを拒否します。チェック ボックスのアイコンがチェック マークからロックに変更されます。

4. **[サーバ使用状況]** ダイアログで、この SMTP サーバ経由で電子メールを送信するプリンタ機能を選択し、**[次へ]** ボタンをクリックします。

   サーバが認証を要求する場合は、プリンタから自動警告とレポートを送信するためのユーザー名とパスワードが必要になります。

5. **[概要およびテスト]** ダイアログで、**[テスト電子メールの宛先]** フィールドに有効な電子メール アドレスを入力し、**[テスト]** をクリックします。

6. すべての設定が正しいことを確認し、**[終了]** をクリックして、送信電子メール サーバのセットアップを完了します。

4. **[アドレス/メッセージ フィールド制御]** 領域で、**[差出人 :]** 設定およびその他のオプションの設定を入力します。

表 6-3 アドレス/メッセージ フィールド制御 (基本設定)

機能	説明
[ユーザーによる編集が可能]	(ユーザーがサインインしていない場合) このプリンタから送信するすべての電子メールに **[デフォルトの差出人]** アドレスと **[デフォルト表示名]** を使用するには、**[ユーザーによる編集が可能]** チェック ボックスをオフにしてください。 アドレス フィールドを設定する際、**[ユーザーによる編集が可能]** チェック ボックスをオフにしておくと、電子メールの送信時、ユーザーによるプリンタのコントロール パネルでの該当フィールドの編集はできなくなります。自分あてに送信する機能では、**[差出人 :]**、**[宛先 :]**、**[CC:]**、および **[BCC:]** フィールドを含む、アドレス フィールドのすべての **[ユーザーによる編集が可能]** チェック ボックスをオフにし、そのユーザーの送信メールの **[差出人 :]** (自分の電子メール アドレス) および **[宛先 :]** (自分の電子メールアドレス) を設定します。
[デフォルトの差出人 :] と **[デフォルトの表示名 :]**	電子メール メッセージの **[差出人 :]** アドレスに使用する電子メール アドレスと名前を入力します。 注記 : プリンタの電子メール アカウントを作成し、このアドレスをデフォルトの電子メール アドレスとして使用します。 注記 : ユーザーがサインインしなければ電子メール機能を使用できないように設定します。これにより、ユーザーは自分のものでないアドレスから電子メールを送信できなくなります。
[件名 :]	電子メール メッセージのデフォルトの件名を入力します。
[メッセージ :]	カスタムのメッセージを作成します。プリンタから送信するすべての電子-メールにこのメッセージを使用するには、**[メッセージ :]** の **[ユーザーによる編集が可能]** チェック ボックスをオフにします。

表 6-4 アドレス/メッセージ フィールド制御 (詳細設定 - オプション)

機能	説明
[アドレス フィールドの制限]	ユーザーがアドレス帳から電子メール アドレスを選択する必要があるか、またはユーザーが手動で電子メール アドレスを入力できるかを指定します。 注意 : **[ユーザーによるアドレス帳からの選択が必要]** が選択されていて、アドレス フィールドのいずれかが **[ユーザーによる編集が可能]** に設定されている場合、編集が可能なフィールドを変更すると、アドレス帳の対応する値も変更されます。 ユーザーがプリンタのコントロール パネルでアドレス帳の連絡先を変更できないようにするには、**[セキュリティ]** タブの **[アクセス制御]** ページに進み、アドレス帳の変更を目的とした **[デバイス ゲスト]** アクセスを拒否します。
[無効な電子メール アドレス形式を許可]	無効な電子メール アドレス形式を許可する場合に選択します。
[宛先 :]	電子メールに宛先 (受信者) の電子メール アドレスを入力します。

表 6-4 アドレス/メッセージ フィールド制御 (詳細設定 - オプション) (続き)

機能	説明
[CC:]	電子メールに CC する電子メール アドレスを入力します。
[BCC:]	電子メールに BCC する電子メール アドレスを入力します。

5. [ファイル設定] 領域で、デフォルトのファイル設定を設定します。

表 6-5 ファイル設定 (基本設定)

機能	説明
[ファイル名]	保存するファイルのデフォルトのファイル名です。 プリンタのコントロール パネルでこの設定を編集可能にするには、**[ユーザーによる編集が可能]** チェック ボックスをオンにします。
[ファイル タイプ]	保存したファイルのファイル形式を選択します。 プリンタのコントロール パネルでこの設定を編集可能にするには、**[ユーザーによる編集が可能]** チェック ボックスをオンにします。
[解像度]	ファイルの解像度を設定します。解像度が高いほどインチあたりのドット数 (dpi) が多くなり、より詳細に表示されます。解像度が低いほどインチあたりのドット数が少なくなりイメージの詳細度は低下しますが、ファイル サイズが小さくなります。
[品質およびファイル サイズ]	ファイルの品質を選択します。高画質のイメージは低画質のイメージよりも大きなファイル サイズが必要になり、送信時間も長くなります。
[カラー/モノクロ]	カラー、黒とグレー、黒のみのいずれでコピーするかを指定します。

表 6-6 ファイル設定 (詳細設定 - オプション)

機能	説明
[ファイル名プレフィックス]	ネットワーク フォルダに保存したファイルに使用されているデフォルトのファイル名プレフィックスを設定します。
[ファイル名サフィックス]	ネットワーク フォルダに保存したファイルに使用されているデフォルトのファイル名サフィックスを設定します。 ファイル名が重複した場合のデフォルトのサフィックス [ファイル名]_YYYYMMDDT
[ファイル名プレビュー]	ファイル名を入力し、**[プレビューを更新]** ボタンをクリックします。
[ファイル番号のフォーマット]	ジョブが複数のファイルに分割されている場合にファイル名形式を選択します。
[ジョブが 1 つのファイルのみの場合、番号を追加 (例 : _1 – 1)]	複数のファイルではなく 1 つのファイルのみのジョブの場合、この設定を選択してファイル名に番号を追加します。
[高圧縮 (小さいファイル)]	スキャンしたファイルを圧縮してファイル サイズを小さくするには、この設定を選択します。ただし、高圧縮ファイルのスキャンの処理は、通常の圧縮ファイルの処理よりも時間がかかる場合があります。
[PDF 暗号化]	ファイル タイプが PDF の場合、出力 PDF ファイルを暗号化します。暗号化の一環としてパスワードを指定する必要があります。ファイルを開くには同じパスワードを使用する必要があります。パスワードを設定せずに実行すると、ジョブをスキャンする前にパスワードを入力するよう要求されます。

表 6-6 ファイル設定 (詳細設定 - オプション) (続き)

機能	説明
[空白ページの省略]	[空白ページの削除] オプションが有効な場合、空白ページは無視されます。
[複数のファイルの作成]	事前に設定した 1 ファイル当たりの最大ページ数に基づいて、ページを個別のファイルにスキャンするには、この設定を選択します。

6. [詳細設定] ボタンをクリックすると、次の設定が表示されます。
   - [署名と暗号化]
   - [通知] (ジョブ通知)
   - [スキャン設定]
7. [署名と暗号化] 領域で、署名と暗号化 設定を設定します。

表 6-7 署名と暗号化設定

機能	説明
[署名]	セキュリティ証明書を使用して電子メールに署名するかどうかを選択します。 プリンタのコントロール パネルでこの設定を編集可能にするには、[ユーザーによる編集が可能] チェック ボックスをオンにします。
[ハッシュ アルゴリズム]	証明書に署名するために使用するアルゴリズムを選択します。
[暗号化]	電子メールを暗号化するかどうかを選択します。 プリンタのコントロール パネルでこの設定を編集可能にするには、[ユーザーによる編集が可能] チェック ボックスをオンにします。
[暗号化アルゴリズム]	電子メールの暗号化に使用するアルゴリズムを選択します。
[受信者公開鍵の属性]	LDAP から受信者の公開鍵証明書を取得するためにどの属性を使用するかを入力します。
[受信者の公開鍵証明書を使用して受信者を確認します]	受信者の公開鍵証明書を使用して受信者を確認するには、この設定を選択します。

8. [通知] 領域で、送信された電子メールに関する通知をユーザーがいつ受信するかを選択します。デフォルト設定では、サインインしたユーザーの電子メール アドレスが使用されます。受信者の電子メールが空白の場合、通知は送信されません。
9. [スキャン設定] 領域で、デフォルトのスキャン設定を設定します。

表 6-8 スキャン設定

機能	説明
[原稿のサイズ]	原稿のサイズを選択します。
[原稿の面数]	原稿が片面か両面かを選択します。
[テキスト/画像の最適化]	特定のコンテンツ タイプの出力を最適化するために選択します。
[内容の向き]	原稿の内容をページ上に配置する方向を選択します。[縦] または [横]。
[背景のクリーンアップ]	背景からぼやけたイメージを削除したり、薄い背景色を削除したりする値を選択します。

表 6-8 スキャン設定 (続き)

機能	説明
[濃さ]	ファイルの濃さを調整する値を選択します。
[コントラスト]	ファイルのコントラストを調整する値を選択します。
[鮮明度]	ファイルの鮮明度を調整する値を選択します。
[画像プレビュー]	ジョブの表示されたプレビューを必須またはオプションにするかまたはプレビューを無効にする場合に選択します。
[トリミング オプション]	ジョブのトリミングを許可するかどうか、およびトリミング オプションのタイプを選択します。
[エッジの消去]	ジョブの表側および裏側で消去するエッジ マージンをインチまたはミリメートル単位で指定するためにこの設定を選択します。

10. 選択したオプションを確認して正確であることを確認し、**[適用]** をクリックしてセットアップを完了します。

手順 4：クイック セットの設定 (オプション)

クイック セットは、メインのホーム画面またはプリンタのクイック セット アプリケーション内でアクセスできるオプションのショートカット ジョブです。次の手順に従って、クイック セットを設定します。

1. 左側のナビゲーション ウィンドウの **[電子メール セットアップ]** 領域で、**[クイック セット]** をクリックします。
2. 以下のオプションから 1 つ選択してください。
   - 表のクイック セット アプリケーションで既存のクイック セットを選択します。

     -または-

   - **[追加]** をクリックし、[クイック セット] ウィザードを開始します。
3. **[追加]** を選択すると、**[クイック セット設定]** ページが開きます。次の情報を入力します。
   - **[クイック セット名]**: 新しいクイック セットのタイトルを入力します。
   - **[クイック セットの説明]**: クイック セットの説明を入力します。
   - **[クイック セット開始オプション]**: クイック セットの開始方法を設定するには、**[ユーザーは、アプリケーションに入って [スタート] を押します]** または **[ホーム画面での選択後、直ちに開始します]** のいずれかをクリックします。
4. クイック セットに[アドレス/メッセージ フィールド制御]、[署名と暗号化]、[通知]、[スキャン設定]、[ファイル設定] の各設定を定義します。
5. **[終了]** をクリックして、クイック セットを保存します。

手順 5：Office 365 Outlook を使用するための [電子メールへの送信] のセットアップ (オプション)

プリンタで、コントロール パネルから Office 365 Outlook アカウントを使用して電子メールを送信できるようにします。

はじめに

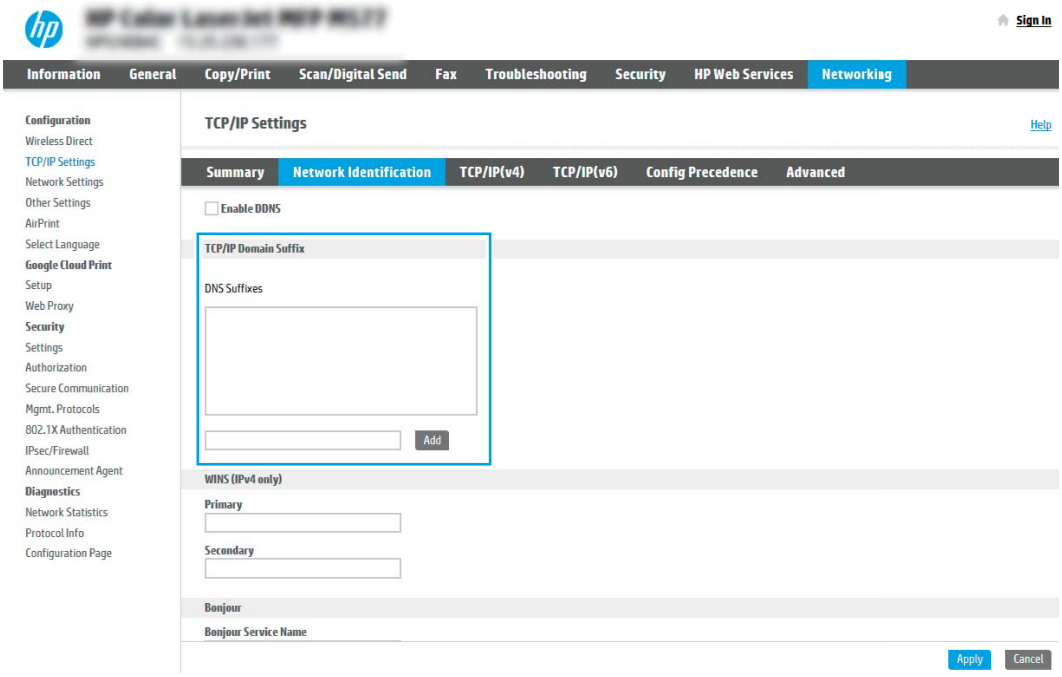
Microsoft Office 365 Outlook は、Microsoft が提供するクラウド ベースの電子メール システムで、Microsoft の SMTP (Simple mail transfer protocol) サーバを使用して電子メールの送受信を実行します。プリンタで、コントロール パネルから Office 365 Outlook アカウントを使用して電子メールを送信できるようにするには、次を実行します。

注記：EWS で設定を構成するには、Office 365 Outlook の電子メール アドレス アカウントを持っている必要があります。

Office 365 Outlook アカウントから電子メールを送信するための送信電子メール サーバ (SMTP) の設定

次の手順に従って、送信電子メール サーバを設定します。

1. EWS の最上部のナビゲーション タブを使用して、**[ネットワーク]** をクリックします。
2. 左側のナビゲーション ウィンドウで **[TCP/IP 設定]** をクリックします。
3. **[TCP/IP 設定]** 領域で、**[ネットワーク ID]** タブをクリックします。
4. ネットワークで DNS が必要な場合は、**[TCP/IP ドメイン サフィックス]** 領域で、使用する電子メール クライアントの DNS サフィックスが表示されていることを確認します。DNS サフィックスの形式は、*companyname.com*、*Gmail.com* などの形式になります。



注記：ドメイン名サフィックスがセットアップされていない場合は、IP アドレスを使用します。

5. **[適用]** をクリックします。
6. **[スキャン/デジタル送信]** タブをクリックします。
7. 左側のナビゲーション ウィンドウで、**[電子メール セットアップ]** をクリックします。
8. **[電子メール セットアップ]** ページで、スキャンして電子メールで送信を有効化 チェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスが使用できない場合、プリンタのコントロール パネルでこの機能を使用できません。

9. **[送信電子メール サーバ (SMTP)]** 領域で **[追加]** をクリックして、SMTP ウィザードを起動します。
10. **[SMTP サーバ アドレスまたはホスト名 (わかっている場合)]** フィールドで、「`smtp.onoffice.com`」と入力し、**[次へ]** をクリックします。
11. **[サーバに接続するために必要な基本情報を設定します]** ダイアログの、**[ポート番号]** フィールドに「`587`」と入力します。

> **注記：** 一部のサーバでは、5MB より大きい電子メールの送受信で問題が発生します。このような問題は、**[このサイズより大きい場合電子メールを分割 (MB 単位)]** に数字を入力することにより回避できます。

12. **[SMTP SSL プロトコルの有効化]** チェック ボックスをオンにして、**[次へ]** をクリックします。
13. **[サーバ認証要件]** ダイアログで、次の情報を入力します。
    a. **[サーバに認証が必要です]** を選択します。
    b. ドロップダウン リストで、**[常にこれらの認証情報を使用する]** を選択します。
    c. **[ユーザー名]** フィールドに Office 365 Outlook の電子メール アドレスを入力します。
    d. **[パスワード]** フィールドに Office 365 Outlook のアカウント パスワードを入力し、**[次へ]** をクリックします。
14. **[サーバ使用状況]** ダイアログで、この SMTP サーバ経由で電子メールを送信するプリンタ機能を選択し、**[次へ]** ボタンをクリックします。

15. **[概要およびテスト]** ダイアログで、**[テスト電子メールの宛先]** フィールドに有効な電子メール アドレスを入力し、**[テスト]** をクリックします。
16. すべての設定が正しいことを確認し、**終了** をクリックして、送信電子メール サーバのセットアップを完了します。

詳細については、 Microsoft のサポート ページを参照してください。

[スキャン データをネットワーク フォルダに送信] のセットアップ

[スキャン データをネットワーク フォルダに送信] をセットアップし、文書をスキャンしてネットワーク フォルダに直接保存します。

はじめに

このセクションは、スキャン データをネットワーク フォルダに送信機能を有効にして設定する方法について説明しています。このプリンタは、文書をスキャンして、そのデータをネットワーク フォルダに保存する機能を備えています。このスキャン機能を使用するには、プリンタをネットワークに接続する必要があります。この機能は設定されるまで利用できません。[スキャン データをネットワーク フォルダに送信] を設定するには、基本的なセットアップの **[[ネットワーク フォルダに保存] セットアップ ウィザード]** と高度なセットアップの **[[ネットワーク フォルダに保存] のセットアップ]** の 2 つの方法があります。

作業を開始する前に

スキャン データをネットワーク フォルダに送信する機能をセットアップする前に、次の項目が必要です。

注記 : スキャン データをネットワーク フォルダに送信する機能をセットアップするには、プリンタにアクティブなネットワーク接続が存在している必要があります。

管理者は、設定プロセスを開始する前に以下の項目が必要です。

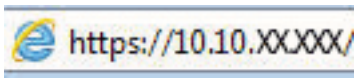
- プリンタへの管理者アクセス権。
- 宛先フォルダの完全修飾ドメイン名 (FQDN) (例 : \\servername.us.companyname.net\scans) またはサーバの IP アドレス (例 : \\16.88.20.20\scans)

注記 : このコンテキストで使用する「サーバ」という用語は共有フォルダが存在するコンピュータを指します。

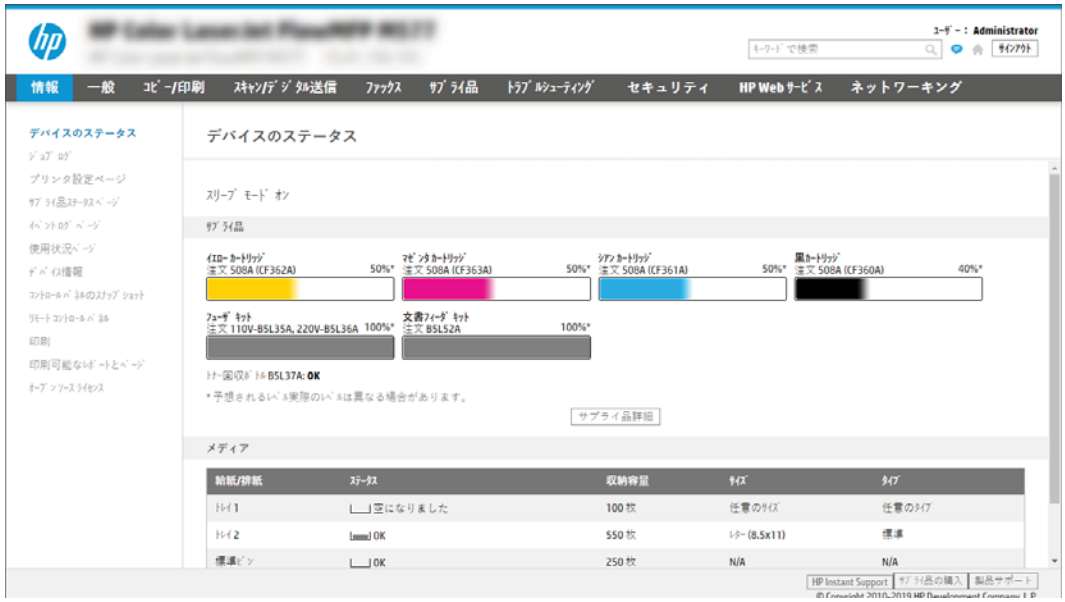
手順 1: HP 内蔵 Web サーバ (EWS) にアクセス

EWS を開き、セットアップ プロセスを開始します。

1. プリンタのコントロール パネルの [ホーム] 画面で、情報アイコンをタッチし、Ethernet アイコンをタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示させます。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロール パネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレス バーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの `Enter` キーを押します。EWS が開きます。



注記 : Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。


情報
一般
コピー/印刷
スキャン/デジタル送信
ファックス
サプライ品
トラブルシューティング
セキュリティ
HP Web サービス
ネットワーキング
デバイスのステータス
プリンタ設定ページ
使用状況ページ
印刷
デバイスのステータス
スリープ モード オン
サプライ品
注文 508A (CF362A) 50%*
注文 508A (CF363A) 50%*
注文 508A (CF361A) 50%*
注文 508A (CF360A) 40%*
注文 110V-B5L35A, 220V-B5L36A 100%*
注文 B5L52A 100%*
トナー回収ボトル B5L37A: OK
*予想されるレベル実際のレベルは異なる場合があります。
サプライ品詳細
メディア
給紙/排紙
ステータス
収納容量
サイズ
タイプ
トレイ 1
空になりました
100 枚
任意のサイズ
任意のタイプ
トレイ 2
OK
550 枚
レター (8.5x11)
標準
標準ビン
OK
250 枚
N/A
N/A
HP Instant Support
サプライ品の購入
製品サポート

手順 2: [スキャン データをネットワーク フォルダに送信] のセットアップ

次のいずれかの方法を使用して、[スキャン データをネットワーク フォルダに送信] をセットアップします。

方法 1: [スキャン データをネットワーク フォルダに送信ウィザード] の使用

[スキャン データをネットワーク フォルダに送信ウィザード] を使用して、[ネットワーク フォルダに保存] の基本的な設定を行います。

注記 : 作業を開始する前にプリンタの IP アドレスまたはホスト名を表示するには、プリンタのコントロール パネルで [情報] アイコン をタッチしてから、[ネットワーク] アイコン にタッチします。

1. EWS 上部のナビゲーション タブを使用して、**[スキャン/デジタル送信]** タブをクリックします。**[ネットワーク フォルダへのメール送信とスキャンのクイック設定ウィザード]** ダイアログが開きます。
2. 左側のナビゲーション ウィンドウで、**[ネットワーク フォルダへのメール送信とスキャンのクイック設定ウィザード]** をクリックします。
3. **[ネットワーク フォルダに保存クイックセットウィザード]** をクリックします。
4. **[ネットワーク フォルダに保存の追加または削除クイック セット]** ダイアログで、**[追加]** をクリックします。

   注記 : クイック セットは、プリンタのホーム画面またはクイック セット アプリケーション内でアクセスできるショートカット ジョブです。

   注記 : [ネットワーク フォルダに保存] 機能は、クイック セットを作成しなくても、最小限の設定が可能です。ただし、クイック セットを使用しない場合、ユーザーはコントロール パネルで各スキャン ジョブの宛先フォルダの情報を入力する必要があります。クイック セットには、[ネットワーク フォルダに保存] のメタデータを含める必要があります。

5. **[フォルダ クイック セットの追加]** ダイアログで、次の情報を入力します。
   a. **[クイック セット タイトル]** フィールドにタイトルを入力します。

      注記 : クイック セットにユーザーがすぐに理解できるような名前を付けます (例 : 「スキャンしてフォルダに保存」)。

   b. **[クイック セットの説明]** フィールドに、クイック セットが保存する内容の説明を追加します。
   c. **[次へ]** をクリックします。
6. **[宛先フォルダの設定]** ダイアログで、次の情報を入力します。
   a. **[UNC フォルダ パス]** フィールドに、スキャンが移動するフォルダ パスを入力します。

      フォルダ パスは、完全修飾ドメイン名 (FQDN) またはサーバの IP アドレスのどちらにもできます。FQDN または IP アドレスの後にフォルダ パス (例 : `\scans`) を続けます。

      FQDN の例 : `\\servername.us.companyname.net\scans`

      IP アドレスの例 : `\\16.88.20.20\scans`

注記：FQDN は IP アドレスより信頼性が高いです。サーバが DHCP を通じて IP アドレスを取得する場合、IP アドレスは変更可能です。ただし、プリンタで宛先サーバを見つけるために DNS を使用する必要がないため、IP アドレスでの接続のほうが高速である可能性があります。

b. **[認証設定]** ドロップダウンから、次のいずれかのオプションを選択します。

- **[コントロール パネルでサインイン後、ユーザー認証情報を使用して接続する]**
- **[常にこれらの認証情報を使用する]**

注記：**[常にこれらの認証情報を使用する]** が選択されている場合、対応するフィールドにユーザー名とパスワードを入力し、**[アクセスの確認]** をクリックして、フォルダへのプリンタのアイコンを確認する必要があります。

c. **[Windows ドメイン]** フィールドに Windows ドメインを入力します。

ヒント：Windows 7 で Windows ドメインを見つけるには、**[スタート]**、**[コントロール パネル]**、**[システム]** の順にクリックします。

Windows 8 で Windows ドメインを見つけるには、**[検索]** をクリックし、検索ボックスに「**システム**」と入力し、**[システム]** をクリックします。

ドメインが **[コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定]** の下に一覧表示されます。

d. **[次へ]** をクリックします。

7. **[ファイル スキャン設定を設定]** ダイアログで、クイック セットのデフォルトのスキャン設定を設定し、**[次へ]** をクリックします。
8. **[サマリ]** ダイアログを確認し、**[終了]** をクリックします。

方法 2: [スキャン データをネットワーク フォルダに送信セットアップ] の使用

このオプションでは、プリンタ用の HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を使用することにより、[ネットワーク フォルダに保存] 機能の高度な設定が可能です。

注記 : 作業を開始する前に : プリンタの IP アドレスまたはホスト名を表示するには、情報アイコン をタッチし、次にプリンタのコントロール パネルのネットワーク アイコン をタッチします。

手順 1: 設定の開始

[スキャン データをネットワーク フォルダに送信] のセットアップを開始するには、次の手順を実行します。

1. **[スキャン/デジタル送信]** タブをクリックします。
2. 左側のナビゲーション ウィンドウで、**[スキャン データをネットワーク フォルダに送信セットアップ]** をクリックします。

手順 2: スキャン データをネットワーク フォルダに送信する設定の構成

次の手順に従って、[スキャン データをネットワーク フォルダに送信] の設定を完了します。

手順 1: 設定の開始

設定を開始するには、次の手順を実行します。

1. **[[スキャン データをネットワーク フォルダに送信] のセットアップ]** ページで、スキャンデータをネットワーク フォルダに送信を有効化 チェック　ボックスを選択します。このボックスがオフになっていると、プリンタのコントロール パネルでこの機能を使用できません。
2. 左側のナビゲーション ウィンドウの [スキャン データをネットワーク フォルダに送信] 領域で、**[クイック セット]** をクリックします。**[クイック セット設定]** ダイアログを開くには、**[追加]** をクリックします。

注記 : クイック セットは、プリンタのホーム画面またはクイック セット アプリケーション内でアクセスできるショートカット ジョブです。

注記 : スキャン データをネットワーク フォルダに送信する機能は、クイック セットを作成しなくても、最小限の設定を行うことができます。ただし、クイック セットを使用しない場合、ユーザーはコントロール パネルで各スキャン ジョブの宛先フォルダの情報を入力する必要があります。クイック セットには、[スキャン データをネットワーク フォルダに送信] のメタデータを含める必要があります。

[クイック セット設定] ですべての設定を指定し、[スキャン データをネットワーク フォルダに送信] 機能を完全に設定します。

ダイアログ 1: コントロール パネルでクイック セット名、説明、およびとユーザー操作のためのオプションを設定します。

プリンタのコントロール パネルを使用して、ユーザー操作のためのクイック セットの詳細を設定します。

[コントロール パネルでクイック セットとユーザー操作のためのオプションのボタンの場所を設定します] ダイアログを使用して、**[クイック セット]** ボタンがプリンタのコントロール パネルのどこに表示されるかを設定し、プリンタのコントロール パネルでのユーザー操作のレベルを設定します。

1. **[クイック セット名]** フィールドにタイトルを入力します。

注記 : クイック セットにユーザーがすぐに理解できるような名前を付けます (例 : 「スキャンしてフォルダに保存」)。

2. **[クイック セットの説明]** フィールドに、クイック セットが保存する内容の説明を追加します。
3. **[クイック セット開始オプション]** リストから、次のいずれかのオプションを選択します。
   - オプション 1 : **[ユーザーは、アプリケーションに入って [スタート] を押します]**。
   - オプション 2: **[選択後、直ちに開始します]**。

     以下のプロンプトから 1 つ選択してください。

     - **[原稿側のプロンプト]**
     - **[追加ページのプロンプト]**
     - **[プレビューが必要]**

注記 : **[選択後、直ちに開始します]** が選択されている場合は、次の手順で宛先フォルダを入力する必要があります。

4. **[次へ]** をクリックします。

ダイアログ 2: フォルダ設定

[ファイル設定] ダイアログを使用して、スキャンした文書を送信するフォルダのタイプおよびフォルダのアクセス権を設定します。

宛先フォルダは次の 2 つのタイプから選択できます。

- 共有フォルダまたは FTP フォルダ
- 個人用共有フォルダ

フォルダのアクセス権は次の 2 つのタイプから選択できます。

- 読み取り/書き込みアクセス権
- 書き込みアクセス権のみ

スキャンした文書の宛先フォルダの設定

宛先フォルダを設定するには、次のオプションのいずれかを選択します。

オプション 1: プリンタを設定して共有フォルダまたは FTP フォルダに保存

スキャンした文書を標準共有フォルダまたは FTP フォルダに保存するには、以下の手順を実行します。

1. まだ選択されていない場合は、**[共有フォルダまたは FTP フォルダに保存]** を選択します。
2. **[追加...]** をクリックします。**[ネットワーク フォルダ パスの追加]** ダイアログが開きます。
3. **[ネットワーク フォルダ パスの追加]** ダイアログで、次のいずれかのオプションを選択します。
   - オプション 1 : **[標準共有ネットワーク フォルダに保存]**。

1. まだ選択されていない場合は、**[標準共有ネットワーク フォルダに保存]** を選択します。
2. **[UNC フォルダ パス]** フィールドにフォルダ パスを入力します。

   フォルダ パスは、完全修飾ドメイン名 (FQDN) またはサーバの IP アドレスのどちらにもできます。FQDN または IP アドレスの後にフォルダ パス (例 : `\scans`) を続けます。

   FQDN の例 : `\\servername.us.companyname.net\scans`

   IP アドレスの例 : `\\16.88.20.20\scans`

   注記 : FQDN は IP アドレスより信頼性が高いです。サーバが DHCP を通じて IP アドレスを取得する場合、IP アドレスは変更可能です。ただし、プリンタで宛先サーバを見つけるために DNS を使用する必要がないため、IP アドレスでの接続のほうが高速である可能性があります。

3. 宛先フォルダにスキャンした文書のサブフォルダを自動的に作成するには、**[カスタム サブフォルダ]** リストからサブフォルダ名の形式を選択します。

   サブフォルダへのアクセスをスキャン ジョブを作成したユーザーに限定するには、**[サブフォルダへのアクセスをユーザーに限定]** を選択します。

4. スキャンした文書の完全なフォルダ パスを表示するには、**[プレビューを更新]** をクリックします。
5. **[認証設定]** リストから、次のいずれかのオプションを選択します。
    - **[コントロール パネルでサインイン後、ユーザー認証情報を使用して接続する]**
    - **[常にこれらの認証情報を使用する]**

    注記 : **[常にこれらの認証情報を使用する]** が選択されている場合、対応するフィールドにユーザー名とパスワードを入力する必要があります。
6. **[Windows ドメイン]** フィールドに Windows ドメインを入力します。

    注記 : Windows 7 で Windows ドメインを見つけるには、**[スタート]**、**[コントロール パネル]**、**[システム]** の順にクリックします。

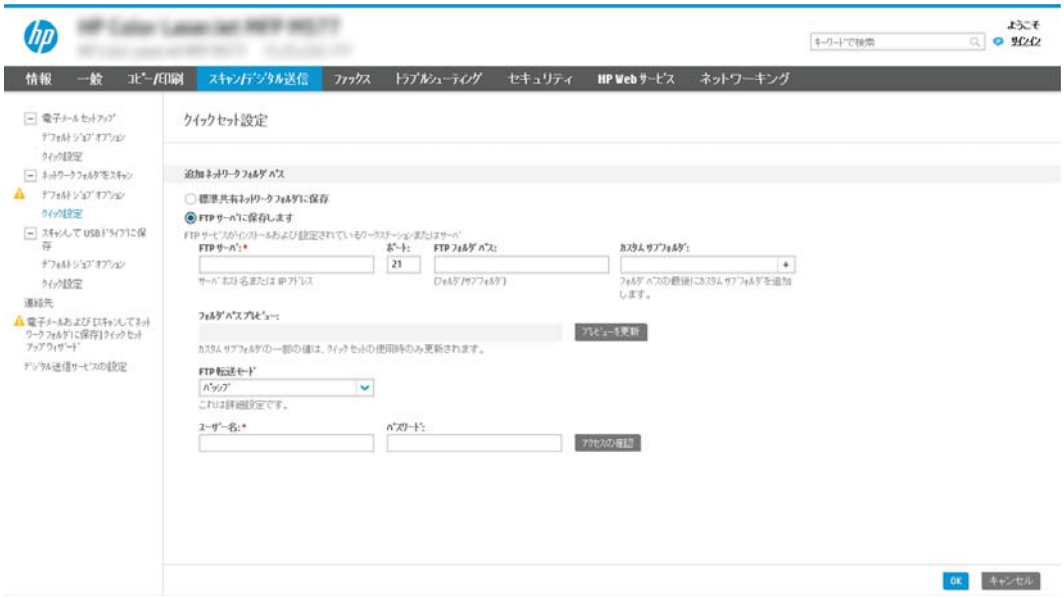
    Windows 8 で Windows ドメインを見つけるには、**[検索]** をクリックし、検索ボックスに「**システム**」と入力し、**[システム]** をクリックします。

    ドメインが **[コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定]** の下に一覧表示されます。

    注記 : すべてのユーザーがアクセスできるように共有フォルダが設定されている場合、ワークグループ名 (デフォルトは「Workgroup」 です)、ユーザー名、およびパスワードの値を対応するフィールドに入力する必要があります。ただし、フォルダが公開フォルダでなく特定のユーザーのフォルダ内に存在する場合、そのユーザーのユーザー名とパスワードを使用する必要があります。

    注記 : コンピュータ名の代わりに、IP アドレスが必要になる場合があります。多くのホーム ルーターではコンピュータ名を処理できることが少なく、ドメイン ネーム サーバー (DNS) もありません。この場合、新しい IP アドレスを割り当てる DHCP の問題を軽減するため、共有 PC に静的 IP アドレスを設定することをお勧めします。通常のホーム ルーターでこの設定を行うには、同じサブネット上にあるが DHCP アドレス範囲内にない静的 IP アドレスを設定します。
7. **[OK]** をクリックします。

- オプション 2: **FTP サーバに保存**。



注記：FTP サイトがファイアウォールの外にある場合は、必ずネットワーク設定でプロキシ サーバを指定してください。これらの設定は、**[内蔵 Web サーバの [ネットワーキング]]** タブの **[詳細設定]** オプションにあります。

1. **[FTP サーバに保存]** を選択します。
2. **[FTP サーバ]** フィールドに FTP サーバ名または IP アドレスを入力します。
3. **[ポート]** フィールドにポート番号を入力します。

   注記：ほとんどの場合、デフォルトのポート番号を変更する必要はありません。

4. 宛先フォルダにスキャンした文書のサブフォルダを自動的に作成するには、**[カスタム サブフォルダ]** リストからサブフォルダ名の形式を選択します。
5. スキャンした文書の完全なフォルダ パスを表示するには、**[プレビューを更新]** をクリックします。
6. **[FTP 転送モード]** リストから、次のいずれかのオプションを選択します。
   - **[パッシブ]**
   - **[アクティブ]**
7. **[ユーザー名]** フィールドに、ユーザー名を入力します。
8. **[パスワード]** フィールドに、パスワードを入力します。
9. **[アクセスの確認]** をクリックして、宛先にアクセスできることを確認します。
10. **[OK]** をクリックします。

オプション 2: プリンタを設定して個人用共有フォルダに保存

スキャンした文書を個人用共有フォルダに保存するには、以下の手順を実行します。

注記：このオプションは、管理者が各ユーザーの共有フォルダを設定するドメイン環境で使用します。個人用共有フォルダに保存する機能が設定されている場合、ユーザーは Windows 認証情報 または LDAP 認証を使用して、プリンタのコントロール パネルでサインインするように要求されます。

1. **[個人用共有フォルダに保存]** を選択します。
2. **[この属性を使用してデバイス ユーザーの名前を取得]** フィールドに、Microsoft Active Directory でのユーザーのホーム フォルダを入力します。

   注記：ユーザーがこのホーム フォルダのネットワーク上の場所を把握していることを確認します。

3. フォルダ パスの末尾にユーザー名サブフォルダを追加するには、**[ユーザー名に基づいてサブフォルダを作成]** を選択します。

   サブフォルダへのアクセスをスキャン ジョブを作成したユーザーに限定するには、**[サブフォルダへのアクセスをユーザーに限定]** を選択します。

宛先フォルダのアクセス権の選択

宛先フォルダのアクセス権を設定するには、次のオプションのいずれかを選択します。

オプション 1: 読み取り/書き込みアクセス権の設定

スキャンした文書を読み取り/書き込みアクセス権が設定されたフォルダに送信するには、次の手順を実行します。

注記 : **[読み取り/書き込みアクセス権を持つフォルダにのみ送信]** は、フォルダの検証とジョブ通知をサポートします。

1. まだ選択されていない場合は、**[読み取り/書き込みアクセス権を持つフォルダにのみ送信]** を選択します。
2. スキャン ジョブを開始する前に、プリンタでフォルダ アクセスの確認を行う必要がある場合は、**[ジョブ開始前のフォルダ アクセスの確認]** を選択します。

   注記 : **[ジョブ開始前のフォルダ アクセスの確認]** が選択されていないほうが、スキャン ジョブは迅速に完了できます。ただし、フォルダが利用できない場合は、スキャン ジョブが失敗します。

3. **[次へ]** をクリックします。

オプション 2: 書き込みアクセス権のみを設定する

スキャンした文書を書き込みのアクセス許可のみがあるフォルダに送信するには、以下の手順を実行します。

注記 : **[書き込みアクセス権のみを持つフォルダへの送信を許可]** は、フォルダの検証とジョブ通知をサポートしません。

注記 : このオプションがオンになっていると、プリンタでスキャン ファイル名のインクリメントは実行されません。すべてのスキャンに同じファイル名を送信します。

スキャン ファイル名の時刻関連のファイル名プレフィックスまたはサフィックスを選択し、各スキャンが一意のファイルとして保存され、前のファイルを上書きしないようにします。このファイル名は、クイック セット ウィザードの **[ファイル設定]** ダイアログの情報によって指定されます。

1. **[書き込みのアクセス許可のみがあるフォルダへの送信を許可する]** を選択します。
2. **[次へ]** をクリックします。

ダイアログ 3: 通知設定

[通知設定] ダイアログを使用して、通知を送信するときの設定を行います。

▲ **[通知設定]** ダイアログで、次のいずれかのタスクを完了します。

- オプション 1 : **[通知しない]**。
  1. **[通知しない]** を選択します。
  2. ユーザーが通知設定を確認するように求めるには、**[ジョブを開始する前にユーザーに通知]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
- オプション 2 : **[ジョブの完了時に通知する]**。

1. **[ジョブの完了時に通知する]** を選択します。
2. **[通知の送信に使用する方法]** リストから通知を送信する方法を選択します。

   選択されている通知方法が **[電子メール]** である場合、**[通知電子メール アドレス]** フィールドに電子メール アドレスを入力します。
3. 通知に最初にスキャンしたページのサムネイル画像を含めるには、**[サムネイルを含める]** を選択します。
4. ユーザーが通知設定を確認するように求めるには、**[ジョブを開始する前にユーザーに通知]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。

- オプション 3: **[ジョブの失敗時にのみ通知する]**。

1. **[ジョブの失敗時にのみ通知する]** を選択します。
2. **[通知の送信に使用する方法]** リストから通知を送信する方法を選択します。

   選択されている通知方法が **[電子メール]** である場合、**[通知電子メール アドレス]** フィールドに電子メール アドレスを入力します。
3. 通知に最初にスキャンしたページのサムネイル画像を含めるには、**[サムネイルを含める]** を選択します。
4. ユーザーが通知設定を確認するように求めるには、**[ジョブを開始する前にユーザーに通知]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。

ダイアログ 4: Scan Settings (スキャンの設定)

次の手順に従って、スキャン設定を完了します。

[スキャン設定] ダイアログで、クイック セットのデフォルトのスキャン設定を設定し、**[次へ]** をクリックします。

表 6-9 スキャン設定

機能	説明
[原稿のサイズ]	原稿のサイズを選択します。
[原稿の面数]	原稿が片面か両面かを選択します。
[テキスト/画像の最適化]	特定のコンテンツ タイプの出力を最適化するために選択します。
[内容の向き]	原稿の内容をページ上に配置する方向を選択します。**[縦]** または **[横]**。
[背景のクリーンアップ]	背景からぼやけたイメージを削除したり、薄い背景色を削除したりする値を選択します。
[濃さ]	ファイルの濃さを調整する値を選択します。
[コントラスト]	ファイルのコントラストを調整する値を選択します。
[鮮明度]	ファイルの鮮明度を調整する値を選択します。
[画像プレビュー]	ジョブの表示されたプレビューを必須またはオプションにするかまたはプレビューを無効にする場合に選択します。

表 6-9 スキャン設定 (続き)

機能	説明
[トリミング オプション]	ジョブのトリミングを許可するかどうか、およびトリミング オプションのタイプを選択します。
[エッジの消去]	ジョブの表側および裏側で消去するエッジ マージンをインチまたはミリメートル単位で指定するためにこの設定を選択します。

ダイアログ 5: File Settings (ファイル設定)

次の手順に従って、ファイル設定を完了します。

[ファイル設定] ダイアログで、クイック セットのデフォルトのファイル設定を設定し、**[次へ]** をクリックします。

表 6-10 ファイル設定

機能	説明
[ファイル名プレフィックス]	ネットワーク フォルダに保存したファイルに使用されているデフォルトのファイル名プレフィックスを設定します。
[ファイル名]	保存するファイルのデフォルトのファイル名です。 プリンタのコントロール パネルでこの設定を編集可能にするには、**[ユーザーによる編集が可能]** チェック ボックスをオンにします。
[ファイル名サフィックス]	ネットワーク フォルダに保存したファイルに使用されているデフォルトのファイル名サフィックスを設定します。
[ファイル名プレビュー]	ファイル名を入力し、**[プレビューを更新]** ボタンをクリックします。
[ファイル番号のフォーマット]	ジョブが複数のファイルに分割されている場合にファイル名形式を選択します。
[ジョブが 1 つのファイルのみの場合、番号を追加 (例 : _1 – 1)]	複数のファイルではなく 1 つのファイルのみのジョブの場合、この設定を選択してファイル名に番号を追加します。
[ファイル タイプ]	保存したファイルのファイル形式を選択します。 プリンタのコントロール パネルでこの設定を編集可能にするには、**[ユーザーによる編集が可能]** チェック ボックスをオンにします。
[高圧縮 (小さいファイル)]	スキャンしたファイルを圧縮してファイル サイズを小さくするには、この設定を選択します。ただし、高圧縮ファイルのスキャンの処理は、通常の圧縮ファイルの処理よりも時間がかかる場合があります。
[PDF 暗号化]	ファイル タイプが PDF の場合、出力 PDF ファイルを暗号化します。暗号化の一環としてパスワードを指定する必要があります。ファイルを開くには同じパスワードを使用する必要があります。スキャンの開始前にパスワードを設定せずに実行すると、ジョブをスキャンする前にパスワードを入力するよう要求されます。
[解像度]	ファイルの解像度を設定します。解像度が高いほどインチあたりのドット数 (dpi) が多くなり、より詳細に表示されます。解像度が低いほどインチあたりのドット数が少なくなりイメージの詳細度は低下しますが、ファイル サイズが小さくなります。
[品質およびファイル サイズ]	ファイルの品質を選択します。高画質のイメージは低画質のイメージよりも大きなファイル サイズが必要になり、送信時間も長くなります。
[カラー/モノクロ]	カラー、黒とグレー、黒のみのいずれでコピーするかを指定します。

表 6-10 ファイル設定 (続き)

機能	説明
[空白ページの省略]	[空白ページの削除] オプションが有効な場合、空白ページは無視されます。
[メタデータ ファイル フォーマット]	ドロップダウン リストを使用して、メタデータ情報のファイル形式を選択します。
[複数のファイルの作成]	事前に設定した 1 ファイル当たりの最大ページ数に基づいて、ページを個別のファイルにスキャンするには、この設定を選択します。

ダイアログ 6: サマリ

[概要] ダイアログで、[概要] ダイアログを確認し、[終了] をクリックします。

手順 3 : 設定の完了

次の手順に従って、[スキャン データをネットワーク フォルダに送信] のセットアップを完了します。

1. 左側のナビゲーション ウィンドウで、[スキャン データをネットワーク フォルダに送信] をクリックします。
2. スキャン データをネットワーク フォルダに送信 ページで、選択されている設定を確認し、[適用] をクリックしてセットアップを完了します。

[スキャンして SharePoint に保存] のセットアップ

[スキャンして SharePoint に保存] を使用して、文書をスキャンして直接 Microsoft SharePoint サイトに送ります。この機能により、文書をネットワーク フォルダ、USB フラッシュ ドライブ、または電子メール メッセージにスキャンして、ファイルを手動で SharePoint サイトにアップロードする手間がかかりません。

はじめに

[スキャンして SharePoint に保存] 機能を設定し、文書をスキャンして直接 SharePoint サイトに送ります。

[スキャンして SharePoint に保存] は、文書をイメージとしてスキャンする機能や、OCR 機能を使ってテキスト ファイルまたはサーチャブル PDF を作成する機能など、すべてのスキャン オプションをサポートします。

この機能は、デフォルトで無効です。HP 内蔵 Web サーバ (EWS) で **[SharePoint に保存]** を有効にします。

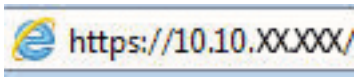
作業を開始する前に

この手順を完了する前に、スキャン ファイルが保存される宛先フォルダが SharePoint サイトに存在し、宛先フォルダに書き込みのアクセス許可を有効にする必要があります。[スキャンして SharePoint に保存] はデフォルトでは無効になっています。

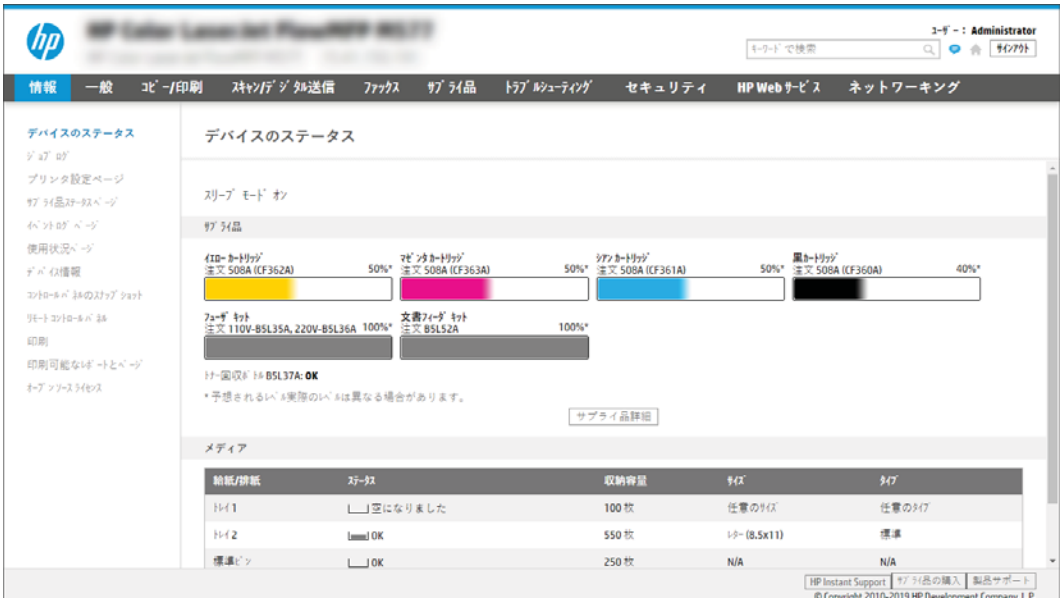
手順 1: HP 内蔵 Web サーバ (EWS) にアクセス

EWS を開き、セットアップ プロセスを開始します。

1. プリンタのコントロール パネルの [ホーム] 画面で、情報アイコンをタッチし、Ethernet アイコンをタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示させます。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロール パネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレス バーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの `Enter` キーを押します。EWS が開きます。



注記: Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。



手順 2: [スキャンして SharePoint に保存] の有効化および [スキャンして SharePoint に保存] クイック セットの作成

[スキャンして SharePoint に保存] 機能を有効にして [スキャンして SharePoint に保存] クイック セットを作成するには、次の手順を実行します。

1. 上部ナビゲーション タブを使用して、**[スキャン/デジタル送信]** をクリックします。
2. 左側のナビゲーション ウィンドウで、**[スキャンして SharePoint® に保存]** をクリックします。

> 注記：クイック セットは、プリンタのホーム画面または **[クイック セット]** アプリケーション内でアクセスできるショートカット ジョブです。

3. **[[スキャンして SharePoint® に保存] の有効化]** を選択し、**[適用]** をクリックします。
4. 左側のナビゲーション ウィンドウの [スキャンして SharePoint に保存] 領域で、**[クイック セット]** をクリックします。**[追加]** をクリックし、[クイック セット ウィザード] を起動します。
5. **[クイック セット名]** (「Sharepoint にスキャン」 など) と **[クイック セットの説明]** を入力します。
6. **[クイック セット開始オプション]** を選択して、プリンタのコントロール パネルでクイック セットを選択した後の動作を決定し、**[次へ]** をクリックします。
7. SharePoint フォルダへのパスを追加するには、次の手順を実行します。
   a. **[SharePoint の宛先設定]** ページで **[追加]** をクリックし、**[SharePoint パスの追加]** ページを開きます。
   b. 別のブラウザ ウィンドウを開き、使用する SharePoint フォルダに移動して、ブラウザ ウィンドウから SharePoint フォルダのフォルダ パスをコピーします。
   c. SharePoint フォルダのパスを **[SharePoint パス：]** フィールドにペーストします。
   d. デフォルトでは、新しいファイルと同じファイル名の既存のファイルは上書きされます。**[既存のファイルを上書きします]** をオフにすると、既存のファイルと同じ名前の新しいファイルには、更新された日時のタイムスタンプが付きます。

e. **[認証設定]** ドロップダウン メニューからオプションを選択します。認証情報を使用して SharePoint サイトにサインインする必要がある、またはクイック セット内に認証情報を保存するのいずれかを選択します。

注記：**[認証設定]** ドロップダウン メニューで **[コントロール パネルでサインイン後、ユーザー認証情報を使用して接続する]** を選択した場合、ログインするユーザーは指定された SharePoint サイトへの書き込みアクセス権を持っている必要があります。

注記：セキュリティ上の理由により、クイック セット ウィザードに入力された認証情報はプリンタに表示されません。

f. **[OK]** をクリックして SharePoint パスのセットアップを完了し、[SharePoint の宛先設定] ページに戻ります。

8. **[ジョブの開始前にフォルダ アクセスを確認]** を選択し、クイック セットを使用するたびに宛先フォルダにアクセスできるように、SharePoint フォルダが指定されていることを確認します。このオプションが選択されていない場合は、ジョブを SharePoint フォルダにより高速に保存できます。ただし、このオプションが選択されておらず、さらに SharePoint フォルダにアクセスできない場合はジョブが失敗します。

9. **[次へ]** をクリックします。

10. [通知設定] ページで **[通知条件：]** を設定します。この設定ではクイックセットを構成し、ジョブが正常に完了した、または失敗した際に通知しないようにするか、電子メール メッセージを送信したり概要ページを印刷するようにします。**[通知条件]** ドロップダウン メニューから、次のいずれかのオプションを選択します。

    - ジョブが正常に完了した場合または失敗した場合に、クイック セットで通知処理を実行しないようにするには、**[通知しない]** を選択します。
    - ジョブが正常に完了した場合にクイック セットで通知を送信するようにするには、**[ジョブが完了した場合に通知]** を選択します。
    - ジョブが失敗した場合にのみクイック セットで通知を送信するようにするには、**[ジョブが失敗した場合にのみ通知]** を選択します。

    [ジョブが完了した場合に通知] または **[ジョブが失敗した場合にのみ通知]** のどちらかを選択するには、**[通知の配信方法：]** を設定する必要があります。以下のオプションのどれかを選択します。

    - **[電子メール]**: 選択した通知条件が発生した場合は、このオプションを使用して電子メールを送信します。このオプションでは、**[通知電子メール アドレス：]** フィールドに有効な電子メール アドレスが指定されている必要があります。

    注記：電子メール通知機能を使用するには、最初にプリンタで電子メール機能を設定します。

    - **[印刷]**：選択した通知条件が発生した場合は、このオプションを使用して通知を印刷します。

    注記：いずれかの通知オプションに、ジョブのスキャン ページの最初のページのサムネイル画像を含めるには、**[サムネイルを含める]** を選択します。

11. **[次へ]** をクリックします。

12. スキャン設定 ページでオプションを選択し、**[次へ]** をクリックします。詳細については、「149 ページの表 6-12 「[スキャンして SharePoint に保存] のスキャン設定」」 を参照してください。

13. **[ファイル設定]** ページでオプションを選択し、**[次へ]** をクリックします。詳細については、「150 ページの表 6-13 「[スキャンして SharePoint に保存] のファイル設定」」 を参照してください。

14. 設定の概要を確認します。**[終了]** をクリックしてクイック セットを保存するか、**[前へ]** をクリックして設定を編集します。

ファイルをスキャンして SharePoint サイトに直接保存する

文書をスキャンして SharePoint サイトに直接保存するには、以下の手順を実行します。

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。

2. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、スキャン アプリケーションに移動し、次に [スキャン] アイコンを選択し、[スキャンして SharePoint® に保存] を選択します。

> **注記：** この機能を使用するには、サインインが必要な場合があります。

3. クイック セット の下の 選択 をタッチし、クイック セットを選択して ロード を選択します。

4. ファイル名： テキスト フィールドをタッチしてキーボードを開きます。画面上のキーボードまたは物理的なキーボードのどちらかを使用してファイル名を入力し、[決定] ボタン ↵ をタッチします。

5. [オプション] をタッチしてドキュメントの設定を表示し、設定します。

6. 文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー画面で、画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。

表 6-11 プレビュー ペインの右側にあるボタン

ボタン	説明
	1 ページ表示とサムネイル表示を切り替えるには、これらのボタンを使用します。サムネイル表示では、1 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。
	選択したページをズームインまたはズームアウトするには、これらのボタンを使用します。 **注記：** これらのボタンを使用するときは、一度に 1 つのページのみを選択します。

表 6-11 プレビュー ペインの右側にあるボタン (続き)

ボタン	説明
	ページを 180 度回転するには、このボタンを使用します。 注記：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	選択したページを削除するには、このボタンを使用します。 注記：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
 	文書内のページの順序を変更するには、これらのボタンを使用します。1 つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。 注記：これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	文書にページを追加するには、このボタンを使用します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。
	プレビューで加えた変更をクリアして最初からやり直すには、このボタンを使用します。
	プレビュー画面を折りたたみ、コピー画面に戻るには、このボタンをタッチします。

7. 文書の準備が整ったら、[送信] を選択して SharePoint の場所にファイルを保存します。

クイック セットのスキャン設定および [スキャンして SharePoint に保存] のオプション

[スキャンして SharePoint に保存] のクイック セットを追加、編集、またはコピーする場合に、[クイック セット ウィザード] で利用可能な設定とオプションについて確認します。

表 6-12 [スキャンして SharePoint に保存] のスキャン設定

機能	説明
[原稿のサイズ]	原稿のサイズを選択します。
[原稿の面数]	原稿が片面か両面かを選択します。
[テキスト/画像の最適化]	特定のコンテンツ タイプの出力を最適化するために選択します。
[内容の向き]	原稿の内容をページ上に配置する方向を選択します。**[縦]** または **[横]**。
[背景のクリーンアップ]	背景からぼやけたイメージを削除したり、薄い背景色を削除したりする値を選択します。
[濃さ]	ファイルの濃さを調整する値を選択します。
[コントラスト]	ファイルのコントラストを調整する値を選択します。

表 6-12 [スキャンして SharePoint に保存] のスキャン設定 (続き)

機能	説明
[鮮明度]	ファイルの鮮明度を調整する値を選択します。
[画像プレビュー]	ジョブの表示されたプレビューを必須またはオプションにするかまたはプレビューを無効にする場合に選択します。
[トリミング オプション]	ジョブのトリミングを許可するかどうか、およびトリミング オプションのタイプを選択します。
[エッジの消去]	ジョブの表側および裏側で消去するエッジ マージンをインチまたはミリメートル単位で指定するためにこの設定を選択します。

表 6-13 [スキャンして SharePoint に保存] のファイル設定

機能	説明
[ファイル名プレフィックス]	保存するファイルに使用するデフォルトのファイル名プレフィックスを設定します。
[ファイル名]	保存するファイルのデフォルトのファイル名です。 プリンタのコントロール パネルでこの設定を編集可能にするには、**[ユーザーによる編集が可能]** チェック ボックスをオンにします。
[ファイル名サフィックス]	保存するファイルに使用するデフォルトのファイル名サフィックスを設定します。 ファイル名が重複した場合のデフォルトのサフィックス [ファイル名]_YYYYMMDDT
[ファイル名プレビュー]	ファイル名を入力し、**[プレビューを更新]** ボタンをクリックします。
[ファイル番号のフォーマット]	ジョブが複数のファイルに分割されている場合にファイル名形式を選択します。
[ジョブが 1 つのファイルのみの場合、番号を追加 (例 : _1 – 1)]	複数のファイルではなく 1 つのファイルのみのジョブの場合、この設定を選択してファイル名に番号を追加します。
[ファイル タイプ]	保存したファイルのファイル形式を選択します。 プリンタのコントロール パネルでこの設定を編集可能にするには、**[ユーザーによる編集が可能]** チェック ボックスをオンにします。
[高圧縮 (小さいファイル)]	スキャンしたファイルを圧縮してファイル サイズを小さくするには、この設定を選択します。ただし、高圧縮ファイルのスキャンの処理は、通常の圧縮ファイルの処理よりも時間がかかる場合があります。
[PDF 暗号化]	ファイル タイプが PDF の場合、出力 PDF ファイルを暗号化します。暗号化の一環としてパスワードを指定する必要があります。ファイルを開くには同じパスワードを使用する必要があります。スキャンの開始前にパスワードを設定せずに実行すると、ジョブをスキャンする前にパスワードを入力するよう要求されます。
[解像度]	ファイルの解像度を設定します。解像度が高いほどインチあたりのドット数 (dpi) が多くなり、より詳細に表示されます。解像度が低いほどインチあたりのドット数が少なくなりイメージの詳細度は低下しますが、ファイル サイズが小さくなります。
[品質およびファイル サイズ]	ファイルの品質を選択します。高画質のイメージは低画質のイメージよりも大きなファイル サイズが必要になり、送信時間も長くなります。
[カラー/モノクロ]	カラー、黒とグレー、黒のみのいずれでコピーするかを指定します。

表 6-13 [スキャンして SharePoint に保存] のファイル設定 (続き)

機能	説明
[空白ページの省略]	[空白ページの削除] オプションが有効な場合、空白ページは無視されます。
[複数のファイルの作成]	事前に設定した 1 ファイル当たりの最大ページ数に基づいて、ページを個別のファイルにスキャンするには、この設定を選択します。

[スキャンして USB ドライブに保存] のセットアップ

[スキャンして USB ドライブに保存] 機能を有効にすると、文書をスキャンして直接 USB フラッシュ ドライブに保存できます。

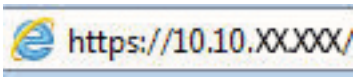
はじめに

このプリンタは、文書をスキャンして、そのデータを USB フラッシュ ドライブに保存する機能を備えています。HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を通じて設定するまで、この機能は使用できません。

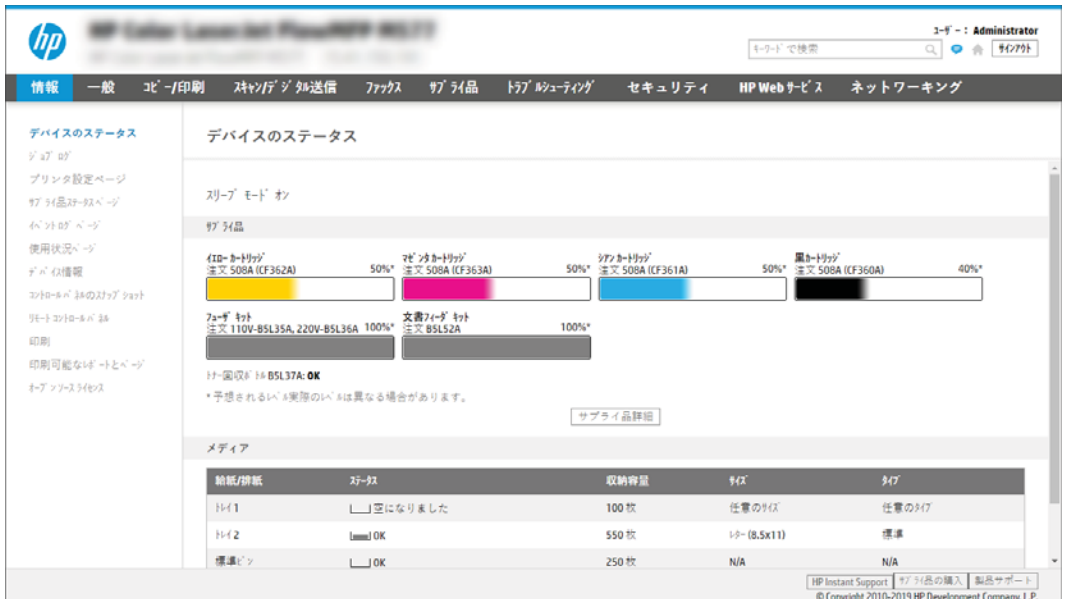
手順 1: HP 内蔵 Web サーバ (EWS) にアクセス

EWS を開き、セットアップ プロセスを開始します。

1. プリンタのコントロール パネルの [ホーム] 画面で、情報アイコンをタッチし、Ethernet アイコンをタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示させます。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロール パネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレス バーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの `Enter` キーを押します。EWS が開きます。



注記: Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。



手順 2: [スキャンして USB ドライブに保存] の有効化

以下の手順に従って、[スキャンして USB ドライブに保存] を有効化します。

1. **[セキュリティ]** タブを選択します。
2. **[ハードウェア ポート]** までスクロールして、**[ホスト USB プラグ アンド プレイを有効にする]** が有効になっているかどうかを確認します。
3. MFP モデルの場合は **[コピー/印刷]** タブ、SFP モデルの場合は **[印刷]** タブを選択します。
4. **[USB への保存の有効化]** チェック ボックスを選択します。
5. ページ下端にある **[適用]** をクリックします。

注記 : ほとんどのデバイスはハード ディスク ドライブ (HDD) がインストールされた状態で出荷されます。場合によっては、USB を介して追加のストレージ デバイスを追加することもできます。[USB に保存] 機能を USB およびハード ドライブに展開する必要があるか確認します。

手順 3 : クイック セットの設定 (オプション)

次の手順に従って、[スキャンして USB ドライブに保存] のクイック セットを設定します。クイック セットは、プリンタのホーム画面またはクイック セット アプリケーション内でアクセスできるショートカット ジョブです。

1. 左側のナビゲーション ウィンドウの **[スキャンして USB ドライブに保存]** 領域で、**[クイック セット]** をクリックします。
2. 以下のオプションから 1 つ選択してください。
   - 表の **[クイック セット アプリケーション]** で既存のクイック セットを選択します。

     -または-
   - **[追加]** をクリックし、[クイック セット] ウィザードを開始します。
3. **[追加]** をクリックすると、[クイック セット設定] ページが開きます。次の情報を入力します。
   a. **[クイック セット名]**: 新しいクイック セットのタイトルを入力します。
   b. **[クイック セットの説明]**: クイック セットの説明を入力します。
   c. **[クイック セット開始オプション]**: クイック セットの開始方法を設定するには、**[ユーザーは、アプリケーションに入って [スタート] を押します]** または **[ホーム画面での選択後、直ちに開始します]** のいずれかをクリックします。
4. コントロール パネルの USB ポートに挿入されている USB ストレージ デバイスにスキャンしたファイルを保存するデフォルトの場所を選択し、**[次へ]** をクリックします。デフォルトの場所のオプションは次のとおりです。
   - **[USB ストレージ デバイスのルート ディレクトリに保存します]**。
   - **[USB ストレージ デバイス上のこのフォルダ内に作成するか、配置します]** — このファイルの場所のオプションを使用する場合は、USB ストレージ デバイスのフォルダ パスを指定する必要があります。パスのフォルダ名\サブフォルダ名を区切るには、バックスラッシュ \ を使用する必要があります。

5. **[通知条件：]** ドロップダウン リストからオプションを選択し、**[次へ]** をクリックします。

   [USB に保存] クイック セット ジョブが完了または失敗した場合に、ユーザーに通知されるかどうかやどのように通知されるかは、この設定で決まります。**[通知条件：]** 設定のオプションは、次のとおりです。

   - **[通知しない]**
   - **[ジョブの完了時に通知する]**
   - **[ジョブの失敗時にのみ通知する]**

6. クイック セットの **[スキャン設定]** を選択して、**[次へ]** をクリックします。

   注記： 使用可能なスキャン設定の詳細については、「154 ページの[スキャンして USB ドライブに保存] のセットアップのデフォルトのスキャン設定」を参照してください。

7. クイック セットの **[ファイル設定]** を選択して、**[次へ]** をクリックします。

   注記： 使用可能なファイル設定の詳細については、「154 ページの[スキャンして USB ドライブに保存] のセットアップのデフォルトのスキャン設定」を参照してください。

8. 設定の概要を確認し、**[終了]** をクリックしてクイック セットを保存するか、**[前へ]** をクリックして設定を編集します。

[スキャンして USB ドライブに保存] のセットアップのデフォルトのスキャン設定

[スキャンして USB ドライブに保存] のセットアップのデフォルト設定を確認します。

表 6-14 [スキャンして USB ドライブに保存] のセットアップのスキャン設定

機能	説明
[原稿のサイズ]	原稿のサイズを選択します。
[原稿の面数]	原稿が片面か両面かを選択します。
[テキスト/画像の最適化]	特定のコンテンツ タイプの出力を最適化するために選択します。
[内容の向き]	原稿の内容をページ上に配置する方向を選択します。**[縦]** または **[横]**。
[背景のクリーンアップ]	背景からぼやけたイメージを削除したり、薄い背景色を削除したりする値を選択します。
[濃さ]	ファイルの濃さを調整する値を選択します。
[コントラスト]	ファイルのコントラストを調整する値を選択します。
[鮮明度]	ファイルの鮮明度を調整する値を選択します。
[画像プレビュー]	ジョブの表示されたプレビューを必須またはオプションにするかまたはプレビューを無効にする場合に選択します。
[トリミング オプション]	ジョブのトリミングを許可するかどうか、およびトリミング オプションのタイプを選択します。
[エッジの消去]	ジョブの表側および裏側で消去するエッジ マージンをインチまたはミリメートル単位で指定するためにこの設定を選択します。

[USB に保存] のセットアップのデフォルトのファイル設定

[USB に保存] のセットアップのオプションを確認します。

表 6-15 [USB に保存] のセットアップのファイル設定

オプション名	説明
[ファイル名プレフィックス]	ネットワーク フォルダに保存したファイルに使用されているデフォルトのファイル名プレフィックスを設定します。
[ファイル名]	保存するファイルのデフォルトのファイル名です。 プリンタのコントロール パネルでこの設定を編集可能にするには、**[ユーザーによる編集が可能]** チェック ボックスをオンにします。
[ファイル名サフィックス]	ネットワーク フォルダに保存したファイルに使用されているデフォルトのファイル名サフィックスを設定します。 ファイル名が重複した場合のデフォルトのサフィックス [ファイル名]_YYYYMMDDT
[ファイル名プレビュー]	ファイル名を入力し、**[プレビューを更新]** ボタンをクリックします。
[ファイル番号のフォーマット]	ジョブが複数のファイルに分割されている場合にファイル名形式を選択します。
[ジョブが 1 つのファイルのみの場合、番号を追加 (例 : _1 – 1)]	複数のファイルではなく 1 つのファイルのみのジョブの場合、この設定を選択してファイル名に番号を追加します。
[ファイル タイプ]	保存したファイルのファイル形式を選択します。 プリンタのコントロール パネルでこの設定を編集可能にするには、**[ユーザーによる編集が可能]** チェック ボックスをオンにします。
[高圧縮 (小さいファイル)]	スキャンしたファイルを圧縮してファイル サイズを小さくするには、この設定を選択します。ただし、高圧縮ファイルのスキャンの処理は、通常の圧縮ファイルの処理よりも時間がかかる場合があります。
[PDF 暗号化]	ファイル タイプが PDF の場合、出力 PDF ファイルを暗号化します。暗号化の一環としてパスワードを指定する必要があります。ファイルを開くには同じパスワードを使用する必要があります。スキャンの開始前にパスワードを設定せずに実行すると、ジョブをスキャンする前にパスワードを入力するよう要求されます。
[解像度]	ファイルの解像度を設定します。解像度が高いほどインチあたりのドット数 (dpi) が多くなり、より詳細に表示されます。解像度が低いほどインチあたりのドット数が少なくなりイメージの詳細度は低下しますが、ファイル サイズが小さくなります。
[品質およびファイル サイズ]	ファイルの品質を選択します。高画質のイメージは低画質のイメージよりも大きなファイル サイズが必要になり、送信時間も長くなります。
[カラー/モノクロ]	カラー、黒とグレー、黒のみのいずれでコピーするかを指定します。
[空白ページの省略]	**[空白ページの削除]** オプションが有効な場合、空白ページは無視されます。
[複数のファイルの作成]	事前に設定した 1 ファイル当たりの最大ページ数に基づいて、ページを個別のファイルにスキャンするには、この設定を選択します。

スキャンして電子メールで送信

文書をスキャンして、電子メール アドレスまたは連絡先リストに直接送信します。スキャンした文書は、電子メールの添付ファイルとして送信されます。

はじめに

このプリンタは、文書をスキャンして、そのスキャン データを 1 つ以上の電子メール アドレスに送信する機能を備えています。

スキャンして電子メールで送信

文書をスキャンして電子メール アドレスまたは連絡先リストに直接送信するには、次の手順に従います。

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、スキャン アプリケーションに移動し、次に [スキャン] アイコンを選択し、[スキャンして電子メールで送信] を選択します。

   注記 : ユーザー名とパスワードの入力を要求された場合は入力します。

3. [宛先] フィールドをタッチしてキーボードを開きます。

   注記 : プリンタにサインインしている場合、ユーザー名などのデフォルト情報が [差出人] フィールドに表示されることがあります。この場合、その情報を変更できないことがあります。

4. 次のいずれかの方法で受信者を指定します。
   - 宛先 フィールドにアドレスを入力するには、キーパッドを使用します。

     複数の電子メール アドレスに送信する場合は、セミコロンでアドレスを区切り、または、各アドレスを入力後にタッチスクリーン キーボードの [決定] ボタン を選択します。
   - 連絡先のリストを次のように使用します。
     1. [連絡先] ボタン は、宛先 フィールドの隣にあるので、このボタンを選択して [連絡先] 画面を開きます。
     2. 適切な連絡先リストを選択します。
     3. 連絡先のリストで名前を選択して、その名前を受信者リストに追加し、[追加] を選択します。
5. フィールドにタッチし、タッチスクリーン キーボードを使用して、[件名]、[ファイル名]、および [メッセージ] フィールドに情報を入力します。[閉じる] ボタン を選択して、キーボードを閉じます。
6. クイック セットをロードするには、[ロード]、[クイック セット] の順に選択し、クイック セット リストで、[ロード] を選択します。

   注記 : **クイック セット** は、テキスト、写真、高品質 など、さまざまなタイプの出力用にあらかじめ定義された設定です。[クイック セット] を選択すると、説明を表示することができます。

7. ファイルのタイプと解像度、片面原稿/両面原稿、内容の向き などの設定を指定するには、左下隅で [オプション] を選択し、[オプション] メニューから設定を選択します。要求された場合は、完了 を選択します。

8. オプションのプレビュー：文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー ペインの左側にある 展開 および 折り畳み ボタンを使用して、プレビュー画面を展開および折り畳むことができます。

表 6-16 プレビュー ペインの左側にあるボタン

ボタン	説明
	プレビュー画面を展開します。
	プレビュー画面を折り畳みます。

画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。

表 6-17 プレビュー ペインの右側にあるボタン

ボタン	説明
 	1 ページ表示とサムネイル表示を切り替えるには、これらのボタンを使用します。サムネイル表示では、1 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。
 	選択したページをズームインまたはズームアウトするには、これらのボタンを使用します。 注記：これらのボタンを使用するときは、一度に 1 つのページのみを選択します。
	ページを 180 度回転するには、このボタンを使用します。 注記：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	選択したページを削除するには、このボタンを使用します。 注記：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。

表 6-17 プレビュー ペインの右側にあるボタン (続き)

ボタン	説明
	文書内のページの順序を変更するには、これらのボタンを使用します。1 つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。 注記：これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	文書にページを追加するには、このボタンを使用します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。
	プレビューで加えた変更をクリアして最初からやり直すには、このボタンを使用します。
	プレビュー画面を折りたたみ、コピー画面に戻るには、このボタンをタッチします。

9. 文書の準備が整ったら、[送信] を選択して電子メールで送信します。

注記：連絡先リストに電子メール アドレスを追加するよう指示される場合があります。

スキャンしてジョブ保存

文書をスキャンして、プリンタのジョブ保存フォルダに保存します。

はじめに

このプリンタは、文書をスキャンして、そのデータをプリンタのジョブ保存フォルダに保存する機能を備えています。必要に応じて、プリンタから文書を取得して印刷できます。

注記：スキャンしてプリンタの保存フォルダに送信する前に、プリンタ管理者またはIT 部門は、HP 内蔵 Web サーバを使用して機能の有効化と設定を行う必要があります。

スキャンしてプリンタのジョブ保存に送信する

次の手順に従って、文書をスキャンしてプリンタのジョブ保存フォルダに保存します。これにより、いつでもコピー文書を印刷できます。

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、スキャン アプリケーションに移動し、次にスキャン アイコンを選択し、スキャンしてジョブ保存 を選択します。

   注記：ユーザー名とパスワードの確認メッセージが表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。
3. フォルダ に表示されている、デフォルトの保存フォルダ名を選択します。

   プリンタの管理者がオプションを設定している場合は、新しいフォルダを作成できます。以下の手順に従って、新しいフォルダを作成します。

   a. 新規フォルダ アイコン を選択します。

   b. 新規フォルダ フィールドを選択して、フォルダ名を入力し、OK を選択します。
4. 適切なフォルダを選択していることを確認します。
5. ジョブ名 テキスト フィールドをタッチしてタッチスクリーン キーボードを開き、ファイルの名前を入力し、[決定] ボタン を選択します。
6. ジョブをプライベートにするには、[PIN] ボタン を選択し、4 桁の PIN を PIN フィールドに入力して、タッチスクリーンのキーパッドを閉じます。
7. 面 および 内容の向き などの設定を指定するには、左下隅で オプション を選択し、オプション メニューから設定を選択します。メッセージが表示されたら、各設定で 実行 を選択します。
8. オプションのプレビュー：文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー ペインの左側にある 展開 および 折り畳み ボタンを使用して、プレビュー画面を展開および折り畳むことができます。

表 6-18 プレビュー ペインの左側にあるボタン

ボタン	説明
	プレビュー画面を展開します。
	プレビュー画面を折り畳みます。

画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。

表 6-19 プレビュー ペインの右側にあるボタン

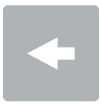
ボタン	説明
 	1 ページ表示とサムネイル表示を切り替えるには、これらのボタンを使用します。サムネイル表示では、1 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。
 	選択したページをズームインまたはズームアウトするには、これらのボタンを使用します。 注記：これらのボタンを使用するときは、一度に 1 つのページのみを選択します。
	ページを 180 度回転するには、このボタンを使用します。 注記：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	選択したページを削除するには、このボタンを使用します。 注記：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
 	文書内のページの順序を変更するには、これらのボタンを使用します。1 つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。 注記：これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。

表 6-19 プレビュー ペインの右側にあるボタン (続き)

ボタン	説明
	文書にページを追加するには、このボタンを使用します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。
	プレビューで加えた変更をクリアして最初からやり直すには、このボタンを使用します。
	プレビュー画面を折りたたみ、コピー画面に戻るには、このボタンをタッチします。

9. 文書の準備が整ったら、保存 を選択してストレージ フォルダへファイルを保存します。

プリンタのジョブ保存からの印刷

以下の手順に従って、プリンタのジョブ保存フォルダにあるスキャン済み文書を印刷します。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、印刷 アプリケーションに移動し、次に [印刷] アイコンを選択し、[ジョブ保存から印刷] を選択します。
2. [印刷する保存済みジョブ] の下で [選択] を選択し、文書が保存されているフォルダを選択し、文書を選択してから、[選択] を選択します。
3. 文書がプライベートの場合は、[パスワード] フィールドに 4 桁の PIN を入力し、[OK] を選択します。
4. 部数を調整するには、[印刷] ボタンの左側のボックスをタッチし、表示されるキーパッドでコピーの部数を選択します。[閉じる] ボタン を選択して、キーパッドを閉じます。
5. [印刷] を選択して、文書を印刷します。

スキャン データをネットワーク フォルダに送信

文書をスキャンし、ネットワーク上のフォルダに保存します。

はじめに

ファイルをスキャンし、そのデータをネットワークの共有フォルダに保存できます。

スキャン データをネットワーク フォルダに送信

文書をスキャンしてネットワーク フォルダに保存するには、以下の手順に従います。

注記：この機能を使用するには、サインインが必要な場合があります。

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、スキャン アプリケーションに移動し、次に [スキャン] アイコンを選択し、[スキャン データをネットワーク フォルダに送信] を選択します。
3. フォルダの宛先を指定します。フォルダ オプションは最初にプリンタ管理者によって設定される必要があります。
   - 管理者がすでにセットアップしたフォルダの場所を選択するには、[クイック セットとデフォルト] の下で [ロード] を選択し、フォルダを選択してから [ロード] を選択します。
   - 新しいフォルダの場所を指定するには、フォルダ パス フィールドをタッチしてタッチスクリーン キーボードを開き、フォルダへのパスを入力して、[決定] ボタン ↵ を選択します。要求された場合は、ユーザーの認証情報を入力して [保存] を選択し、パスを保存します。

     注記：パス名には次の形式を使用します：`\\server\folder`。「server」部分には共有フォルダをホストするサーバの名前、「folder」部分には共有フォルダの名前が表示されます。フォルダが他のフォルダ内にネストされている場合は、フォルダへのアクセスに必要なすべてパスのセグメントを指定します。例：`\\server\folder\folder`

     注記：[フォルダ パス] フィールドには、事前定義パスが設定されており、編集できない場合があります。この場合、このフォルダは、管理者により共通アクセス用として設定されています。
4. ファイル名 テキスト フィールドをタッチしてタッチスクリーン キーボードを開き、ファイルの名前を入力し、[決定] ボタン ↵ を選択します。
5. ファイルのタイプと解像度、片面原稿/両面原稿、内容の向き などの設定を指定するには、左下隅で [オプション] を選択し、[オプション] メニューから設定を選択します。メッセージが表示されたら、各設定で 実行 を選択します。
6. オプションのプレビュー：文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー ペインの左側にある 展開 および 折り畳み ボタンを使用して、プレビュー画面を展開および折り畳むことができます。

表 6-20 プレビュー ペインの左側にあるボタン

ボタン	説明
	プレビュー画面を展開します。
	プレビュー画面を折り畳みます。

画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。

表 6-21 プレビュー ペインの右側にあるボタン

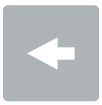
ボタン	説明
 	1 ページ表示とサムネイル表示を切り替えるには、これらのボタンを使用します。サムネイル表示では、1 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。
 	選択したページをズームインまたはズームアウトするには、これらのボタンを使用します。 注記：これらのボタンを使用するときは、一度に 1 つのページのみを選択します。
	ページを 180 度回転するには、このボタンを使用します。 注記：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	選択したページを削除するには、このボタンを使用します。 注記：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
 	文書内のページの順序を変更するには、これらのボタンを使用します。1 つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。 注記：これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。

表 6-21 プレビュー ペインの右側にあるボタン (続き)

ボタン	説明
	文書にページを追加するには、このボタンを使用します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。
	プレビューで加えた変更をクリアして最初からやり直すには、このボタンを使用します。
	プレビュー画面を折りたたみ、コピー画面に戻るには、このボタンをタッチします。

7. 文書の準備が整ったら、[送信] を選択してネットワーク フォルダへファイルを保存します。

スキャンして SharePoint に保存

文書をスキャンして SharePoint サイトに直接保存します。

はじめに

ワークフロー搭載型のプリンタを使用している場合は、文書をスキャンして SharePoint サイトに送信できます。この機能により、文書をネットワーク フォルダ、USB フラッシュ ドライブ、または電子メール メッセージにスキャンして、ファイルを手動で SharePoint サイトにアップロードする手間がかかりません。

[スキャンして SharePoint に保存] は、文書をイメージとしてスキャンする機能や、OCR 機能を使ってテキスト ファイルまたはサーチャブル PDF を作成する機能など、すべてのスキャン オプションをサポートします。

注記：スキャンして SharePoint に送信する前に、プリンタ管理者または IT 部門は、HP 内蔵 Web サーバを使用して機能の有効化と設定を行う必要があります。

スキャンして SharePoint に保存

文書をスキャンして SharePoint サイトに直接保存するには、次の手順を実行します。

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、スキャン アプリケーションに移動し、次に [スキャン] アイコンを選択し、[スキャンして SharePoint® に保存] を選択します。

   注記：この機能を使用するには、サインインが必要な場合があります。
3. クイック セット の下の 選択 をタッチし、クイック セットを選択して ロード を選択します。
4. ファイル名 テキスト フィールドを選択してキーボードを開きます。ファイル名を入力し、[決定] ボタン を選択します。
5. ファイルのタイプと解像度、面、内容の向き などの設定を指定するには、左下隅で [オプション] を選択し、[オプション] メニューから設定を選択します。要求された場合は、完了 を選択します。
6. オプションのプレビュー：文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー ペインの左側にある 展開 および 折り畳み ボタンを使用して、プレビュー画面を展開および折り畳むことができます。

表 6-22 プレビュー ペインの左側にあるボタン

ボタン	説明
	プレビュー画面を展開します。
	プレビュー画面を折り畳みます。

画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。

表 6-23 プレビュー ペインの右側にあるボタン

ボタン	説明
	1 ページ表示とサムネイル表示を切り替えるには、これらのボタンを使用します。サムネイル表示では、1 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。
	選択したページをズームインまたはズームアウトするには、これらのボタンを使用します。 注記：これらのボタンを使用するときは、一度に 1 つのページのみを選択します。
	ページを 180 度回転するには、このボタンを使用します。 注記：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	選択したページを削除するには、このボタンを使用します。 注記：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	文書内のページの順序を変更するには、これらのボタンを使用します。1 つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。 注記：これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。

表 6-23 プレビュー ペインの右側にあるボタン (続き)

ボタン	説明
	文書にページを追加するには、このボタンを使用します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。
	プレビューで加えた変更をクリアして最初からやり直すには、このボタンを使用します。
	プレビュー画面を折りたたみ、コピー画面に戻るには、このボタンをタッチします。

7. 文書の準備が整ったら、[送信] を選択して SharePoint の場所にファイルを保存します。

スキャンして USB ドライブに保存

文書をスキャンして USB ドライブに直接保存します。

はじめに

このプリンタでは、ファイルをスキャンして USB フラッシュ ドライブに保存することができます。

スキャンして USB ドライブに保存

文書をスキャンして USB ドライブに直接保存するには、次の手順を実行します。

注記：この機能を使用するには、サインインが必要な場合があります。

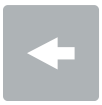
1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. USB ドライブをプリンタのコントロール パネル付近の USB ポートに挿入します。
3. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、スキャン アプリケーションに移動し、次にスキャン アイコンを選択し、スキャンして USB ドライブに保存 を選択します。
4. 排紙先 で USB ドライブを選択し、次に保存場所 (USB ドライブのルートまたは既存のフォルダ) を選択します。
5. ファイル名 テキスト フィールドをタッチしてタッチスクリーン キーボードを開き、ファイルの名前を入力し、[決定] ボタン を選択します。
6. ファイルのタイプと解像度、片面原稿/両面原稿、内容の向き などの設定を指定するには、左下隅で [オプション] を選択し、[オプション] メニューから設定を選択します。要求された場合は、完了 を選択します。
7. オプションのプレビュー：文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー ペインの左側にある 展開 および 折り畳み ボタンを使用して、プレビュー画面を展開および折り畳むことができます。

表 6-24 プレビュー ペインの左側にあるボタン

ボタン	説明
	プレビュー画面を展開します。
	プレビュー画面を折り畳みます。

画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。

表 6-25 プレビュー ペインの右側にあるボタン

ボタン	説明
	1 ページ表示とサムネイル表示を切り替えるには、これらのボタンを使用します。サムネイル表示では、1 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。
	選択したページをズームインまたはズームアウトするには、これらのボタンを使用します。 注記：これらのボタンを使用するときは、一度に 1 つのページのみを選択します。
	ページを 180 度回転するには、このボタンを使用します。 注記：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	選択したページを削除するには、このボタンを使用します。 注記：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	文書内のページの順序を変更するには、これらのボタンを使用します。1 つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。 注記：これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	文書にページを追加するには、このボタンを使用します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。
	プレビューで加えた変更をクリアして最初からやり直すには、このボタンを使用します。
	プレビュー画面を折りたたみ、コピー画面に戻るには、このボタンをタッチします。

8. 文書の準備が整ったら、保存 を選択して USB ドライブにファイルを保存します。

HP JetAdvantage ビジネス ソリューションの使用

HP JetAdvantage ソリューションは、ネットワークとクラウドの両方を活用して簡単に利用できるワークフロー/印刷ソリューションです。HP JetAdvantage ソリューションは、ヘルスケア、金融サービス、製造、公共機関など、あらゆる業種に対応しており、多くのプリンタとスキャナを管理できます。

HP JetAdvantage ソリューションには、次のような製品があります。

- HP JetAdvantage セキュリティ ソリューション
- HP JetAdvantage Management ソリューション
- HP JetAdvantage ワークフロー ソリューション
- HP JetAdvantage モバイル印刷ソリューション

ビジネス向け HP JetAdvantage ワークフロー/印刷ソリューションについての詳細は、www.hp.com/go/PrintSolutions を参照してください。

補足的なスキャン タスク

一般的なスキャン タスクを実行するための Web 上の情報を確認します。

www.hp.com/support/pwcolormfpE77650、または www.hp.com/support/pwcolormfpE77660、または www.hp.com/support/pwcolorP77940mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77950mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77960mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77440mfp にアクセスします。

たとえば、次のようなスキャン タスクの実行手順を参照できます。

- 本またはその他の綴じられた文書のページのコピーまたはスキャン
- スキャンした文書をプリンタのメモリ内のフォルダに保存
- ID カードの両面のコピーまたはスキャン
- 文書をブックレット形式でコピーまたはスキャンします。

7 ファックス

ファックス機能を設定して、プリンタを使用してファックスを送受信します。

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/PageWide を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/pwcolormfpE77650、または www.hp.com/support/pwcolormfpE77660、または www.hp.com/support/pwcolorP77940mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77950mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77960mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77440mfp を参照してください。

詳細は、次を参照してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

ファックスのセットアップ

プリンタのファックス機能を設定します。

はじめに

この情報は、ファックスおよびFlowモデル、またはオプションのアナログ ファックス アクセサリが取り付けられたその他のプリンタに適用されます。次に進む前に、プリンタを電話回線に接続するか(アナログ ファックスの場合)、インターネットまたはネットワーク ファックス サービスに接続します。

プリンタのコントロール パネルを使用したファックスのセットアップ

コントロール パネルを使用して、ファックス機能を設定します。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、設定 アプリケーションに移動し、設定 アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます：
   a. ファックス
   b. 内蔵ファックス モデムのセットアップ

   注記：内蔵ファックス モデムのセットアップ メニューがメニュー リストに表示されない場合は、LAN ファックスまたはインターネット ファックスが有効になっている可能性があります。LAN ファックスまたはインターネット ファックスを有効にすると、アナログ ファックス アクセサリが無効になり、内蔵ファックス モデムのセットアップ メニューは表示されません。LAN ファックス、アナログ ファックス、またはインターネット ファックスのいずれかのファックス機能のみを有効にすることができます。LAN ファックスが有効なときにアナログ ファックスを使用するには、HP 内蔵 Web サーバを使用して LAN ファックスを無効にします。
3. 画面の右側のリストから場所を選択し、次へ を選択します。
4. 会社名 テキスト フィールドをタッチし、キーパッドを使用して会社名を入力します。
5. ファックス番号 テキスト フィールドをタッチし、キーパッドを使用して送信側のファックス番号を入力します。次へ を選択します。
6. データと時間の設定が正しいか確認します。必要に応じて変更し、次へ を選択します。
7. ファックスの送信にダイアル プレフィックスが必要な場合は、ダイアル プレフィックス テキスト フィールドをタッチし、キーパッドを使用して番号を入力します。
8. 左側ペインのすべての情報を確認し、終了 を選択して、ファックスのセットアップを完了します。

ファックス設定の変更

ファックス設定を変更または更新します。

注記：コントロール パネルを使用して指定した設定は、HP 内蔵 Web サーバで行った設定よりも優先されます。

ファックス ダイヤル設定

次の手順に従って、ファックス ダイヤル設定を変更します。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、設定 アプリケーションに移動し、設定 アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます：
   a. ファックス
   b. ファックス送信設定
   c. ファックス ダイアル設定
3. 次の設定のいずれかを設定して、実行 を選択します。

表 7-1 ファックス ダイヤル設定

メニュー項目	説明
エラー時のリダイアル	エラー発生時のリダイアル 機能では、ファックス送信中にエラーが発生したときの、ファックス番号のリダイアル回数を設定します。
応答がない場合のリダイアル	無応答時のリダイアル回数 設定では、ダイアルした番号に応答がない場合にファックス アクセサリがリダイアルを行う回数を選択します。リダイアルの回数は、場所の設定に応じて 0 ~ 1 (米国で使用) または 0 ~ 2 のいずれかです。リダイアルの間隔は リダイアル間隔 設定で設定します。
通話中の場合のリダイアル	通話中の場合のリダイアル 設定では、通話中の場合にファックス アクセサリがリダイアルを行う回数 (0 ~ 9) を選択します。リダイアルの間隔は リダイアル間隔 設定で設定します。
リダイアルの間隔	リダイアル間隔 設定では、ダイアルした番号が通話中または応答しない場合、またはエラーが発生した場合のリダイアル間隔を分単位で選択します。 **注記：**通話中の場合のリダイアル と 無応答時のリダイアル回数 の両方をオフに設定すると、コントロール パネルにリダイアル メッセージが表示される場合があります。このエラーは、ファックス アクセサリが番号をダイアルし、接続を確立した後に、接続が切断されると発生します。このエラー状況の結果として、ファックス アクセサリはリダイアル設定に関係なくリダイアルを自動的に 3 回試行します。このリダイアル操作中に、リダイアル中であることを示すメッセージがコントロール パネルに表示されます。
ファックス送信速度	ファックスの送信速度 設定では、ファックス送信時のアナログ ファックス モデムのモデム ビット レート (ビット/秒) を設定します。 • 高速 (v.34 – 33.6k) • 標準 (v.17 – 14.4k) • 低速 (v.29 – 9.6k)

表 7-1 ファックス ダイヤル設定 (続き)

メニュー項目	説明
回線モニタ音量	ファックスの送信時にプリンタのダイヤル音量レベルを設定するには、回線モニタ音量 設定を使用します。
ダイアル モード	ダイアル モード 設定では、使用するダイアル タイプをトーン (プッシュホン) またはパルス (ダイアル式電話) のいずれかに設定します。
ダイアル局番	ダイアル プレフィックス 設定では、ダイアル時の局番 (外線発信時の「9」など) を入力できます。ダイアル時には、この局番がすべての電話番号に自動的に追加されます。
ダイアル トーンを検出	ダイアル トーンを検出 設定では、ファックスを送信する前にダイアル トーンを確認するかどうかを決定します。

全般的なファックス送信設定

次の手順に従って、ファックス送信設定を変更します。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、設定 アプリケーションに移動し、設定 アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます：
   a. ファックス
   b. ファックス送信設定
   c. 全般的なファックス送信設定
3. 次の設定のいずれかを設定して、実行 を選択します。

表 7-2 ファックス送信設定

メニュー項目	説明
ファックス番号の確認	ファックス番号の確認 機能が有効になっている場合、正しく入力されているかどうかを確認するために、ファックス番号を 2 回入力する必要があります。この機能は、デフォルトで無効です。
PC ファックス送信	PC からファックスを送信するには、PC ファックス送信 機能を使用します。この機能は、デフォルトで有効になっています。
エラー修正モード	通常、ファックス アクセサリではファックスの送受信中に電話線の信号が監視されます。エラー修正モード 設定がオンになっている場合にファックス アクセサリによって伝送時のエラーが検出されると、ファックスのエラー箇所の再送信が要求されます。 デフォルトでは、エラー修正モード 機能が有効になっています。ファックスの送受信に問題がある場合と、伝送時のエラーや予想される画質品質の低下を許容する場合にのみオフにします。海外とファックスを送受信する場合や、衛星電話を接続している場合は、この設定をオフにすると便利です。 **注記：** 一部の VoIP プロバイダは、エラー修正モード 設定を無効に設定するように推奨しています。しかし、通常、この操作は不要です。
ファックス ヘッダ	ファクス ヘッダ 機能を使用して、先頭にヘッダを付加して内容を下に下げるか、前のヘッダにヘッダをオーバーレイするかを設定します。

ファックス受信設定

次の手順に従って、ファックス受信設定を変更します。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、設定 アプリケーションに移動し、設定 アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます：
   a. ファックス
   b. ファックス受信設定
   c. ファックス受信のセットアップ
3. 次の設定のいずれかを設定して、実行 を選択します。

表 7-3 ファックス受信設定

メニュー項目	説明
Receive Mode (受信モード)	予約モード 設定は、ファックス アクセサリがファックス ジョブを受信する方法を決定します。以下のオプションから 1 つ選択してください。 ● 自動 ● TAM ● Fax/Tel ● 手動
応答するまでの呼び出し回数	応答するまでの呼び出し回数 設定では、ファックス アクセサリが応答するまでに呼び出し音が鳴る回数を決定します。 **注記：**応答するまでの呼び出し回数 設定で選択可能なオプションのデフォルト範囲は、場所によって異なります。対応する 応答するまでの呼び出し回数 オプションの範囲は、場所によって制限されます。 ファックス アクセサリが応答せず、応答するまでの呼び出し回数 が 1 に設定されている場合は、2 の設定を試してください。
呼び出し音量	呼び出し音量 設定を使用すると、呼び出し音量を調整できます。
ファックス受信速度	ファックスの受信速度 ドロップダウン メニューをタッチして、次のいずれかのオプションを選択します。 ● 高速 (v.34 – 33.6k) ● 標準 (v.17 – 14.4k) ● 低速 (v.29 – 9.6k)
内線電話	この設定では、ファックス機能と同時に別の電話を使用することができます。
再印刷の許可	この設定では、受信したファックスを再印刷することができます。
PC に受信	この設定では、コンピュータで直接ファックスを受信できます。

表 7-3 ファックス受信設定 (続き)

メニュー項目	説明
ファクス ポーリング	この設定では、ファックスのポーリング機能を有効または無効にできます。
Fax/Tel 呼び出し時刻	この設定では、ファックス/電話モードが応答するまでに呼び出し音が鳴る回数を決定します。

ファックスの送信

プリンタからファックスを送信するには、以下の手順を実行します。

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置くか、文書を上に向けて文書フィーダにセットしてから文書サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。
2. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、ファックス アプリケーションに移動し、次にファックス アイコンを選択します。ユーザー名とパスワードの入力が要求されることがあります。
3. 次のいずれかの方法で受信者を指定します。
   - キーパッドを使用し、受信者 (複数可) を入力します。

     [ファックス宛先] テキスト フィールドをタッチし、キーパッドを使用してファックス番号を入力します。複数のファックス番号に送信する場合は、セミコロンで番号を区切るか、各番号を入力した後、タッチスクリーン キーボードの [決定] ボタン を選択します。
   - 連絡先のリストを次のように使用します。
     1. [連絡先] ボタン は、ファックス宛先 フィールドの横にあるので、このボタンを選択して [連絡先] 画面を開きます。
     2. 適切な連絡先リストを選択します。
     3. 連絡先のリストで名前を選択して、その名前を受信者リストに追加し、[追加] を選択します。
4. クイック セットをロードするには、[ロード]、[クイック セット] の順に選択し、クイック セット リストで、[ロード] を選択します。

注記 : クイック セット は、テキスト、写真、高品質 など、さまざまなタイプの出力用にあらかじめ定義された設定です。[クイック セット] を選択すると、説明を表示することができます。

5. 解像度、面、内容の向き などの設定を指定するには、左下隅で オプション を選択し、オプション メニューから設定を選択します。要求された場合は、完了 を選択します。
6. オプションのプレビュー : 文書をプレビューするには、画面の右ペインをタッチします。プレビュー ペインの左側にある 展開 および 折り畳み ボタンを使用して、プレビュー画面を展開および折り畳むことができます。

表 7-4 プレビュー ペインの左側にあるボタン

ボタン	説明
	プレビュー画面を展開します。
	プレビュー画面を折り畳みます。

画面右側にあるボタンを使用して、プレビュー オプションを調整したり、ページを順序変更、回転、挿入または削除したりします。

表 7-5 プレビュー ペインの右側にあるボタン

ボタン	説明
	1 ページ表示とサムネイル表示を切り替えるには、これらのボタンを使用します。サムネイル表示では、1 ページ表示よりも多くのオプションを使用できます。
	選択したページをズームインまたはズームアウトするには、これらのボタンを使用します。 注記：これらのボタンを使用するときは、一度に 1 つのページのみを選択します。
	ページを 180 度回転するには、このボタンを使用します。 注記：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	選択したページを削除するには、このボタンを使用します。 注記：このボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。
	文書内のページの順序を変更するには、これらのボタンを使用します。1 つまたは複数のページを選択し、右または左に移動します。 注記：これらのボタンは、サムネイル表示でのみ使用できます。

表 7-5 プレビュー ペインの右側にあるボタン (続き)

ボタン	説明
	文書にページを追加するには、このボタンを使用します。プリンタに、その他のページをスキャンするメッセージが表示されます。
	プレビューで加えた変更をクリアして最初からやり直すには、このボタンを使用します。
	プレビュー画面を折りたたみ、コピー画面に戻るには、このボタンをタッチします。

7. 文書の準備が整ったら、[送信] を選択してファックスを送信します。

ファックス印刷スケジュールの作成

ファックスを受信すると自動で印刷されますが、ユーザーが指定したスケジュールに従って、保存および印刷することもできます。スケジュールを作成した後、必要に応じてスケジュールを有効にしたり無効にしたりできます。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、設定 アプリケーションに移動し、設定 アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
   a. ファクス
   b. ファックス受信設定
   c. ファックス印刷スケジュール
3. ファックスの受信オプション で、スケジュールの使用 を選択します。
4. 新規イベント を選択します。
5. イベント タイプ でオプションを選択します。
   - 印刷の開始
   - 保存の開始
6. 曜日と時刻を選択します。複数の曜日を選択できます。
7. 保存 を選択します。ステップ 4 ~ 6 を繰り返して、他のイベントを追加します。
8. 実行 を選択してファックス印刷スケジュールを有効にします。

着信ファックスのブロック

ファックスのブロック設定を使用して、ブロック対象電話番号のリストを作成します。ブロック対象の電話番号から送信されたファックスを受信した場合、ファックスは印刷されず、すぐにメモリから削除されます。

ブロックするファックス番号のリストを作成する

ブロックするファックス番号のリストを作成するには、次の手順を実行します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、設定 アプリケーションに移動し、設定 アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
   a. ファックス
   b. ファックス受信設定
   c. ブロックするファックス番号
3. リストに番号を追加するには、次のオプションのいずれかを使用します。
   - Add Last Sender (最後の送信者を追加する) を選択します。
   - New Fax Number (新しいファックス番号) フィールドを選択して、表示されるキーパッドで番号を入力し、Enter ボタン を選択します。ファックス番号を追加するには、番号を入力して Enter ボタン を選択します。
4. 完了 を選択します。

ブロックするファックス番号のリストから番号を削除する

ブロックするファックス番号のリストから番号を削除するには、次の手順を実行します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、設定 アプリケーションに移動し、設定 アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
   a. ファックス
   b. ファックス受信設定
   c. ブロックするファックス番号
3. リストで 1 台以上の既存のファックス番号を選択するか、すべての番号を削除する場合は、すべて選択 を選択します。
4. ゴミ箱ボタン を選択して、確認メッセージで 削除 を選択します。

補足的なファックスタスク

一般的なファックスタスクを実行するための Web 上の情報を確認します。

www.hp.com/support/pwcolormfpE77650、または www.hp.com/support/pwcolormfpE77660、または www.hp.com/support/pwcolorP77940mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77950mfp、または

www.hp.com/support/pwcolorP77960mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77440mfp にアクセスします。

たとえば、以下のようなファックス タスクの手順を参照できます。

- ファックス短縮ダイアルの作成と管理
- ファックス請求書コードの設定
- ファックス印刷スケジュールの使用
- 着信ファックスのブロック
- ファックス アーカイブおよび転送

8 プリンタの管理

管理ツールを使用して、セキュリティと省エネ設定を設定し、プリンタのファームウェアの更新を管理します。

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/PageWide を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/pwcolormfpE77650、または www.hp.com/support/pwcolormfpE77660、または www.hp.com/support/pwcolorP77940mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77950mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77960mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77440mfp を参照してください。

詳細は、次を参照してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

HP 内蔵 Web サーバ (EWS) の高度な設定

HP 内蔵 Web サーバを使用して、高度なプリント機能を管理します。

はじめに

HP 内蔵 Web サーバを使用して、プリンタのコントロール パネルではなく、コンピュータから印刷機能を管理できます。

- プリンタの状態に関する情報の表示
- すべてのサプライ品の寿命の確認と新しいサプライ品の注文
- トレイの設定の表示および変更
- プリンタの [コントロール パネル] メニューの構成の表示と変更
- 内部ページの表示および印刷
- プリンタとサプライ品に関するイベントの通知の受信
- ネットワークの設定の表示および変更

HP 内蔵 Web サーバは、プリンタが IP ベースのネットワークに接続されている場合に機能します。IPX ベースのプリンタ接続では機能しません。HP 内蔵 Web サーバを起動して使用するために、インターネットに接続する必要はありません。

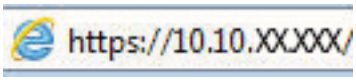
プリンタをネットワークに接続すると、自動的に HP 内蔵 Web サーバが利用可能になります。

注記:ネットワーク ファイアウォールを越えて HP 内蔵 Web サーバにアクセスすることはできません。

HP 内蔵 Web サーバ (EWS) へのアクセス方法

EWS を開くには、以下の手順に従います。

1. プリンタのコントロール パネルの [ホーム] 画面で、情報アイコンをタッチし、Ethernet アイコンをタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示させます。
2. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロール パネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレス バーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの `Enter` キーを押します。EWS が開きます。



注記:Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

HP 内蔵 Web サーバを使用するには、ブラウザが次の要件を満たしている必要があります。

Windows® 7

- Internet Explorer (バージョン 8.x 以降)
- Google Chrome (バージョン 34.x 以降)
- Firefox (バージョン 20.x 以降)

Windows® 8 以降

- Internet Explorer (バージョン 9.x 以降)
- Google Chrome (バージョン 34.x 以降)
- Firefox (バージョン 20.x 以降)

macOS

- Safari (バージョン 5.x 以降)
- Google Chrome (バージョン 34.x 以降)

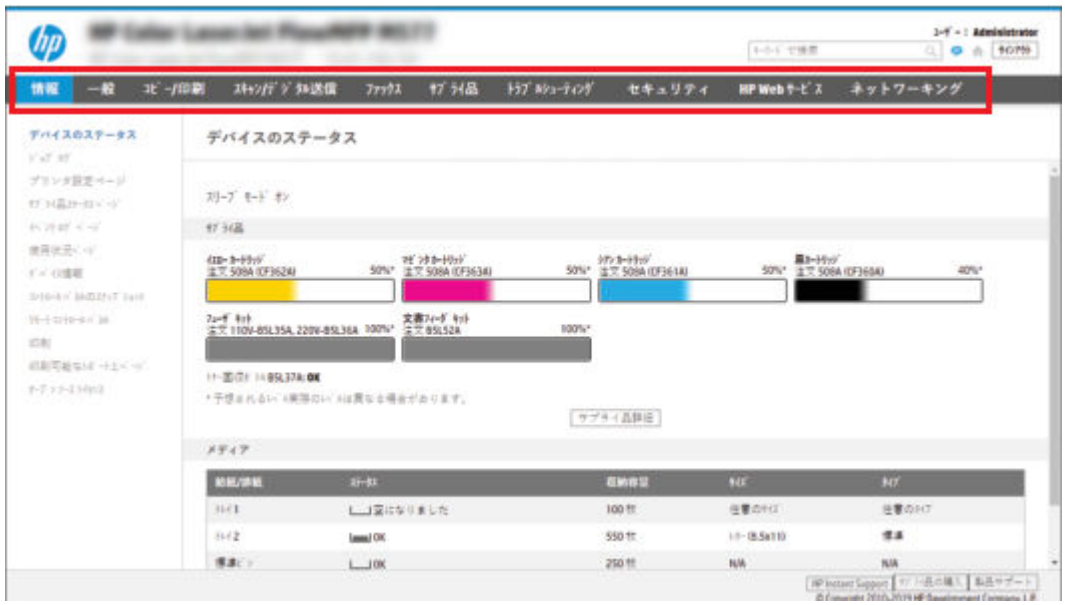
Linux

- Google Chrome (バージョン 34.x 以降)
- Firefox (バージョン 20.x 以降)

HP 内蔵 Web サーバの機能

各タブで使用できる HP 内蔵 Web サーバ (EWS) の機能について説明します。

図 8-1 EWS タブ



注記 : **[コピー/印刷]**、**[スキャン/デジタル送信]**、**[ファックス]** のタブは、多機能プリンタ (MFP) でのみ表示されます。**[印刷]** のタブは、単機能プリンタ (SFP) でのみ表示されます。

[情報] タブ

[情報] タブの設定については、表を参照してください。

表 8-1 HP 内蔵 Web サーバの [情報] タブ

メニュー	説明
[デバイスのステータス]	プリンタのステータスと HP サプライ品の推定寿命を表示します。各トレイにセットされている用紙のタイプとサイズも表示されます。デフォルトの設定を変更する場合は、**[設定の変更]** リンクをクリックします。
[ジョブ ログ]	処理されたジョブのリストを示します。
[設定ページ]	設定ページの情報を表示します。
[サプライ品ステータス ページ]	プリンタのサプライ品のステータスを表示します。
[イベント ログ ページ]	プリンタのすべてのイベントとエラーの一覧を表示します。**[HP Instant Support]** リンク (HP 内蔵 Web サーバのすべてのページにある **[その他のリンク]** 領域) を使用して、問題の解決に役立つ一連の動的 Web ページに接続します。これらのページでも、プリンタで使用できる追加サービスが表示されます。
[使用状況ページ]	用紙のサイズ、タイプ、および用紙印刷経路別に、印刷したページ数を表示します。
[デバイス情報]	プリンタのネットワーク名、アドレス、およびモデル情報を表示します。この情報をカスタマイズする場合は、**[一般]** タブの **[デバイス情報]** をクリックします。
[コントロール パネルのスナップショット]	コントロール パネル ディスプレイに現在の画面のイメージを表示します。

表 8-1 HP 内蔵 Web サーバの [情報] タブ (続き)

メニュー	説明
[リモート コントロール パネル]	デスクトップまたはラップトップのブラウザ ウィンドウからプリンタをトラブルシューティングまたは管理できます。
[印刷]	印刷可能なファイルを、印刷するプリンタに送信できます。
[印刷可能なレポートとページ]	プリンタの内部のレポートおよびページを一覧表示します。印刷する項目を 1 つ以上選択してください。
[オープン ソース ライセンス]	プリンタで使用できるオープン ソース ソフトウェア プログラムのライセンスの概要を示します。

[一般] タブ

[一般] タブの設定については、表を参照してください。

表 8-2 HP 内蔵 Web サーバの [一般] タブ

メニュー	説明
[コントロール パネルのカスタマイズ]	コントロール パネル ディスプレイで機能の並べ替え、表示、非表示を設定します。 コントロール パネルのデフォルトの表示言語およびキーボード レイアウトを変更します。
[クイック セット]	プリンタのコントロール パネルのホーム画面にある [クイック セット] 領域で印刷可能なジョブを設定します。
[警告]	さまざまなプリンタやサプライ品に関する電子メール警告をセットアップします。
[コントロール パネル設定アプリケーション]	プリンタのコントロール パネルで使用できる設定アプリ オプションを表示します。
[全般的な設定]	プリンタを紙詰まりから復旧する方法およびその他の一般的なプリンタの設定を行います。
[AutoSend]	プリンタの設定とサプライ品に関する自動電子メールを特定の電子メール アドレスに送信するように設定します。
[その他のリンクの編集]	別の Web サイトへのリンクを追加またはカスタマイズできます。このリンクは、HP 内蔵 Web サーバのすべてのページのフッター領域に表示されます。
[アクセサリおよびサプライ品の購入について]	交換用プリント カートリッジの注文に関する情報を入力します。この情報はサプライ品ステータス ページに表示されます。
[デバイス情報]	プリンタに名前を付け、アセット番号を割り当てます。プリンタに関する情報を受信するユーザーの名前を入力します。
[言語]	HP 内蔵 Web サーバーの情報を表示する言語を設定します。
[ファームウェアのアップグレード]	プリンタのファームウェア アップグレード ファイルをダウンロードしてインストールします。
[日付/時刻の設定]	日時を設定したり、ネットワーク タイム サーバと同期したりします。
[電力設定]	プリンタの復帰時刻、スリープ時刻、およびスリープ遅延を設定または編集します。各曜日および休日に異なるスケジュールを設定します。 プリンタをスリープ モードから復帰させる操作を設定します。

表 8-2 HP 内蔵 Web サーバの [一般] タブ (続き)

メニュー	説明
[バックアップと復元]	プリンタ データとユーザー データを格納するバックアップ ファイルを作成します。必要に応じて、このファイルを使用してプリンタにデータを復元します。
[出荷時の設定に戻す]	プリンタの設定を出荷時のデフォルトに戻します。
[ソリューション インストーラ]	プリンタの機能を拡張または変更するためのサードパーティ製のソフトウェアをインストールまたは削除します。
[ジョブ統計設定]	サードパーティ製のジョブ統計サービスに関する接続情報が表示されます。ローカルのサーバーレス デバイス ジョブの課金を有効にすることもできます。
[クォータ設定]	サードパーティ製のジョブクォータ サービスに関する接続情報が表示されます。ローカルのデバイス クォータ サービスを有効にすることもできます。

[その他のリンク] のリスト

[一般] タブの [その他のリンクの編集] メニューを使用して、HP 内蔵 Web サーバのフッターにどのリンクを表示するかを設定します。

注記：以下の項目は、デフォルトのリンクです。

表 8-3 HP 内蔵 Web サーバ [その他のリンク] のリスト

メニュー	説明
[HP Instant Support]	HP の Web サイトに接続して、プリンタの問題の解決方法を検索します。
[サプライ品の購入]	HP 純正サプライ品 (例：カートリッジ、用紙) の購入情報については、HP Web サイトにアクセスしてください。
[製品のサポート]	プリンタのサポート サイトに接続し、さまざまなトピックのヘルプを検索します。

[コピー/印刷] タブ

[コピー/印刷] タブの設定については、表を参照してください。

表 8-4 HP 内蔵 Web サーバの [コピー/印刷] タブ

メニュー	説明
[USB ドライブからの印刷設定]	コントロール パネルの USB ドライブから印刷 メニューを有効または無効にします。
[保存ジョブの管理]	プリンタのメモリにジョブを保存する機能を有効または無効にします。 ジョブ保存オプションを設定します。
[デフォルト印刷オプション]	印刷ジョブのデフォルト オプションを設定します。
[カラー印刷の制限] (カラー プリンタのみ)	カラー印刷およびカラー コピーを許可または制限します。 個々のユーザーまたは特定のソフトウェア プログラムから送信されたジョブの権限を指定します。

表 8-4 HP 内蔵 Web サーバの [コピー/印刷] タブ (続き)

メニュー	説明
[PCL および PostScript の設定]	コピー ジョブとファックス受信を含む、すべての印刷ジョブの PCL および PostScript の設定を調整します。
[印刷品質]	カラー調整、画像登録、および許容される用紙タイプを含む、印刷品質の設定を行います。
[コピー設定]	コピー ジョブのデフォルト オプションとクイック セットを設定します。 注記：ジョブ開始時にコントロール パネルでジョブ固有のコピー設定オプションが設定されていない場合、そのジョブにはデフォルトの設定が使用されます。
[エキスパート コピー]	エキスパート コピーを有効または無効にし、初期コピービューを設定します。 エキスパート コピー機能は、大型のコントロール パネルを搭載した一部の HP MFP でのみ使用でき、FutureSmart 4 ファームウェア 24.7.3 以降のリリースで使用できます。
[トレイの管理]	用紙トレイの設定を指定します。
[ステイプラ/スタッカの管理]	この機能が搭載されているプリンタについては、ステイプラ/スタッカの設定を指定します。

スキャン/デジタル送信 タブ

[スキャン/デジタル送信] タブの設定については、表を参照してください。

表 8-5 HP 内蔵 Web サーバの スキャン/デジタル送信 タブ

メニュー	説明
[電子メール セットアップ]	以下をはじめとする、デジタル送信用の電子メールのデフォルト設定を指定します。 • 送信メール (SMTP) サーバの設定 • 電子メール クイック セット ジョブのデフォルトの設定 • デフォルトのメッセージ設定 (「送信元」アドレス、件名など) • デジタル署名と暗号化の設定 • 電子メール通知の設定 • 電子メール ジョブのデフォルトのスキャン設定 • 電子メール ジョブのデフォルトのファイル設定

表 8-5 HP 内蔵 Web サーバの スキャン/デジタル送信 タブ (続き)

メニュー	説明
[スキャン データをネットワーク フォルダに送信]	以下をはじめとする、デジタル送信用のネットワーク フォルダを設定します。 • ネットワーク フォルダに保存されているクイック セット ジョブの設定 • 通知の設定 • ネットワーク フォルダに保存されているジョブのデフォルトのスキャン設定 • ネットワーク フォルダに保存されているジョブのデフォルトのファイル設定
[SharePoint® にスキャン]	以下をはじめとする、デジタル送信用の SharePoint を設定します。 • SharePoint サイトのドキュメント ライブラリに保存されているクイック セット ジョブの設定 • SharePoint サイト上の文書ライブラリに保存されているジョブのデフォルト設定
[スキャンして USB ドライブに保存]	以下をはじめとする、デジタル送信用の USB を設定します。 • USB フラッシュ ドライブに保存されているクイック セット ジョブの設定 • 通知の設定 • USB フラッシュ ドライブに保存されているジョブのデフォルトのスキャン設定 • USB フラッシュ ドライブに保存されているジョブのデフォルトのファイル設定
[連絡先]	連絡先管理を行います。以下の機能が含まれます。 • 一度に 1 つずつ電子メール アドレスを追加します。 • 頻繁に使用する電子メール アドレスの大きなリストを、1 つずつではなく、一括でプリンタにロードします。 • プリンタからコンピュータ上の .CSV ファイルにデータ バックアップとして連絡先をエクスポートしたり、別の HP プリンタにレコードをインポートします。 • プリンタに保存されている電子メール アドレスを編集します。
[ユーザー設定]	全般的なスキャン設定を管理します。
[電子メール セットアップ ウィザードおよび [スキャン データをネットワーク フォルダに送信] クイック セットアップ ウィザード]	スキャンしたイメージを電子メール添付ファイルとして送信するよう設定します。 スキャンしたイメージがネットワーク フォルダ クイック セットに保存されるよう設定します。クイック セットでは、ネットワーク上に保存されているファイルに簡単にアクセスできます。
[デジタル送信ソフトウェア セットアップ]	オプションのデジタル送信ソフトウェアの使用に関連する項目を設定します。

[ファックス] タブ

[ファックス] タブの設定については、表を参照してください。

表 8-6 HP 内蔵 Web サーバの [ファックス] タブ

メニュー	説明
[ファクス送信設定]	以下をはじめとする、ファックス送信を設定します。 • 送信ファックスのデフォルトの設定 • クイック セット ジョブのファックス設定 • 通知の設定 • 内蔵ファックス モデムによるファックス送信のデフォルトの設定 • LAN ファックス サービスの使用の設定 • インターネット ファックス サービスの使用の設定
[ファックス短縮ダイアル]	次を含め、短縮ダイアルを管理します。 • 電子メール アドレス、ファックス番号、ユーザー レコードなどを含む .CSV ファイルをインポートして、プリンタからアクセスできるようにします。 • プリンタからコンピュータ上のファイルにデータ バックアップとして電子メール、ファックス、またはユーザー レコードをエクスポートしたり、別の HP プリンタにレコードをインポートします。
[ファックス受信のセットアップ]	受信ファックスに関するデフォルトの印刷オプション、および、ファックス印刷スケジュールを設定します。
[ファックスのアーカイブと転送]	ファックス アーカイブおよびファックス転送を有効または無効にし、それぞれの基本項目を設定します。 • ファックス アーカイブとは、すべての送受信ファックスのコピーを電子メール アドレス、ネットワーク フォルダ、または FTP サーバに送信する方法です。 • ファックス転送とは、受信ファックスを別のファックス デバイスに転送する方法です。
[ファックス使用状況ログ]	このプリンタで送受信されたファックスが一覧表示されます。

[サプライ品] タブ

[サプライ品] タブの設定については、表を参照してください。

表 8-7 HP 内蔵 Web サーバの [サプライ品] タブ

メニュー	説明
[サプライ品の管理]	サプライ品の状態が「非常にわずか」になったときのプリンタの動作方法を設定します。

[トラブルシューティング] タブ

[トラブルシューティング] タブの設定については、表を参照してください。

表 8-8 HP 内蔵 Web サーバの [トラブルシューティング] タブ

メニュー	説明
[一般的なトラブルシューティング]	必要に応じて、次のオプションを使用します。 • [レポートとテスト] 領域 : さまざまなタイプのレポートとテストを選択して印刷します。一部のレポートは、[表示] ボタンをクリックして、EWS で表示できます。 • [ファックス ツール] 領域 : ファックスのトラブルシューティングの設定を行います。(HP アナログ ファックス アクセサリを備えた MFP およびデジタル送信製品のみ) • [OXPd トラブルシューティング] 領域 : [Web サービスで非セキュア接続を許可] オプションを有効または無効にします。 • [自動復旧] 領域 : [自動復旧の有効化]オプションを有効または無効にします。このオプションを使用すると、電源のオン/オフが必要になる可能性があるエラーからプリンタを自動的に復旧することができます (49 エラーなど)。
[Online Help]	印刷の問題をトラブルシューティングできるクラウドベースの HP オンライン ヘルプへのリンク。
[診断データ] 注記 : この項目は、管理者パスワードを [セキュリティ] タブで設定した場合だけ選択できます。	プリンタ情報をファイルにエクスポートします。HP 技術サポートは、このファイルを使用して、問題の詳細分析を行うことができます。
[校正/クリーニング] (カラー LaserJet プリンタのみ)	自動クリーニング機能の有効化、クリーニング ページを作成して印刷、プリンタを迅速に校正するオプションの選択を行うことができます。
[出荷時の設定に戻す]	プリンタの設定を出荷時のデフォルトに戻します。
[ファームウェアのアップグレード]	プリンタのファームウェア アップグレード ファイルをダウンロードしてインストールします。

[セキュリティ] タブ

[セキュリティ] タブの設定については、表を参照してください。

表 8-9 HP 内蔵 Web サーバの [セキュリティ] タブ

メニュー	説明
[一般セキュリティ]	次を含む、一般セキュリティの設定です。 • プリンタの特定の機能へのアクセスを制限するため、管理者パスワードを設定します。 • カスタム デバイス サービス アクセス コードを設定します。 • PJL コマンドを処理するための PJL パスワードを設定します。 • ファイル システム アクセスとファームウェア アップグレードのセキュリティを設定します。 • コンピュータから直接印刷するための、コントロール パネルのホスト USB ポートまたはフォーマッタの USB 接続ポートを有効または無効にします。 • すべてのセキュリティ設定のステータスを表示します。
[アカウント ポリシー]	管理者アカウントの設定を有効にします。
[アクセス制御]	特定の個人やグループに対するプリンタ機能へのアクセスの設定、個人がプリンタへのサインインに使用する方法の選択を行います。
[保存データの保護]	プリンタの内蔵ストレージを設定および管理します。 プリンタの内蔵ストレージに格納されているジョブを設定します。
[リモート接続の管理]	デバイスで本製品を使用できるようにする証明書をインポートまたは削除することで、リモート アプリケーションを管理するかまたはホワイトリストに追加します。
[証明書の管理]	プリンタおよびネットワークにアクセスするためのセキュリティ証明書をインストールおよび管理します。
[電子メール ドメインの制限]	電子メール機能が有効な場合、管理者は、プリンタがメッセージの送信先にすることができる電子メール アドレスを制限できます。
[Web サービス セキュリティ]	別のドメインからの Web ページによる本プリンタのリソースへのアクセスを許可します。リストに追加されたサイトがない場合、すべてのサイトが信頼されたサイトとなります。
[セルフ テスト]	セキュリティ機能が、目的のシステム パラメータに応じて実行されていることを確認します。

[HP Web サービス] タブ

[HP Web サービス] タブでは、このプリンタ用に HP Web サービスを設定して有効にします。HP ePrint 機能を使用するには、HP Web サービスを有効にする必要があります。

表 8-10 HP 内蔵 Web サーバの [HP Web サービス] タブ

メニュー	説明
[Web サービスの設定]	HP Web サービスを有効にして、このプリンタを Web 上の HP Connected に接続します。
[Web プロキシ]	HP Web サービスの有効化やプリンタとインターネットの接続に問題がある場合は、プロキシ サーバを設定します。

表 8-10 HP 内蔵 Web サーバの [HP Web サービス] タブ (続き)

メニュー	説明
[HP JetAdvantage]	プリンタの機能を拡張するソリューションにアクセスします。
[Smart Cloud Print]	Smart Cloud Print を有効にし、プリンタの機能を拡張する Web ベースのアプリケーションにアクセスできるようにします。

[Networking] (ネットワーキング) タブ

[ネットワーク] タブでは、プリンタが IP ベースのネットワークに接続されている場合に、プリンタのネットワーク設定を設定して保護します。このタブは、プリンタが別のタイプのネットワークに接続されている場合は表示されません。

表 8-11 HP 内蔵 Web サーバの [ネットワーキング] タブ > 構成設定

メニュー	説明
[ワイヤレス ステーション]	初期ワイヤレス設定を設定します。 注記：使用可能な設定オプションは、お使いのプリント サーバ モデルによって異なります。
[Wi-Fi Direct]	内蔵の Wi-Fi Direct 印刷および NFC 印刷を搭載したプリンタ、またはワイヤレス アクセサリが取り付けられているプリンタで、Wi-Fi Direct 設定を設定します。 注記：使用可能な設定オプションは、お使いのプリント サーバ モデルによって異なります。
[TCP/IP 設定]	IPv4 および IPv6 ネットワークの TCP/IP 設定を設定します。 注記：使用可能な設定オプションは、お使いのプリント サーバ モデルによって異なります。
[ネットワーク設定]	プリント サーバ モデルに応じて、IPX/SPX、AppleTalk、DLC/LLC、SNMP 設定を設定します。
[その他の設定]	プリント サーバでサポートされる全般的な印刷プロトコルとサービスを設定します。使用可能なオプションはプリント サーバのモデルによって異なりますが、ファームウェア更新、LPD キュー、USB 設定、サポート情報、リフレッシュ速度が含まれることがあります。
[AirPrint]	Apple 対応プリンタからのネットワーク印刷を有効化、セットアップ、または無効化します。
[言語の選択]	HP 内蔵 Web サーバにより表示される言語を変更します。このページは、Web ページで複数の言語がサポートされている場合に使用可能です。または、ブラウザの言語の優先順位設定を使用して、サポートする言語を選択します。
[場所の選択]	プリンタを使用する国/地域を選択します。

表 8-12 HP 内蔵 Web サーバの [ネットワーキング] タブ > Google クラウド プリント設定

メニュー	説明
[セットアップ]	Google クラウド プリントのオプションを設定します。
[Web プロキシ]	プロキシ設定を構成します。

表 8-13 HP 内蔵 Web サーバの [ネットワーキング] タブ > セキュリティ設定

メニュー	説明
[設定]	現在のセキュリティ設定を表示し、出荷時の設定に戻します。 セキュリティ設定ウィザードを使用してセキュリティ設定を行います。 注記：HP Web Jetadmin などのネットワーク管理アプリケーションを使用してセキュリティを設定する場合は、セキュリティ設定ウィザードを使用しないでください。
[許可]	アクセス制御リスト (ACL) を使用してこのプリンタへのホストアクセスを制限するなど、このプリンタの設定管理および使用を制御します (IPv4 ネットワークで選択されたプリント サーバのみ)。
[安全な通信]	TLS (Transport Layer Security) プロトコルおよび暗号化オプションを設定します。
[管理プロトコル]	本プリンタのセキュリティ プロトコルを設定管理します。以下の機能が含まれます。 • HP 内蔵 Web サーバのセキュリティ管理レベルを設定し、HTTP および HTTPS 上のトラフィックを制御します。 • SNMP (Simple Network Management Protocol) の動作を設定します。プリント サーバで SNMP v1/v2c エージェントや SNMP v3 エージェントを有効または無効にします。 • 印刷プロトコル、印刷サービス、検出プロトコル、名前の解決サービス、設定管理プロトコルなど、安全性が確約されていないプロトコルを通したアクセスを制御します。
[802.1X Authentication]	ネットワーク上のクライアント認証に必要な Jetdirect プリント サーバの 802.1X 認証設定を設定したり、802.1X 認証設定を出荷時の設定に戻したりします。 注意：802.1X 認証設定を変更すると、プリンタの接続が失われることがあります。再接続するには、プリント サーバを出荷時の状態に戻し、プリンタを取り付け直す必要がある場合があります。
[IPsec/ファイアウォール]	ファイアウォール ポリシーまたは IPsec/ファイアウォール ポリシーを表示または設定します。
[通知エージェント]	HP デバイス通知エージェントを有効または無効にします。証明書による相互認証を設定します。

表 8-14 HP 内蔵 Web サーバの [ネットワーキング] タブ > 診断設定

メニュー	説明
[ネットワーク統計]	HP Jetdirect プリント サーバに収集して保存されているネットワーク統計を表示します。
[プロトコル情報]	プロトコル別に HP Jetdirect プリント サーバのネットワーク設定のリストを表示します。
[設定ページ]	ステータスおよび設定情報が記載された HP Jetdirect 設定ページを表示します。

IP ネットワークの設定

EWS を使用して、プリンタのネットワーク設定を行います。

プリンタ共有の免責条項

次の免責条項を確認します。

HP はピアツーピア ネットワークをサポートしていません。これは、Microsoft オペレーティング システムの機能であり、HP プリンタ ドライバの機能ではありません。Microsoft の Web サイト www.microsoft.com にアクセスしてください。

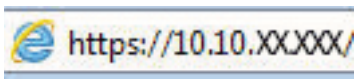
ネットワーク設定の表示または変更

HP 内蔵 Web サーバを使用して、IP 設定を表示または変更します。

1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。

   a. プリンタのコントロール パネルの [ホーム] 画面で、情報アイコンをタッチし、Ethernet アイコンをタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示させます。

   b. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロール パネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレス バーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの Enter キーを押します。EWS が開きます。

   注記：Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

2. **[ネットワーキング]** タブをクリックし、ネットワーク情報を取得します。必要に応じて設定を変更します。

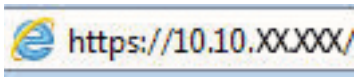
ネットワーク上でのプリンタ名の変更

プリンタを一意に識別できるようネットワーク上でプリンタ名を変更する場合は、HP 内蔵 Web サーバを使用します。

1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。

   a. プリンタのコントロール パネルの [ホーム] 画面で、情報アイコンをタッチし、Ethernet アイコンをタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示させます。

b. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロール パネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレス バーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの Enter キーを押します。EWS が開きます。



注記：Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

2. **[一般]** タブを開きます。
3. デバイス情報 ページの **[デバイス名]** フィールドにデフォルトのプリンタ名が表示されています。プリンタを一意に識別するために、この名前を変更できます。

注記：このページの他のフィールドへの入力は省略可能です。

4. 変更を保存するには、**[適用]** ボタンをクリックします。

コントロール パネルから IPv4 TCP/IP パラメータを手動で設定

コントロール パネルの 設定 メニューを使用して IPv4 アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイを手動で設定します。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、設定 アプリケーションに移動し、設定 アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます：
   a. ネットワーキング
   b. イーサネット
   c. TCP/IP
   d. IPV 4 設定
   e. 設定方法
3. 手動 オプションを選択し、保存 ボタンをタッチします。
4. 手動設定 メニューを開きます。
5. IP アドレス、サブネット マスク または デフォルト ゲートウェイ オプションをタッチします。
6. 最初のフィールドをタッチしてキーパッドを開きます。フィールドに正しい数字を入力して、OK ボタンをタッチします。

   このプロセスをフィールドごとに繰り返した後、保存 ボタンをタッチします。

コントロール パネルから IPv6 TCP/IP パラメータを手動で設定

コントロール パネルの 設定 メニューを使用して、IPv6 アドレスを手動で設定します。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、設定 アプリケーションに移動し、設定 アイコンを選択します。
2. 手動設定を有効にするため、次の各メニューを開きます。
   a. ネットワーキング
   b. イーサネット
   c. TCP/IP
   d. IPV6 設定
3. 有効化 を選択し、次に オン を選択します。
4. 手動設定の有効化 オプションを選択し、完了 ボタンをタッチします。
5. アドレスを設定するには、アドレス メニューを開いてから、フィールドをタッチしてキーパッドを開きます。
6. キーパッドを使用してアドレスを入力し、OK ボタンをタッチします。
7. [保存] をタッチします。

リンク速度と二重通信設定

リンク速度と二重通信設定を変更するには、次の手順を実行します。

注記：この情報は、Ethernet ネットワークのみに適用されます。ワイヤレス ネットワークには適用されません。

プリント サーバのリンク速度と通信モードはネットワーク ハブと一致する必要があります。特別な場合を除き、自動モードから変更しないでください。リンク速度と二重通信設定を誤って変更すると、プリンタと他のネットワーク デバイス間の通信ができなくなります。変更する必要がある場合は、プリンタのコントロール パネルを使用します。

注記：プリンタの設定は、ネットワークデバイス(ネットワークハブ、スイッチ、ゲートウェイ、ルーター、またはコンピュータ)の設定と一致している必要があります。

注記：設定を変更すると、プリンタがいったんオフになってから再びオンになります。変更を加える場合は、プリンタがアイドル状態のときに操作してください。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、設定 アプリケーションに移動し、設定 アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます：
   a. ネットワーキング
   b. イーサネット
   c. リンク速度
3. 以下のオプションから 1 つ選択してください。

- 自動 : 使用しているネットワークで可能な最高のリンク速度と通信モードに自動的に設定されます。
- 10T Half: 10Mbps、ハーフ二重
- 10T Full: 10Mbps、フル二重
- 10T Auto: 10Mbps、自動二重
- 100TX Half: 100Mbps、ハーフ二重
- 100TX Full: 100Mbps、フル二重
- 100TX Auto: 100Mbps、自動二重
- 1000T Full: 1000Mbps、フル二重

4. 保存 ボタンをタッチします。プリンタの電源を入れ直します。

プリンタのセキュリティ機能

構成設定、セキュア データへのアクセス権を持つユーザーを制限し、重要なハードウェア コンポーネントへのアクセスを防止します。

はじめに

プリンタには、構成設定やセキュア データにアクセス権を持つユーザーを制限したり、重要なハードウェア コンポーネントへのアクセスを防ぐセキュリティ機能が複数搭載されています。

セキュリティ ステートメント

この重要なセキュリティ ステートメントを確認してください。

このプリンタでは、プリンタの安全な状態の維持、ネットワーク上の重要な情報の保護、プリンタの監視および管理方法の効率化に役立つセキュリティ規格および推奨プロトコルをサポートしています。

管理者パスワードの割り当て

プリンタおよびHP 内蔵 Web サーバにアクセスするための管理者パスワードを割り当てて、権限のないユーザーがプリンタの設定を変更できないようにします。

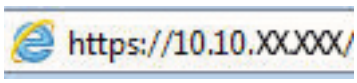
HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を使用してパスワードを設定する

次の手順に従って、プリンタのパスワードを設定します。

1. HP 内蔵 Web サーバ (EWS) を開きます。

   a. プリンタのコントロール パネルの [ホーム] 画面で、情報アイコンをタッチし、Ethernet アイコンをタッチして、IP アドレスまたはホスト名を表示させます。

   b. Web ブラウザを開き、プリンタのコントロール パネルに表示されているのと同じ IP アドレスまたはホスト名をアドレス バーに正確に入力します。コンピュータのキーボードの Enter キーを押します。EWS が開きます。

   注記 : Web サイトへのアクセスが安全でない可能性があることを示すメッセージが Web ブラウザに表示された場合は、Web サイトへのアクセスを続行するオプションを選択してください。この Web サイトへのアクセスによってコンピュータが損害を受けることはありません。

2. **[セキュリティ]** タブをクリックします。
3. **[一般セキュリティ]** メニューを開きます。
4. **[ローカル管理者パスワードを設定]** 領域で、**[ユーザー名]** フィールドのパスワードに対応する名前を入力します。
5. **[新しいパスワード]** フィールドにパスワードを入力し、**[パスワードの確認]** フィールドにパスワードを再度入力します。

   注記 : 現在のパスワードを変更する際は、最初に **[古いパスワード]** フィールドに現在のパスワードを入力します。

6. **[適用]** をクリックします。

   重要 : パスワードをメモして、安全な場所に保管してください。管理者パスワードは復元できません。管理者パスワードを紛失するか忘れた場合、完全にプリンタをリセットする方法については、HP サポートにお問い合わせください。

   プリンタのパスワードのリセットについて HP サポートに問い合わせるには、ここをクリックします。

プリンタのコントロール パネルでユーザーのアクセス認証情報を入力する

コントロール パネルにサインインするには、次の手順を実行します。

コントロール パネルの一部の機能は、権限のないユーザーが利用できないよう、保護できます。保護されている機能を利用しようとすると、サインインを要求されます。プリンタのコントロール パネルで サインイン を選択すると、サインインを求めるプロンプトが表示される前にサインインすることもできます。

通常、プリンタへのサインインの認証情報は、ネットワークにサインインするときのものと同じです。使用する資格情報について不明な点がある場合は、このプリンタを管理しているネットワーク管理者に問い合わせてください。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、サインイン を選択します。
2. プロンプトに従って認証情報を入力します。

注記：プリンタのセキュリティを維持するため、プリンタ使用後に サインアウト を選択します。

IP セキュリティ

IP セキュリティ (IPsec) は、IP ベースのネットワーク上でプリンタの送受信トラフィックを制御するプロトコルセットです。IPsec はネットワーク通信において、ホスト間の認証、データの整合性チェック、および暗号化を行います。

ネットワーク接続されており、かつ HP Jetdirect プリント サーバを備えているプリンタの場合については、HP 内蔵 Web サーバで **[ネットワーク]** タブを使用して、IPsec を設定できます。

暗号化サポート：HP ハイパフォーマンス セキュア ハードディスク

このハード ディスクではハードウェアベースの暗号化が利用できるため、プリンタの性能に影響を与えることなく、機密性のあるデータを安全に保存できます。このハード ディスクは、最新の AES (Advanced Encryption Standard) を使用し、汎用性のある時間節約機能と堅牢な機能を備えています。

HP 内蔵 Web サーバの **[セキュリティ]** メニューを使用して、このディスクを設定します。

フォーマッタのロック

フォーマッタには、セキュリティ ケーブルを取り付けるのに使用できるスロットが付いています。

フォーマッタをロックすることで、重要なコンポーネントがフォーマッタから外れるのを防ぐことができます。

省エネ設定

プリンタで使用できる省エネ設定について説明します。

スリープ タイマをセットし、2W 以下の電力を使用するようプリンタを設定します。

スリープ設定は、プリンタの消費電力、スリープ/スリープ復帰時刻、プリンタがスリープ モードに入る速度、およびスリープ モードから復帰する速度に影響します。

プリンタのスリープ モード時の消費電力を 2W 以下に設定するには、アイドル状態後スリープ と スリープ後自動オフ 設定の両方に時間を入力します。

1. プリンタのコントロール パネルの [ホーム] 画面で、設定 を選択します。
2. 以下のメニューを開きます。
   - 全般
   - 電力設定
   - スリープ設定
3. 製品がスリープ モードに入る前にどのくらいの時間 (分) アイドル状態でいるかを指定するには、アイドル状態後スリープ を選択します。適切な時間を入力します。
4. 一定時間のスリープ後にさらに深い省電力モードに入るには、スリープ後自動オフ を選択します。適切な時間を入力します。

> **注記 :** デフォルトでは、プリンタは USB や Wi-Fi 以外の操作に応答して自動オフから復帰します。電力をさらに節約する設定をするには、シャットダウン (電源ボタンのみで復帰) を選択して、電源ボタンを押した場合のみスリープから復帰するよう設定できます。

5. 完了 を選択して設定を保存します。

スリープ スケジュールの設定

スリープ スケジュール 機能は、プリンタが自動的にスリープから復帰したり、特定の曜日の特定の時間にスリープ モードになるように設定する場合に使用します。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、設定 アプリケーションに移動し、設定 アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます :
   a. 全般
   b. 電力設定
   c. スリープ スケジュール
3. 新しいイベント ボタンを選択し、スケジュール設定するイベントの種類(復帰イベント または スリープ イベント) を選択します。
4. 復帰またはスリープ イベントについては、イベントの時間と曜日を設定します。設定を保存するには、保存 をクリックします。

HP Web Jetadmin

HP Web Jetadmin は高い評価を得ている業界最高水準のツールで、ネットワーク接続されたさまざまな HP 製品 (例：プリンタ、多機能プリンタ、デジタル送信装置) を効率的に管理できます。このソフトウェア 1 つで、印刷/画像処理環境におけるリモート インストール、監視、保守、トラブルシューティング、セキュリティ確保の各作業を行うことができます。これにより、時間の節約、コストの抑制、および既存資産の有効利用が可能になるので、業務の生産性が向上します。

特定のプリンタ機能をサポートする HP Web Jetadmin の更新プログラムは定期的に提供されています。詳細については、www.hp.com/go/webjetadmin をご覧ください。

ソフトウェアおよびファームウェアの更新

HP では、プリンタ ファームウェアの機能を定期的に更新しています。プリンタ ファームウェアをアップデートすると、最新機能を利用できます。

最新のファームウェア更新ファイルを Web からダウンロードしてください。

www.hp.com/support/pwcolormfpE77650、または www.hp.com/support/pwcolormfpE77660、または www.hp.com/support/pwcolorP77940mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77950mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77960mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77440mfp にアクセスします。**[ソフトウェア、ドライバ、およびファームウェア]** をクリックします。

9 問題の解決

プリンタの問題をトラブルシューティングします。ヘルプおよびテクニカル サポートの追加リソースを確認します。

ビデオ アシスタンスについては、www.hp.com/videos/PageWide を参照してください。

以下の情報は、発行時点で正確なものです。最新の詳細は、www.hp.com/support/pwcolormfpE77650、または www.hp.com/support/pwcolormfpE77660、または www.hp.com/support/pwcolorP77940mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77950mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77960mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77440mfp を参照してください。

詳細は、次を参照してください。

お使いのプリンタに関する HP の包括的なヘルプには次の情報が含まれています。

- 設置と設定
- 学習と使用
- 問題の解決
- ソフトウェアのダウンロードとファームウェアの更新
- サポート フォーラムへの参加
- 保証および規制に関する情報の検索

コントロール パネルのヘルプ システム

このプリンタには、各画面の使い方を説明するヘルプ システムが組み込まれています。ヘルプ システムを開くには、画面の右上隅にある [ヘルプ] ボタン をタッチします。

一部の画面では、[ヘルプ] にタッチすると、特定のトピックを検索できるグローバル メニューが表示されることがあります。メニューのボタンにタッチして、メニュー構造を参照できます。

一部の [ヘルプ] 画面には、紙詰まりの解消などの具体的な手順を示すアニメーションが含まれています。

プリンタでエラーや警告が表示される場合は、[ヘルプ] ボタン をタッチして、問題を説明するメッセージを表示します。このメッセージには、問題解決に役立つ手順も記載されています。

出荷時の設定に戻す

プリンタ設定を出荷時のデフォルト設定に戻すと、問題の解決に役立つことがあります。

はじめに

プリンタを出荷時の設定に戻すには、次の方法のいずれかを実行します。

方法 1: プリンタのコントロール パネルで出荷時の設定に戻す

設定を元の値に戻すには、プリンタのコントロール パネルを使用します。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、設定 アプリケーションに移動し、設定 アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます：
   a. 全般
   b. 出荷時の設定に戻す
3. リセット を選択します。

   リセット機能を実行するとデータの損失が起こる可能性があることを知らせる確認メッセージが表示されます。
4. リセット を選択して、処理を完了します。

注記：リセット操作が完了すると、プリンタが自動的に再起動します。

方法 2: HP 内蔵 Web サーバから出荷時の設定に戻す (ネットワーク接続されているプリンタのみ)

プリンタ設定を元の設定にリセットするには、HP EWS を使用します。

1. プリンタのコントロール パネルで、[情報] ボタン を選択し、次にネットワーク アイコンを選択して IP アドレスまたはホスト名を表示させます。
2. **[一般]** タブを開きます。
3. 画面左側で、**[出荷時の設定に戻す]** をクリックします。
4. **[リセット]** ボタンをクリックします。

注記：リセット操作が完了すると、プリンタが自動的に再起動します。

「カートリッジ残量わずか」または「カートリッジ残量非常にわずか」のメッセージがプリンタのコントロール パネルに表示される

この問題に対する有効な解決策を確認します。

カートリッジ残量わずか：カートリッジの残量が少なくなると、プリンタに表示されます。実際のカートリッジの寿命は異なることがあります。印刷品質が許容範囲を下回った際に備え、交換用サプライ品をご用意ください。今すぐカートリッジを交換する必要はありません。

カートリッジ残量が非常にわずか：カートリッジの残量が非常に少なくなると、プリンタに表示されます。実際のカートリッジの寿命は異なることがあります。印刷品質が許容範囲を下回った際に備え、交換用サプライ品をご用意ください。適切な印刷品質が得られている場合、すぐにカートリッジを交換する必要はありません。

使用可能なカートリッジの寿命が終了に近づいており、HP のプレミアム プロテクション保証が終了します。サプライ品ステータス ページまたは、HP 内蔵 Web サーバ (EWS) のステータスを確認してください。

給紙されない、または給紙ミスが発生する

プリンタのトレイから用紙が給紙されない場合、または同時に複数の用紙が給紙される場合は、次の情報を活用して問題を解決します。

はじめに

プリンタのトレイから用紙が給紙されない場合、または同時に複数の用紙が給紙される場合は、次のソリューションが問題解決に役立ちます。次のいずれかの状況は、紙詰まりが原因となっている可能性があります。

用紙がピックアップされない

トレイから用紙がピックアップされない場合、次の解決策を試してください。

1. プリンタのカバーを開け、詰まっている用紙を取り除きます。プリンタ内部に紙の切れ端が残っていないことを確認します。
2. ジョブに適したサイズの用紙をトレイにセットします。
3. プリンタのコントロール パネルで用紙サイズと用紙タイプが正しく設定されていることを確認します。

4. トレイの用紙ガイドの位置を用紙サイズに合わせて調整します。トレイの適切な目印に合わせてガイドを調整します。トレイのガイドにある矢印とトレイのマークの位置を正確に揃える必要があります。

注記：用紙ガイドで用紙束をきつく固定しないようにしてください。用紙ガイドは、トレイの刻み目やマークに合わせて調整してください。

下の図は、さまざまなプリンタのトレイにある用紙サイズを示すマークの例です。ほとんどの HP プリンタには、ここに挙げたものと同様のマークが付いています。

図 9-1 トレイ 1 または汎用トレイのサイズ マーク

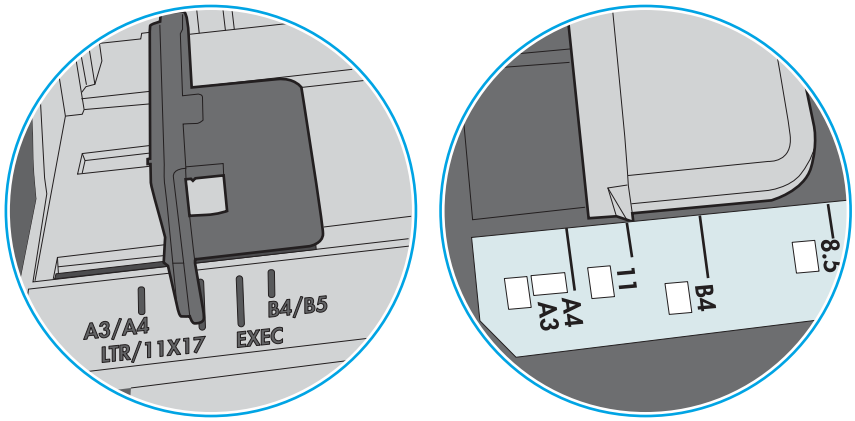
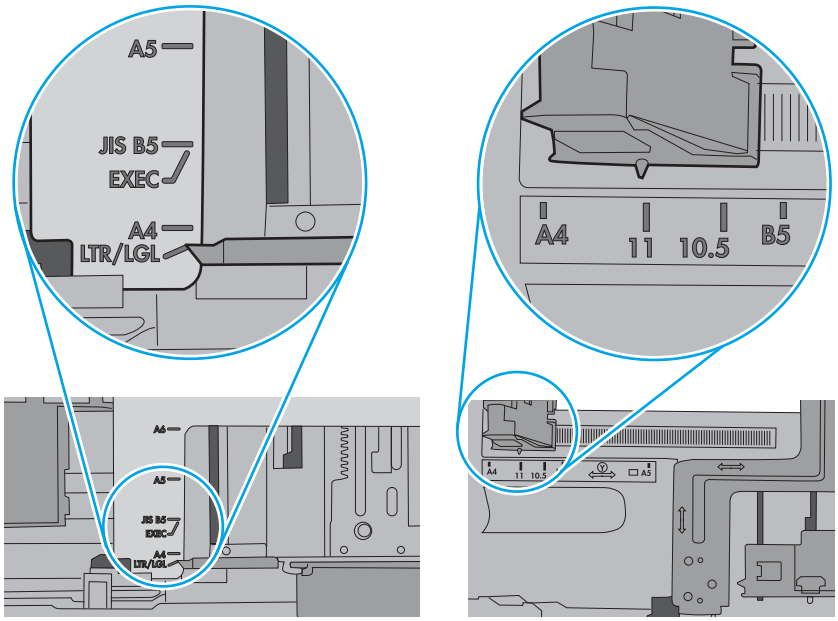


図 9-2 カセット トレイのサイズ マーク

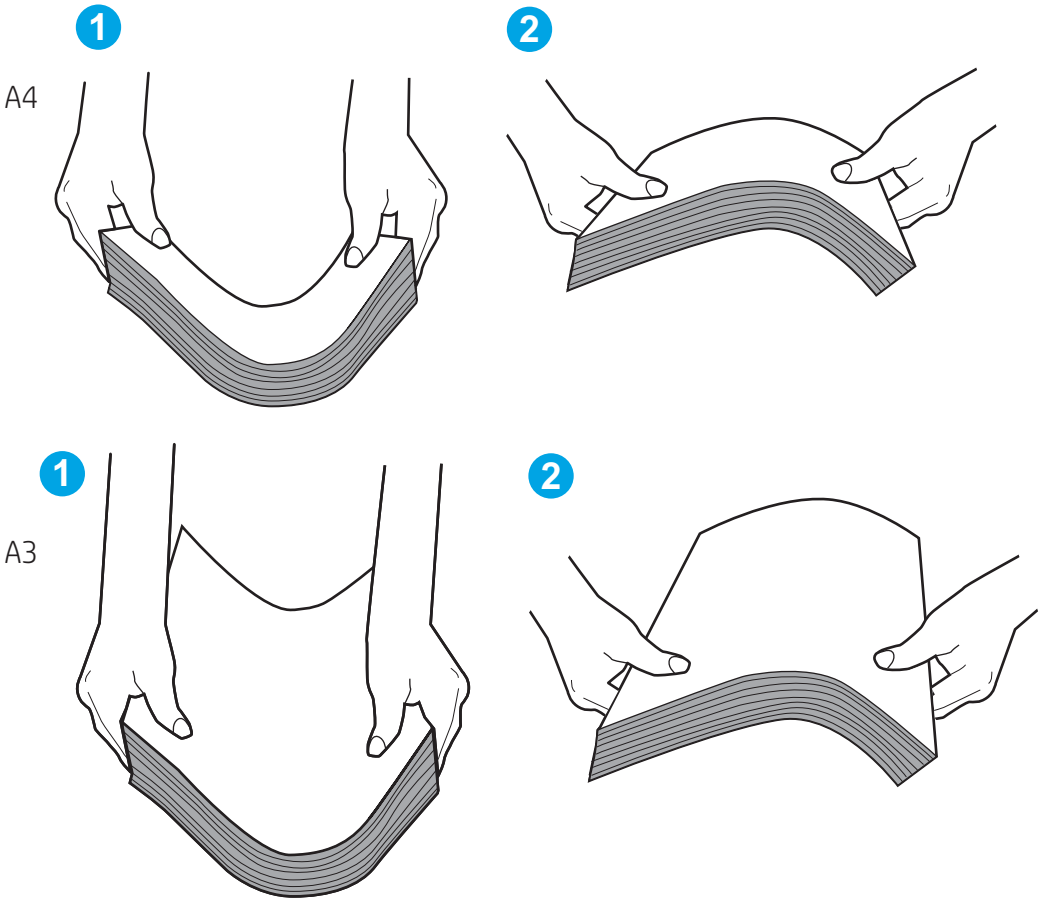


5. 室内の湿気がこのプリンタの仕様の範囲内であることと、用紙が未開封のパッケージに保存されていることを確認します。ほとんどの用紙は、乾燥状態を保つために、防湿性のある包装紙に梱包されて販売されています。

   高湿度の環境では、トレイ内の用紙束の上部にある用紙が湿気を吸収する可能性があり、波打ちやむらが生じることがあります。この場合は、用紙束の上から 5 ~ 10 枚の用紙を取り除きます。

   低湿度の環境では、過剰な静電気によって用紙がくっつき合うおそれがあります。この場合は、トレイから用紙を取り除き、用紙の両端を持って U 字状になるように上側で両端を合わせ、用紙束を曲げます。その後、両端を反転させて下向きの U 字状にします。次に、用紙束の両側面を持って、この手順を繰り返します。この処理により、静電気を生じさせることなく用紙をばらすことができます。用紙束をトレイに戻す前に、テーブル上で用紙を揃えます。

   図 9-3 用紙束の曲げ方



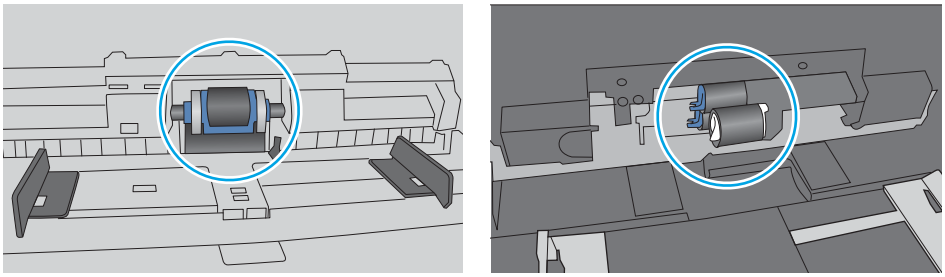
6. 手差しでの給紙が表示されているかどうかを、プリンタのコントロール パネルで確認します。用紙をセットして続行します。

7. トレイの上にあるローラーが汚れている可能性があります。水で湿らせた糸くずの出ない布でローラーを拭きます。使用できる場合は蒸留水を使用します。

⚠ 注意 : プリンタに直接水を吹き付けないでください。布に水を吹き付けるか布を水に軽く浸して絞ってから、ローラーをクリーニングしてください。

下の図は、各種プリンタのローラーの場所の例です。

図 9-4 トレイ 1 または汎用トレイのローラーの場所



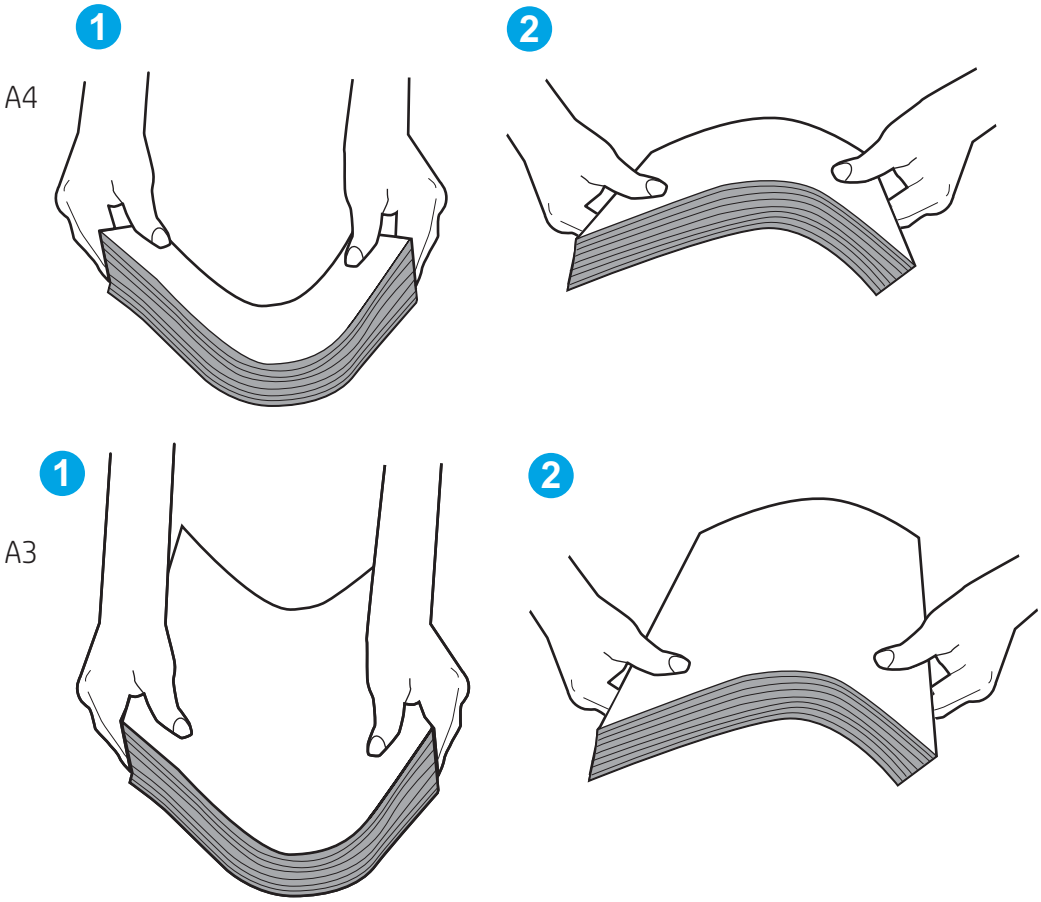
複数枚の用紙がピックアップされる

トレイから複数枚の用紙がピックアップされる場合、次の解決策を試してください。

1. トレイから用紙の束を取り出してさばき、左右を入れ替え、裏返します。*用紙の束を振らないでください。*用紙の束をトレイに戻します。

注記 : 用紙をあおると、静電気が発生します。用紙をあおるのではなく、用紙束の両端を持って U 字状になるように上側で両端を合わせ、用紙束を曲げます。その後、両端を反転させて下向きの U 字状にします。次に、用紙束の両側面を持って、この手順を繰り返します。この処理により、静電気を生じさせることなく用紙をばらすことができます。用紙束をトレイに戻す前に、テーブル上で用紙を揃えます。

図 9-5 用紙束の曲げ方



2. このプリンタに対応する HP の仕様を満たす用紙だけを使用します。
3. 室内の湿気がこのプリンタの仕様の範囲内であることと、用紙は未開封のパッケージに保存されていることを確認します。ほとんどの用紙は、乾燥状態を保つために、防湿性のある包装紙に梱包されて販売されています。

   高湿度の環境では、トレイ内の用紙束の上部にある用紙が湿気を吸収する可能性があり、波打ちやむらが生じることがあります。この場合は、用紙束の上から 5 ~ 10 枚の用紙を取り除きます。

   低湿度の環境では、過剰な静電気によって用紙がくっつき合うおそれがあります。この場合は、トレイから用紙を取り除き、前述の方法で用紙束を曲げます。
4. しわ、折り目、損傷などがない用紙を使用します。必要があれば、別のパッケージの用紙を使用する。

5. トレイ内部の積載制限マークを確認して、トレイがあふれていないことを確認します。あふれている場合は、用紙束全体をトレイから取り出してまっすぐ揃え、その一部をトレイに戻します。

次の例は、各種プリンタのトレイに付いている積載制限マークです。ほとんどの HP プリンタには、ここに挙げたものと同様のマークが付いています。さらに、すべての用紙が積載制限マークの近くにあるつまみよりも下にあることを確認します。これらのつまみは、プリンタに送られる用紙を正しい位置に保持するためのものです。

図 9-6 積載制限マーク

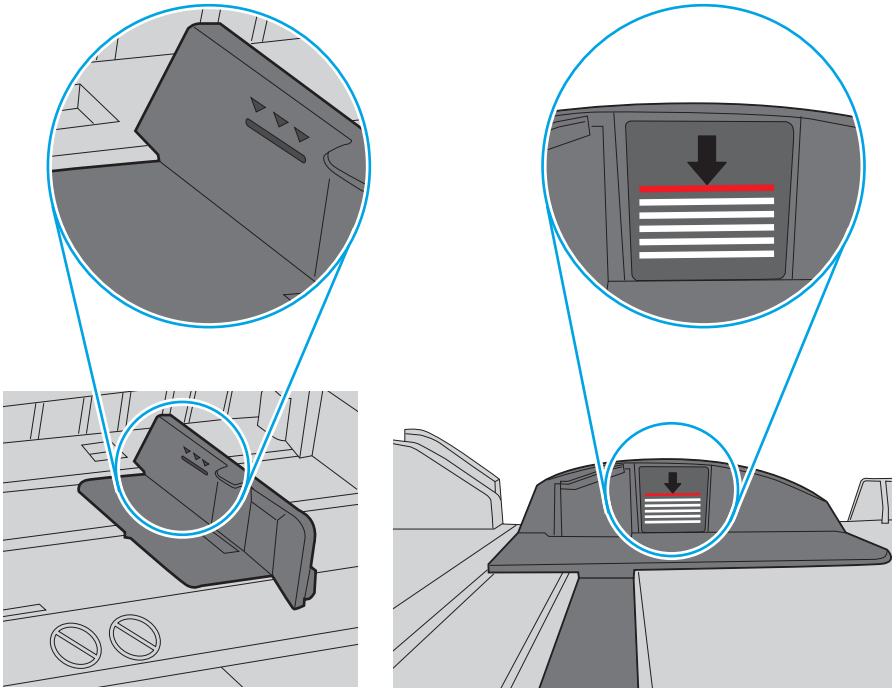
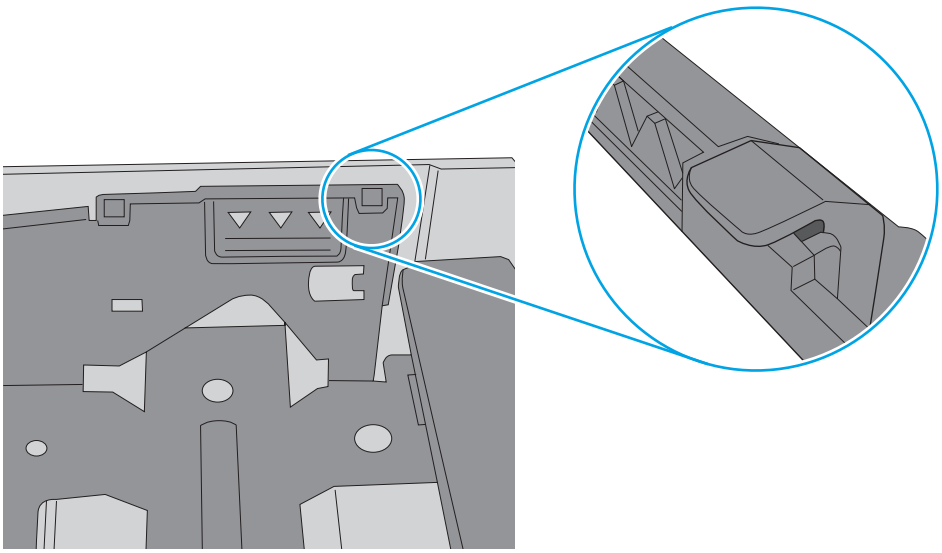


図 9-7 用紙束用のつまみ



6. トレイの用紙ガイドの位置を用紙サイズに合わせて調整します。トレイの適切な目印に合わせてガイドを調整します。トレイのガイドにある矢印とトレイのマークの位置を正確に揃える必要があります。

注記：用紙ガイドで用紙束をきつく固定しないようにしてください。用紙ガイドは、トレイの刻み目やマークに合わせて調整してください。

下の図は、さまざまなプリンタのトレイにある用紙サイズを示すマークの例です。ほとんどの HP プリンタには、ここに挙げたものと同様のマークが付いています。

図 9-8 トレイ 1 または汎用トレイのサイズ マーク

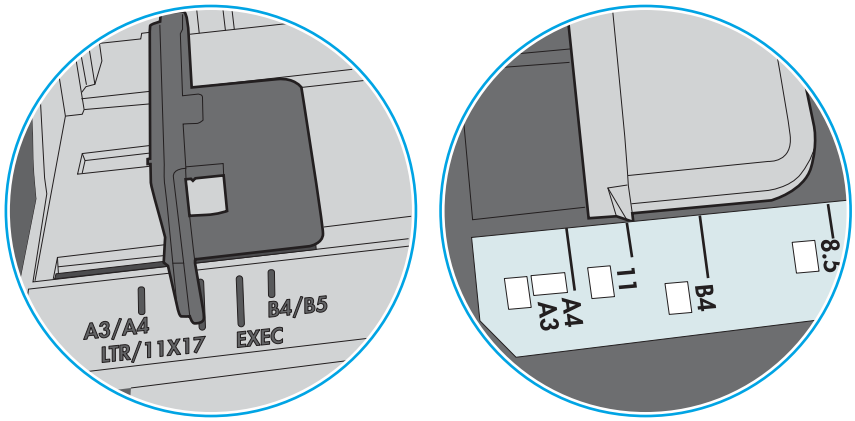
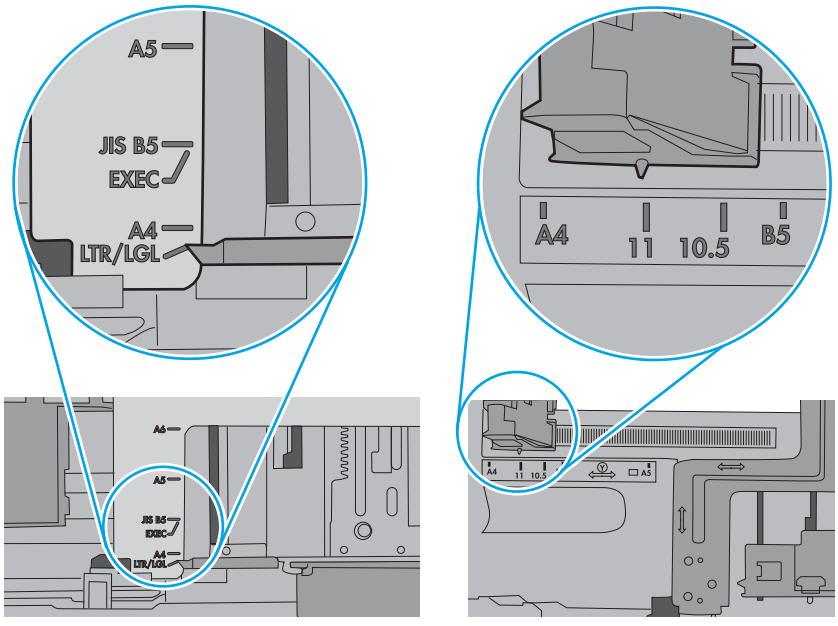


図 9-9 カセット トレイのサイズ マーク



7. 印刷環境が推奨される仕様の範囲内であることを確認します。

文書フィーダで紙詰まり、スキューが起こったり、複数枚の用紙がピックアップされる

文書フィーダで紙詰まり、スキューが起こったり、複数枚の用紙がピックアップされる場合は、以下の解決策を試してください。

注記：この情報は、MFP プリンタのみに適用されます。

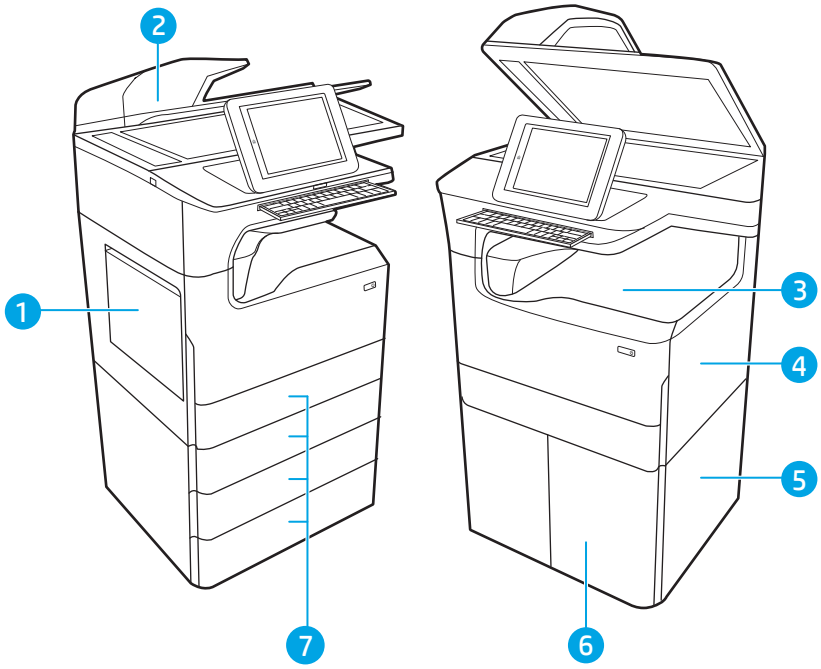
- 原稿にステイプルまたはシールなどが付着している可能性があります。これらは取り外す必要があります。
- すべてのローラーが正しい場所にあり、文書フィーダ内のローラー アクセス カバーが閉じていることを確認します。
- 文書フィーダの上部カバーが閉じていることを確認します。
- ページが正しくセットされていない可能性があります。ページをまっすぐにそろえて、スタックが中央になるように用紙ガイドを調整します。
- 用紙ガイドを適切に機能させるには、用紙ガイドが用紙スタックの両側に接触している必要があります。用紙スタックをまっすぐにそろえて、用紙ガイドを用紙スタックに合わせます。
- 文書フィーダの給紙トレイまたは排紙ビンに最大枚数を超えるページが置かれている可能性があります。用紙スタックが給紙トレイのガイドの下に収まっていることを確認し、排紙ビンからページを取り除きます。
- 紙の断片、ステイプル、クリップ、またはその他のごみが用紙経路にないことを確認します。
- 文書フィーダ ローラーと仕分けパッドをクリーニングします。エアスプレー、またはぬるま湯で湿らせた繊維の残らない布を使用します。それでも給紙ミスが解決しない場合は、ローラーを交換します。
- プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、[サプライ品] ボタンまでスクロールしてタッチします。文書フィーダ キットのステータスを確認して、必要な場合には交換します。

紙詰まりの解消

プリンタの用紙経路から紙詰まりを解消するには、このセクションの手順を実行します。

紙詰まりの発生場所

紙詰まりは、次の場所で発生する可能性があります。



番号	説明
1	トレイ 1 と左側のドア
2	文書フィーダ
3	排紙ビンまたは内部フィニッシャ (E77650dns、E77650zs、E77660dns、E77660zs、P77940dns、P77950dns、P77960dns モデルのみ)
4	右ドア (両面印刷ユニット)
5	右下のドア
6	4,000 枚 HCI フィーダ
7	550 枚用紙トレイ

自動ナビゲーションによる紙詰まり解消

プリンタの紙詰まりを解消する自動ナビゲーションについて説明します。

コントロールパネルに表示される操作手順によって、紙詰まり解消をサポートする機能です。

手順にある操作手順を完了するまで、1 つの手順を完了すると、次の手順に関する指示が表示されます。

紙詰まりが頻繁に、または繰り返し発生する

紙詰まりを減らすには、次の解決策を試してください。

1. このプリンタに対応する HP の仕様を満たす用紙だけを使用します。
2. しわ、折り目、損傷などがない用紙を使用します。必要があれば、別のパッケージの用紙を使用する。
3. 印刷またはコピーされた用紙でない、新品の用紙を使用します。
4. トレイから用紙があふれていないかどうかを確認します。あふれている場合は、用紙の束全体をトレイから取り出し、束をまっすぐ揃え、その一部をトレイに戻します。
5. トレイの用紙ガイドの位置を用紙サイズに合わせて調整します。用紙ガイドは、用紙の束にちょうど触れる位置に動かします。用紙がたわまないようにします。
6. トレイがプリンタにしっかり挿入されているかどうかを確認します。
7. 厚紙、エンボス加工された用紙、またはミシン目が入っている用紙に印刷する場合、手動用紙送り機能を利用し、一度に 1 枚ずつ用紙を送ります。
8. プリンタのコントロール パネルで トレイ メニューを開きます。トレイが用紙のタイプとサイズに合わせて適切に設定されていることを確認します。
9. 印刷環境が推奨される仕様の範囲内であることを確認します。

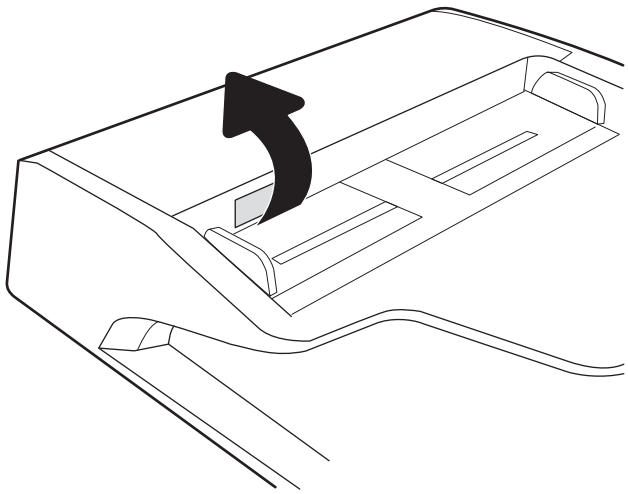
文書フィーダにおける紙詰まりの解消 – 31.13.yz

紙詰まりが発生すると、コントロール パネルに、紙詰まりの解消に役立つエラー メッセージとアニメーションが表示されます。

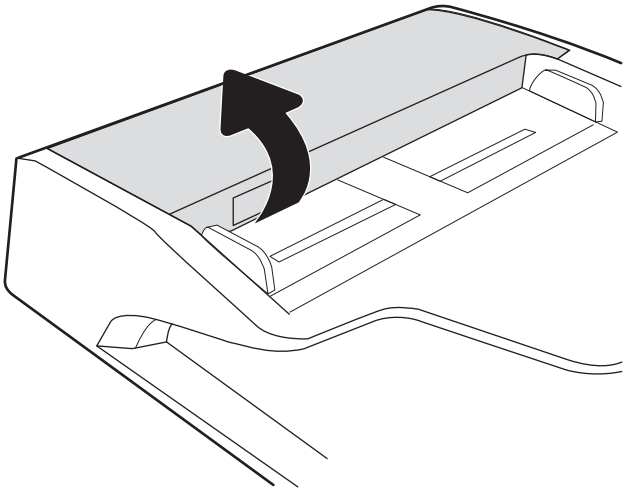
文書フィーダでの紙詰まりは、31.13.yz エラー コードの原因です。

紙詰まりを解消するには、次の手順を実行します。

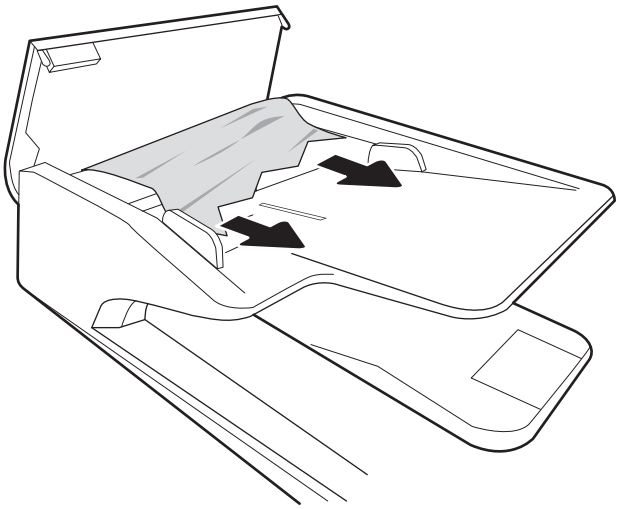
1. ラッチを持ち上げて、文書フィーダのカバーを解放します。



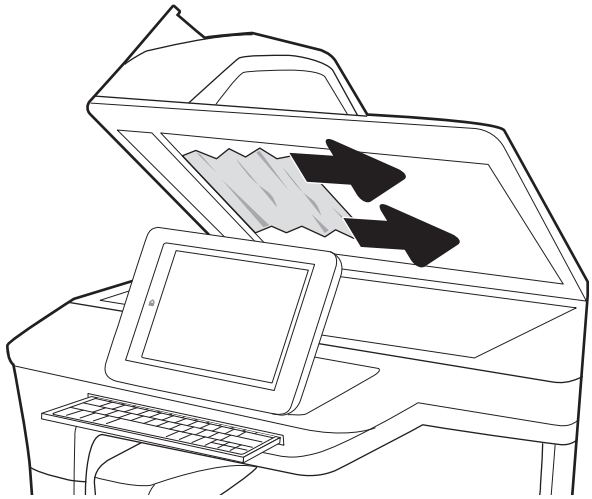
2. 文書フィーダのカバーを開けます。



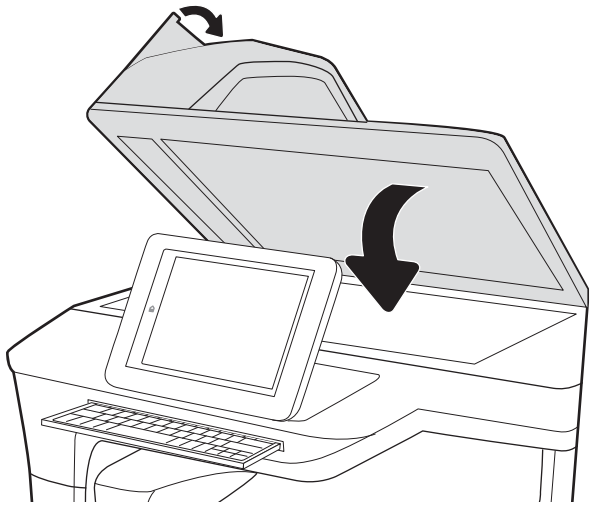
3. 詰まっている用紙をすべて取り除きます。



4. スキャナ カバーを持ち上げ、スキャナ カバーの下部から詰まっている用紙を取り除きます。



5. スキャナ カバーと文書フィーダのカバーを閉じます。



6. プリンタ内部に用紙が残っている場合は、残りのページを取り出す方法がコントロール パネルに表示されます。

注記：紙詰まりを防ぐため、文書フィーダ給紙トレイのガイドを文書にぴったり合うように調整してください。ステイプルや用紙クリップはすべて原稿から取り外してください。

注記：原稿を厚手光沢紙に印刷する場合は、普通紙に印刷するよりも紙詰まりが発生しやすくなります。

トレイ 1 の紙詰まりの解消 - 15.A1.yz、15.D1.51、15.D1.81、15.D2.A1、15.D2.D1

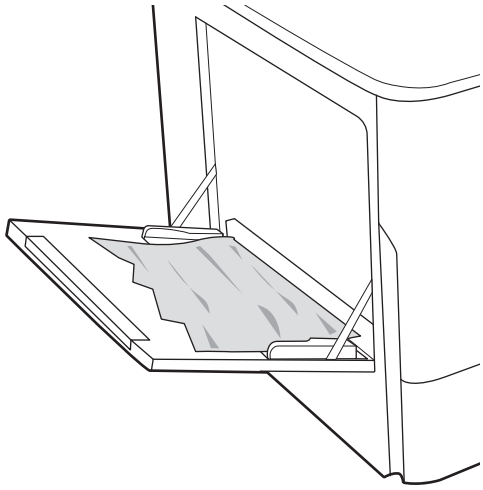
紙詰まりが発生すると、コントロール パネルに、紙詰まりの解消に役立つエラー メッセージとアニメーションが表示されます。

トレイ 1 での紙詰まりは、以下のエラー コードの原因になる可能性があります。

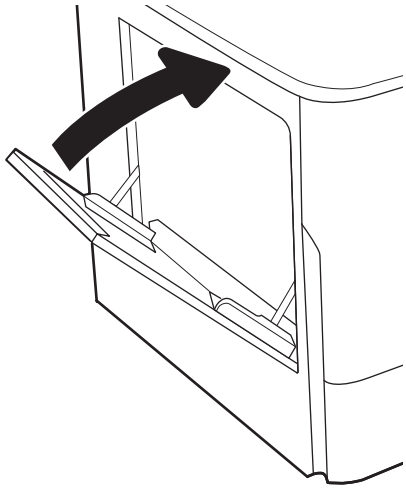
- 15.A1.yz
- 15.D1.51
- 15.D1.81
- 15.D2.A1
- 15.D2.D1

紙詰まりを解消するには、次の手順を実行します。

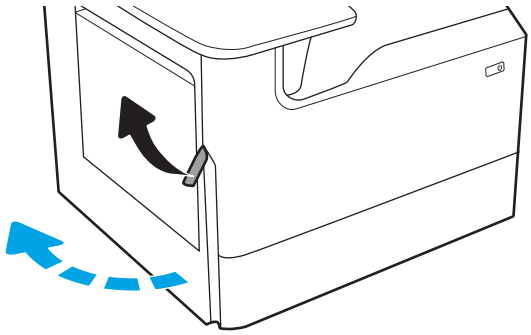
1. トレイ 1 に詰まっている用紙が見える場合は、用紙をゆっくりと引き出して紙詰まりを取り除きます。



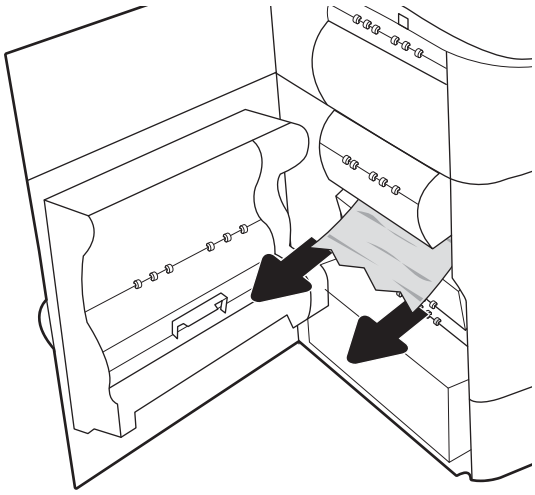
2. トレイ 1 を閉じます。



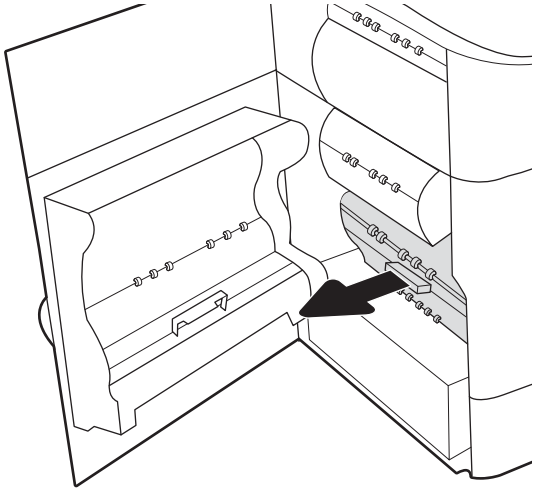
3. 左側のドアを開きます。



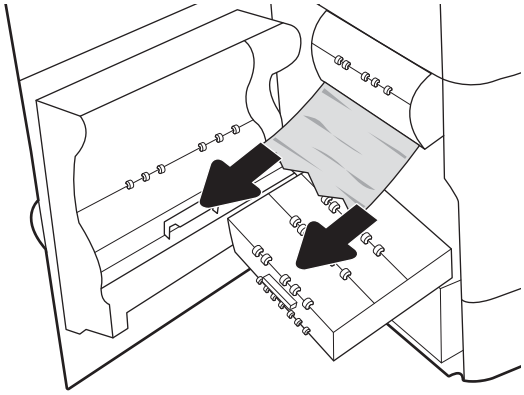
4. 詰まっている用紙をまっすぐに引き出します。



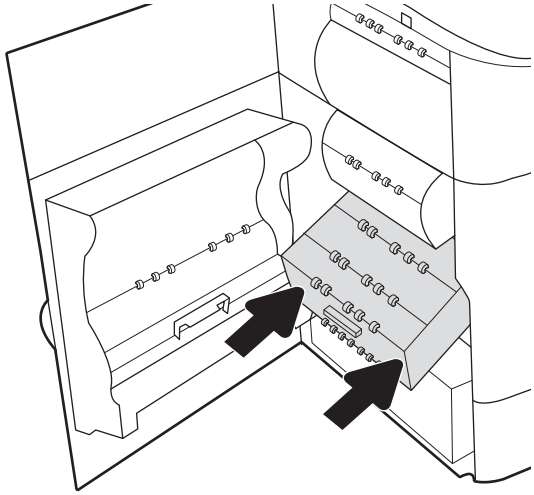
5. 詰まっている用紙が見えない場合は、サービス用液体コンテナを引き出します。



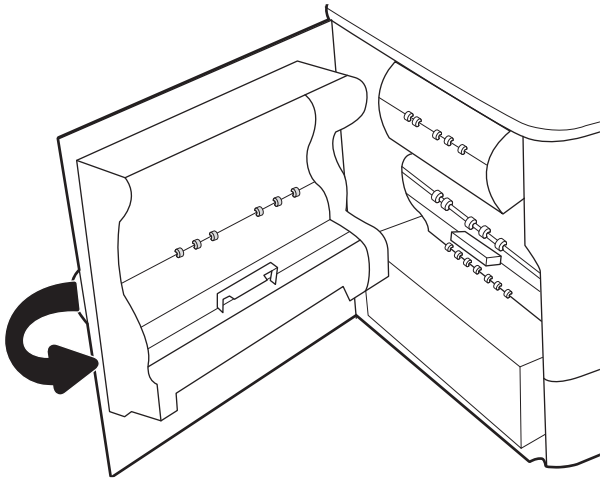
6. 詰まっている用紙をまっすぐに引き出します。



7. サービス用液体コンテナをプリンタに押し込みます。



8. 左側のドアを閉じます。



9. プリンタ内部に用紙が残っている場合は、残りのページを取り出す方法がコントロール パネルに表示されます。

トレイ 2 の紙詰まりの解消 - 15.A2.yz、15.D2.52、15.D2.82、15.D2.A2、15.D2.D2

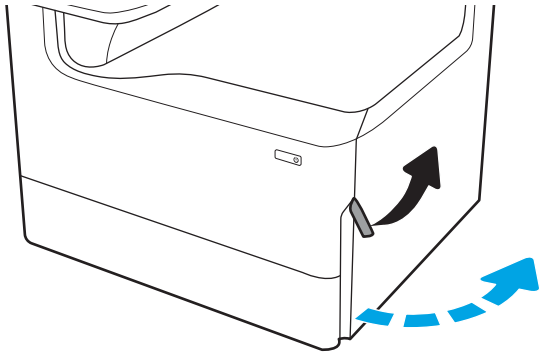
紙詰まりが発生すると、コントロール パネルに、紙詰まりの解消に役立つエラー メッセージとアニメーションが表示されます。

トレイ 2 での紙詰まりは、以下のエラー コードの原因になる可能性があります。

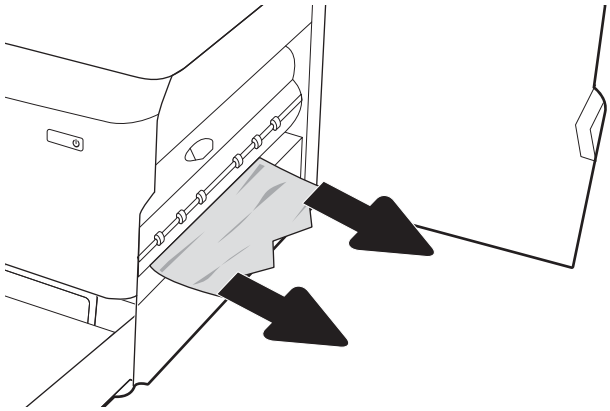
- 15.A2.yz
- 15.D2.52
- 15.D2.82
- 15.D2.A2
- 15.D2.D2

紙詰まりを解消するには、次の手順を実行します。

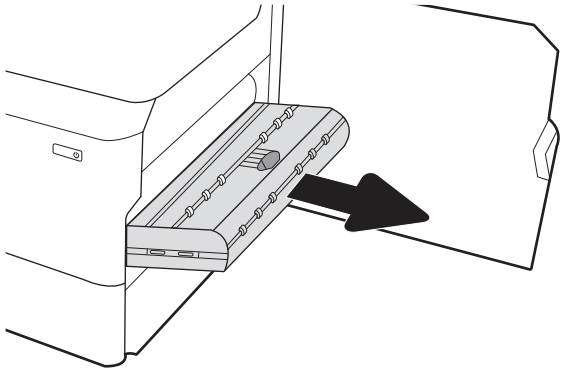
1. 右のドアを開きます。



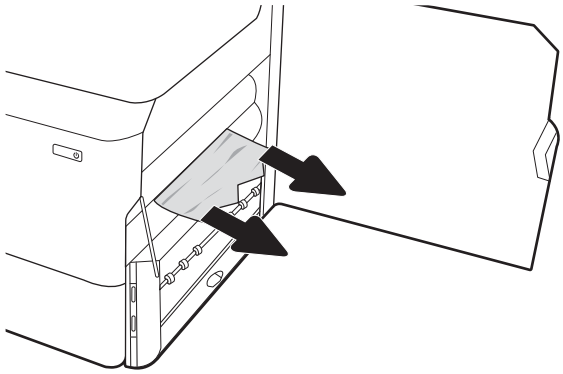
2. 詰まっている用紙をすべて取り除きます。



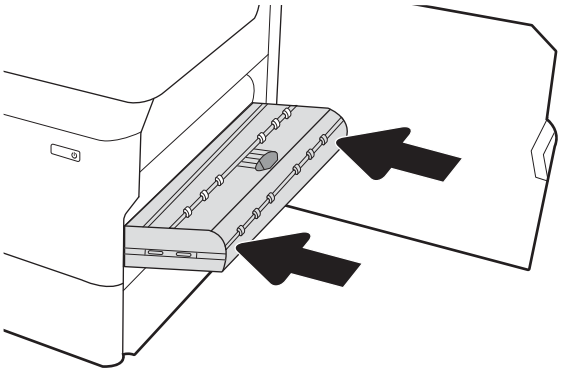
3. 詰まっている用紙が見えない場合は、両面印刷ユニットを取り外します。



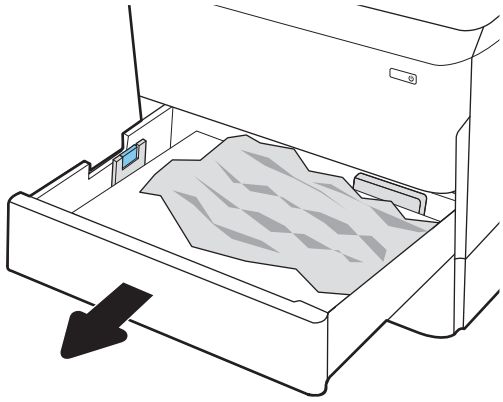
4. 詰まっている用紙をまっすぐに引き出します。



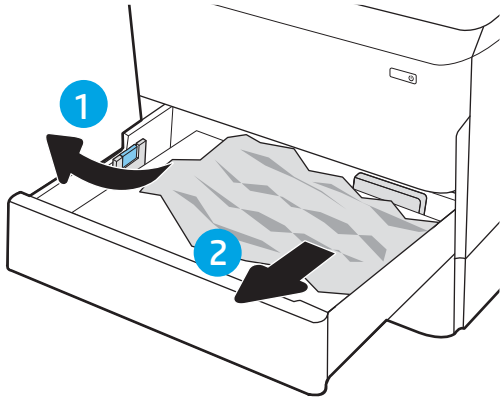
5. 両面印刷ユニットを取り付け直します。



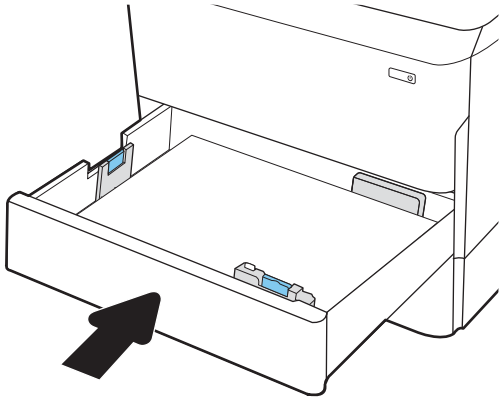
6. トレイを開きます。



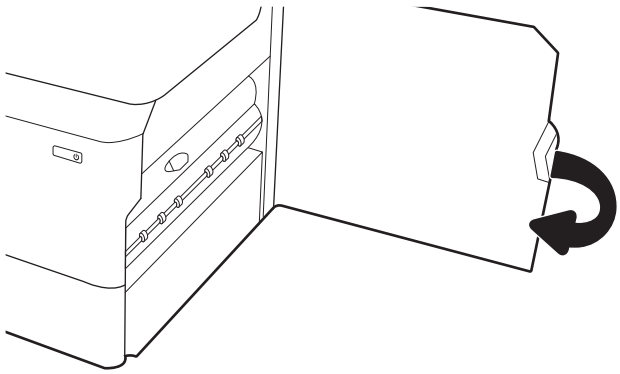
7. プリンタ内部のフィードローラーに詰まった用紙を取り除きます。まず用紙を左側に引き、次に前方に引いて取り除きます。



8. トレイを閉じます。



9. 右側のドアを閉じます。



10. プリンタ内部に用紙が残っている場合は、残りのページを取り出す方法がコントロール パネルに表示されます。

トレイ 3 の紙詰まりの解消 - 15.A3.yz、15.12.A3、15.12.D3

紙詰まりが発生すると、コントロール パネルに、紙詰まりの解消に役立つエラー メッセージとアニメーションが表示されます。

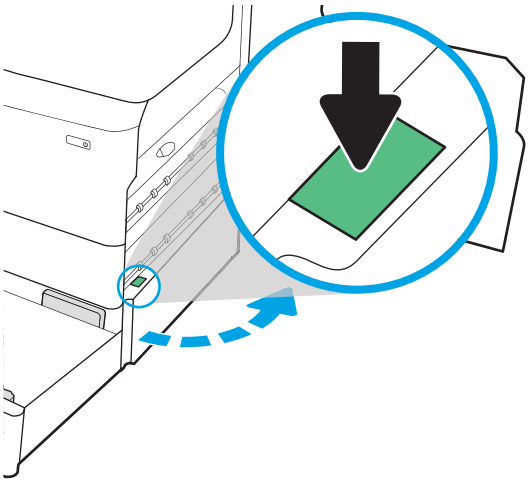
トレイ 3 での紙詰まりは、以下のエラー コードの原因になる可能性があります。

- 15.A3.yz
- 15.12.A3
- 15.12.D3

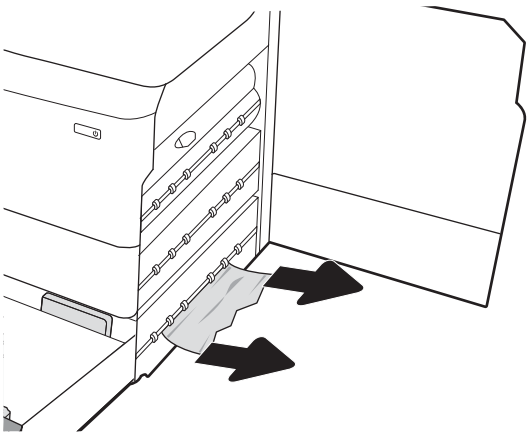
紙詰まりを解消するには、次の手順を実行します。

注記：スタンド付き 1x550 用紙トレイから用紙の紙詰まりを取り除く手順は、テーブルトップ 1x550 用紙トレイと同じです。ここでは、テーブルトップ トレイのみ示します。

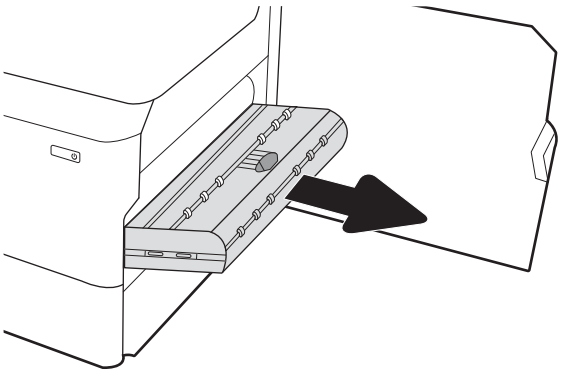
1. 右側のドアを開き、次に右下のドアを開きます。



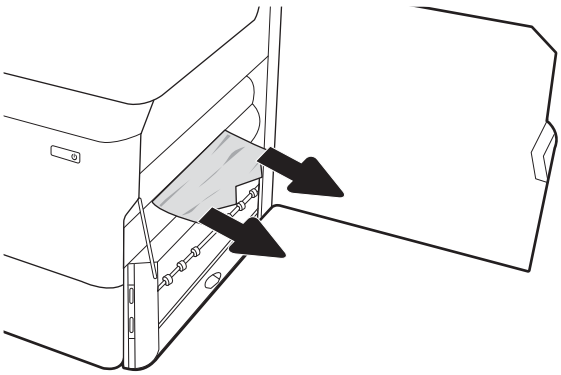
2. 紙詰まりがあればゆっくりと引き出します。



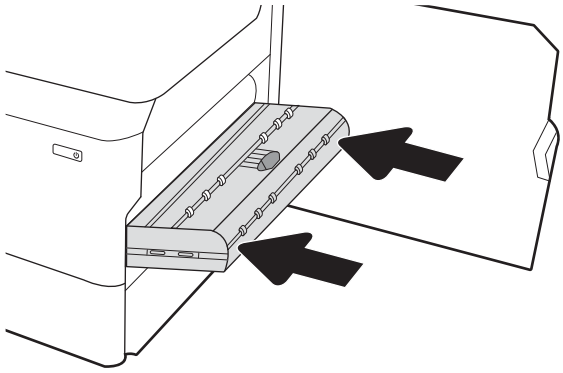
3. 詰まっている用紙が見えない場合は、両面印刷ユニットを取り外します。



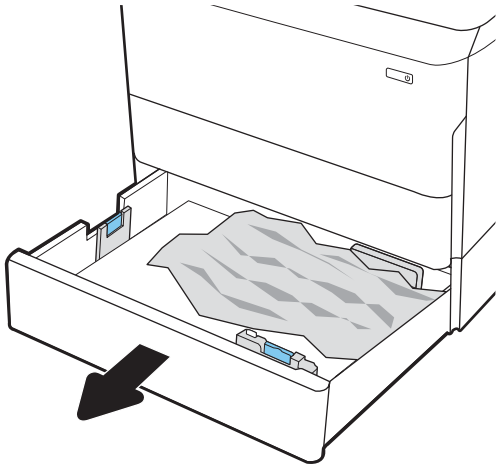
4. 詰まっている用紙をまっすぐに引き出します。



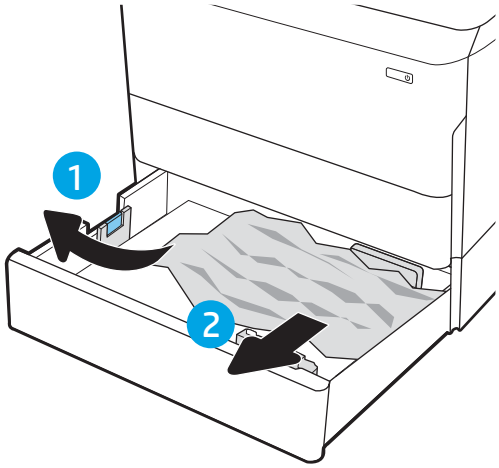
5. 両面印刷ユニットを取り付け直します。



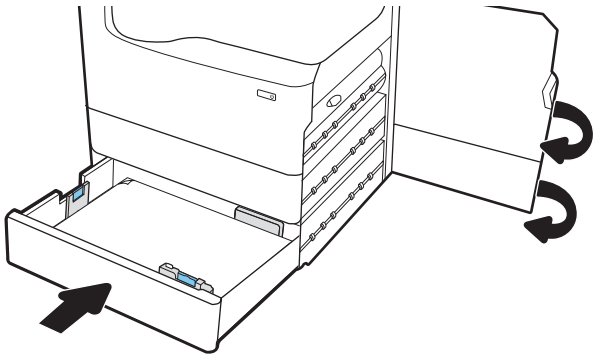
6. トレイを開きます。



7. プリンタ内部のフィードローラーに詰まった用紙を取り除きます。まず用紙を左側に引き、次に前方に引いて取り除きます。



8. 右下のドアと右側のドアを閉じてからトレイを閉じます。



9. プリンタ内部に用紙が残っている場合は、残りのページを取り出す方法がコントロール パネルに表示されます。

排紙ビンでの紙詰まりの解消 - 15.E1.yz、15.C1.Az

紙詰まりが発生すると、コントロール パネルに、紙詰まりの解消に役立つエラー メッセージとアニメーションが表示されます。

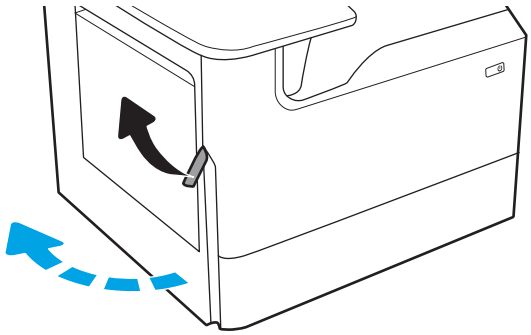
排紙ビンでの紙詰まりは、次のいずれかのエラー コードの原因になる可能性があります。

- 15.E1.yz
- 15.C1.Az

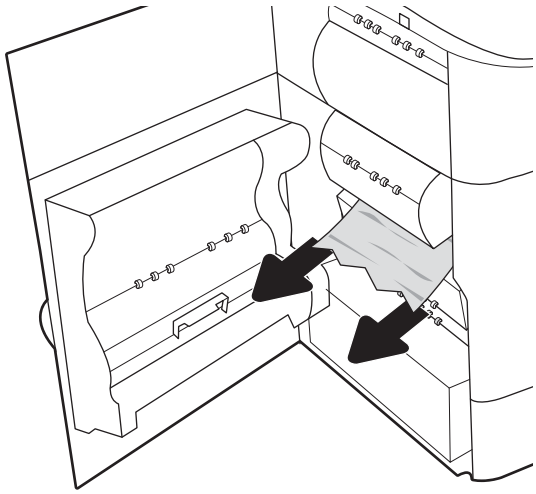
紙詰まりを解消するには、次の手順を実行します。

1. 排紙ビン内の用紙が見える場合は、上端をつかんで取り除きます。

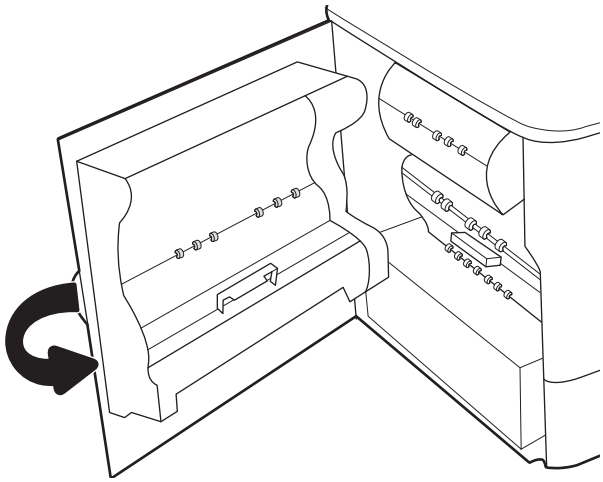
2. 左側のドアを開きます。



3. 詰まっている用紙をすべて取り除きます。



4. 左側のドアを閉じます。



5. プリンタ内部に用紙が残っている場合は、残りのページを取り出す方法がコントロール パネルに表示されます。

両面印刷ユニットでの紙詰まりの解消 - 15.D1.yz、15.D2.yz、15.C1.5z、15.C1.8z、15.C1.9z

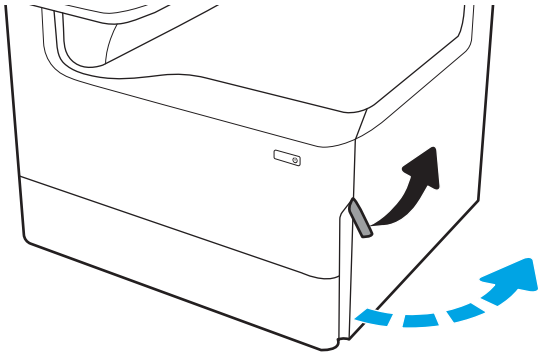
紙詰まりが発生すると、コントロール パネルに、紙詰まりの解消に役立つエラー メッセージとアニメーションが表示されます。

両面印刷ユニットでの紙詰まりは、以下のエラー コードの原因になる可能性があります。

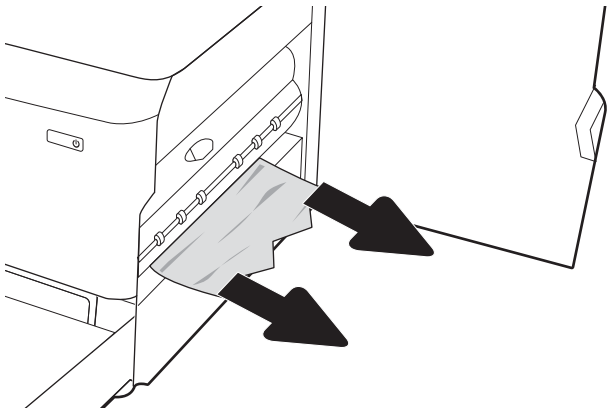
- 15.D1.yz
- 15.D2.yz
- 15.C1.5z
- 15.C1.8z
- 15.C1.9z

紙詰まりを解消するには、次の手順を実行します。

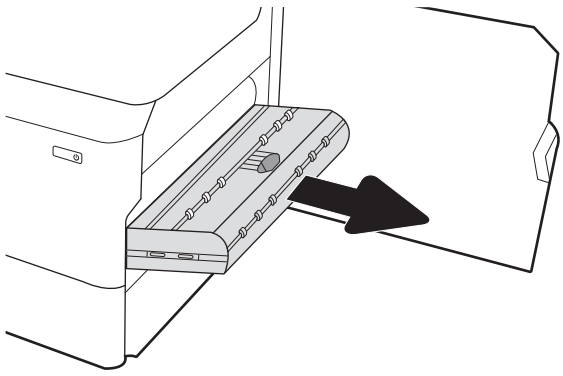
1. 右のドアを開きます。



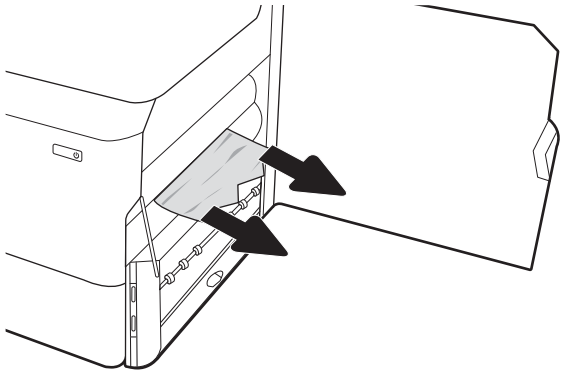
2. 詰まっている用紙をすべて取り除きます。



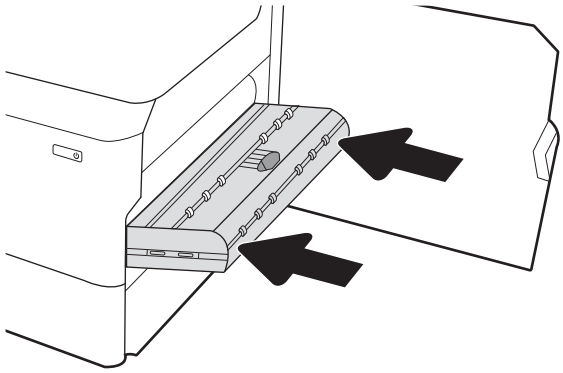
3. 詰まっている用紙が見えない場合は、両面印刷ユニットを取り外します。



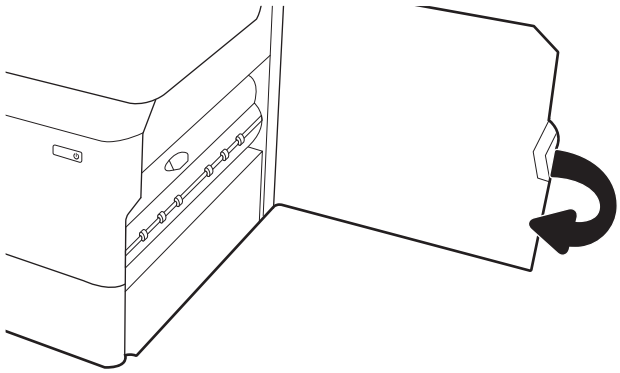
4. 詰まっている用紙をまっすぐに引き出します。



5. 両面印刷ユニットを取り付け直します。



6. 右側のドアを閉じます。



7. プリンタ内部に用紙が残っている場合は、残りのページを取り出す方法がコントロール パネルに表示されます。

3 X 550 トレイ内の紙詰まりの解消 - 15.A4.yz、15.A5.yz、15.A6.yz、15.A9.yz、15.37.yz、15.38.yz、15.48.yz

紙詰まりが発生すると、コントロール パネルに、紙詰まりの解消に役立つエラー メッセージとアニメーションが表示されます。

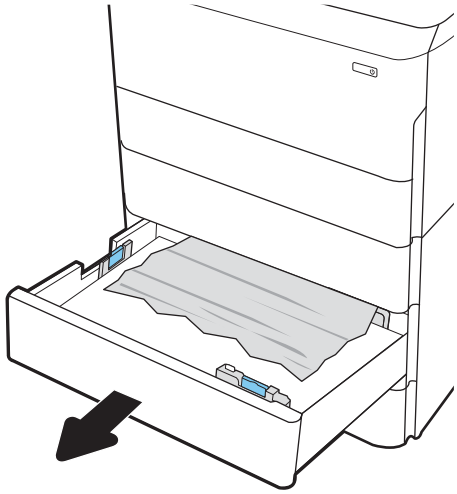
3 x 550 枚アクセサリでの紙詰まりは、以下のエラー コードの原因になる可能性があります。

- 15.A4.yz
- 15.A5.yz
- 15.A6.yz

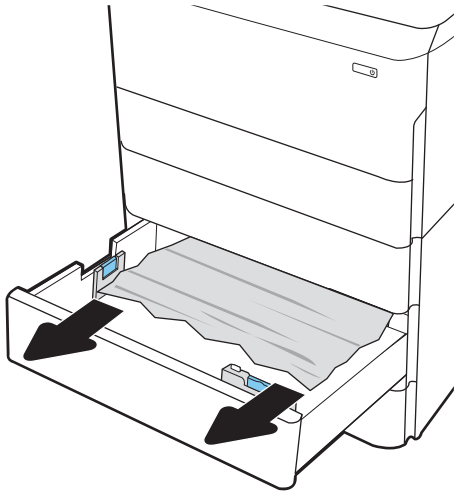
- 15.A9.yz
- 15.37.yz
- 15.38.yz
- 15.48.yz

紙詰まりを解消するには、次の手順を実行します。

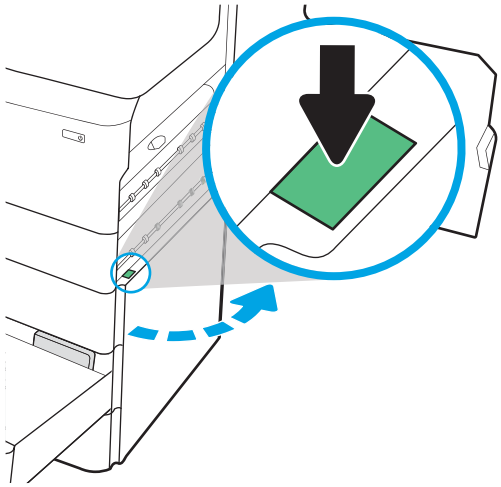
1. いずれかのトレイを開きます。



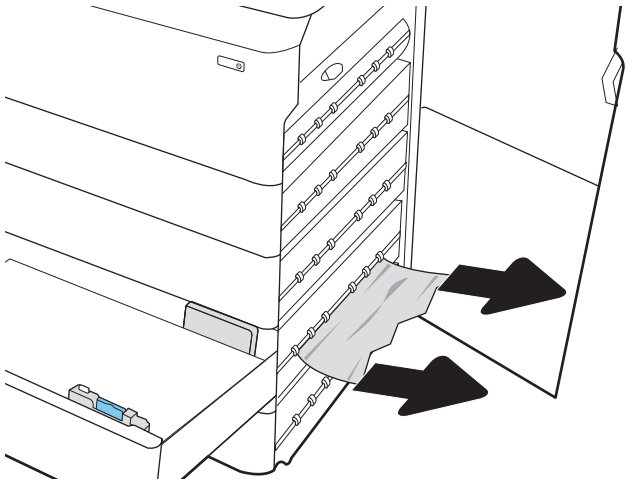
2. プリンタ内部のフィードローラーに詰まった用紙を取り除きます。まず用紙を左側に引き、次に前方に引いて取り除きます。



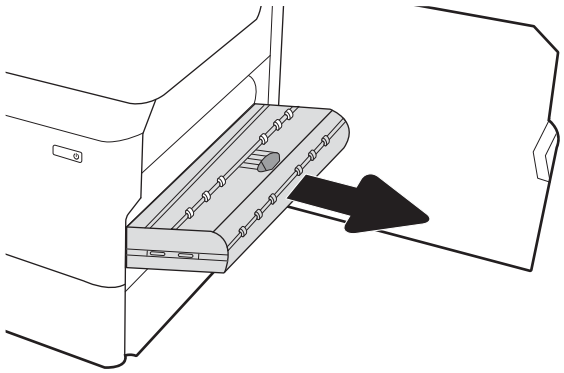
3. 右側のドアを開き、次に右下のドアを開きます。



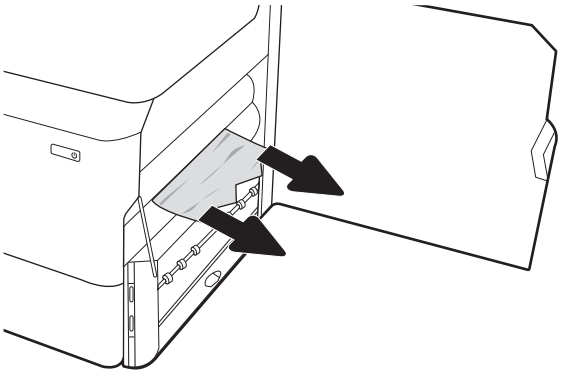
4. 紙詰まりがあればゆっくりと引き出します。



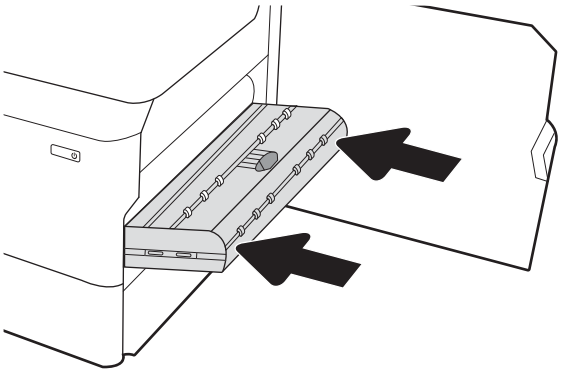
5. 詰まっている用紙が見えない場合は、両面印刷ユニットを取り外します。



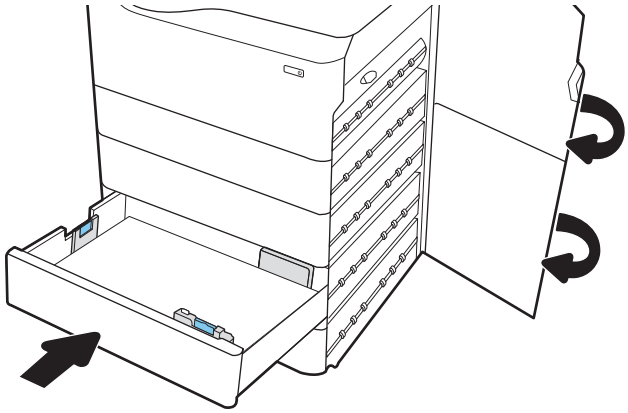
6. 詰まっている用紙をまっすぐに引き出します。



7. 両面印刷ユニットを取り付け直します。



8. 右側のドアおよび右の下ドアを閉じてから、トレイを閉じます。



9. プリンタ内部に用紙が残っている場合は、残りのページを取り出す方法がコントロール パネルに表示されます。

4,000 枚 HCI 内の紙詰まりの解消 - 15.A7.yz、15.A8.yz、15.37.yz、15.38.yz、15.48.yz

紙詰まりが発生すると、コントロール パネルに、紙詰まりの解消に役立つエラー メッセージとアニメーションが表示されます。

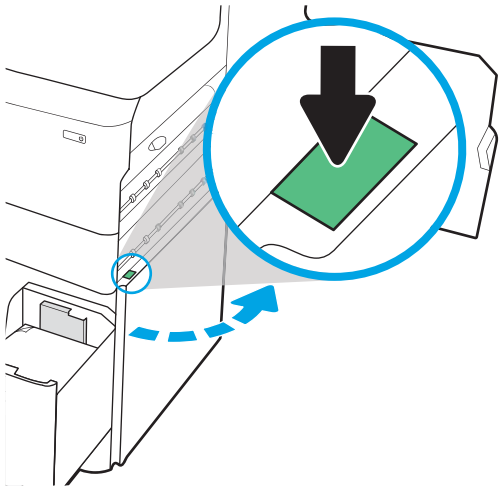
4000 枚 HCI アクセサリでの紙詰まりは、以下のエラー コードの原因になる可能性があります。

- 15.A7.yz
- 15.A8.yz
- 15.37.yz

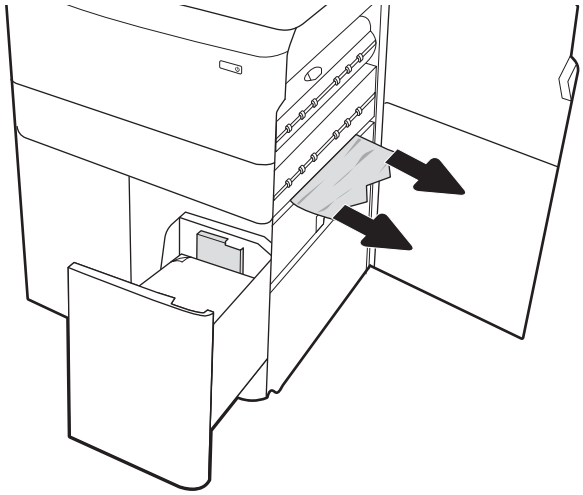
- 15.38.yz
- 15.48.yz

紙詰まりを解消するには、次の手順を実行します。

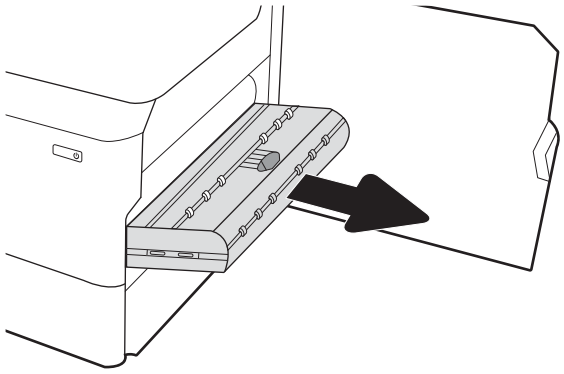
1. 右側のドアを開き、次に右下のドアを開きます。



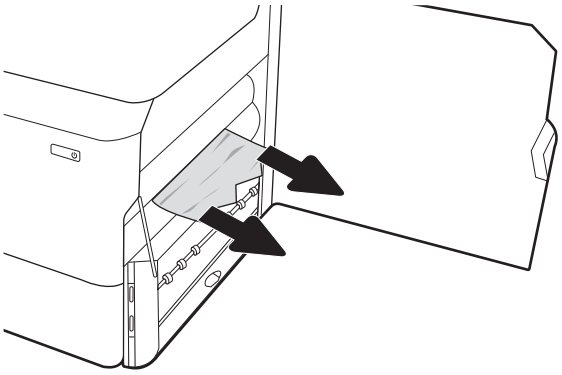
2. 詰まっている用紙をすべて取り除きます。



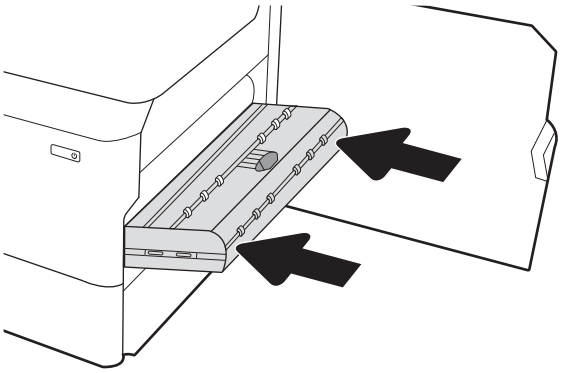
3. 詰まっている用紙が見えない場合は、両面印刷ユニットを取り外します。



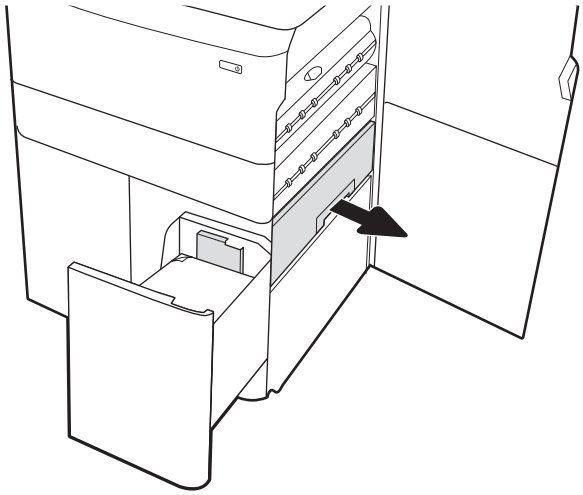
4. 詰まっている用紙をまっすぐに引き出します。



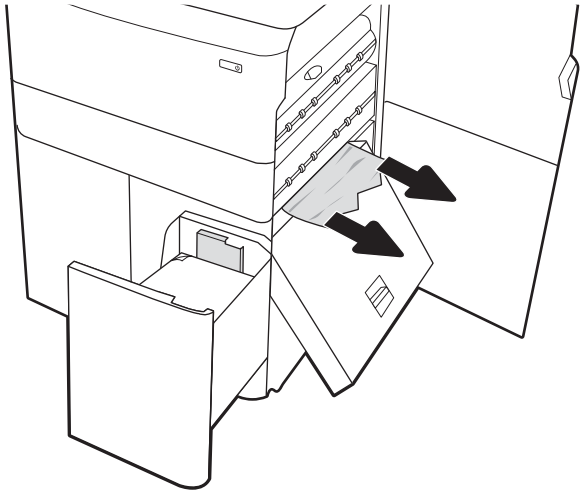
5. 両面印刷ユニットを取り付け直します。



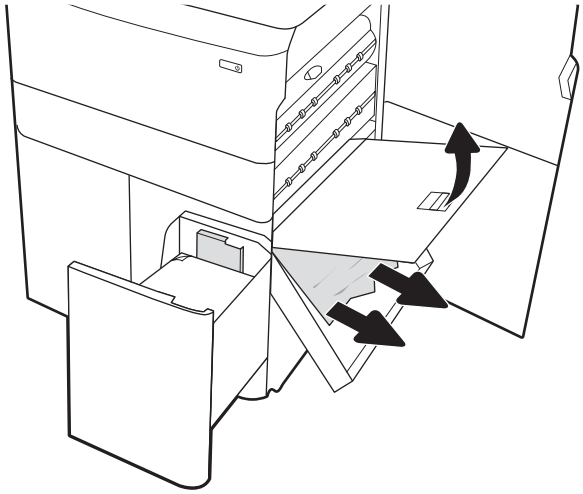
6. 右下ドアの領域で、緑色のハンドルを使用して、HCI の紙詰まりのカセットを引き出します。



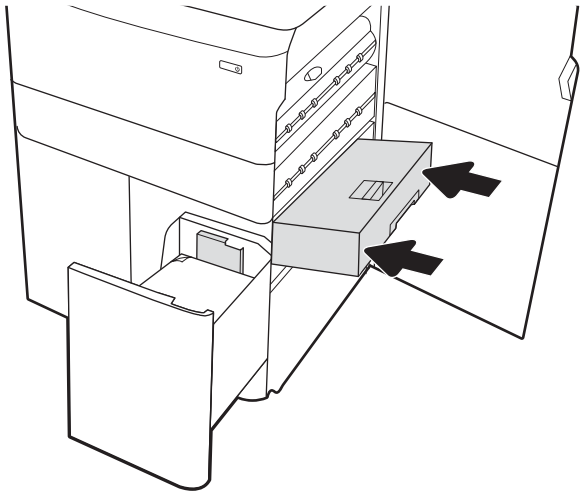
7. 詰まっている用紙を紙詰まりのあるカセット領域からすべて取り除きます。



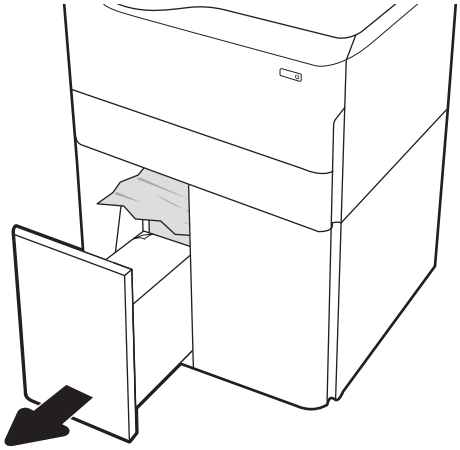
8. 緑色のハンドルを使用して紙詰まりのある HCI カセットの上部を開いて、詰まっているすべての用紙を取り除きます。



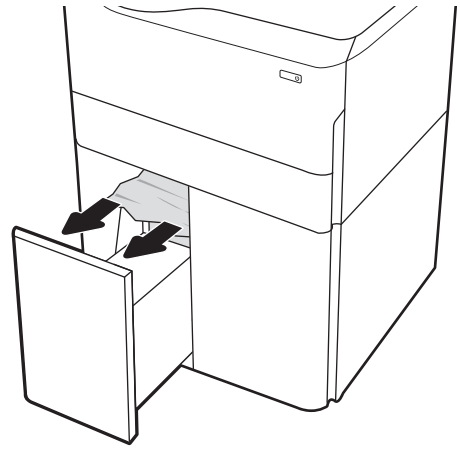
9. 紙詰まりのあるカセットを閉じ、再びプリンタに取り付けます。



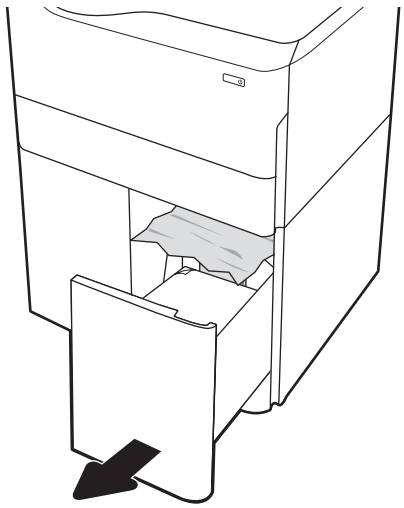
10. 左側の大容量給紙トレイを開きます。



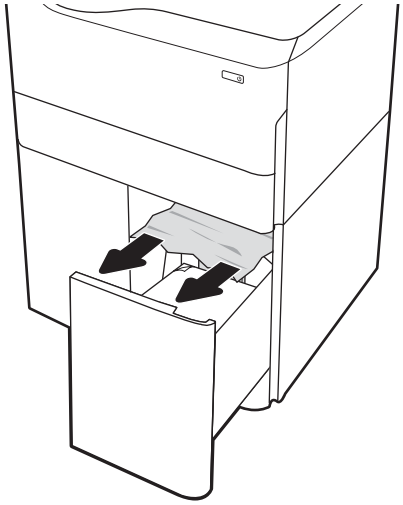
11. プリンタ内部のフィードローラーに詰まった用紙を取り除きます。まず用紙を左側に引き、次に前方に引いて取り除きます。



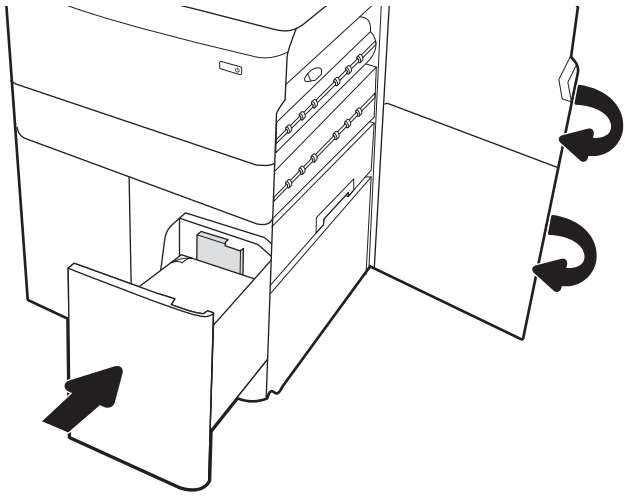
12. 左側のトレイを閉じ、右側の大容量給紙トレイを開きます。



13. プリンタ内部のフィード ローラーに詰まった用紙を取り除きます。まず用紙を左側に引き、次に前方に引いて取り除きます。



14. 右側ドアと右下ドアを閉めて、右側トレイを閉じます。



15. プリンタ内部に用紙が残っている場合は、残りのページを取り出す方法がコントロール パネルに表示されます。

インナー フィニッシャでの紙詰まりの解消 (E77650dns、E77650zs、E77660zs モデルのみ) - 15.51.yz、15.62.yz、15.63.yz、15.67.yz

紙詰まりが発生すると、コントロール パネルに、紙詰まりの解消に役立つエラー メッセージとアニメーションが表示されます。

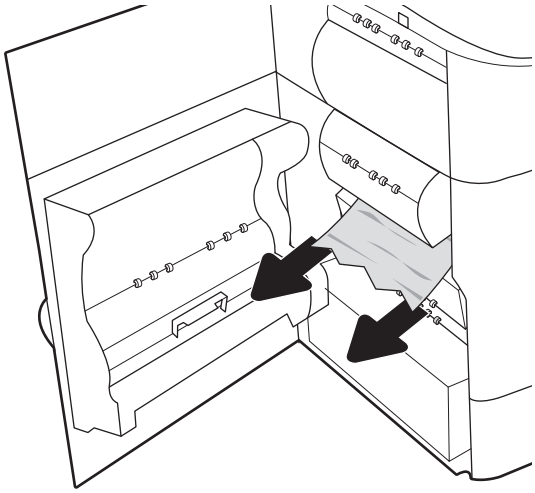
インナー フィニッシャでの紙詰まりは、以下のエラー コードの原因になる可能性があります。

- 15.51.yz
- 15.62.yz
- 15.63.yz
- 15.67.yz

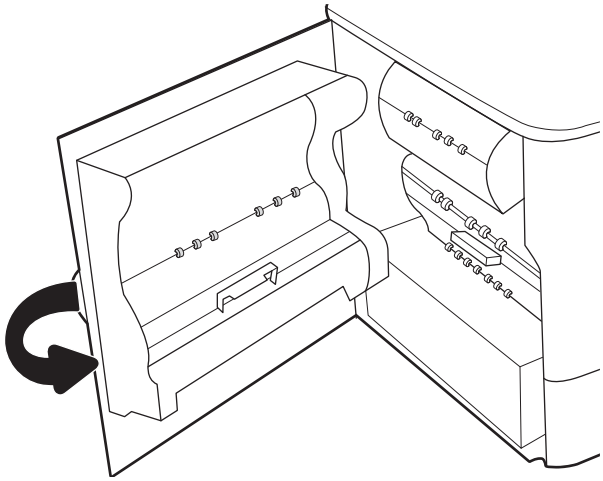
紙詰まりを解消するには、次の手順を実行します。

1. 詰まっている用紙をインナー フィニッシャ ビンからすべて取り除きます。

2. 左側のドアを開きます。詰まっている用紙が紙詰まりアクセス ドアの下に見えている場合は、その用紙をまっすぐに引き出します。



3. 左側のドアを閉じます。



4. プリンタ内部に用紙が残っている場合は、残りのページを取り出す方法がコントロール パネルに表示されます。

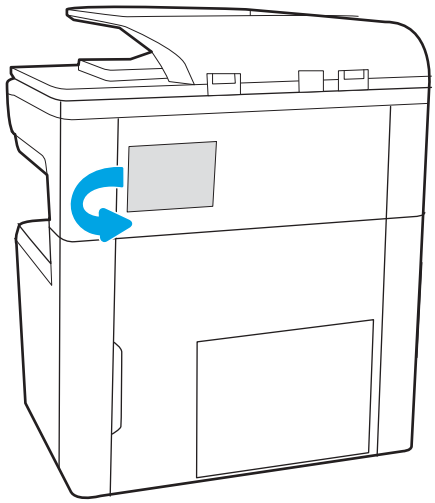
インナー フィニッシャでのステイプルの詰まりの解消 (E77650dns、E77650zs、E77660dns、E77660zs、E77660zts、P77940dns、P77950dns、P77960dns モデルのみ) - 15.63.yz

紙詰まりが発生すると、コントロール パネルに、紙詰まりの解消に役立つエラー メッセージとアニメーションが表示されます。

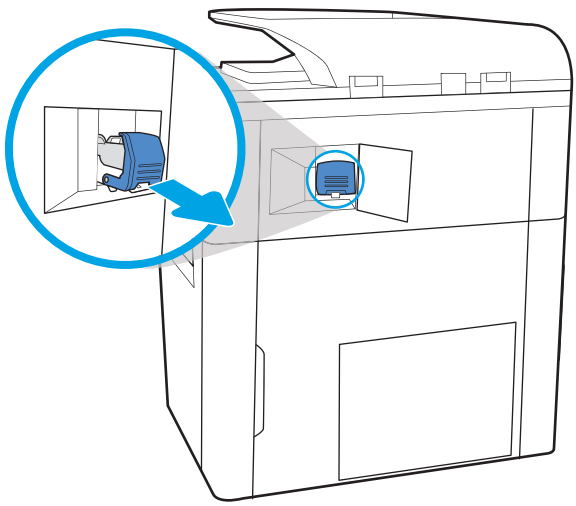
ステイプル詰まりは、15.63.yz エラー コードの原因です。

紙詰まりを解消するには、次の手順を実行します。

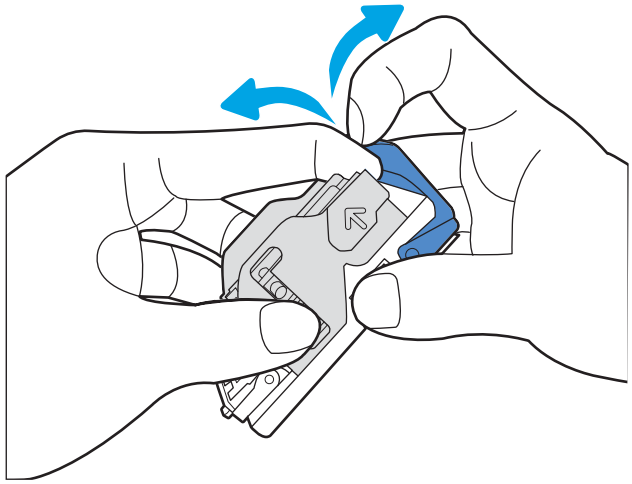
1. ステイプラのドアを開きます。



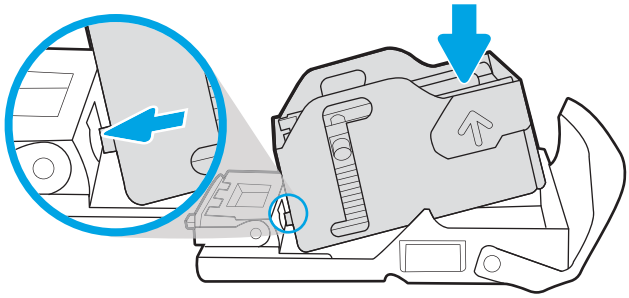
2. ステイプル カートリッジのカラーつまみを引き上げ、ステイプル カートリッジをまっすぐに引き出します。



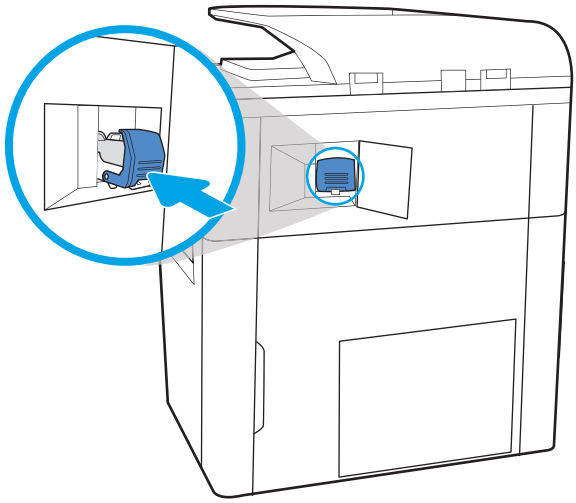
3. ステイプル カートリッジの背後にある小さなレバーを持ち上げてホルダからカートリッジを離し、詰まっているステイプルをすべて取り除きます。



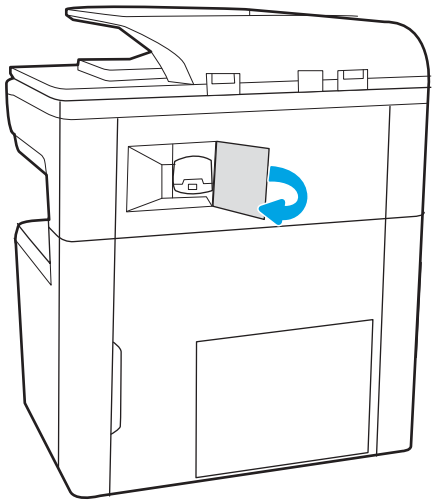
4. ステイプル カートリッジの背後にあるレバーを下げます。カチッという音がするまでレバーを下げてください。



5. ステイプル カートリッジをステイプラに挿入して、カチッと音がしてカートリッジがはまるまでカラーハンドルを押します。



6. ステイプラのドアを閉じます。



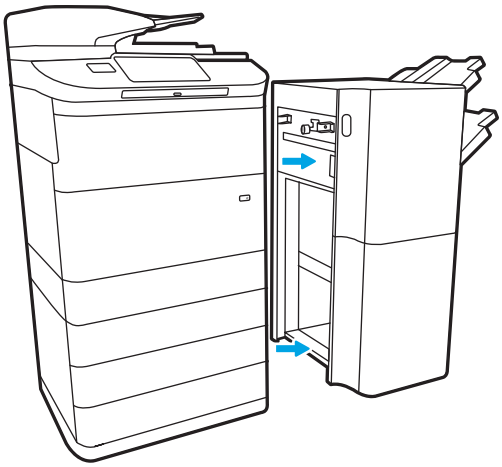
据え置き型フィニッシャの背面ドアでの紙詰まりの解消 (E77650z+、E77660z+、P77940dn+、P77950dn+、P77960dn+モデルのみ)

以下の情報は、据え置き型フィニッシャの後部ドアの紙詰まりを解消する方法について説明するものです。紙詰まりが発生すると、コントロール パネルに、紙詰まりの解消に役立つエラー メッセージとアニメーションが表示されます。

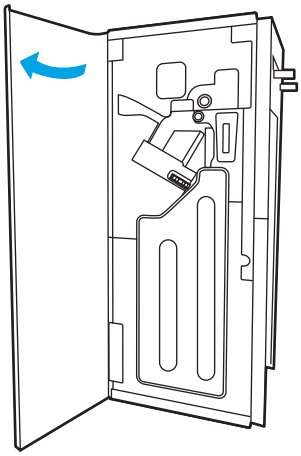
注記：フィニッシャをプリンタから切り離す前に、フィニッシャの排紙ビンからすべての用紙を取り除きます。

1. フィニッシャのリリースボタンを押し、プリンタから遠ざかる方向にフィニッシャをスライドさせます。

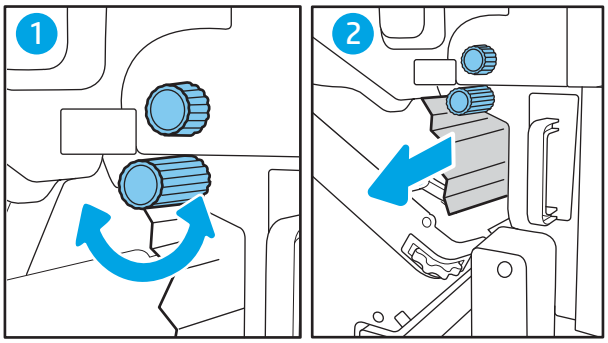
   注記：フィニッシャを移動するとき、データケーブルを取り外す必要はありません。



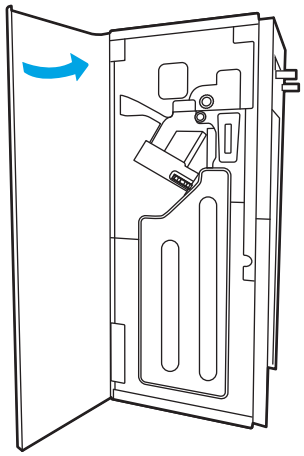
2. フィニッシャの後部ドアにアクセスできる位置までフィニッシャを移動させ、フィニッシャの後部ドアを開きます。



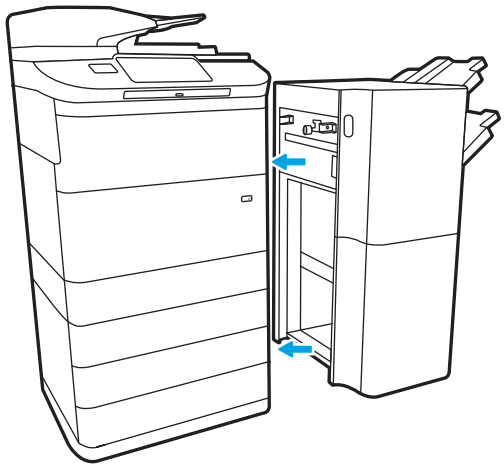
3. 緑色のノブを回し、詰まっている用紙があれば取り除きます。



4. フィニッシャの後部ドアを閉じます。



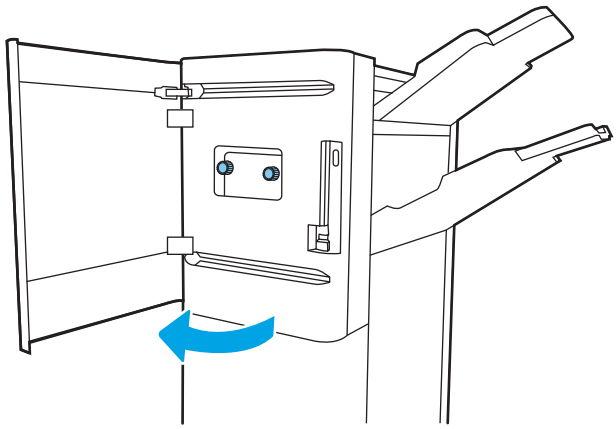
5. フィニッシャを取り付け直します。



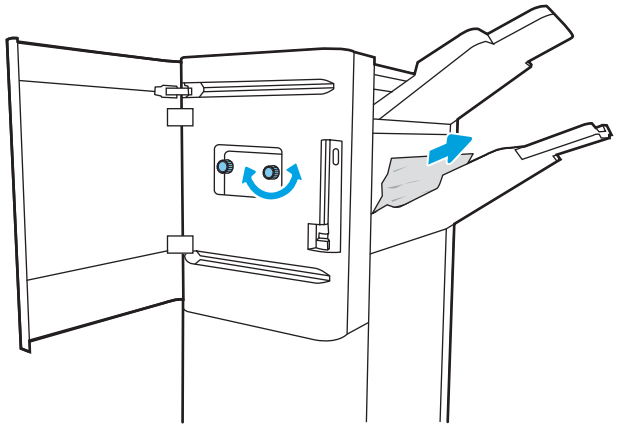
据え置き型フィニッシャの正面ドアでの紙詰まりの解消 (E77650z+、E77660z+、P77940dn+、P77950dn+、P77960dn+ モデルのみ)

以下の情報は、据え置き型フィニッシャの正面ドアの紙詰まりを解消する方法について説明するものです。紙詰まりが発生すると、コントロール パネルに、紙詰まりの解消に役立つエラー メッセージとアニメーションが表示されます。

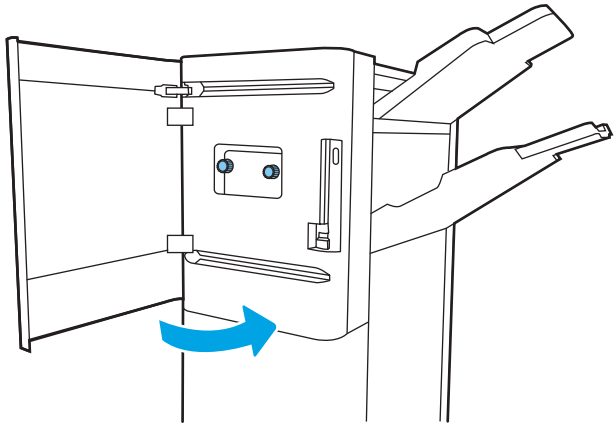
1. フィニッシャの正面ドアを開きます。



2. 緑色のノブを回し、詰まっている用紙があれば取り除きます。



3. フィニッシャの正面ドアを閉じます。



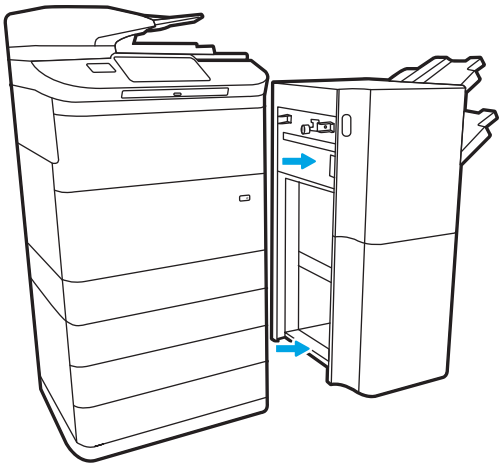
据え置き型フィニッシャでのステイプル詰まりの解消 (E77650z+、E77660z+、P77940dn+、P77950dn+、P77960dn+ モデルのみ)

以下の情報は、据え置き型フィニッシャのステイプル詰まりを解消する方法について説明するものです。紙詰まりが発生すると、コントロール パネルに、紙詰まりの解消に役立つエラー メッセージとアニメーションが表示されます。

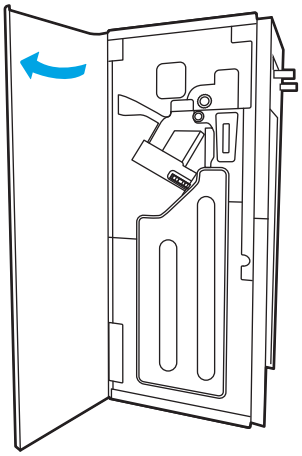
注記：フィニッシャをプリンタから切り離す前に、フィニッシャの排紙ビンからすべての用紙を取り除きます。

1. フィニッシャのリリース ボタンを押し、プリンタから遠ざかる方向にフィニッシャをスライドさせます。

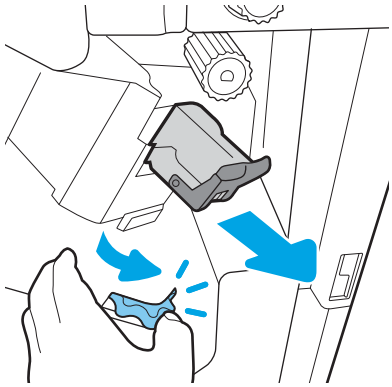
   注記：フィニッシャを移動するとき、データ ケーブルを取り外す必要はありません。



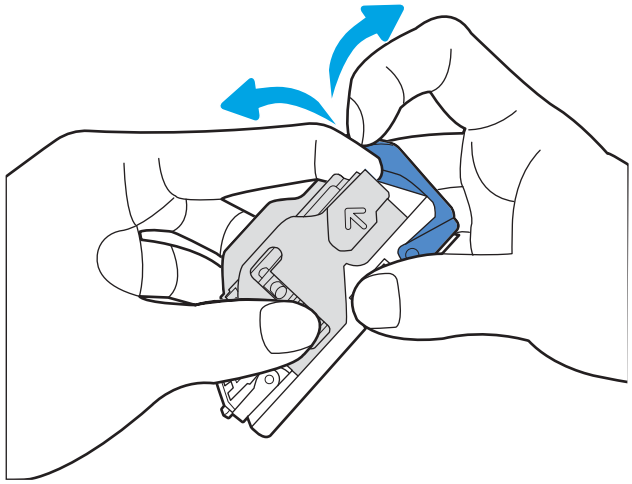
2. フィニッシャの後部ドアにアクセスできる位置までフィニッシャを移動させ、フィニッシャの後部ドアを開きます。



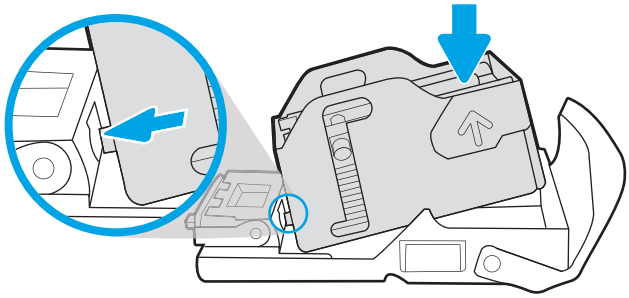
3. 緑色のホイールを回して、ステイプル カートリッジ キャリッジを可能な限り手前に動かし、ステイプル カートリッジのタブを押し、カートリッジをスライドさせてフィニッシャから取り出します。



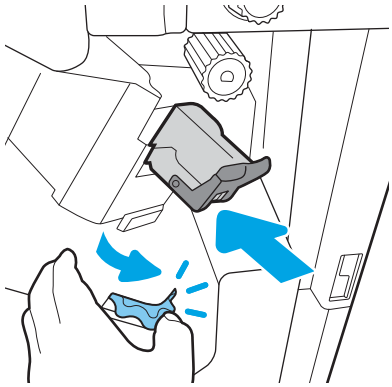
4. ステイプル カートリッジの背後にある小さなレバーを持ち上げてホルダからカートリッジを離し、詰まっているステイプルをすべて取り除きます。



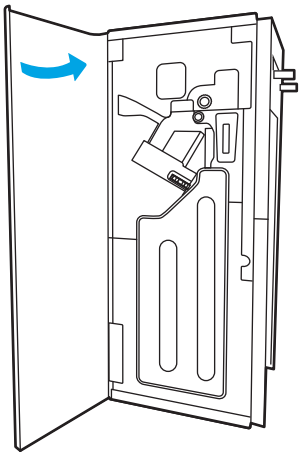
5. ステイプル カートリッジの背後にあるレバーを下げます。カチッという音がするまでレバーを下げてください。



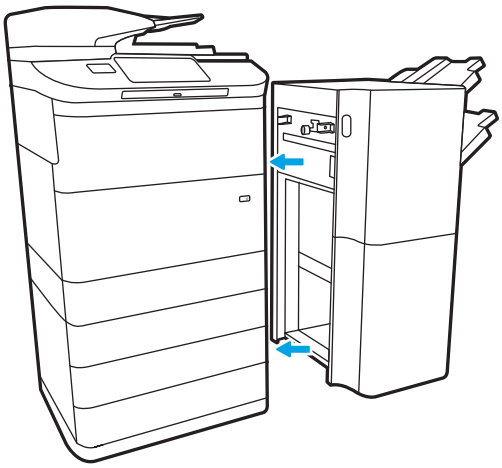
6. 片方の手で緑色のホイールを掴んでステイプル カートリッジを挿入し、ステイプル カートリッジをスロットに押し込みます。



7. フィニッシャの後部ドアを閉じます。



8. フィニッシャを取り付け直します。



カラー印刷品質の問題の解決

HP Color LaserJet Enterprise プリンタでの印刷品質、カラー品質、および画像品質の問題を解決するには、次の情報を使用します。

はじめに

トラブルシューティングの手順は、次の問題の解決に役立ちます。

- 空白ページ
- 黒いページ
- カラーの位置が合わない
- 丸まった用紙
- 濃いまたは薄い縞
- 濃いまたは薄い縦線
- 不鮮明な印刷
- 灰色の背景または印刷が濃い
- 薄い印刷
- トナーが落ちやすい
- トナーがない
- トナーの汚れが点在している
- ゆがんだイメージ
- 汚れ
- 縞模様

印刷品質のトラブルシューティング

印刷品質の問題を解決するには、指示された順に以下の手順を試してください。

画像の特定の不具合に関するトラブルシューティングを行うには、「画像の不具合のトラブルシューティング」を参照してください。

プリンターのファームウェアをアップデートする

プリンタ ファームウェアのアップグレードを試行します。

詳細については、www.hp.com/support にアクセスしてください。

別のソフトウェア プログラムからの印刷

別のソフトウェア プログラムを使って印刷してみます。

ページが正しく印刷された場合は、印刷したソフトウェア プログラムに問題があります。

印刷ジョブで使用する用紙タイプ設定の確認

ソフトウェア プログラムから印刷しているときに、印刷されたページに汚れがある、印刷が薄いまたは濃い、用紙がカールする、トナーが点状に散らばる、トナーが固まらない、トナーが白抜けしているなどの問題が発生する場合は、用紙タイプ設定を確認します。

コントロール パネルでの用紙タイプ設定の確認

プリンタのコントロール パネルで用紙タイプの設定を確認し、必要に応じて設定を変更します。

1. 用紙トレイを開いて閉じます。
2. トレイの用紙タイプとサイズ設定を確認または変更するには、コントロール パネルの指示に従います。
3. セットされた用紙が仕様を満たしていることを確認してください。
4. 環境に合わせて、コントロール パネルで湿度と抵抗の設定を調整します。
   a. 以下のメニューを開きます。
      1. 設定
      2. 印刷品質
      3. 用紙タイプの調整
   b. トレイにセットされている用紙のタイプと一致する用紙タイプを選択します。
   c. 矢印を使用して、湿度や抵抗の設定を上げたり下げたりします。
5. ドライバ設定がコントロール パネルの設定と一致していることを確認してください。

注記：プリンタ ドライバの設定は、コントロール パネルのどの設定よりも優先されます。

用紙タイプ設定の変更 (Windows)

Windows の場合の用紙タイプの設定を確認し、必要に応じて設定を変更します。

注記：プリンタ ドライバの設定は、コントロール パネルのどの設定よりも優先されます。

1. ソフトウェア プログラムから、**[印刷]** オプションを選択します。
2. プリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[ユーザー設定]** ボタンをクリックします。
3. **[用紙/品質]** タブをクリックします。
4. **[用紙の種類]** ドロップダウン リストから、**[詳細...]** オプションをクリックします。
5. **[用紙の種類：]** オプションのリストを展開します。
6. 使用する用紙の説明として最適な用紙タイプのカテゴリを展開します。
7. 使用する用紙のタイプに合ったオプションを選択して、**[OK]** ボタンをクリックします。
8. **[OK]** ボタンをクリックして、**[文書のプロパティ]** ダイアログ ボックスを閉じます。**[印刷]** ダイアログ ボックスで、**[OK]** ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

用紙タイプ設定の確認 (macOS)

macOS の場合の用紙タイプの設定を確認し、必要に応じて設定を変更します。

1. **[ファイル]** メニューをクリックし、**[印刷]** オプションをクリックします。
2. **[プリンタ]** メニューで、このプリンタを選択します。
3. デフォルトで、プリント ドライバに **[部数とページ]** メニューが表示されます。メニューのドロップダウン リストを開いて、**[レイアウト]** メニューをクリックします。
4. **[用紙の種類]** ドロップダウン リストからタイプを選択します。
5. **[印刷]** ボタンをクリックします。

トナー カートリッジ ステータスの確認

次の手順に従って、トナー カートリッジの推定残量を確認し、該当する場合は、他の交換可能なメンテナンス部品の状態も確認します。

手順 1: サプライ品ステータス ページの印刷

サプライ品ステータス ページには、カートリッジのステータスが表示されます。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、レポート メニューを選択します。
2. 設定/ステータス ページ メニューを選択します。
3. サプライ品ステータス ページ を選択し、印刷 ページを選択してページを印刷します。

手順 2: サプライ品ステータスのチェック

次の手順に従って、サプライ品ステータスのレポートを確認します。

1. サプライ品ステータスのレポートを確認して、トナー カートリッジの残量の割合をチェックし、該当する場合は、他の交換可能なメンテナンス部品の状態も確認します。

   推定寿命に達したトナー カートリッジを使用すると、印刷品質の問題が発生する場合があります。サプライ品の残量が非常に少なくなると、サプライ品ステータス ページに表示されます。HP のサプライ品の残量が下限値に達したとき、このサプライ品に対する HP のプレミアム プロテクション保証は終了します。

   適切な印刷品質が得られている場合、すぐにトナー カートリッジを交換する必要はありません。印刷品質が許容範囲を下回った際に備え、交換用サプライ品をご用意ください。

   トナー カートリッジまたは他の交換可能なメンテナンス部品を交換する必要があると考えられる場合、サプライ品ステータス ページには、HP 純正品の部品番号が一覧表示されます。

2. HP 純正のカートリッジを使用しているかどうかを確認します。

   HP 純正のトナー カートリッジには、カートリッジ上に「HP」という文字、または HP のロゴが表示されています。HP 製カートリッジの確認の詳細については、www.hp.com/go/learnaboutsupplies を参照してください。

クリーニング ページの印刷

印刷処理中に紙くず、トナー、埃がプリンタ内部にたまり、これが原因でトナーの染みやはね、汚れ、かすれ、筋、同じ汚れの繰り返しなどの印刷品質の問題が発生することがあります。

次の手順に従って、プリンタの用紙経路をクリーニングします。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、サポート ツール メニューを選択します。
2. 以下のメニューを選択します：

a. メンテナンス

b. 校正/クリーニング

c. クリーニング ページ

3. [印刷] を選択して、ページを印刷します。

   プリンタのコントロール パネルに **クリーニング中...** のメッセージが表示されます。クリーニング プロセスは数分で完了します。クリーニング プロセスが終了するまで、プリンタの電源を切らないでください。クリーニングが完了したら、印刷されたページは破棄してください。

トナー カートリッジを目視で検査します。

次の手順に従って、各トナー カートリッジを確認します。

1. プリンタからトナー カートリッジを取り外し、密閉テープがはがされていることを確認します。
2. メモリ チップに損傷がないか確認します。
3. 緑色のイメージング ドラムの表面を確認します。

   ⚠ 注意：イメージング ドラムには触れないでください。イメージング ドラムに指紋が付着すると印刷品質に問題が生じることがあります。

4. イメージング ドラムに傷、指紋、またはその他の損傷が見られる場合は、トナー カートリッジを交換します。
5. トナー カートリッジを再度取り付け、試しに印刷を行い、問題が解決されているかどうか確認します。

用紙および印刷環境の確認

次の情報を使用して、用紙の選択および印刷環境を確認します。

手順 1：HP 仕様を満たす用紙を使用

HP の仕様を満たしていない用紙を使用すると、次のような印刷品質の問題が発生する場合があります。

- タイプと重量がこのプリンタでサポートされている用紙タイプを必ず使用してください。
- 傷、裂け目、しみ、ほぐれ、ほこり、しわなどがなく、端がめくれていたり折れたりしていない良質の用紙を使用します。
- 未印刷の用紙を使用します。
- ラメなどの金属を含まない用紙を使用します。
- レーザー プリンタ用の用紙を使用します。インクジェット式プリンタ専用の用紙は使用しないでください。
- あまりしわのない用紙を使用します。一般に、用紙にしわが少ないほど、印刷品質が良好になります。

手順 2: 環境の確認

環境が印刷品質に直接影響することがあります。一般的には、これが印刷品質や給紙の問題の原因になります。次のソリューションを実行してみてください。

- 開け放した窓やドア、空調システムの排気口などの空気の流れが生じる場所から離れたところにプリンタを設置し直します。
- 温度または湿度がプリンタの仕様を超える環境にプリンタが設置されていないことを確認します。
- プリンタをキャビネットなどの密閉された場所に設置しないようにします。
- プリンタを平らで安定した面に設置します。
- プリンタの通気孔をふさがないようにします。上部も含めて、プリンタのすべての面の周囲に十分な空気が流れている必要があります。
- 空気中のごみ、ほこり、蒸気、油脂、またはその他の物質がプリンタ内部に蓄積しないようプリンタを保護します。

手順 3：各トレイ位置を設定

特定のトレイから印刷したときに、印刷されたページでテキストやイメージが用紙の中心にない場合や適切な位置に調整されていない場合は、次の手順に従います。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、設定 メニューを選択します。
2. 以下のメニューを選択します：
   a. コピー/印刷 または 印刷
   b. 印刷品質
   c. イメージ レジストレーション

3. トレイ ボタンを選択し、調整するトレイを選択します。
4. テスト ページの印刷 に選択してから、印刷したページに表示されている指示に従います。
5. テスト ページの印刷 を再度選択して結果を確認し、必要に応じて、さらに調整します。
6. 完了 を選択して新しい設定を保存します。

別のプリント ドライバで試行

ソフトウェア プロフラムから印刷しているときに、印刷ページのグラフィックスに予期しない線が印刷されている、テキストやグラフィックスが印刷されない、誤った形式または代替フォントが使用されている場合には、別のプリント ドライバを試してください。

次のいずれかのドライバを HP の Web サイトからダウンロードします。www.hp.com/support/pwcolormfpE77650、または www.hp.com/support/pwcolormfpE77660、または www.hp.com/support/pwcolorP77940mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77950mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77960mfp、または www.hp.com/support/pwcolorP77440mfp を選択することで使用できます。

表 9-1 プリンタ ドライバ

ドライバ	説明
HP PCL.6 ドライバ	利用可能な場合、このプリンタ固有のプリント ドライバは、Windows XP や Windows Vista など、以前のオペレーティング システムをサポートします。対応オペレーティング システムの一覧は、www.hp.com/go/support を参照してください。
HP PCL 6 ドライバ	このプリンタ固有のプリント ドライバは、Windows 7 およびバージョン 3 のドライバをサポートする新しいオペレーティング システムをサポートしています。対応オペレーティング システムの一覧は、www.hp.com/go/support を参照してください。
HP PCL-6 ドライバ	このプリンタ固有のプリント ドライバは、Windows 8 およびバージョン 4 のドライバをサポートする新しいオペレーティング システムをサポートしています。対応オペレーティング システムの一覧は、www.hp.com/go/support を参照してください。
HP UPD PS ドライバ	• Adobe ソフトウェア プログラムやグラフィックを大量に使用する他のソフトウェア プログラムで印刷する場合に推奨されます。 • PostScript エミュレーションからの印刷、または PostScript フラッシュ フォントをサポート
HP UPD PCL 6	• すべての Windows 環境での印刷に推奨 • ほとんどのユーザーにとって、速度、印刷品質、および利用可能なプリンタ機能の面で最高レベルです。 • Windows Graphic Device Interface (GDI) を使用して作成されているので、Windows 環境での動作が高速です。 • PCL 5 ベースのサードパーティまたはカスタム ソフトウェア プログラムと完全な互換性がない場合がある

カラー品質のトラブルシューティング

カラー印刷の品質を確保するため、プリンタを校正します。

プリンタを校正してカラーを調整

校正は、印刷品質を最適化するプリンタ機能です。

カラーの位置不良、カラーのシャドウ、ぼやけたグラフィックスなどの印刷品質の問題を解決するには、次の手順に従います。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、サポート ツール メニューを選択します。
2. 以下のメニューを選択します：
   - メンテナンス
   - 校正/クリーニング
   - 完全校正
3. スタート ボタンを選択して、校正処理を開始します。

   校正中 のメッセージがプリンタのコントロール パネルに表示されます。校正プロセスは 2 ~ 3 分で完了します。校正プロセスが終了するまで、プリンタの電源を切らないでください。
4. 校正処理が終了するまで待ちます。終了したら再度印刷してみます。

画像の不具合のトラブルシューティング

画像の不具合と、これらの不具合を解決する手順の例を確認します。

表 9-2 画像の不具合一覧のクイック リファレンス

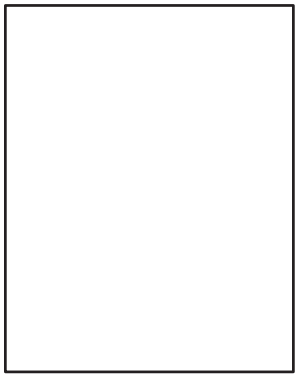
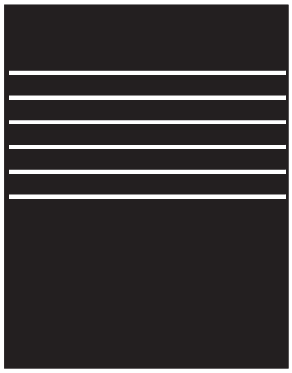
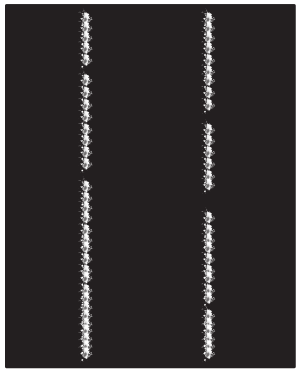
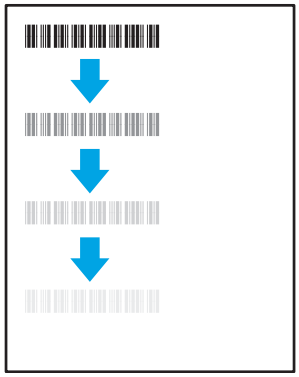
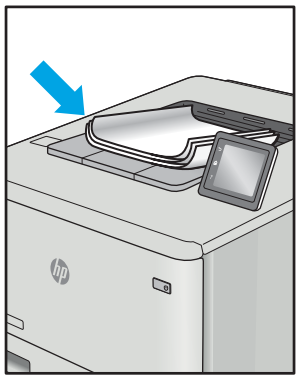
不良	不良	不良
264 ページの表 9-10 「薄い印刷」	263 ページの表 9-8 「灰色の背景または印刷が濃い」	260 ページの表 9-5 「空白ページ — 印刷されない」
		

表 9-2 画像の不具合一覧のクイック リファレンス (続き)

不良	不良	不良
260 ページの表 9-4 「黒いページ」 	259 ページの表 9-3 「バンディングの発生」 	266 ページの表 9-12 「縦線の不具合」 
262 ページの表 9-7 「定着/フューザの不具合」 	263 ページの表 9-9 「画像位置の不具合」 	261 ページの表 9-6 「カラー プレーンの見当不良 (カラー モデルのみ)」
265 ページの表 9-11 「排紙の不具合」 		

画像の不具合は、どのような原因であれ、多くの場合同じ手順により解決できます。画像の不具合の問題を解決する最初の段階として、次の手順を実行します。

1. 文書を印刷します。印刷品質の不具合は、断続的に発生するものか、印刷を続けることで解決するものがあります。
2. カートリッジの状態を確認します。カートリッジが **非常にわずか** になっている場合 (製品寿命期を経過した場合)、カートリッジを交換します。
3. ドライバとトレイの印刷モード設定がトレイにセットされているメディアと一致していることを確認します。異なるメディアや別のトレイを使用してみます。別の印刷モードを使用してみます。
4. プリンタがサポートされている動作温度/湿度の範囲内であることを確認してください。
5. 用紙のタイプ、サイズ、および重量がプリンタでサポートされていることを確認します。プリンタでサポートされる用紙のサイズやタイプの一覧については、プリンタのサポート ページ (support.hp.com) を参照してください。

注記：「溶解」とは、トナーを用紙に定着させる印刷処理のことを意味しています。

以下の例は、短辺が最初にプリンタを通過するレターサイズの用紙について説明しています。

表 9-3 バンディングの発生

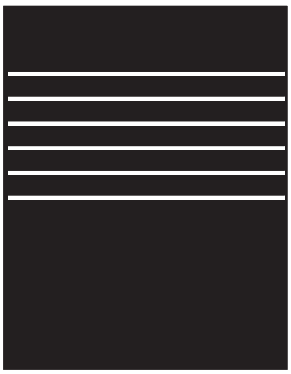
サンプル	説明	実行できる処置
	ページの長さ方向に向かって繰り返し現れる暗色または明色の線で、幅は広かったり、非常に細かったりします。これらの線は、くっきりしていたり、曖昧だったりします。この不具合は、塗りつぶされた部分のみに現れます。テキストまたは印刷内容がないページでは発生しません。	1. 文書を印刷します。 2. 別のトレイから印刷してみます。 3. カートリッジを交換します。 4. 異なるタイプの用紙を使用します。 5. **エンタープライズ モデルのみ:** プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、用紙タイプの調整 メニューに移動し、使用しているメディアよりも少し厚手のメディアに対応する印刷モードを選択します。これにより、印刷速度が低下して印刷品質が向上する可能性があります。 6. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-4 黒いページ

サンプル	説明	実行できる処置
	印刷されたページ全体が黒くなります。	1. カートリッジが損傷していないか目視で確認します。 2. カートリッジが正しく装着されていることを確認します。 3. カートリッジを交換します。 4. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-5 空白ページ — 印刷されない

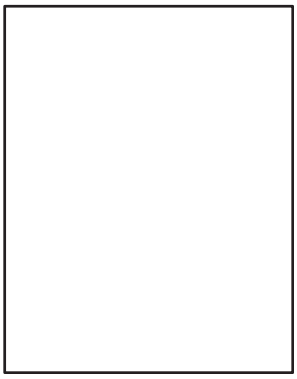
サンプル	説明	実行できる処置
	ページが完全に空白で、何も印刷されていません。	1. カートリッジが HP 純正カートリッジであることを確認します。 2. カートリッジが正しく装着されていることを確認します。 3. 別のカートリッジで印刷します。 4. 用紙トレイの用紙タイプの確認し、プリンタの設定と一致するよう調整します。必要に応じて、薄い用紙の種類を選択します。 5. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-6 カラー プレーンの見当不良 (カラー モデルのみ)

サンプル	説明	実行できる処置
	1 つまたは複数のカラー プレーンと、他のカラー プレーンとの位置調整が不良です。この見当エラーは通常、イエローで発生します。	1. 文書を印刷します。 2. プリンタのコントロール パネルで、プリンタを校正します。 3. カートリッジが、**非常にわずか**になっている、または印刷物が激しく色あせている場合、カートリッジを交換してください。 4. プリンタのコントロール パネルから、校正の復元 機能を使用して、プリンタの校正設定を出荷時のデフォルトにリセットします。 5. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-7 定着/フューザの不具合

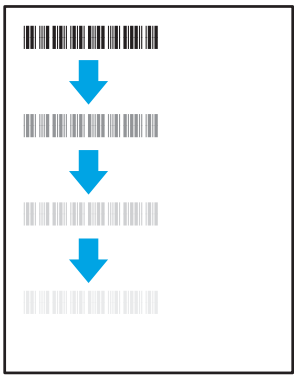
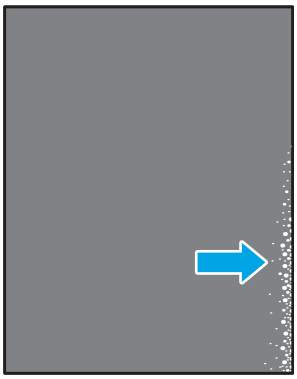
サンプル	説明	実行できる処置
	わずかなシャドウ (オフセット) のある画像が用紙に沿って繰り返し現れます。この画像は、繰り返すごとに徐々に消えていきます。	1. 文書を印刷します。 2. 用紙トレイの用紙タイプの確認し、プリンタの設定と一致するよう調整します。必要に応じて、薄い用紙の種類を選択します。 3. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。
	トナーがページの端に沿って付着します。この問題は多くの場合、印刷量の多いジョブのフチの部分に、薄いメディアを使用する場合に発生しますが、ページのどの部分でも発生します。	1. 文書を印刷します。 2. 用紙トレイの用紙タイプの確認し、プリンタの設定と一致するよう調整します。必要に応じて、厚手の用紙に変えてみてください。 3. **エンタープライズ モデルのみ:** プリンタのコントロール パネルから、最小マージン メニューに移動し、標準 を選択します。文書を印刷します。 4. **エンタープライズ モデルのみ:** プリンタのコントロール パネルで、自動的にマージンを含む を選択し、文書を再印刷します。 5. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-8 灰色の背景または印刷が濃い

サンプル	説明	実行できる処置
	画像やテキストが期待より暗かったり、背景がグレーになったりします。	1. トレイの用紙がプリンタで使用済みでないことを確認します。 2. 異なるタイプの用紙を使用します。 3. 文書を印刷します。 4. **モノクロモデルのみ :** プリンタのコントロール パネルのホーム画面から、トナー濃度の調整 メニューに移動し、トナー濃度のレベルを下げます。 5. プリンタがサポートされている動作温度/湿度の範囲内であることを確認してください。 6. カートリッジを交換します。 7. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-9 画像位置の不具合

サンプル	説明	実行できる処置
	画像が中心に位置していない、またはページ上で傾いています。この不具合は、用紙がトレイから引き出された用紙が用紙経路を通るように適切に配置されていない場合に発生します。	1. 文書を印刷します。 2. 用紙を取り出し、トレイをセットし直します。すべての用紙の端がすべての辺で平らになっていることを確認します。 3. 用紙束の高さがトレイの上限線を超えないようにしてください。トレイに用紙を入れすぎないでください。 4. トレイの用紙ガイドの位置を用紙に適したサイズに合わせて調整します。用紙ガイドで用紙束をきつく固定しないようにしてください。用紙ガイドは、トレイの刻み目やマークに合わせて調整してください。 5. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-10 薄い印刷

サンプル	説明	実行できる処置
	ページ全体の印刷内容が薄く、色あせています。	1. 文書を印刷します。 2. カートリッジを取り外してから振り、トナーを再分散させます。トナー カートリッジをプリンタに取り付け直し、カバーを閉じます。この手順をグラフィカルに表示するには、*トナーカートリッジの交換*を参照してください。 3. **モノクロモデルのみ :** コントロールパネルおよびプリンタ ドライバの両方で EconoMode の設定が無効になっていることを確認します。 4. カートリッジが正しく装着されていることを確認します。 5. サプライ品ステータス ページを印刷し、カートリッジの寿命と使用状況を確認します。 6. カートリッジを交換します。 7. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-11 排紙の不具合

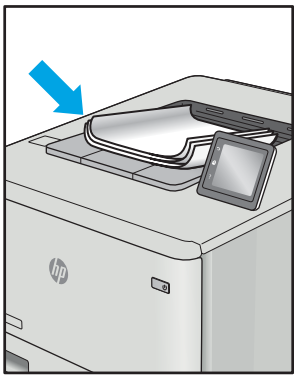
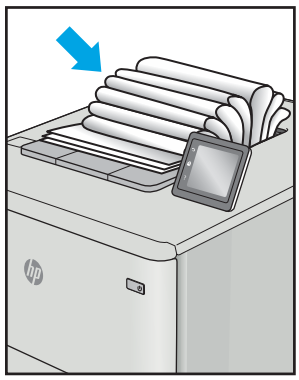
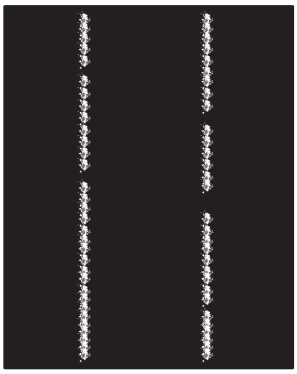
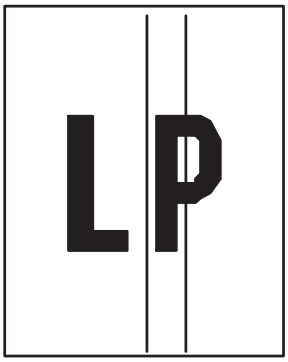
サンプル	説明	実行できる処置
	印刷された用紙の端が反り返っています。反り返りは、用紙の短辺または長辺に沿って発生します。反り返りには 2 つのタイプがあります。 • **正の反り返り**：用紙が印刷面に向かって反り返ります。この不具合は、乾燥した環境で、または印刷量の多いページを印刷すると発生します。 • **負の反り返り**：用紙が印刷面とは反対方向に反り返ります。この不具合は、湿度の高い環境で、または印刷量の少ないページを印刷すると発生します。	1. 文書を印刷します。 2. **正の反り返り**：プリンタのコントロール パネルで、厚手の用紙タイプを選択します。厚手の用紙タイプでは、印刷時に温度が上がります。 **負の反り返り**：プリンタのコントロール パネルで、薄い用紙タイプを選択します。薄い用紙タイプでは、印刷時に温度が下がります。事前に用紙を乾燥した環境で保管するか、新たに開封した用紙を使用します。 3. 両面モードで印刷します。 4. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。
	用紙が排紙トレイにきちんと積まれません。紙積みが平らにならずに傾むく、またはページがトレイから押し出されて床に落る場合があります。この不具合は、次のいずれかの条件が原因となります。 • 極端に反り返った用紙 • トレイの用紙のしわや変形 • 標準ではない用紙タイプ (封筒など) • 排紙トレイがいっぱいになっている	1. 文書を印刷します。 2. 排紙ビンの延長トレイを伸ばします。 3. 極端に反り返った用紙が原因の場合、用紙の反り返りのトラブルシューティング手順を参照します。 4. 異なるタイプの用紙を使用します。 5. 新たに開封した用紙を使用してください。 6. トレイがいっぱいになる前に、排紙トレイから用紙を取り出します。 7. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

表 9-12 縦線の不具合

サンプル	説明	実行できる処置
	明るい縦方向の線が、通常はページの長さ全体にわたって現れます。この不具合は、塗りつぶされた部分のみに現れます。テキストまたは印刷内容がないページでは発生しません。	1. 文書を印刷します。 2. カートリッジを取り外してから振り、トナーを再分散させます。トナー カートリッジをプリンタに取り付け直し、カバーを閉じます。この手順をグラフィカルに表示するには、*トナーカートリッジの交換*を参照してください。 3. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。 **注記 :** 印刷環境が仕様の温度または湿度の範囲外の場合、薄い縦線または濃い縦線の両方が現れます。許容される温度や湿度レベルについては、プリンタの環境仕様を参照してください。
	用紙の長さに沿って発生する濃い垂直の線。この不具合は、どのようなページでも (塗りつぶしや印刷内容のないページ) 発生する可能性があります。カラー モデルでは、これらの線または縞模様は中間転写ベルトのクリーニング ページにも現れます。	1. 文書を印刷します。 2. カートリッジを取り外してから振り、トナーを再分散させます。トナー カートリッジをプリンタに取り付け直し、カバーを閉じます。この手順をグラフィカルに表示するには、*トナーカートリッジの交換*を参照してください。 3. クリーニングページを印刷します。 4. カートリッジのトナー残量を確認します。 5. それでも問題が解決しないときは、support.hp.com を参照してください。

コピーのイメージ品質を向上させる

プリンタのコピー品質に問題がある場合、以下に示すソリューションを順番に実行して問題を解決してください。

まず、次のシンプルな手順を試してください。

- 文書フィーダではなく、フラットベッド スキャナを使用します。
- 高い品質の原稿を使用します。
- 文書フィーダを使用する場合は、画像が不鮮明になったり歪んだりしないように、用紙ガイドを使用して、原稿をフィーダに正しく設定します。

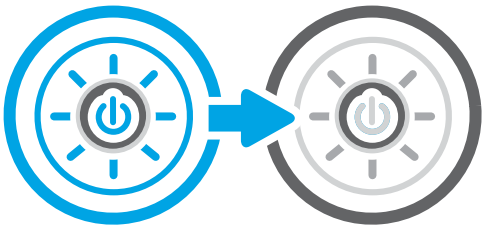
依然として問題が残る場合は、次のソリューションも試してください。これらのソリューションを実行しても問題が解決されない場合は、「印刷品質の改善」でその他のソリューションを参照してください。

スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する

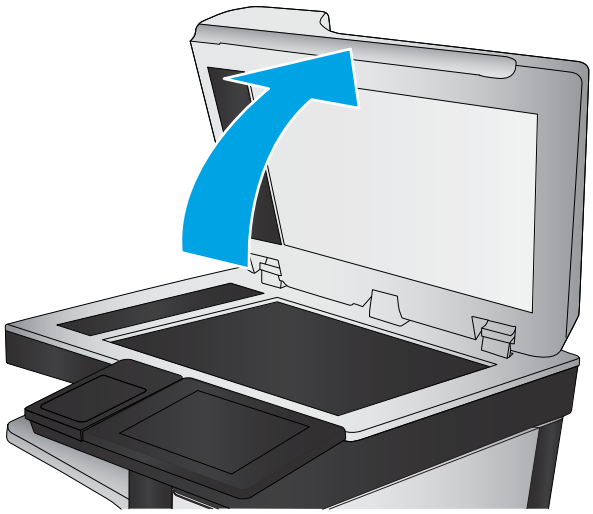
ごみによるコピー品質の問題を解決する方法について説明します。

時間の経過とともに、スキャナ ガラスや文書フィーダの白いプラスチック製サポートにごみが集まり、印刷不良を引き起こすことがあります。印刷したページに筋状の汚れ、不適切な線、トナーの黒い汚れ、印刷品質の低下、不鮮明なテキストなどの問題がある場合は、次の手順を使用してスキャナをクリーニングします。

1. プリンタの電源ボタンをオフにして、コンセントから電源ケーブルを外します。



2. スキャナ カバーを開きます。

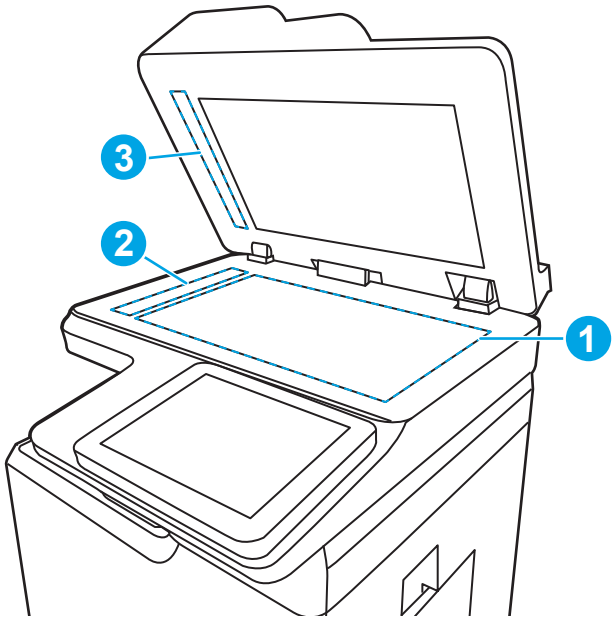


3. 非研磨性ガラス クリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジでスキャナのガラス板 (図の 1) と文書フィーダ部分 (図の 2) をクリーニングします。

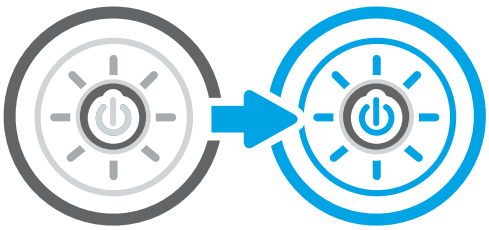
   注意：プリンタのどの部分にも研摩材、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチルアルコール、および四塩化炭素は使用しないでください。これらは、プリンタを損傷するおそれがあります。また、ガラス板やプラテンには液体を直接かけないでください。液体が漏れてプリンタを損傷するおそれがあります。

   注記：文書フィーダを使用すると、読み取った文書が筋状に汚れる問題が発生している場合は、スキャナの左側にある小さいガラス ストリップ (図の 2 および図の 3) をクリーニングしてください。

   文書フィーダのガラスとスキャナ ガラスをクリーニングする方法について説明するビデオを参照してください。



4. しみが残らないように、乾いたセーム革またはセルロース スポンジでガラス板とビニール製の白い裏張り部分を拭き取ります。
5. 電源ケーブルをコンセントに接続し、電源ボタンを押し、プリンタの電源を入れます。



スキャナの校正

校正とは、スキャンの品質を最適化するためのプロセスです。

注記：文書フィーダを使用する場合には、給紙トレイのガイドを原稿に合わせて調整します。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、サポート ツール アプリケーションに移動し、次に サポート ツール アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます：
   a. メンテナンス
   b. 校正/クリーニング
   c. スキャナの校正
3. スタート ボタンをタッチして、校正処理を開始します。画面の指示に従います。
4. 校正処理が終了するまで待ちます。終了したら再度コピーを試します。

用紙設定を確認する

コピーしたページに汚れがある、印刷が不鮮明または濃い、用紙が丸まる、または顔料が印刷されない個所がある場合には、次の手順に従います。

用紙選択オプションを確認します。

次の手順に従って、用紙選択オプションを確認します。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、コピー アプリケーションに移動し、次に コピー アイコンを選択します。
2. オプション を選択し、用紙の選択 までスクロールして選択します。
3. 用紙サイズ を選択して、事前定義オプションのいずれかを選択します。
4. 用紙タイプ を選択して、事前定義オプションのいずれかを選択します。
5. 用紙トレイ を選択して、事前定義オプションのいずれかを選択します。
6. 完了 を選択し、用紙選択オプションを保存します。

イメージ調整設定を確認する

コピー メニューの設定を調整して、画質を最適化します。

- [シャープネス]: イメージを鮮明にしたり柔らかくしたりします。たとえば、鮮明度を上げるとテキストがはっきりと表示され、鮮明度を下げると写真が滑らかに表示されます。
- [濃さ]: スキャンしたイメージのカラーで使用する白および黒の量を増減します。
- [コントラスト]: ページ内の最も明るい色と最も暗い色の差を増減します。
- 背景の除去：スキャンしたイメージの背景から不鮮明な色を除去します。たとえば、原稿がカラー用紙に印刷されている場合、この機能を使用することでイメージの濃さに影響を与えることなく背景を明るくできます。
- 自動トーン：Flow プリンタのみ。濃さ、コントラスト、および 背景の除去の設定がスキャンしたドキュメントに最も適した値となるように自動的に調整されます。

1. プリンタのコントロールパネルのホーム画面で、コピー アプリケーションに移動し、次に [コピー] アイコンを選択します。
2. オプション を選択し、イメージ調整 までスクロールして選択します。
3. スライダを調節してレベルを設定し、完了 を選択します。
4. コピー を選択してコピー ジョブを開始します。

注記：これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

テキストまたは画像に合わせてコピー品質を最適化する

テキスト、グラフィックス、または写真など、コピー中の画像タイプに合わせてコピー ジョブを最適化します。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、コピー アプリケーションに移動し、次にコピー アイコンを選択します。
2. オプション を選択し、テキスト/画像の最適化 を選択します。
3. 次のいずれかの事前定義オプションを選択します。
4. コピー を選択してコピー ジョブを開始します。

注記：これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

最小マージン コピー

原稿が用紙の端近くに印刷される場合は、この機能を使用して、コピーの端にシャドウが印刷されるのを防ぎます。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、コピー アプリケーションに移動し、次にコピー アイコンを選択します。
2. オプション を選択し、Edge-To-Edge を選択します。
3. 原稿が用紙の端近くに印刷される場合は、最小マージン出力 を選択します。
4. コピー を選択してコピー ジョブを開始します。

スキャンのイメージ品質を向上させる

スキャンした画像の品質を向上させるため、次の基本的なソリューションを試してください。

- 文書フィーダではなく、フラットベッド スキャナを使用します。
- 高い品質の原稿を使用します。
- 文書フィーダを使用する場合は、画像が不鮮明になったり歪んだりしないように、用紙ガイドを使用して、原稿をフィーダに正しく設定します。

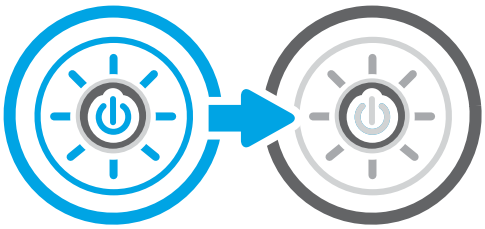
依然として問題が残る場合は、次のソリューションも試してください。これらのソリューションを実行しても問題が解決されない場合は、「印刷品質の改善」でその他のソリューションを参照してください。

スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する

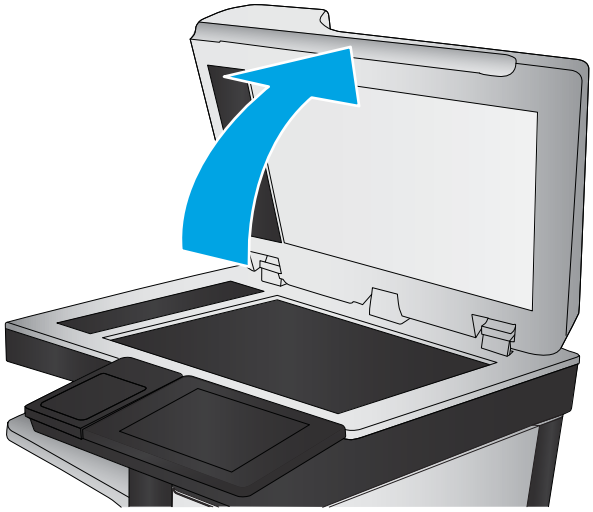
ごみによるコピー品質の問題を解決する方法について説明します。

時間の経過とともに、スキャナ ガラスや文書フィーダの白いプラスチック製サポートにごみが集まり、印刷不良を引き起こすことがあります。印刷したページに筋状の汚れ、不適切な線、トナーの黒い汚れ、印刷品質の低下、不鮮明なテキストなどの問題がある場合は、次の手順を使用してスキャナをクリーニングします。

1. プリンタの電源ボタンをオフにして、コンセントから電源ケーブルを外します。



2. スキャナ カバーを開きます。

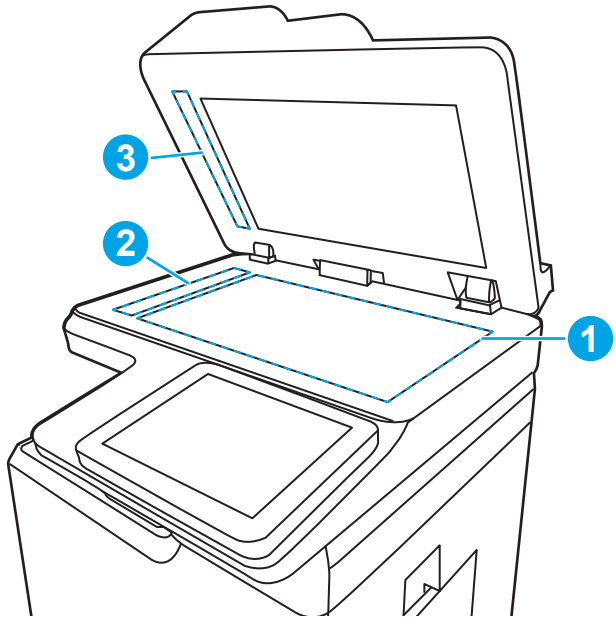


3. 非研磨性ガラス クリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジでスキャナのガラス板 (図の 1) と文書フィーダ部分 (図の 2) をクリーニングします。

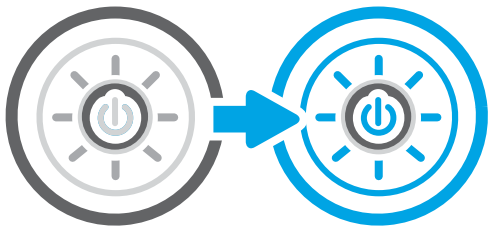
   注意：プリンタのどの部分にも研摩材、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチルアルコール、および四塩化炭素は使用しないでください。これらは、プリンタを損傷するおそれがあります。また、ガラス板やプラテンには液体を直接かけないでください。液体が漏れてプリンタを損傷するおそれがあります。

   注記：文書フィーダを使用すると、読み取った文書が筋状に汚れる問題が発生している場合は、スキャナの左側にある小さいガラス ストリップ (図の 2 および図の 3) をクリーニングしてください。

   文書フィーダのガラスとスキャナ ガラスをクリーニングする方法について説明するビデオを参照してください。



4. しみが残らないように、乾いたセーム革またはセルロース スポンジでガラス板とビニール製の白い裏張り部分を拭き取ります。
5. 電源ケーブルをコンセントに接続し、電源ボタンを押し、プリンタの電源を入れます。



解像度設定を確認する

次の手順に従って、解像度設定を調整します。解像度を高い値に設定すると、ファイル サイズが大きくなり、スキャン時間が長くなります。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、スキャン アプリケーションに移動し、次に スキャン アイコンを選択します。
2. 次のスキャン機能のいずれかを選択します。
   - 電子メールにスキャン
   - スキャン データをネットワーク フォルダに送信
   - スキャンして USB ドライブに保存
   - SharePoint® にスキャン
3. オプション を選択し、ファイルのタイプと解像度 を選択します。
4. 事前定義済みの 解像度 オプションのいずれかを選択し、完了 を選択します。
5. 送信 または 保存 を選択してスキャンを開始します。

カラー設定を確認する

次の手順に従って、カラー設定を調整します。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、スキャン アプリケーションに移動し、次に スキャン アイコンを選択します。
2. 次のスキャン機能のいずれかを選択します。
   - デバイス メモリに保存
   - 電子メールにスキャン
   - スキャン データをネットワーク フォルダに送信
   - スキャンして USB デバイスに保存
   - SharePoint® にスキャン
3. オプション ボタンをタッチします。
4. [オプション] ペインで、カラー/モノクロ までスクロールして選択します。
5. 事前定義オプションのいずれかを選択します。
6. 送信 ボタンをタッチします。

イメージ調整設定を確認する

スキャン メニューの設定を調整して、画質を最適化します。

- [シャープネス]: イメージを鮮明にしたり柔らかくしたりします。たとえば、鮮明度を上げるとテキストがはっきりと表示され、鮮明度を下げると写真が滑らかに表示されます。
- [濃さ]: スキャンしたイメージのカラーで使用する白および黒の量を増減します。
- [コントラスト]: ページ内の最も明るい色と最も暗い色の差を増減します。
- 背景の除去：スキャンしたイメージの背景から不鮮明な色を除去します。たとえば、原稿がカラー用紙に印刷されている場合、この機能を使用することでイメージの濃さに影響を与えることなく背景を明るくできます。
- 自動トーン：Flow プリンタのみ。濃さ、コントラスト、および 背景の除去の設定がスキャンしたドキュメントに最も適した値となるように自動的に調整されます。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、スキャン アプリケーションに移動し、次に スキャン アイコンを選択します。
2. 次のスキャン機能のいずれかを選択します。
   - 電子メールにスキャン
   - スキャン データをネットワーク フォルダに送信
   - スキャンして USB ドライブに保存
   - スキャンしてジョブ保存
   - SharePoint® にスキャン

3. オプション を選択し、イメージ調整 を選択します。
4. スライダを調節してレベルを設定し、完了 を選択します。
5. 送信 または 保存 を選択してスキャンを開始します。

注記：これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

テキストまたは画像のスキャン品質を最適化する

テキスト、グラフィックス、または写真など、スキャン中の画像タイプに合わせてスキャン ジョブを最適化します。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、スキャン アプリケーションに移動し、次に スキャン アイコンを選択します。
2. 次のスキャン機能のいずれかを選択します。
   - 電子メールにスキャン
   - スキャン データをネットワーク フォルダに送信
   - スキャンして USB ドライブに保存
   - スキャンしてジョブ保存
   - SharePoint® にスキャン
3. オプション を選択し、テキスト/画像の最適化 を選択します。
4. 事前定義オプションのいずれかを選択します。
5. 送信 または 保存 を選択してスキャンを開始します。

注記：これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

出力品質設定を確認する

この設定では、ファイル保存時の圧縮レベルを調整します。最高の品質を確保するには、最高値の設定を選択します。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、スキャン アプリケーションに移動し、次に スキャン アイコンを選択します。
2. 次のスキャン機能のいずれかを選択します。
   - 電子メールにスキャン
   - スキャン データをネットワーク フォルダに送信
   - スキャンして USB ドライブに保存
   - SharePoint® にスキャン
3. オプション を選択し、ファイルのタイプと解像度 を選択します。

4. 事前定義済みの 品質およびファイル サイズ オプションのいずれかを選択し、完了 を選択します。
5. 送信 または 保存 を選択してスキャンを開始します。

ファックスの画像品質の向上

プリンタのファックス品質に問題がある場合は、次のソリューションを記載されている順に実行して問題を解決してください。

まず、次のシンプルな手順を試してください。

- 文書フィーダではなく、フラットベッド スキャナを使用します。
- 高い品質の原稿を使用します。
- 文書フィーダを使用する場合は、画像が不鮮明になったり歪んだりしないように、用紙ガイドを使用して、原稿をフィーダに正しく設定します。

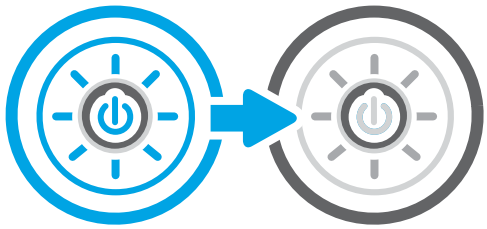
依然として問題が残る場合は、次のソリューションも試してください。これらのソリューションを実行しても問題が解決されない場合は、「印刷品質の改善」でその他のソリューションを参照してください。

スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する

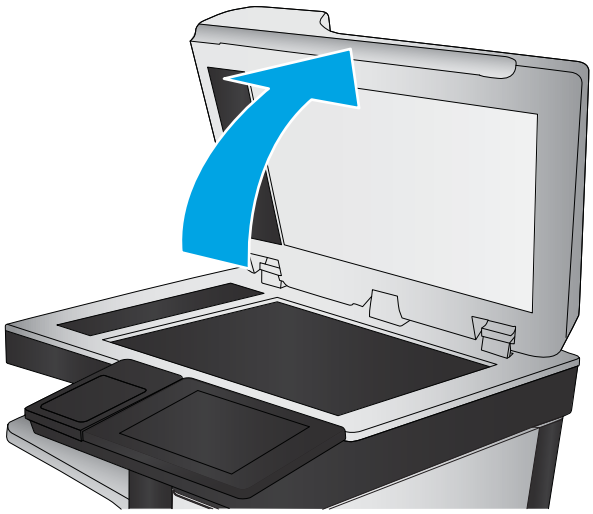
ごみによるコピー品質の問題を解決する方法について説明します。

時間の経過とともに、スキャナ ガラスや文書フィーダの白いプラスチック製サポートにごみが集まり、印刷不良を引き起こすことがあります。印刷したページに筋状の汚れ、不適切な線、トナーの黒い汚れ、印刷品質の低下、不鮮明なテキストなどの問題がある場合は、次の手順を使用してスキャナをクリーニングします。

1. プリンタの電源ボタンをオフにして、コンセントから電源ケーブルを外します。



2. スキャナ カバーを開きます。

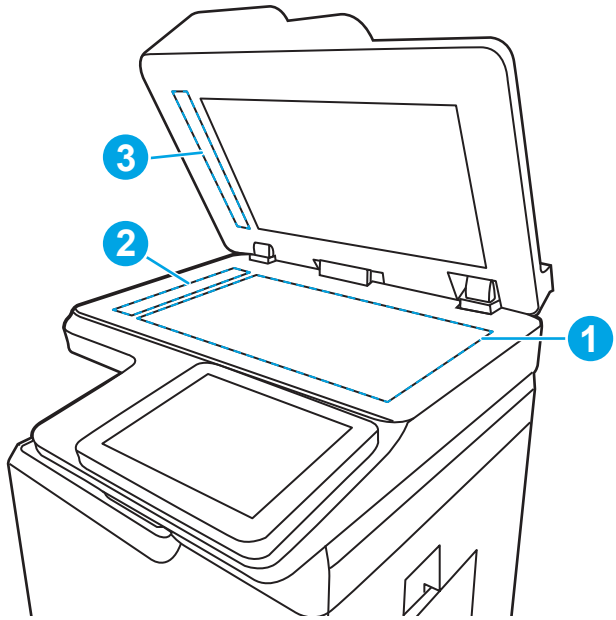


3. 非研磨性ガラス クリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジでスキャナのガラス板 (図の 1) と文書フィーダ部分 (図の 2) をクリーニングします。

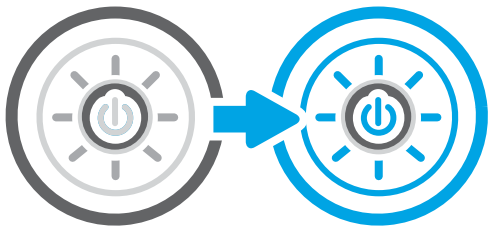
   注意：プリンタのどの部分にも研摩材、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチルアルコール、および四塩化炭素は使用しないでください。これらは、プリンタを損傷するおそれがあります。また、ガラス板やプラテンには液体を直接かけないでください。液体が漏れてプリンタを損傷するおそれがあります。

   注記：文書フィーダを使用すると、読み取った文書が筋状に汚れる問題が発生している場合は、スキャナの左側にある小さいガラス ストリップ (図の 2 および図の 3) をクリーニングしてください。

   文書フィーダのガラスとスキャナ ガラスをクリーニングする方法について説明するビデオを参照してください。



4. しみが残らないように、乾いたセーム革またはセルロース スポンジでガラス板とビニール製の白い裏張り部分を拭き取ります。
5. 電源ケーブルをコンセントに接続し、電源ボタンを押し、プリンタの電源を入れます。



送信ファックスの解像度設定を確認する

必要に応じて、送信ファックスの解像度を調整します。解像度設定を上げると、ファックスのサイズが大きくなり、送信時間が長くなります。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、ファックス アプリケーションに移動し、次にファックス アイコンを選択します。
2. オプション を選択します。
3. [オプション] ペインで、解像度 までスクロールして選択します。
4. 事前定義オプションの 1 つを選択してから、送信 を選択してファックスを送信します。

イメージ調整設定を確認する

ファックス メニューの設定を調整して、画質を最適化します。

- [シャープネス]: イメージを鮮明にしたり柔らかくしたりします。たとえば、鮮明度を上げるとテキストがはっきりと表示され、鮮明度を下げると写真が滑らかに表示されます。
- [濃さ]: スキャンしたイメージのカラーで使用する白および黒の量を増減します。

- [コントラスト]: ページ内の最も明るい色と最も暗い色の差を増減します。
- 背景の除去：スキャンしたイメージの背景から不鮮明な色を除去します。たとえば、原稿がカラー用紙に印刷されている場合、この機能を使用することでイメージの濃さに影響を与えることなく背景を明るくできます。
- 自動トーン：Flow プリンタのみ。濃さ、コントラスト、および 背景の除去の設定がスキャンしたドキュメントに最も適した値となるように自動的に調整されます。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、ファックス アプリケーションに移動し、次にファックス アイコンを選択します。
2. オプション を選択します。
3. [オプション] ペインで、イメージ調整 までスクロールして選択します。
4. スライダを調節してレベルを設定し、完了 を選択します。
5. 送信 を選択するとファックスが送信されます。

注記：これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

テキストまたは画像のファックス品質を最適化する

テキスト、グラフィックス、または写真など、スキャン中の画像タイプに合わせてファックス ジョブを最適化します。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、ファックス アプリケーションに移動し、次にファックス アイコンを選択します。
2. オプション を選択します。
3. [オプション] ペインで、テキスト/画像の最適化 までスクロールして選択します。
4. 次のいずれかの事前定義オプションを選択します。
5. 送信 を選択するとファックスが送信されます。

注記：これらの設定値は一時的なものです。ジョブが完了すると、デフォルト設定に戻ります。

エラー修正設定の確認

エラー修正モード 設定が有効になっていることを確認します。この設定で画質を向上させることができます。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、設定 アプリケーションに移動し、設定 アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます：
   a. ファックス
   b. ファックス送信設定
   c. 全般的なファックス送信設定
3. エラー修正モード オプションを選択します。完了 ボタンをタッチします。

用紙の大きさに合わせる設定を確認する

用紙の大きさに合わせる 設定が有効になっており、受信したファックスがデフォルト ページ サイズよりも大きい場合は、イメージがページに収まるように縮小されます。この設定が無効になっていると、サイズの大きいイメージが複数のページに分割されます。

1. プリンタのコントロール パネルのホーム画面で、設定 アプリケーションに移動し、設定 アイコンを選択します。
2. 以下のメニューを開きます：
   a. ファックス
   b. ファックス受信設定
   c. デフォルト ジョブ オプション
   d. 用紙の大きさに合わせる
3. 設定を有効にするには、オン オプションを選択し、無効にするには、オフ オプションを選択します。

異なるファックス機に送信する

この問題は、ファックス機の設定またはサプライ品のステータスが原因である可能性があります。

異なるファックス機にファックス送信を試行します。ファックス品質が良好な場合、問題は最初の受信者のファックス機の設定またはサプライ品の状態に関係しています。

送信側のファックス機を確認する

送信側のファックス機を確認するには、以下を試してください。

送信側に別のファックス機から送信するように依頼します。ファックス品質が向上する場合は、送信側のファックス機に問題があります。別のファックス機を使用できない場合は、送信側に次の変更を検討するよう依頼します。

- 原稿を白地 (色付きでなく) にする。
- ファックスの解像度、品質レベル、またはコントラストの設定を高くする。
- 可能な場合には、コンピュータのソフトウェア プログラムからファックスを送信する。

有線ネットワークに関する問題の解決

管理サービス担当者にお問い合わせください。プリンタの後部の製品ラベルに記載されているモデル番号を確認してください。

ワイヤレス ネットワークに関する問題の解決

管理サービス担当者にお問い合わせください。プリンタの後部の製品ラベルに記載されているモデル番号を確認してください。

ファックスに関する問題の解決

プリンタのファックス機能に関連する問題を解決するには、次のセクションを使用します。

ファックスの問題を解決するためのチェックリスト

次のチェックリストを使用して、ファックスに関する問題の発生原因を突き止めてください。

- **ファックス アクセサリに付属のファックス ケーブルを使用していますか？**このファックス アクセサリは、付属のファックス ケーブルを使用して RJ11 仕様および機能仕様への準拠がテストされています。その他のファックス ケーブルは使用しないでください。アナログ ファックス アクセサリにはアナログのファックス ケーブルが必要です。また、アナログの電話接続も必要です。
- **ファックス/電話線コネクターがファックス アクセサリの差し込み口に接続されていますか？**電話ジャックが差し込み口にしっかりと接続されていることを確認してください。コネクタをカチッと音がするまで差し込み口に挿入します。

> 注記：フォン ジャックがネットワーク ポートではなくファックス ポートに接続されていることを確認してください。これらのポートは類似しています。

- **壁の電話ジャックは正常に機能していますか？**壁のジャックに電話を接続して、ダイアル トーンが聞こえることを確認してください。ダイアル トーンが聞こえて、電話をかけたり受けたりできますか？

どのような種類の電話回線を使用していますか？

使用する電話回線のタイプを確認し、その回線タイプの推奨事項を確認します。

- **専用回線**：ファックスの送受信用に標準的なファックス/電話回線が割り当てられています。

> 注記：電話回線はプリンタ ファックス専用とし、他の種類の電話装置と共有しないでください。たとえば、警備会社への通知に電話回線を使う警報システムなどとの回線の共有は避けます。

- **PBX システム**：ビジネス環境の電話システム。標準的な家庭用電話とファックス アクセサリではアナログ電話信号を使用します。一部の PBX システムはデジタルであるため、ファックス アクセサリと互換性がない場合があります。ファックス機をデジタル PBX システムに接続するには、インタフェースのアナログ電話アダプタ (ATA) が必要になる場合があります。
- **ロールオーバー回線**：最初に着信する回線が通話中の場合に、新たにかかってきた電話を次の使用可能な回線に「ロールオーバー」する電話システム機能。最初に着信する電話回線にプリンタを接続してください。ファックス アクセサリは、応答するまでの呼び出し回数設定で設定されている回数だけ呼び出し音が鳴った後に電話に応答します。

サージ保護装置を使用していますか？

壁のジャックとファックス アクセサリ間でサージ保護装置を使用すると、電話線を流れる電流からファックス アクセサリを保護できます。このような装置が原因となって電話信号の品質が低下し、ファックス通信に問題が発生する場合があります。

ファックスの送受信に問題があり、このような装置を使用している場合は、壁の電話ジャックにプリンタを直接接続して、問題の原因がサージ保護装置であるかどうかを確認してください。

電話会社が提供する音声メッセージ サービスまたは留守番電話を使用していますか？

メッセージ サービスの呼び出し回数設定がファックス アクセサリの呼び出し回数設定よりも少ない場合は、メッセージ サービスが呼び出しに応答するため、ファックス アクセサリでファックスを受信できません。

ファックス アクセサリの呼び出し回数設定がメッセージ サービスの呼び出し回数設定がよりも少ない場合は、ファックス アクセサリですべての呼び出しに応答します。

電話回線に割り込み通話機能はありますか？

ファックス電話回線で割り込み通話機能がアクティブになっていると、割り込み通知によって進行中のファックス コールが中断され、通信エラーが発生する場合があります。

ファックス電話回線の割り込み通話機能がアクティブではないことを確認してください。

ファクス アクセサリのステータスの確認

アナログ ファックス アクセサリが機能していないと思われる場合は、設定ページ レポートを印刷してステータスを確認します。

1. ホーム画面で、レポート までスクロールして選択します。
2. 以下のメニューを開きます：
   a. 設定/ステータス ページ
   b. 設定ページ
3. 印刷 ボタンをタッチしてレポートを印刷するか、表示 ボタンをタッチしてレポートを画面に表示します。レポートは、数ページで構成されています。

注記：プリンタの IP アドレスまたはホスト名は、Jetdirect ページに記載されています。

4. 設定ページのファックス アクセサリ ページで、[ハードウェア情報] という見出しの下にある [モデム ステータス] を確認します。次の表は、そのステータスと考えられる解決策を示しています。

注記：ファックス アクセサリ ページが印刷されない場合は、アナログ ファックス アクセサリに問題がある可能性があります。LAN ファックスまたはインターネット ファックスを使用している場合には、それらの設定によって機能が無効になっている可能性があります。

表 9-13 アナログ ファックス アクセサリのトラブルシューティング

ステータスの状態	実行できる処置
動作中/使用可能 [1]	アナログ ファックス アクセサリが取り付けられており、使用可能な状態になっています。
動作中/使用不可 [1]	ファックス アクセサリは取り付けられていますが、必要なファックス設定がまだ指定されていません。 ファックス アクセサリが取り付けられており、動作していますが、HP Digital Sending ユーティリティによってプリンタのファックス機能が無効になっているか、LAN ファックスが有効になっています。LAN ファックスを有効にすると、アナログ ファックス機能は無効になります。LAN ファックスとアナログ ファックスのどちらかのファックス機能のみを有効にすることができます。 **注記：**LAN ファックスが有効になっていると、プリンタのコントロール パネルの ファックスをスキャン 機能を利用できません。
停止中/使用可能/使用不可 [1]	ファームウェアの障害が検出されました。ファームウェアをアップグレードします。

表 9-13 アナログ ファックス アクセサリのトラブルシューティング (続き)

ステータスの状態	実行できる処置
破損/使用可能/使用不可 [1]	ファックス アクセサリでエラーが発生しました。ファックス アクセサリ カードを再度取り付けて、ピンが曲がっていないか確認します。ステータスが「破損」のままである場合は、アナログ ファックス アクセサリ カードを交換してください。

[1] 「使用可能」は、アナログ ファックス アクセサリが使用可能でオンの状態であることを示します。「使用不可」は、LAN ファックスが使用可能であることを示します (アナログ ファックスはオフ)。

一般的なファックスの問題

一般的なファックスの問題の解決策について説明します。

ファックスを送信できない

ファックスの問題を確認し、推奨されるソリューションを試してください。

JBIG が有効になっていますが、受信ファックス機に JBIG 機能がありません。

[JBIG] 設定をオフにします。

ファックス アドレス帳ボタンが表示されない

ファックスの問題を確認し、推奨されるソリューションを試してください。

選択した連絡先リスト内のどの連絡先にも、ファックス情報が関連付けられていません。必要なファックス情報を追加します。

HP Web Jetadmin のファックス設定が見つからない

ファックスの問題を確認し、推奨されるソリューションを試してください。

HP Web Jetadmin のファックス設定はデバイスのステータス ページのドロップダウン メニューにあります。

ドロップダウン メニューから **[デジタル送信とファックス]** を選択します。

オーバーレイを有効にしても、ヘッダがページ上部に付加される

このファックスの問題は、正常な動作の一部です。

すべての転送されるファックスのページ上部にオーバーレイヘッダが付加されます。

これは正常な動作です。

受信者ボックスに名前と番号が混在している

このファックスの問題は、正常な動作の一部です。

ソース データに応じて、名前と数字の両方が表示される場合があります。ファックス アドレス帳は名前を示し、他のすべてのデータベースは数字を示します。

これは正常な動作です。

1 ページのファックスが 2 ページにわたって印刷される

ファックスの問題を確認し、推奨されるソリューションを試してください。

ファックス ヘッダーがファックスの上部に付加されると、テキストが 2 ページ目に押し出されます。

1 ページのファックスを 1 ページに印刷するには、オーバーレイ ヘッダをオーバーレイ モードに設定するか、用紙の大きさに合わせる設定を調整します。

ファックスの途中で文書フィーダにある文書が止まる

ファックスの問題を確認し、推奨されるソリューションを試してください。

文書フィーダで紙詰まりしています。

詰まった紙を取り除いてから、もう一度ファックスします。

ファックス アクセサリの音量が大きすぎるか小さすぎる

ファックスの問題を確認し、推奨されるソリューションを試してください。

音量設定を調整する必要があります。

ファックスの送信設定 メニューおよび ファックスの受信設定 メニューで音量を調整します。

索引

記号/数字

1x550 枚用紙トレイ
　ラベルのセット　63
550 枚給紙トレイ
　紙詰まり　215

A

AirPrint　95, 97
Android デバイス
　印刷元　95, 98

B

Bonjour
　識別する　182

E

Explorer、サポートされているバージョン
　HP 内蔵 Web サーバ　182

H

HCI. 大容量給紙トレイ *を参照*
HIP (ハードウェア統合ポケット)
　位置　5, 6, 7, 8
HP ePrint　95
HP ePrint ソフトウェア　95
HP JetAdvantage ビジネス ソリューション　170
HP Web Jetadmin　202
HP Web Services
　有効化　182
HP Web サービス
　有効化　184, 191
HP 内蔵 Web サーバ
　HP Web サービス　191
　印刷設定　184, 186
　コピー設定　184, 186
　サプライ品　189
　スキャン設定　184, 187
　セキュリティ設定　184, 190
　デジタル送信設定　184, 187
　ネットワーク設定　184, 192
　ファックス設定　184, 189
HP 内蔵 Web サーバー
　HP Web サービス　184
　一般設定　184, 185
　情報ページ　184
　その他のリンク リスト　184, 186
　トラブルシューティング ツール　184, 189
HP 内蔵 Web サーバ
　HP Web Services　182
　コピー設定　182
　スキャン設定　182
　セキュリティ設定　182
　その他のリンクのリスト　182
　デジタル送信設定　182
　トラブルシューティング用ツール　182
　ネットワーク設定　182
　ネットワーク設定の変更　194
　ファックス設定　182
　プリンタ名の変更　194
　印刷設定　182
　開く　194
　情報ページ　182
　全般的な設定　182
HP 内蔵 Web サーバ (EWS)
　ネットワーク接続　182
　機能　182

I

Internet Explorer、サポートされているバージョン
　HP 内蔵 Web サーバ　182
IPsec　198, 200
IPv4 アドレス　194
IPv6 アドレス　194
IP セキュリティ　198, 200

J

Jetadmin、HP Web　202
JetAdvantage　170

L

LAN ポート
　位置　10, 11, 12

M

Mac のドライバ設定
　ジョブ保存　91

N

Netscape Navigator、サポートされているバージョン
　HP 内蔵 Web サーバ　182
NFC の接続と印刷　95, 96

T

TCP/IP
　IPv4 パラメータの手動設定　194
　IPv6 パラメータの手動設定　194

U

USB
　送信先　168

USB ストレージ アクセサリ
印刷元 99
USB ポート
位置 10, 11, 12
有効化 99, 100, 102

W
Web サイト
HP Web Jetadmin、ダウンロード 202
Web ブラウザ要件
HP 内蔵 Web サーバ 182
Wi-fi Direct プリント 95, 96

あ
アクセサリ
概要 69
アクセサリ
注文 70

い
一般設定
HP 内蔵 Web サーバー 184, 185
色
校正 257
印刷ジョブの保存 91
印刷設定
HP 内蔵 Web サーバ 184, 186
印刷メディア
トレイ 1 にセット 40
印刷
USB ストレージ アクセサリから 99
保存ジョブ 91
インタフェース ポート
位置 10, 11, 12
インナー フィニッシャ アクセサリ
動作モードの設定 66
インナー フィニッシャ
位置 7
イーサネット (Rj-45)
位置 10, 11, 12
イージー アクセス USB 印刷 99

え
エネルギー使用、最適化 201

お
オペレーティング システム、サポート対象 33
オン/オフ ボタン
位置 5, 6, 7, 8
音響仕様 37
オンライン ヘルプ、コントロール パネル 203

か
解像度
コピーとスキャン 20
画質
トナー カートリッジ ステータスの確認 250, 253
紙詰まり
550 枚給紙トレイ 215
原因 216
自動操作 215
トレイ 1 215
トレイ 2 215
排紙ビン 215
場所 215
両面印刷ユニット 215
ガラス面、クリーニング 267, 271, 276
感電の危険性 2
カートリッジ
下限値設定 205
交換 74
残量わずかで使用 205

き
給紙の問題 284
近距離無線通信印刷 95, 96
キーボード
位置 5, 6, 7, 8

く
クリーニング
ガラス面 267, 271, 276
クリーニング
用紙経路 250

け
ゲートウェイ、デフォルトの設定 194

こ
交換用部品
製品番号 72
交換
トナー カートリッジ 74
校正
色 257
高速 USB 2.0 印刷ポート
位置 10, 11, 12
コピー
概要 105
最適化、テキストまたは画像 267
コピー設定
HP 内蔵 Web サーバ 182
[コピー開始] ボタン
位置 15
コピー
解像度 20
コピー設定
HP 内蔵 Web サーバ 184, 186
コントロール パネル
位置 5, 6, 7, 8
機能の位置を確認 15
ヘルプ 203

さ
最小システム要件
macOS 33
Windows 33
[サインアウト] ボタン
位置 15
[サインイン] ボタン
位置 15
削除
保存ジョブ 91, 94
サブネット マスク 194
サプライ品
HP 内蔵 Web サーバ 189
下限値設定 205
残量わずかで使用 205
製品番号 72
注文 70
トナー カートリッジの交換 74
サプライ品
概要 69
サポートされているオペレーティング システム 33

サービス用液体コンテナ
交換　78

し
システム要件
HP 内蔵 Web サーバ　182
重量、プリンタ　35
情報ページ
HP 内蔵 Web サーバー　184
仕様
電気および音響　37
ジョブの保存
Windows での　91
ジョブ、保存済み
Mac の設定　91
印刷　91
削除　91, 94
作成 (Windows)　91

す
スキャナ
ガラス面のクリーニング　267, 271, 276
校正　267
スキャン
概要　111
最適化、テキストまたは画像　271
スキャンした画像の最適化　271
スキャンして USB ドライブに保存　168
有効化　152
スキャンして USB に保存　168
スキャンして電子メールで送信
文書の送信　156
スキャンしてネットワーク フォルダに保存　162
初期セットアップ　129
スキャンしてフォルダに保存　162
スキャンしてプリンタのフォルダに保存　159
スキャンしてプリンタのメモリに保存　159
スキャン
解像度　20
スキャン設定
HP 内蔵 Web サーバ　184, 187
スキャン設定
HP 内蔵 Web サーバ　182
ステイプラ
デフォルトのステイプル位置の設定　65
ステイプラ ドア
位置　10, 11
ステイプル留め
デフォルト位置の設定　65
動作モードの設定　65, 66
ステータス、ファックス アクセサリ ページ　280, 281
スリープ遅延
設定　201
寸法、プリンタ　35

せ
製品番号
交換用部品　72
ステイプル カートリッジ　72
セキュリティ
暗号化されたハード ディスク　198, 200
セキュリティ設定
HP 内蔵 Web サーバ　184, 190
セキュリティ ロック スロット
位置　10, 11, 12
セキュリティ設定
HP 内蔵 Web サーバ　182
設定
ファックス　173, 179
セット
4,000 枚大容量給紙トレイの用紙　55
トレイ 1 の用紙　40
トレイ 2 の用紙　47

そ
速度、最適化　201
その他のリンク リスト
HP 内蔵 Web サーバー　184, 186
その他のリンクのリスト
HP 内蔵 Web サーバ　182

た
代替レターヘッド モード　40, 46, 47, 54, 55, 60
大容量給紙トレイ
セット　55
タッチスクリーン
機能の位置を確認　15

ち
注文
サプライ品とアクセサリ　70

つ
詰まり、紙
場所　215

て
手差し両面印刷
Mac　88
Windows　84
デジタル送信設定
HP 内蔵 Web サーバ　184, 187
デジタル送信
USB　168
フォルダ　162
プリンタのメモリ　159
文書の送信　156
デジタル送信設定
HP 内蔵 Web サーバ　182
デフォルト ゲートウェイ、設定　194
電気仕様　37
電源スイッチ
位置　5, 6, 7, 8
電源接続
位置　10, 11, 12
電源
消費　37
電子メールへの送信
文書の送信　156
電力使用　201

と
透明度
印刷 (Windows)　84
特殊紙
印刷 (Windows)　84
トナー カートリッジ
交換　74
コンポーネント　74

トラブルシューティング
概要 203
用紙送りに関する問題 207
トラブルシューティング用ツール
HP 内蔵 Web サーバ 182
トラブルシューティング ツール
HP 内蔵 Web サーバー 184, 189
トラブルシューティング
紙詰まり 215, 216
トナー カートリッジ ステータスの確認 250, 253
トレイ 1
位置 10, 11, 12
トレイ 1
紙詰まり 215
封筒のセット 61
用紙の向き 40, 41
トレイ 1 の延長部分
位置 10, 11, 12
トレイ 2
紙詰まり 215
セット 47
ラベルのセット 63
トレイ
位置 5, 6, 7, 8
代替レターヘッド モードの使用 46, 54, 60
付属 20
容量 20

な
内蔵 Web サーバ (EWS)
パスワードの割り当て 198, 199
内部フィニッシャ アクセサリ
動作モードの設定 65

ね
ネットワーク
HP Web Jetadmin 202
IPv4 アドレス 194
IPv6 アドレス 194
サブネット マスク 194
デフォルト ゲートウェイ 194
プリンタ名、変更 194
設定、表示 194
設定、変更 194
ネットワークの管理 194
ネットワークリンク速度、変更 194
ネットワーク設定
HP 内蔵 Web サーバ 182
ネットワーク二重通信設定、変更 194
ネットワーク設定
HP 内蔵 Web サーバ 184, 192
ネットワーク
サポートされている 20
ネットワーク フォルダ、スキャン先 162

は
排紙ビン
位置 5, 6, 7, 8
紙詰まりの解消 215
ハードウェア統合ポケット (HIP)
位置 5, 6, 7, 8
ハード ディスク
暗号化 198, 200

ひ
左ドア
位置 5, 6, 7, 8
必要な設定
ファックス 172
ビン、排紙
位置 5, 6, 7, 8

ふ
ファックス
概要 171
給紙の問題 280
最適化、テキストまたは画像 276
ファックス イメージの最適化 276
ファックス設定
HP 内蔵 Web サーバ 184, 189
必要 172
ファックス
給紙の問題 284
設定 173, 179
セットアップ 172
必要な設定 172
ブロック 179
ファックス ポート
位置 10
ファックス設定
HP 内蔵 Web サーバ 182
封筒、セット 61
封筒
向き 40, 41
フォルダ
送信先 162
フォーマッタ
位置 10, 11, 12
複数ページ/枚
印刷 (Mac) 88
複数ページ/枚
印刷 (Windows) 84
プライベート印刷 91
ブラウザ要件
HP 内蔵 Web サーバ 182
プリンタ
概要 1
プリンタのメモリに保存 159
プリンタのメモリ
送信先 159
プリンタのメモリ、スキャン先 159
プリンタの管理
概要 181
プリント ドライバ
Linux 33
macOS 33
UNIX 33
Windows 33
文書フィーダ
位置 5, 6, 7, 8
給紙の問題 214
容量 20

へ
[ヘルプ] ボタン
位置 15
ヘルプ、コントロール パネル 203
ページ/枚
(Mac) を選択 88
選択 (Windows) 84

ほ
保守キット
製品番号 72
保存ジョブ
印刷 91
削除 91, 94

作成 (Mac)　91
作成 (Windows)　91
保存、ジョブ
Mac の設定　91
ポート
位置　10, 11, 12
[ホーム] ボタン
位置　15

ま

マージン、最小
コピー　267
枚/分　20

み

右のドア
位置　5, 6, 7, 8

め

メモリ チップ (トナー)
位置　74
メモリ
付属　20

も

モバイル印刷ソリューション　20
モバイル印刷
Android デバイス　95, 98

ゆ

優先給紙トレイ
封筒のセット　61

よ

用紙タイプ
選択 (Windows)　84
用紙タイプ
(Mac) を選択　88
用紙トレイ
概要　39
用紙のピックアップの問題
解決　207, 210
用紙、注文　70
用紙
4,000 枚大容量給紙トレイへの セット　55
紙詰まり　215, 216
選択　250, 255
トレイ 1 のセット　40
トレイ 1 の向き　40, 41
トレイ 2 のセット　47

ら

ラベル
印刷　63
向き　63
印刷 (Windows)　84
ラベル、セット　63

り

両面印刷ユニット
紙詰まり　215
両面印刷 (両面)
Windows　84
設定 (Windows)　84
両面印刷
Mac　88
Windows　84
手動 (Mac)　88
設定 (Windows)　84
手差し (Windows)　84
両面に印刷
Mac　88
Windows　84
設定 (Windows)　84
手差し、Windows　84

ろ

ロック
フォーマッタ　198, 200
ローカル エリア ネットワーク (LAN)
位置　10, 11, 12

ん

印刷
概要　83
印刷設定
HP 内蔵 Web サーバ　182
各部
概要　69
給紙の問題　280
校正
スキャナ　267
最小マージン　267
最小マージン コピー　267
最適化、コピー結果　267
出荷時の設定に戻す　205
情報ページ
HP 内蔵 Web サーバ　182
設定
出荷時の (デフォルト) 設定に戻す　205
全般的な設定
HP 内蔵 Web サーバ　182
内蔵 Web サーバ
ネットワーク設定の変更　194
プリンタ名の変更　194
開く　194
内蔵 Web サーバ (EWS)
ネットワーク接続　182
機能　182
文書フィーダ
給紙の問題　207
用紙
選択する　255
用紙のピックアップに関する問題
解決　207
両面印刷の
Mac　88